## 第5次茨木市総合計画

# 第3期実施計画

平成29年度  $\sim$  平成33年度(2017年)(2021年)

平成29年5月





## 目 次

第	1	実施計画の概要	
	1	実施計画の位置づけ	1
:	2	掲載対象事業	2
;	3	計画期間と計画の運用	2
4	4	前期基本計画の重点プラン及び施策体系	3
第	2	第3期実施計画	
	1	総括表	5
2	2	重点プランの推進に向けて	6
;	3	実施計画の見方	9
2	4	第3期実施計画	10
		(1) ともに支え合い、健やかに暮らせるまち	10
		(2) 次代の社会を担う子どもたちを育むまち	33
		(3) みんなの"楽しい"が見つかる文化のまち	58
		(4) 市民・地域とともに備え、命と暮らしを守る安全安心のまち …	80
		(5) 都市活力がみなぎる便利で快適なまち	99
		(6) 心がけから行動へ みんなで創る環境にやさしいまち	137
		(7) まちづくりを進めるための基盤	157

### 第1 実施計画の概要

### 1 実施計画の位置づけ

第5次茨木市総合計画は、次の3層で構成されています。

◎基本構想:まちの将来像とそのめざすべき方向性を示す。

◎基本計画:基本構想に掲げるまちの将来像の実現を図る施策と取組の内容(施 策別計画)、重点プラン、都市構造、財政計画を示す。

◎実施計画:基本計画で定めた取組を市で推進する具体的な事業内容を示す。

実施計画は、基本計画に掲載されている施策等を効果的に進めていくために、 今後市として取り組むべき具体的な事業の計画を、施策の進捗状況や社会情勢、 財政状況を踏まえて作成したものです。行政内部の予算編成や事業執行の指針 となるとともに、市の取り組む事業について市民に分かりやすく伝えることに より、行政の説明責任を果たすものです。

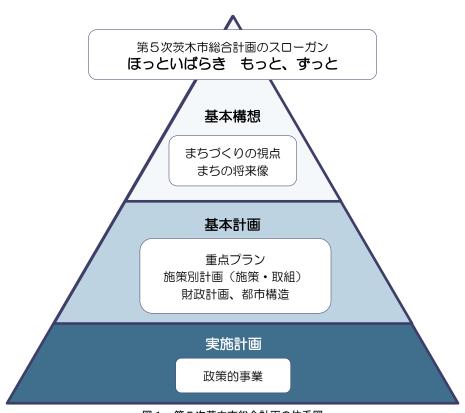


図1 第5次茨木市総合計画の体系図

#### 2 掲載対象事業

実施計画には、基本計画を推進するための政策的な事業を掲載しており、 市が行うすべての行政活動を網羅しているものではありません。

新規・拡充等を予定している事業 (ビルド) のほか、厳しい財政環境の中、限られた行政資源の配分における選択と集中の実践のため、縮小・廃止等を予定している事業 (スクラップ) も掲載しています。

また、計画期間中に拡充等の予定がなく、現在の事業内容を継続する場合であっても、基本計画の施策を構成する主要な事業である場合は、実施計画掲載の対象としているほか、複数の取組に位置付けられる事業については、再掲事業として複数の取組に掲載しています。

#### 3 計画期間と計画の運用

実施計画の計画期間は5年間とします。また、第5次茨木市総合計画の進行 管理手法である施策評価の結果等を踏まえ、図2のとおり、ローリング方式\*\* で、毎年度、計画内容の見直しを行い公表します。

※ ローリング方式:社会情勢や財政状況の変化への対応、進捗状況の確認を行い、事業の立 案、見直しや計画の修正を転がすように定期的に行っていく手法のこと。

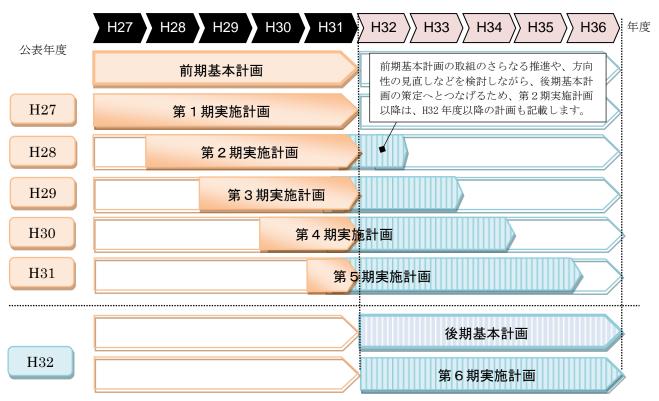


図2 実施計画ローリングのイメージ

#### 4 前期基本計画の重点プラン及び施策体系

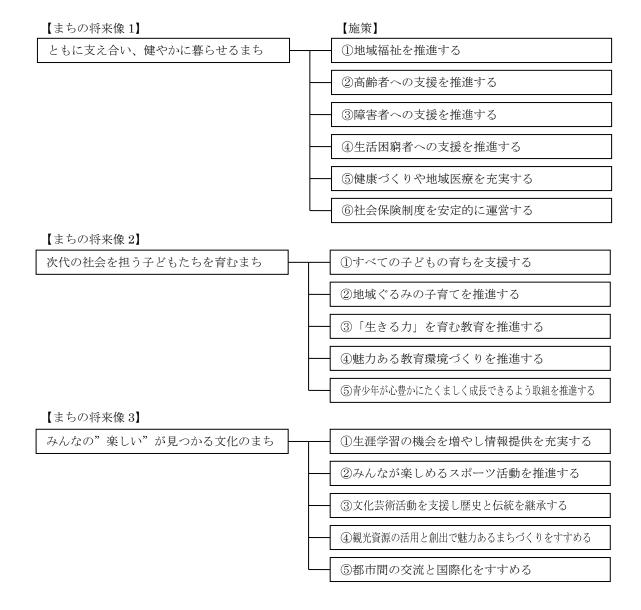
重点プラン3 安全・安心に暮らせるまちをつくる

第5次茨木市総合計画基本構想を実現するための、前期基本計画における重 点プラン及び施策体系は以下のとおりです。

#### ■重点プラン

**重点プラン1** 若い世代に選ばれ、高齢者がいきいきと活動できるまちをつくる 重点プラン2 魅力と活力のあふれるまちをつくる

#### ■施策体系



### 【まちの将来像4】 【施策】 市民・地域とともに備え、命と暮らしを守 ①災害への備えを充実させる る安全安心のまち ②消防・救急体制の充実強化を図る ③防犯や多様な危機への対策強化を図る ④消費者教育を推進し、自立した消費者の育成に努める 【まちの将来像 5】 都市活力がみなぎる便利で快適なまち ①地域経済を支える産業をまもりそだてる ②時代の変化を見通した新しい産業をつくり、そだてる ③就労支援と働きやすい職場づくりをすすめる ④地域特性を活かした都市づくりを計画的にすすめる ⑤良好で住みよい環境・景観づくりをすすめる ⑥時代と市民の期待・要請に応え活力みなぎる都市づくりをすすめる ⑦環境負荷の低減や少子・高齢化社会を見据え持続可能な都市づくりをすすめる ⑧暮らしと産業を支える交通を充実させる ⑨市民・民間によるまちづくりを促進する 【まちの将来像 6】 心がけから行動へ みんなで創る環境にや ①いごこちの良い生活環境をたもつ さしいまち ②バランスのとれた自然環境をつくる ③ライフスタイルの見直しで低炭素なまちをめざす ④ きちんと分別で資源の循環をすすめる 【まちづくりを支える基盤】 まちづくりを進めるための基盤 ①まちの魅力を市内外に発信する ②社会の変化に対応する効率的・効果的な自治体運営を推進する ③地域社会の発展に貢献できる職員を育成する ④人権尊重のまちづくりを推進するとともに平和の実現をめざす ⑤市民とともに男女共同参画社会の実現をめざす ⑥地域コミュニティを育み、地域自治を支援する

⑦多様な主体による協働のまちづくりを推進する

### 第2 第3期実施計画

### 1 総括表

第3期実施計画における、平成29年度の事業費及び前年度に対する事業の方向性の集計は次のとおりです。

		平成29年度	事業費(※1)		平度主な新規 係る事業経費				-	E-boo/=	たのナムト	4. / 古米松			
将来像等	事業数 (再掲含む)		うち市負担分		うち市	負担分			_	平成29年月	度の方 回告	生(爭業級	.)		
		(百万円)	(※2) (百万円)	(百万円)		うち一般財 源 (百万円)	新規	継続	拡充	臨時 拡充	縮小	廃止	完了	新規 完了	その他
将来像1	68	17,669	7,036			95	0	46	12	4	6	0	0	0	0
将来像2	86	13,715	7,886	1,835	1,041	499	3	58	22	0	2	0	0	0	1
将来像3	69	1,599	1,345	103	103	23	1	50	13	3	2	0	0	0	0
将来像4	59	4,335	936	964	377	41	4	39	7	3	0	0	2	1	3
将来像5	127	7,535	4,676	4,219	2,414	490	2	105	9	2	0	0	7	1	1
将来像6	63	4,033	3,389	794	449	449 53		45	5	3	4	0	0	0	4
まちづくりを支え る基盤	74	1,534	1,380	152	137	137 71		49	17	4	3	0	0	0	0
計	546	50,419	26,648	8,237	4,633	4,633 1,273		392	85	19	17	0	9	2	9

- ※1 事業費に再掲事業は含みません
- ※2 市負担分:事業費のうち、国・府支出金や使用料・手数料等を除く市の財政負担額
- ※3 原則として、ハード事業は新規・拡充として計上しています
- ※4 その他: 平成30年度以降に新規実施予定等の理由により、方向性欄が「-」で表示されている事業

### 2 重点プランの推進に向けて

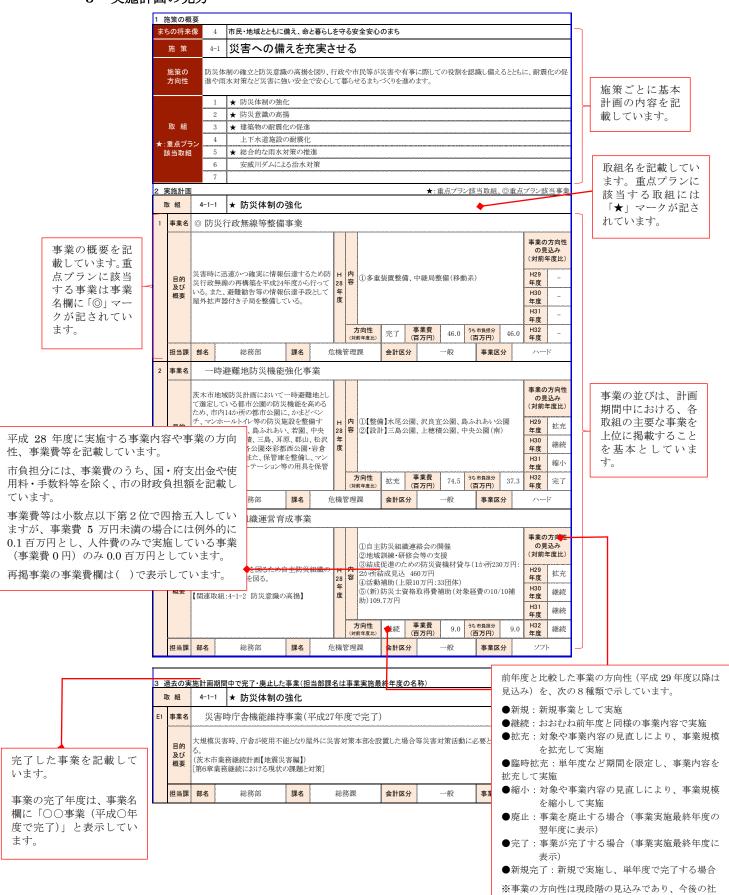
前期基本計画の重点プランの推進に向けて、第3期実施計画では次の事業を 計画しています。

重点プラン	①若い世代	に選ばれ、	高齢者が	ぶいきいきと	活動できるまちをつ	くる
該当事業数	49 事業	該当事 H29 年度事		10,960.1 百万円	該当事業の H29 年度市負担分総額	6, 186. 1 百万円
重点プ	ランを構成する	取組		該当事	事業名 (掲載ページ)	
1-2-1	地域活動・社 進	会参加の促	●生活支	関係団体育成・ 援体制整備事業 いきがい推進事		
1-2-2	地域包括ケアの推進	システム等	<ul><li>●地域包</li><li>●在宅高</li><li>●一般介</li><li>●在宅医</li></ul>	括支援センター 齢者支援事業	推進事業 (16)	(16)
1-5-1	健康づくりの	<b></b>	<ul><li>●健康づ</li><li>●地域保</li><li>●特定健</li><li>●特定保</li></ul>	診事業 (24) くり推進事業 健活動強化事業 康診査事業 (2 健指導事業 (2 アップいばらき ック等助成事業	巻(24) 5) 5) 5 き推進事業(25)	
1-5-2	母子保健サー	ビスの充実	●母子保	健事業 (26)		
1-5-4	救急医療体制の	の充実		次救急医療体制 療機関助成事業	引確保事業(27) (27)	
2-1-1	子どもの健や 等しく支援	かな育ちを	●大学奨	医療費助成事業 学金利子補給事 修学に伴う支援	事業 (34)	
2-1-2	子育て支援サ供	ービスの提	●一時保		月者支援)事業(38) 寺保育事業(38) (39)	
2-1-3	幼児教育と保 の充実	育の質と量	●公立幼 ●地域型 ●特別保 ●幼稚園 ●公立保 ●公立分	稚園の認定こと 保育事業(40) 育拡充事業(40) 等一時預かり 育所の機能とそ 稚園の認定こと	対象施設認定・給付事 ざも園化事業(40) ) (預かり保育)事業(40) 设割充実事業(41) ごも園化事業(ハード)( ・運営事業(44)	
2-2-1	交流の場の充分	美	<ul><li>●地域子</li><li>●市立幼</li></ul>	育て支援拠点 稚園子育て支持 育所子育て支持	F業(45) 爰事業(45)	
2-2-3	地域の人材を 育て支援	活用した子	●ファミ	リー・サポー ]	ト・センター事業 (46)	
2-3-1	「確かな学力」	の充実	<ul><li>●授業力</li><li>●保幼小</li></ul>	上事業(47) 向上事業(47) 中連携事業(4 る学校づくり扌		

2-3-2	「典かかん」(	の確成	●道徳教	育・人権教育	推進事業 (48)									
2-3-2	●生徒指導事業 (いじめ・不登校問題行動等) (48)  「健やかな体」の育成  ●体力向上事業 (50) ●学校給食事業 (ソフト) (50)  就労の支援  ●就職サポート事業 (108)  ●雇用・労働関係セミナー及び労働に関する啓発事業(109)													
2-3-3														
5-3-1	就労の支援		●就職サ	ポート事業(	108)									
5-3-2		場づくりの				事業(109)								
重点プラン	②魅力と活	力のあふれ	るまちを	こつくる										
該当事業数	37 事業	該当事 H29 年度事		1,585.2 百万円	該当事業の H29 年度市負担分総額	1, 170. 0 百万円								
重点プ	ランを構成する	取組		該当	事業名 (掲載ページ)									
		2-	1 まちな	か空間の活性	化									
5-1-3	商業の活性化		- / / 1447 1/		プラン推進事業(103) 補助事業(103)									
5-6-1	生活を支える 備・充実(拠 ネットワーク 進)	点の配置と	●立地適正化計画策定事業(118) ●茨木市中心市街地活性化事業(118)											
5-6-2	魅力ある中心周辺の整備	市街地・駅	●阪急茨木市駅西口駅前周辺整備事業(119) ● J R 茨木駅西口駅前周辺整備事業(119)											
5-7-2	● J R 茨木駅西口駅前周辺整備事業 (119) -7-2													
5-8-1	公共交通の維持	寺・充実	<ul><li>●茨木市総合交通戦略事業(126)</li><li>●公共交通対策事業(ハード)(126)</li><li>●公共交通対策事業(ソフト)(126)</li></ul>											
		2	②-2 北部地域の活性化											
5-1-1	農林業の振興		●新規農	業者養成事業	(100)									
5-1-2	都市と農村のによる活性化	交流活動等		興推進事業() 学校跡地活用	農空間活用事業)(101) 事業(102)									
5-6-4	北部地域の魅力	力向上		カアップ事業 辺整備事業(1										
6-2-2	自然資源の利用	用の推進	●市民参	加型森林保全	事業(146)									
		2-3	文化・観	光による魅力	向上									
3-3-2	文化芸術とふる る・つながる り			かアートツア <sup>、</sup> 活用したまち <sup>、</sup>	ー(69) づくり推進事業(70)									
3-3-3	未来へ向けた 担い手の育成	未来へ向けた文化芸術の ●文化振興事業 (70)												
3-3-4	歴史遺産の保存	字・継承	●キリシ	タン遺物史料的	館展示充実事業(72)									
3-4-1	観光資源の活 魅力あるまち すめる		●大阪ミ	るき事業(75) ュージアム関( 用・地域経済)	系事業 (75) 活性化実態調査事業 (75)									
3-4-3 官民協働で観光事業を推 進 ●観光推進事業 (76)														

		2-4	雇用機会の	D拡大と経済活	· :性化									
5-2-1	地域経済の成る事業者の創品		<ul><li>●産学連</li><li>●バイオ</li></ul>	インキュベー	06) ップ支援事業(106) ション施設集積促進補助事 ション施設賃料補助事業(									
5-2-2	幹線道路沿道 地誘導	での企業立	●幹線道	路沿道土地利用	用事業(107)									
5-2-3	特区制度など 企業立地	を活用した		成長特区税制( 地促進奨励金)	こおける事業計画認定等事 事業(106)	孫事業 (106)								
5-4-2	彩都の都市づく	くり	●彩都建	設推進事業(1	)									
重点プラン	③安全・安/	心に暮らせ	つまちを	こつくる										
該当事業数	32 事業	該当事 H28 年度事		1,516.4 百万円	該当事業の H28 年度市負担分総額	783. 7 百万円								
重点プ	ランを構成する	取組		該当事	事業名 (掲載ページ)									
1-1-2	地域における制の充実	相談支援体	●地域福祉ネットワーク推進事業(12) ●民生委員・児童委員事業(12) ●ひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯援護事業(12)											
2-4-2	学校・家庭・	地域の連携	<ul><li>●学童保育運営事業(54)</li><li>●放課後子ども教室推進事業(54)</li><li>●児童・生徒の安全対策事業(54)</li><li>●放課後児童健全育成費補助事業(55)</li></ul>											
2-5-1	青少年健全育品	成の推進	● 放課後兄里健至育成資補助事業 (55) ●青少年健全育成事業 (56)											
4-1-1	防災体制の強化	Ľ	●自主防災組織運営育成事業 (81) ●防災情報システム等保守業務 (82) ●防災コミュニティ醸成促進事業 (83) ●統合型 GIS 基図修正事業 (84)											
4-1-2	防災意識の高払	易	●防災訓 ●防災啓 ●女性防 ●防災啓	練実施事業(8 発実施事業(8 発リーダー育原 発冊子作成事 報WEBペー	85) 85) 成事業(86) 業(86)									
4-1-3	建築物の耐震化	との促進	●既存民	間建築物耐震	<b>Ľ補助事業(87)</b>									
4-1-5	総合的な雨水気	対策の推進	●水路改	水道整備事業 修事業(88) ーター運営事績										
4-2-1	消防体制の充領	実強化	●消防車	害対応力充実。 両・機器整備 消防総合情報										
4-2-2	救急業務の充実	<b></b> 実強化	●救急業務の高度化推進事業 (92) ●応急手当・普及啓発活動事業 (92)											
4-3-2	防犯活動への民の防犯意識の		●防犯パ	トロール強化	支援事業 (96)									
5-8-2	道路整備の推進		●ダム周	辺道路整備事業	業(129)									
5-8-5	交通安全対策の	の推進	<ul><li>●交通安全対策事業 (131)</li><li>●歩道設置事業 (131)</li><li>●交通安全施設整備事業 (131)</li><li>●交通安全施設維持管理事業(131)</li></ul>											

#### 3 実施計画の見方



会経済情勢等により変更となる場合があります。

## 【まちの将来像1】

ともに支え合い、健やかに暮らせるまち

「心泉の似安		
まちの将来像	1	ともに支え合い、健やかに暮らせるまち
施策	1-1	地域福祉を推進する
施策の 方向性		地域福祉の担い手となり、相談支援体制を充実することにより、住み慣れた地域で、誰もが人としての尊厳を 固性や能力をいかしながら、社会参加ができ、安心していつまでも暮らすことができるまちづくりを進めます。
	1	市民との協働による地域福祉の推進
	2	★ 地域における相談支援体制の充実
取 組	3	すべての人の権利が守られる地域社会の推進
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

2	実施計画	亘								*:	:重点	プラン該	(当	取組、◎	重点	プラン該	当事業
	取 組	1-1-1	市民との	茘働によ	る地域	或礼	畐袓	Lの推済	進								
1	事業名	総合	合保健福祉計画	推進事	業												
		亚战94年	F3月に策定し、平成	97年3月1	产新要				画の進				:行	うため、 <sup>(</sup>	審議会	会(対前	)方向性 見込み 年度比)
		の見直し	を行った茨木市総合 、地域福祉・障害者	保健福祉	止計画	H 29		②(臨)	分科会· 茨木市				画の	全面改	訂	H30 年度	継続
		祉•保健	医療の各種施策等をこより、市民福祉の向	総合的は	こ推進	年度		(1,200	万円)							H31 年度	臨時 拡充
									ا ملت بحل							H32 年度	臨時 拡充
					I			<b>方向性</b> 前年度比)	臨時 拡充		業費 万円)	17.6		市負担分	17.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	福	祉	政策	課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	1
2	事業名	社会	会福祉協議会支	援事業													
	目的	会の事業 祉の推進	上の推進を図るため、 終活動を助成すること 生に加え、行政の福を ティアセンターの運り	により、地上施策との	地域福 )連携	H 29 年度	内容	業、日 運営 運補助 ②人件 ③(臨)	福祉協議 常生活 (高速)の整理 (高速)の整理 (高速)の整理 (高速)の (高速) (高速) (高速) (高速) (高速) (高速) (高速) (高速)	理・見直	支援事 統合な す。 ーム」を	業、ボラ よどの見	ラン。直し	ティアセ ンを行い	ンター 、併1	の 対前 H30 年度 H31 年度 H32	カラウス カラウス カラウス カラウス カウス カウス カウス カラス カラス カラス カラス カラス カラス カラス カラス カラス カラ
					Γ			方向性 前年度比)	臨時 拡充		業費 万円)	103.3		市負担分	83.8	年度 H33 年度	拡充縮小
	担当課	部名	健康福祉部	課名	福	祉	政策	課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	1
3	事業名	更生	生保護推進事業														
		法務省の	)提唱する非行・犯罪	<sup>-</sup> る社			①社会 負担金	上会を明るくする運動茨木市推進委員会への						の見	)方向性 見込み 年度比)		
	目的 及び	て力を合	運動で住民がそれぞだ わせ、犯罪や非行の	い社	H 29	内容	②茨木	地区保 観察対	護司 象者	会事	美補助金 5/経	È			H30 年度	継続	
	概要	どを実施	ための街頭啓発活動	手であ	年度			保護サ				设置			H31 年度	継続	
		る保護司	]会が行う事業に対し	0											H32 年度	継続	
							<b>方向性</b> 前年度比)	継続		業費 万円)	4.4		市負担分	4.	H33 年度	継続	
	担当課	部名	健康福祉部	課名	福	祉	政策	課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	1

4	事業名	福祉	业事業推進基金事	業													
								①其会	の積立	74.7	以里 田					の見	方向性 込み 手度比)
	目的 及び	基金を設	けする市民の善意を受け 置し、時代に対応した	会福祉	29	内容		者、障害	害者	、こども	等広く	社会	福祉事	業の	H30 年度	継続	
	概更	4 / 1 4 4 7	推進に資する経費に充 福祉の向上を図る。	ことによ	年度		1E/E/C	· 貝 7 ' 幻/i	<b>正</b> 貝	(10)6	· '20				H31 年度	継続	
				C C [2] V <sub>0</sub>												H32 年度	継続
									継続	-	葉業費 (万円)	3.0		市負担分	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	<b>課名</b> 福				課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>\</b>

										★:重点	プラン該	ぎ当取組、◎	)重点フ	プラン該	当事業
耳	反 組	1-1-2	★ 地域におけ	ける相談	炎支援	体	制(	の充実							
5	事業名	⊚ 地塚	<b>域福祉ネットワー</b> ク	7推進事	業										
		て暮らせる	み慣れた地域で支え る地域社会の実現を	めざすた	め、身			②福祉 ※②は	まるごと	ーフティネ 相談会の の回数調	運営	の開催 移行(H28よ	七25%	の見	方向性 込み 拝度比)
	日的	く対応する	で、福祉から生活の る福祉まるごと相談会	や地域は	におけ		内容	3CSV						H30 年度	縮小
	概要	フティネッ	者を発見・支援するのかを設置し、民生委員	員・児童	委員や	年度		(4-1-1				や守管理業業務から一		H31 年度	縮小
			区に配置しているC :ネットワークの構築に					管)						H32 年度	縮小
								<b>方向性</b> 前年度比)	縮小	事業費	78.2	うち市負担分 (百万円)	57.4	H33 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	福	祉	政策	課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b>F</b>
6	事業名	◎ 民生	上委員·児童委員	事業											
		住民誰も	が安心して暮らすこと	こができる	<b>らよう</b> 、			O# 1	- <del></del>	4.0 lp 4:	<b>4</b>	* ^ <del>10</del> 11 . ^		の見	方向性 込み    度比)
	目的 及び	地域に密 委員・児童	着して福祉活動を行 童委員の活動及び民	っている	民生 児童委	H 29	内容	の <del> </del>   女 士	員制度	麥貝児重€ (60万円)	安貝 肠菌	<b>養会補助金</b>		H30 年度	継続
	概要	員·児童勃	の活動を支援する。 委員の欠員に対し、5		年度								H31 年度	臨時 拡充	
		委員推薦	会を開催する。											H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	10.3	うち市負担分 (百万円)	9.9	H33 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	福	祉	政策	課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b></b>
7	事業名	<ul><li>○ ひと</li></ul>	:り暮らし高齢者及	及び高齢	冷者世	帯	援	護事業							
		えることを	ペや身元確認等緊急は と目的に、ひとり暮らし で対象に調査票を込	及び高				事業のの							
	目的	を把握す	で対象に調査宗をだる。調査結果につい たのほか、災害時の	管部	H 29	内容	(高齢	者人口の			半う、事務量	量増大	H30 年度	臨時 拡充	
		援者の連	終めなが、炎音時の   終先として活用する。  急時の対応が円滑に	,		年度		による	福時職員	員の雇用期	間の延	長)		H31 年度	継続
		ひとり暮ら	っし高齢者には調査界 ・配付する。					- T		, ,		T	H32 年度	継続	
			. •				<b>方向性</b> 前年度比)	拡充	事業費	2.8	うち市負担分	2.8	H33 年度	臨時 拡充	
	担当課	部名	健康福祉部	課名	高	齢者	支持	爰課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<u> </u>

耵	文 組	1-1-3	すべての人	の権利	削が守	られ	れる地域を	社会の		<u>重点プラン</u> <u></u>		IXREL、♥	<b>玉</b> ホノ	ノン政	
8	事業名	成年	後見審判申立事	務事	業										
	及び	なった認知障害者がれるよう、	疾がいない、判断能力 印症高齢者、知的障害 、住み慣れた地域でな 後見人等の援助者の わって行う。	害者及で 生活が終	が精神 売けら	H 29 年度	2精神	申立費 鑑定料 関係図		<b>戊業務委託</b>				の見 (対前 <sup>4</sup> H30 年度 H31 年度 H32	方向性
							方向性(対前年度比)	継続	事業			市負担分	1.4	年度 H33 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	福	祉政	文策課	会計区		一般	()	事業区分	}	ソフ	,
9	事業名	市民	是後見人養成事業												
	及び	る生活が 人となるも 民後見人 後見人バ	方や知的障害者が、: できるよう、身近な地域の。大阪府社会福祉 養成講座に参加し、何 後の。 後間な市民後見人を打	成住民か 協議会 多了者に の要請に	後見の市 は市民	H 29 年度	内 容 ②バン ③受任	の参加 ク登録者 調整会	<b>*</b> ・受作 議等/	協議会主催 壬者への相 への参加 ・養成講座	談等	のサポー	·}		方向性 込み F度比) 継続 継続
					Г		方向性 (対前年度比)	継続	事業			市負担分	0.3	H33 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	福	祉	此政策課 <b>会計区分</b> 一般 <b>事業区分</b>							ソフ	<b>\</b>
10	事業目及概的び要	障害者虐 の虐待通 民への障	著者虐待防止センターを設け 特防止センターを設け 報受理、緊急介入、利害者虐待防止を図る。 擁護の啓発を行う。	置し、障 耳発防』	害者とや市	¥ H 29 年度	内 ②虐待 容 ③緊急	防止キ 一時保	ャンへ 護	ークの開催 ーンの実が ールセンタ	Ħ	委託)			方向性
							方向性 (対前年度比)	継続	事業			市負担分	6.3	H33 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	障	害	畐祉課	会計区	分	一般		事業区分	}	ソフ	<b>-</b>
11	事業名	高断	者権利擁護事業												
	及び	防止と虐待 た、高齢者 見制度利	の連携を推進し、高齢 寺の早期発見・早期な きの緊急一時保護事 用支援事業等を実施 の権利の擁護に資す	が応を図 業及びに すること	る。ま 成年後	H 29 年度	内容 開催等 ②成年 助成	啓発活 後見審	動と通判の同		び後 居室の うち	見人等報		事業の見 (対前4 H30 年度 H31 年度 H32 年度 H33 年度	
	担当課	部名	健康福祉部	課名	高幽	<b>鈴者</b>	支援課	会計区	分	介護		事業区分	}	ソフ	· _

「肥泉の佩安		
まちの将来像	1	ともに支え合い、健やかに暮らせるまち
施策	1-2	高齢者への支援を推進する
施策の 方向性	実する	活動的な高齢者も社会の支え手の一員となることができるよう体制を整備し、高齢者の社会参加の機会が充など、地域の活性化を図ります。 が医療や介護を必要とする状態になっても、住み慣れた地域や住まいで、自立した生活ができる環境を整備
	1	★ 地域活動・社会参加の促進
	2	★ 地域包括ケアシステム等の推進
取 組	3	
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

2 }	実施計画	画									+	▶:重点	プラン診	亥当	取組、◎	重,	点フ	゚ラン該	当事業
耳	仅 組	1-2-1		★ 地域活動·神	社会参	加の	促近	<u>É</u>											
1	事業名	各種	重敬	(老・助成事業															
										式祝賀			本类					事業の の見 (対前年	込み
	目的 及び			各種事業の実施や			H 29	内容	③敬老	高齢者 祝金支 者世帯	給事	丰業						H30 年度	継続
	概要	る事業を	実施	Eし、心豊かな生活	を実現	する。	年度			外国人				令事	業			H31 年度	継続
																		H32 年度	継続
									方向性  前年度比)	継続		事業費 百万円)	52.0		市負担分 万円)	52	2.0	H33 年度	継続
	担当課	部名		健康福祉部	課名	高	齢者	支	援課	会計区	分		一般		事業区	分		ソフ	
2	事業名	◎ 高齢	鈴者	関係団体育成	•支援	事業													
																		事業の の見 (対前 <sup>年</sup>	込み
	目的 及び			かに事業を展開する することにより、高			H 29	内容	①老人 ②シル				への補」	助金	€の見直	し		H30 年度	縮小
	概要			いた。充実した生活			年度											H31 年度	縮小
																		H32 年度	継続
									方向性  前年度比)	縮小		業業費 (万円)	67.3		市負担分	61	.6	H33 年度	継続
	担当課	部名		健康福祉部	課名	高	齢者	支	援課	会計区	分		一般		事業区	分		ソフ	`
3	事業名	◎ 生剂	舌支	接体制整備事	業														
																		事業の の見 (対前年	込み
	目的 及び	に向けて	、ボ	支援・介護予防サー ランティア等の生活	5支援の	) 担い	H 29		①生活第2層》			・イネー	ター・協	議位	本(第1層	及	び	H30 年度	継続
	概要			掘等の地域資源の となどを行う。	)開発や	やその	年度											H31 年度	継続
																		H32 年度	継続
									方向性 前年度比)	拡充		事業費 百万円)	13.4		市負担分 万円)	2	2.6	H33 年度	継続
	担当課	部名		健康福祉部	課名	高	齢者	支	援課	会計区	分		介護		事業区	分		ソフ	`

4	事業名	◎ 高幽	静者いきがい推進 <sup>1</sup>	事業													
								指定管	理料の	見直	IL .	'一・多世 事業の払		_		事業の の見 (対前年	込み
	目的 及び		)居場所と出番を提供 <sup>*</sup> り、いきがいを有するな			H 29	内容	設及び	通所型	サー	-ビスB	への移行 文援事	力)		±∨⊅ #1	H30 年度	拡充
	概要	る。	ソンスではいて仕りる言	上行で 天	: 57L Y	年度		④ゲー	トボール	/練	習広場	管理事 上対策機	業			H31 年度	拡充
									- H H 29X		7 47 1971	T.V.1.2K-1V	¢пп°> у	, ,		H32 年度	拡充
								方向性 前年度比)	拡充		事業費 百万円)	167.1	うち市負 (百万		134.8	H33 年度	拡充
	担当課	部名	健康福祉部	課名	高的	龄者	支担	爰課	会計区	分		一般	事	業区	分	ソフ	<b>\</b>

★: 重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

											*	7:重点	プラン診	後当	取組、◎	)重点に	プフン該	当事業
耳	文 組	1-2-2		★ 地域包括ケ	アシス	くテム	等0	り拍	進									
5	事業名	◎ 介記	隻子	,防·生活支援*	ナービ	ス事業	ŧ											
									①訪問	型サーロ	ビス(	の実施	Ī				の見	方向性 ,込み 年度比)
	目的 及び	して、高値	鈴者	の多様な生活支援 が在宅生活を続け	ることか	ぶできる	H 29	内容	③介護		アマ	ネジメ	ントの実	施			H30 年度	継続
	概要	よう、多様 の確保を		生活支援サービスの な。	の提供や	や体制	年度		4 多様	なサート	ごス(	の検討	•				H31 年度	継続
																	H32 年度	継続
						I			方向性  前年度比)	継続		業費 万円)	665.2		市負担分	83.2	H33 年度	継続
	担当課	部名		健康福祉部	課名	高	齢者	支	援課	会計区	分		介護		事業区	分	ソフ	<u>۲</u>
6	事業名	◎ 地坑	或包	」括支援センター	一運営	事業												
		高齢者の在宅生活を支えるために、住まい・ ②地域包括支援センターの機能強化 ②地域ケア会議の推進												の見	方向性 ,込み 年度比)			
	目的 及び	生活支援	€•子	乇生沽を文スるたぬ ・防・医療・介護が− 見括ケアシステムの	こ提供	H 29	内容	③包括	ケア会認 的支援 包括支	事業	その充分		っニ	しの道	7.	H30 年度	拡充	
	概要	このシス	テム	がかけったがいた。 を動かす中核的役 レター機能の充実・	割を担	う地域	年度		/	分割)	1友 に	. 2 %	又1反 🗸	^/	ムの等。	^	H31 年度	拡充
		CHAB	ζ	クノー機能の元天	選正で	△.∿°											H32 年度	継続
									方向性  前年度比)	継続		業費 万円)	233.4		市負担分	45.5	H33 年度	継続
	担当課	部名		健康福祉部	課名	高的	齢者	支	援課	会計区	分		介護		事業区	分	ソフ	<b>١</b>
7	事業名	◎ 在	包店	所齢者支援事業	(一般	会計)												
										り暮らし。  诸日常					爰事業		の見	方向性 込み 年度比)
	目的 及び		.—	み慣れた地域で暮 境を整えるとともに		29	内容	3緊急	19 ロボ 通報装    者福祉	置設	置事業	<b></b>		ć.		H30 年度	拡充	
	概要			宅高齢者の自立す			年度			はなる高い			77.4/1/1X:	尹禾	-		H31 年度	継続
		B B B B B B B B B B B B B B B B B B B													H32 年度	継続		
						Γ			方向性  前年度比)	継続		業費 万円)	30.6		市負担分	30.6	H33 年度	継続
	担当課	部名		健康福祉部	課名	高	齢者	支	援課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<u>۲</u>

8	事業名	◎ 在3	· 它高齢者支援事業	(介護	保険	事業	纟特	別会記	+)							
								②高齢	者食の	自立支	支給事業 援サービス ´生活援助				の見	方向性 込み 拝度比)
			「住み慣れた地域で暮ら 「環境を整えるとともに、			H 29	内容	<b>④徘徊</b>	高齢者		報検索シス			末機	H30 年度	継続
			て在宅高齢者の自立支			年度		⑥認知	者ごいた	者見守	り事業				H31 年度	継続
							_	方向性	なる高い	事業	<b>B</b>	5±	市負担分		H32 年度 H33	継続
	担当課	部名	( <b>)</b> 唐. 行 为 , 如	課名	- 남#	:\\ =\	(対	前年度比)	継続	(百万F	円) 48.9		5万円)	9.5	年度	継続
0			健康福祉部	<b>球</b> 石	同图	即伯	又1	爰課	会計区	ח	介護		事業区	ח	ソフ	Γ
9	事業名	○ 一別	设介護予防事業 ————————————————————————————————————													
			その深いの組むを中やい	<b>1</b> _ [1.	Lla				予防把						の見	方向性 込み     手度比)
	目的	つながり	(の通いの場を充実させ を通じて、参加者や通り (していくような地域づく	ハの場を	が継続	H 29	内容	③地域		防活動	<sub>事悪</sub> 支援事業 ョン活動支	摔重	[業		H30 年度	継続
		要介護状	たくくくなりな地域 うく だ態になっても生きがい きる地域の実現を目指	··役割		年度					評価事業	1次子	·*		H31 年度	継続
		C III C		4 / 0											H32 年度	継続
								方向性 <sup>前年度比)</sup>	継続	事業領	11903		市負担分	15.2	H33 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	高的	鈴者	支持	援課	会計区	分	介護		事業区	分	ソフ	<b></b>
10	事業名	◎ 在	它医療・介護連携丼	推進事	業											
		医療と介	護の両方を必要とする	火能の	喜齢			②訪問	看護事	業所等	青報提供ホ のネットワー	ークイ	匕支援	の運営	の見	方向性 込み 拝度比)
	日的	者が、住	み慣れた地域で自分られまで続けることがで	しい暮	らしを	H 29	内容	④はつ	らつパス	ペポート	ります。 (連携編)の				H30 年度	拡充
	及び 概要	医療と介	護サービスを一体的に に関する医療機関と介	提供す	るため	年度		⑥近隣	種連携 市町村	との連	隽	88 <i>l</i> y	i /		H31 年度	継続
		業者など	の関係者の連携を推進	進する。				①地坝	住氏へ(	の合発	(講演会の	荆作	E)		H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	拡充	事業領			市負担分	1.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	高的	鈴者	支持	援課	会計区	分	介護		事業区	分	ソフ	<b></b>
11	事業名	◎ 認知	印症総合支援事業													
											進員活動の	り充	実		の見	方向性 込み 拝度比)
	目的		ら齢者等にやさしい地域 とめ、認知症の人が住る			H 29	内容	③認知	症ケアノ 症カフュ 症カサ	-の啓昇		C.E.L.	カ女生		H30 年度	継続
	及び 概要	のよい環	境で自分らしく暮らし約 合的に推進する。			年度					援ナームに 絡協議会の				H31 年度	継続
															H32 年度	継続
			,					方向性 <sup>前年度比)</sup>	継続	事業領			市負担分	3.1	H33 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	高的	<b>岭者</b>	支持	援課	会計区	分	介護		事業区	分	ソフ	<b>F</b>

12	事業名	老	人保護措置事業													
		たマベル	)日常生活を営むことに	- 古際が	<b>\$</b> 265										の見	方向性 込み 手度比)
	目的	歳以上の	) 高齢者に対して、養護 、所等の措置を行うこと	を としま こうしゅう こうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう もんしゅう しゅうしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう し	ニーム	H 29	内容	①老人 ②入所				Ė			H30 年度	継続
	概要		rの健康の保持及び安			年度									H31 年度	継続
		DEPR 9 W	<sup>1</sup> 0												H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続		業費 (万円)	28.6	 市負担分	28.6	H33 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	高齫	<b>鈴者</b>	支担	爰課	会計区	分		一般	事業区	分	ソフ	۲

1 旭泉の似安		
まちの将来像	1	ともに支え合い、健やかに暮らせるまち
施策	1-3	障害者への支援を推進する
		祉サービスの充実や雇用・社会参加を進めることで、障害を正しく理解し、支え合い、誰もが地域社会で自 そ心して生活できる共生社会の構築を進めます。
	1	障害福祉サービスの充実
	2	障害者の雇用・就労対策の促進
取組	3	障害者の社会活動への参加促進
★: 重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

2	実施計画	<u> </u>									<b>★</b> : <u>Ī</u>	重点:	プラン該	当取組、	◎重	点プ	ラン該	当事業
	取 組	1-3-1	障害福	祉サー	ービス	の充	実											
1	事業名	地址	或生活支援事	業														
		暗宝者が	・ 地域で自立した	- 华活 が -	できる	トう			②地域 時支援 価見直	事業、均 しの効果	援事業 地域活 果を検	きにま 動支 証す	うける移 接センタ る。	動支援、 ターのH2	7報酉	州単	の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み F度比)
	目的	必要な情	記録で日至した 育報の提供や生活 節の日常生活、社	5用具等	の援助	助、移	H 29		③平成 者は継		で福祉	上電話	舌を廃止	する(既	存利)	用	H30 年度	拡充
	概要		事業を行うことに				年 度		連等を	スポーツ	/担当	部局	を交えて	皆スポー∑ 「検討す	5。	)関	H31 年度	継続
		足と同工	전[전] Wo							活動支生活用				設促進事 :	業		H32 年度	継続
									<b>方向性</b> 前年度比)	拡充	事業 (百万		463.9	うち市負担を		9.5	H33 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	ß E	課名	障	害和	畐祉	:課	会計区	分	-	一般	事業	区分		ソフ	<b>,</b>
2	事業名	相記	炎支援事業	•										•				
														委託				
	目的 及び 概要	木市障害害者福祉おける障	)、障 或に る連	29 年 度		⑥成年7 ⑦地域7 展開を図	後見制度 多行スー 図る	利用支パーバ	援のイザー	実施 -の見直	しの上、新			年度 H31 年度	継続継続			
			接の体制に関す 運営し障害者福							<sup>旧談文援</sup> 支援協議			ースリース	<b>リーのスキ</b>	ルチッ	,,	H32 年度	継続
		る。							方向性 前年度比)	継続	事業 (百万		92.0	うち市負担会		0.8	H33 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	T I	課名	障	害福	畐祉	課	会計区	分	-	一般	事業	区分		ソフ	7
3	事業名	重月	度重複障害者	等支援	爰事業	45								_				
		重度重複	夏障害者を受けり	<b>へれる生</b> 活	活介護	事業			所等へ ②入浴	の補助 サービ	スを実	施す	る生活	た生活介 事業所へ 手間で体	の補.	助		方向性 込み F度比)
	目的	う事業所	ープホーム、短 に補助金を交付 そでの重度障害者	介護	H 29 年	内容	が完了		り、入済	谷施	設設置•	中間で体改修に対			H30 年度	継続		
	概要	の提供体	×制の充実を図り				皮		<ul><li>④ともし</li><li>⑤指定</li></ul>	び園指 管理施	定管理設の維	里者? É持管	制度運営 管理				H31 年度	拡充
		上に寄与	F 9 0.							実積に応			<b>管理料の</b>	見直し)			H32 年度	継続
									方向性 前年度比)	縮小	事業(百万		207.4	うち市負担を		7.4	H33 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	ß I	課名	障	害福	畐祉	課	会計区	分	-	一般	事業	区分		ソフ	<b>-</b>

4	事業名	障領		事業													
		隨害者(	利用者)からの申請に	其づき『	音宝福			実施	福祉サ								方向性 込み F度比)
	目的 及び	祉サービ を行い、	ス(家事援助、身体介 事業者(指定事業者) ス	護等)の がサーb	)決定 ごスを	H 29	内容	・特別総付 ・補装』	合付費、	療養	沙沙沙	医療費、	計	画相談	支援給	H30 年度	継続
	概要	で自立し	までの事務を行い、障 た生活ができ、その生			年度			支援医療	₹(更	生、育	成、精	神通	通院)		H31 年度	継続
		上を図る	0				-	- <b>6</b> #		車	業費		à+	市負担分		H32 年度 H33	継続
	担当課	部名	(中国行为)立(7	課名	[7:32	47.5	(対	<b>5向性</b> 前年度比)	継続	(百)	万円)	4230.5 一般		事業区	1044.9	年度ソフ	継続
_			健康福祉部			-	富祉		云訂区	ח		州又		争未込	מל.	))	
5	事業名	早	<b>碁福祉センターハー</b>	ートノノ	レ肔設	連	'呂 =	事業									
		陰宝老の	)地域での自立した生活	エめ払	Δ <del>22 h</del> π			(I) n =	トフル指	中学	<b>车田</b> 李	判在海	兴				方向性 込み F度比)
		の促進を	プロ域での自立した生だ 図ることを目的に、指定 とにおいて、地域活動で	定管理	者制度	H 29	内容	②指定	管理施管理事	設の	維持管	理		実施		H30 年度	継続
	概要		活介護等を実施するこ との増進に寄与する。	とにより	)、障	年度										H31 年度	継続
										<del></del>	W. ±					H32 年度	継続
								了向性 前年度比)	継続		業費 万円)	132.8		市負担分 万円)	123.8	H33 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	障	害神	冨祉	課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>
6	事業名	障領	<b>害者福祉金等給付</b>	事業				I									
																の見	方向性 込み F度比)
	目的	障害者に	- 国手当等を支給し、隨	章害者等	い 自	H 29	内容	②重度	28年度 障害者 支給事	等に						H30 年度	継続
	及び 概要	立生活を	支援する。			年度		十ヨの	<b>义</b> 和 争。	19 <del>5</del>						H31 年度	継続
																H32 年度	継続
								<b>5向性</b> 前年度比)	縮小		業費 万円)	113.6		市負担分	29.3	H33 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	障	害神	冨祉	課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<b></b>
7	事業名	障領	害者更生援護等事	業				I									
								①重度 部助成	障害者	等に	対して	福祉夕	クシ	一料金	の一		方向性 込み 拝度比)
	目的及び無悪	成等を行	自立更生に寄与する。 うことで、障害者の生き 活を充実させ、障害者	きがいを	高め、	H 29 年	内容	②重度 一部助	障害者							H30 年度 H31	拡充
	概要		り福祉の増進に資する			度		施		_						年度 H32	継続継続
								5向性	継続		業費	28.3		市負担分	24.3	年度 H33	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	障	:害ネ	_(対度 富祉	課	会計区		万円)	一般	(Ē	事業区		年度ソフ	
							-										

8	事業名	障領	<b></b> 手者医療事業													
		陪宝老分	<b>ぶ</b> 安心して医療にかかれ	<b>カス</b> (木生	出た花										の見	方向性 込み 拝度比)
		保する。	・女心しく医療にから 身体障害者及び知的 費の一部を助成するこ	章害者に	こ対	H 29	1	①重度 額の一		等を対象と	とした医療	療費	の自己	負担	H30 年度	拡充
			び生活の安定に寄与			年度									H31 年度	継続
										alk -+b					H32 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	382.1		市負担分 「万円)	212.3	H33 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	障	害神	冨祉	課	会計区分	<del>}</del>	一般		事業区:	分	ソフ	<b>١</b>
9	事業名	老	人医療事業													
							<b>⊕</b> + 1	<b>ぶ</b> 名 <del>1</del> ロー	ナベき医療	を悪みい	Г.,	が白コん	3 <del>1</del> 0	の見	方向性 込み 拝度比)	
	目的 及び	高齢者の ことを目的		H 29	内容			額を助成		1 1	1) H C J	刊	H30 年度	縮小		
	概要	を助成す	一市	年度									H31 年度	継続		
													H32 年度	継続		
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	542.0		市負担分 「万円)	341.5	H33 年度	縮小
	担当課	部名	健康福祉部	課名	保	:険 <sup>在</sup>	年金	課	会計区分	<del>}</del>	一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>
10	事業名	指定	定障害福祉サービ	ス事業	(者等	指導	尊監	査実)	施事業							
																方向性 込み 拝度比)
			言福祉サービス事業者 ドサービスの質の確保。			H 29	内容	①指導	監査の乳	<b></b> 尾施					H30 年度	継続
	及び 概要		とし、事業者の指導監			年度									H31 年度	継続
														H32 年度	継続	
					r			<b>有性</b> 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.1		市負担分	0.1	H33 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	福祉	:指導	尊監	查課	会計区分	<b>→</b>	一般		事業区	分	ソフ	F	

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

]	取組	1-3-2	障害者の雇	胛∙就	労対	策0	D 仮	進							
11	事業名	障害	等者就労支援事業	E											
			者の一般就労への移 内職場実習やスマイル					②スマイル 政策課へ	レオフィス ・移管	• 庁内職場	易実習サポー	配置) (△2767 ターの業務委	託を福祉	事業の の見 (対前年	込み
	目的	業、工賃	向上のため共同受注: 就労支援担当者を配	システム	の構	H 29	内容		進事業の	体制整備	(276万円)			H30 年度	継続
		障害者の	祝力又仮担ヨ有を聞 就労支援をすすめる 章害者の自立及び社会	体制や	事業を	年度		⑥指定管	理施設の	管理者制 )維持管理 )拡充(自		管理料432万	円)	H31 年度	継続
		する。	₽音有の日立次U"II.	云沙加的	⊂ #J →			⑧共同受						H32 年度	継続
								方向性 前年度比)	拡充	事業費 (百万P	39 ()	うち市負担分 (百万円)	38.9	H33 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	畐祉課〖	D)	りみ	福祉政	会計区	分	一般	事業区	3分	ソフ	<b>١</b>

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

J	取組	1-3-3	障害者の社	会活	動への	参	加	促進			• == ////.	, , , <sub>k</sub> ,	<u>\</u>	<i>(</i> (),12( )	<u></u>	ノノン政	<u> </u>
12	事業名	意思	] 疎通支援事業														
								②要約	通訳士 筆記者	の養	を成にて	ついて見	L直l	_(手書:	きに加	の見	方向性 ,込み 手度比)
	目的 及び	害者の自	障害のない人の意思。 立した生活や社会参	加を支持	爰する	H 29	内容	③点字	刊行物時コミュ	の発	行業務		事業	の宝施		H30 年度	継続
	概要		に応じるとともに、必要より福祉の増進を図る		等を	年度		(5) 2 3 2	ニケー 等のコミ	ショ	ン支援	用具(タ	ブレ	/ット)の		H31 年度	継続
														,,,,,		H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続		業費 (万円)	16.3		市負担分	9.8	H33 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	障	害礼	畐祉	上課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<u>۲</u>
13	事業名	障害	<b>等者社会参加促進</b>	事業													
		古内の陪	害者団体が実施する	<b>公会</b>	hπ/₽		内	· · · ·	者団体	が実	を施する	5社会見	上学等	等に対し	補助	の見	方向性 込み 手度比)
	及ひ	進事業に	音句団体が天施する 対して市が補助金を3 者の自立した生活を	交付する	ることに	H 29 年	容		者団体	が実	を施する	講演会	等に	こ対し補	助金	年度	継続
	概要		参加の促進を図る。	又抜し、	早吉	皮		を又和								H31 年度	継続
																H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	-	業費 万円)	2.5		市負担分	1.5	H33 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	障	害礼	畐祉	上課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>

1 旭泉の似安		
まちの将来像	1	ともに支え合い、健やかに暮らせるまち
施策	1-4	生活困窮者への支援を推進する
		困窮する市民に対し、さまざまなサービスを適切に提供するとともに、困窮状態から自立が図られ、誰もが安 E活ができるまちづくりを進めます。
	1	生活保護制度の適正実施
	2	生活困窮者への自立の支援
取 組	3	
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

2	€	<b>ミ施計</b> 国									★:重点	プラン該	₹当取組、©	)重点に	プラン該	当事業
	取	組	1-4-1	生活保護制	度の記	<b>適正実</b>	施									
1	ı	事業名	生活	舌保護等実施事業												
				もの適正な運営に取り終 を活保護世帯に対し、1			н			保護実施		<del>+</del>			の見	方向性込み手度比)
		目的 及び 概要	合わせたまた、中国	相談や助言を行う。 国残留邦人等について れるよう、ニーズに応し	ては、安	心した	29 年 度	容	<b>半国</b> :	残留邦力	人等支援	事業			年度 H31 年度	継続継続
			行う。												H32 年度	継続
								方向性 (対前年度		継続	事業費 (百万円)	7046.3	うち市負担分 (百万円)	1626.9	H33 年度	継続
		担当課	部名	健康福祉部	課名	生	活补	畐祉課		会計区分	7	一般	事業区	分	ソフ	7
2	2	事業名	生活	舌保護自立推進事	業											
			<b>华江归</b> 勃	ᆂᄴᆓᅲᄼᅼᆉᄮᆑᅙᆉ	ファルナ	. D 44 1.		②6 3言	建康 診療	及び施術	支援事業		食等拡充事 *	業	の見 (対前年	方向性 込み 拝度比)
		目的 及び	し、就労に	使世帯の自立を助長す こよる経済的な自立や	地域社	会の	H 29	容 ⑤	本制	整備強化	上事業				H30 年度	継続
		概要		て自立した生活を営む こめの相談や助言を行		ごさるよ	年度	77	ţ~.	ムレス自			·兼 ā祉政策課	の一時		継続
								生活	古文	援事業』					H32 年度	継続
								方向性 (対前年度		拡充	事業費	78.5	うち市負担分 (百万円)	31.7	H33 年度	継続
		担当課	部名	健康福祉部	課名	生	活补	畐祉課		会計区分	4	一般	事業区	分	ソフ	<b>١</b>

#### ★: 重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

J	仅 組	1-4-2	生活困窮者	ťへのI	自立の	)支	援				· <u> </u>	7 7 871	<u>ا- ا</u>	VIII ( )	<u></u>	ノノン政	- 1-7K
3	事業名	生活	5日第者自立支援	事業													
		<b>上</b> 汗国籍	※老が困窮骨能かた日	状態から早期に脱却する が状能に広じた句括的か				①自立 ②住居	11.10 -	付金	えの支糸					事業のの見(対前年	込み
		ことをめさ	じ、個々の状態に応				内容	<b>④</b> 家計	相談支 ・生活す	援事	業					H30 年度	継続
	概要		鎖防止や地域におけ			29 年 度			こに2会			市内5ブ	ロッ	ク全て	で事	H31 年度	拡充
		伊米で正	<b>座りる。</b>					木で大	<i>J</i> IE )							H32 年度	拡充
								方向性 前年度比)	拡充		業費 万円)	47.4		市負担分 「万円)	17.9	H33 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	福	祉政	<b></b> 汝策	<b></b>	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>,</b>

4	事業名	子と	でもの貧困対策事業	業												
															の見	方向性 込み 年度比)
	目的 及び		Eの子どもに対し、学習 :援を実施することにより			H 29	内容	学習•5	生活支担	爰員	の配置				H30 年度	継続
		を推進す		グ、 真四	刈來	29 年 度									H31 年度	継続
															H32 年度	継続
								<b>向性</b> (1年度比)	縮小	-	事業費 5万円)	3.1	市負担分	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	課名 福			課	会計区	分		一般	事業区	分	ソフ	<b>١</b>

心泉の似安		
まちの将来像	1	ともに支え合い、健やかに暮らせるまち
施策	1-5	健康づくりや地域医療を充実する
施策の 方向性	を積極的 地域で	民の健康保持・増進及び疾病予防を図る地域医療の充実に向け、地区担当制による保健活動の推進など 的に展開し、市として取り組むべき医療・保健・食育施策を推進します。 安心して暮らせるまちをめざし、救急医療体制の充実を図るとともに、すべての市民が自ら地域との連携協 り健康づくりに取り組みます。
	1	★ 健康づくりの推進
	2	★ 母子保健サービスの充実
取 組	3	感染症予防対策の推進
★:重点プラン	4	★ 救急医療体制の充実
該当取組	5	
	6	
	7	

2	実施計画	1									*	<b>r</b> :重点	プラン診	<b>支</b> 当1	取組、©	重点	プラン該	当事業
I	取 組	1-5-1		★ 健康づくり <i>0</i>	D推進													
1	事業名	◎ 住月	已健	診事業														
									小健康	※本め	おくと	检验生	筝を対象	4年#	2001年日	ニル・生	の見 (対前4	)方向性 !込み 年度比)
	目的 及び	健康診查	やか	等に基づき、市民を ぶん検診等を実施	し、生活	習慣	H 29	内容	施。			-	歳以上				H30 年度	継続
	概要			病の早期発見・早 持増進を図る。	期治療	並び	年度		E MITI	VERN (C	- 1	(, 10	///X	10 114	- 1 - 7.11		H31 年度	継続
																	H32 年度	継続
									<b>方向性</b> 前年度比)	継続		業業費 (万円)	551.4		市負担分	535.4	H33 年度	-
	担当課	部名		健康福祉部	課名	保	·健[	医療	課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>
2	事業名	◎ 健康	長づ	くり推進事業														
									進を図 ①健康	る づくり諱		も視野	に入れ、	、健	康づくり	の推	の見(対前4	方向性 込み 年度比)
	目的 及び			?「健康いばらき21 :基づき、市民自ら			H 29	内容	3健康	づくりの			啓発活動				H30 年度	継続
	概要			と推進する。	*> == (/=	(04270	年度			いばら			成及び注 推進計画			定	H31 年度	継続
										. 1, 60	+	- ** #					H32 年度 H33	継続
				1		Ι			方向性 前年度比)	継続		事業費 百万円)	7.3		市負担分 万円)	5.5	年度	-
	担当課	部名		健康福祉部	課名	保	·健[	医療	課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>
3	事業名	◎ 地坝	<b></b>	健活動強化事	業				I									
											の見	方向性 込み 年度比)						
	目的 及び	健康QOI	」向_	上等の健康をキー! した総合的な保健	ワードと	した、	H 29	内容	②生活		位の		と実施で	きる	保健師	・栄養	H30 年度	拡充
	概要		の関	係機関、社会資源			年度		エッカ	르 ∨ ノ7  比。							H31 年度	継続
		~1X C []	<i>7</i> 0														H32 年度	継続
				,		Г			方向性 <sup>前年度比)</sup>	拡充		事業費 百万円)	0.0		市負担分	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名		健康福祉部	課名	保	·健[	医療	課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	F

4	事業名	◎【再	掲】特定健康診査	事業													
		き、40~7	医療の確保に関する 74歳の市国保被保険	皆に特定	三健診											0	の方向性 見込み 前年度比)
	目的 及び	予防のた	る。糖尿病等の生活を めに、メタボリックシン 群を減少させるよう保修	ドローム	該当	H 29	内容					計画の次	期計	画策》	宦	H30 年度	
	概要		を抽出する。	æ11⊒-4-0	上北安	年度										H3 <sup>-</sup> 年度	桃桃
		【関連取済 定的な運	組:1-6-2 国民健康係 営】	以除制度	の安		_	方向性		車	業費		うち市賃	5.44.4		H32 年度	科本的元
		4	64		,,,	64.5	(対	前年度比)	継続	(百	万円)	(123.0)	(百万	5円)	(13.	年度	松統
	担当課	部名	健康福祉部	課名	保	·健	医療	課	会計区	分		国保	loll.	事業区	分	ソ	フト
5	事業名	◎【再	掲】特定保健指導	事業													
		リックシン ら生活習	診査の結果から抽出 ドローム該当者・予備 慣の課題を認識し、行い、健康的な生活を終	群の人だ 動変容	が、自 と自己				保健指 )の実施		青報提	供、動機	づけ	支援、	積極	σ	の方向性 見込み 前年度比)
	目的 及び	できるよう	専門職による支援を行のうち、生活習慣病重	テう。 また	二、健	H 29 年	内容	②生活 訪問指	習慣病 導などの	重症の実	施	方のため				:る H30 年度	継続
	概要	高い人で勧奨を行	・医療にかかっていない う。	人への	受療	+ 度		③特定	健康診	查等	穿実施語	計画の次	期計	画策》	定	年度	桃桃
			組:1-6-2 国民健康係	<b>-</b> 段制度	の安		L	方向性		重	業費	l	うち市負	当田公		H32 年度	松稅
		定的な運						前年度比)	継続		万円)	(21.4)	(百万		(18.	(1) 年度	
	担当課	部名	健康福祉部	課名		人健臣		課	会計区	分		国保	loil	事業区	分	ソ	フト
6	事業名	◎【再	掲】ヘルスアップレ	いばら	き推進	事	業										
			保険者の健康寿命の					<ul><li>①未受</li></ul>	診者勧	奨						0	の方向性 見込み 前年度比)
	目的	等を活用	化を図るため、レセプ した「データヘルス計	画」を策	定し、	H 29	内容					:期計画第 注腎症重		七子防	事業	H30 年度	
	及び 概要		づいた施策及び事業			年度		の実施						_ , ,		H3 年度	
		【関連取済定的な運	組:1-6-2 国民健康係 [営】	- 候制度	:の安											H32 年度	2 2 2 2 2 2
								方向性 前年度比)	臨時 拡充		業費	(12.8)	うち市賃		(	(0) H33	
	担当課	部名	健康福祉部	課名	保	健	医療	課	会計区	分		国保	loli.	事業区	分	ソ	フト
7	事業名	◎【再	掲】人間ドック等助	力成事.	業												
		の早期発	で保険者の生活習慣病 見・早期治療につなり	、人間											(対す	の方向性 見込み 前年度比)	
	目的及び	健康保持	ック・脳ドックの助成を実施し、被保険者の は康保持増進並びに医療費の適正化を図						74歳の			呆被保険 施	者の	人間	ヾック	+ H30 年度	和正的元
	概要	る。 <b>年度 度</b> 【関連取組:1-6-2 国民健康保険制度の安														年度 H32	林   秋   本
		定的な運	営】					方向性		4	業費	()	うち市賃	当田公		年度 (a) H33	2
									<b>水水水</b>		- >1< ><	(00)	101113	マニン	- 1	0) 1100	
	担当課	部名	健康福祉部	課名	<i>1</i> □	·健	(対	前年度比)	継続会計区	(百	万円)	(23)	(百万			年度	

8	3	事業名	食育	育推進ネットワークの	の構築	こと総合	合合	j <i>†</i> ;	食育推	進事	業							
			古尺が#	!則正しく、栄養バランン	7064	た合				世代·妊	E婦	を対象	とした食				事業の の見 (対前年	込み
		目的	事をする	ことで、健康な身体を終 を通じて、食卓を囲む。	推持する	らととも	H 29		③食に クによる	食育推	進						H30 年度	拡充
		概要	ニケーシ	を通じて、反平を囲む。 ョンを豊かにし、こころの くりを目指す。			年度						:した周矢 推進計画			-	H31 年度	継続
			J8K9E 2	(7) Z H 1H 7 6													H32 年度	継続
								方向性  前年度比)	継続		業業費 (万円)	7.2	うち 市負 (百万		7.2	H33 年度	継続	
		担当課	部名	健康福祉部	保	:健	医猪	課	会計区	分		一般	事	業区分		ソフ	<b>\</b>	
9	9	事業名	いい	ばらき健康マイレー	ジ事業	É												
			市民自ら	が健康づくりや定期的	な健(検	()診の											事業の の見 (対前年	込み
			× + 1.0 - 1.4	い、生活習慣病の予じ 早期治療につながるよ			H 29		①「いた (事業の				・ジ事業」	の研究	究		H30 年度	継続
		概要		ージ事業」を実施し、市 の意欲を喚起し、健康		年度										H31 年度	継続	
			を図る。													H32 年度	継続	
									方向性  前年度比)	継続		事業費 百万円)	0.0	うち市賃 (百万		0.0	H33 年度	継続
		担当課	部名	健康福祉部	課名	保	:健	医猪	<b>景課</b>	会計区	分		一般	事	業区分		ソフ	·

#### ★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

耳	又 組	1-5-2	★ 母子保健サ	トービス	の充	実						,,,			(1) J V 10A	
10	事業名	◎ 母子	保健事業													
		妊産婦・乳 予防や早	」幼児の健康状態を研究し、 朝発見・早期対応の	基づく各種事業を実施。 D健康状態を確認し、疾病の ・早期対応のために各種健 可児不安の軽減を図るため を行う。				②各種	(歯科) 保健指	ー 健康 導の	<ul><li>診査、</li><li>実施</li></ul>	,-,,,	(歯科)健	康診書	の目	方向性 込み 拝度比)
	目的	に各種保信	建指導を行う。										引指導等 子保健型 <sup>3</sup>	利用者	H30 年度	継続
	概要	者支援事	業)を子育て支援総合	援事業(母子保健型利用 育て支援総合センターと連				④不育	業)の実 症治療		特定不	妊治療?	費助成事	業の実	H31 年度	継続
		にわたるり	Jれ目ない子育て支持 寮費や特定不妊治療	妊娠期から子育て期で支援を行う。				施							H32 年度	継続
			角担の軽減を図る。	(貝 V ) B)			方向性 前年度比)	拡充		業費 [万円)	437.2	うち市負担分 (百万円)	432.	.6 H33 年度	継続	
	担当課	部名	健康福祉部	課名	課名 保修		医療	課	会計区	分		一般	事業[	区分	ソフ	<b>F</b>

#### ★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取	双 組	1-5-3	感染症予防	対策の	の推進												
11	事業名	予防	方接種事業														
			法に基づく各種予防 発生及びまん延を予				内	化、覚	書締結下	<b></b> 市町	民実施	受種(B型 i分に係	る精	算方式	の導	の見(対前4	方向性 込み 手度比)
	目的	個人の発	病又はその重症化を	まん延を予防するため、 の重症化を防止するため と行う。また、任意予防接				人用肺	炎球菌	)		高齢者々				び 年度	継続
	概要		<b>片が定めたものについ</b>			29 年 度			助成(語 被害認			球菌、ナ 合付	大人	の風しん	ん)	H31 年度	縮小
		19J11X.G.1.1	<i>)</i> 。													H32 年度	継続
								<b>与向性</b> 前年度比)	拡充		業費 万円)	819.5		市負担分	787.	H33 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	課名			課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<u> </u>

12	事業名	感到	杂症予防対策事業														
			フルエンザ等、実際に に対策が取れるように					①市マ			—					事業のの見(対前な	
			染症の予防について、			H 29 年	内容	③新型	インフル	レエ	ンザ発	民への原 生時の特	•		:務員)	H30 年度	継続
	概要		2,7,0	予防について、曼延防止の -3 多様な危機への体制収				の実施	に向け	た調	整					H31 年度	継続
		備】	<b> 11.</b>	4 107 PH	加亚											H32 年度	継続
							<b>方向性</b> 前年度比)	継続		業費 [万円)	0.1		道 万円)	0.1	H33 年度	継続	
	担当課	部名	健康福祉部	課名	保	:健	医療	<b>F</b> 課	会計区	分		一般	:	事業区	分	ソフ	<b></b>

			T							<b>★</b> :重	点プラン記	亥当	取組、◎	重点	プラン該	当事業
取	双 組	1-5-4	★ 救急医療体	制の	充実											
13	事業名	◎市内	内二次救急医療体	制確何	呆事業											
		+	救急医療体制、特に	- <del> </del>	hil oo Tab			<ul><li>①体制</li></ul>	強化補	助及び	般送率向_	上補	助の廃」	Ŀ	の見	方向性 ,込み 年度比)
	目的	保が困難	な小児二次救急受入	体制の	安定的	H 29	内容				事業補助( 通年実施)			の廃止	H30 年度	継続
	及び 概要	療を受け	図るため、市内で小児 持つ医療機関に対し			年度		④小児	救急医	療協力	報償金制度	度の	実施		H31 年度	継続
		う。													H32 年度	継続
								方向性 前年度比)	縮小	事業教			市負担分	25.7	1122	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	保	:健	医療	課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>\</b>
14	事業名	◎ 救急	急医療機関助成事	業												
		療体制を	心して暮らせるよう、よ	ある救	н	内	の支出 ②休日 出	•夜間_	上次診療	芯急診療所 (体制確保	:業務	务負担金	の支	の見	方向性,込み 年度比)	
		た、小児	機に対して運営経費 初期救急や三次救急 かけ、大阪府三島救急医	等の担い	手で	29 年度	容	の支出			急センター 急センター				年度 H31 年度	継続継続
		職員を派 上を図る。	遣し、運営の改善及て 。	バサービ	スの向	IX.		付 ⑤小児	救急医	療助成	事業の実施	包			H32 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続	事業費 (百万F			市負担分	212.1	H33 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	保	:健	医療	課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>
15	事業名	急症	<b>房診療所運営事業</b>							·				·		
												の見	方向性 ,込み 年度比)			
	目的		康保持に資するため、			H 29	内容		·診療の ·診療の		校生以上	()			H30 年度	継続
	及び 概要		設の急病診療所におい 急的な診療を実施す		・ロイ	年度									H31 年度	継続
															H32 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続	事業費 (百万F			市負担分	97.8	H33 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	保	:健	医療	課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<u>-</u>

16	事業名	地址	或医療連携推進事	業														
		備により	に向け、医療・介護の関 医療機関の病床機能の	分化が	進め		内										事業の の見 (対前年	込み
	目的	出ると考え	えられる。地域医療体質	療体制にも大きな影響が 域医療体制整備におけ 大するなか、市医師会				O 114 11	0			り参加な 進への	_	l強化			H30 年度	継続
	概要	や医療機	<b>と関との連携強化を図り</b>	)、将来	的な地	年度											H31 年度	継続
		域医療体 る。	新の確保に向けた取り	組を推定	進す												H32 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続		業費 (万円)	0.0		市負担分	0.	0	H33 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	保	:健區	医療	課	会計区	分		一般		事業区	分		ソフト	`

1 旭泉の似安		
まちの将来像	1	ともに支え合い、健やかに暮らせるまち
施策	1-6	社会保険制度を安定的に運営する
施策の 方向性		険制度の趣旨を踏まえ、すべての世代が相互に支え合い、健やかに暮らすことのできる仕組みを維持する 健全で安定した財政運営に努め、市民の安心を確保していくことに努めます。
	1	介護保険制度の安定的な運営
	2	国民健康保険制度の安定的な運営
取 組	3	後期高齢者医療制度の安定的な運営
★: 重点プラン	4	国民年金制度の普及・啓発
該当取組	5	
	6	
	7	

2	実施計画													プラン該	当事業	
耳	文 組	1-6-1	介護保障	食制度の	安定的	りな	運	営								
1	事業名	介記	<b>隻保険サービス</b>	向上推進	事業											
										情調整委員 への介護		n Vice	<b>迪(</b> 介##	扣欽		方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	し、安心	利用者等が介護の して適正な介護サインできるように、サー	ービスの提	共を受	H 29 年	内容	員増員	拡充)	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			H30 年度	臨時 拡充		
	概要	,	に努める。	ことへの買り	が唯一木	度		適正化							H31 年度	継続
															H32 年度	継続
							<b>ブ</b> (対	<b>5向性</b> 前年度比)	拡充	事業費	25.0		市負担分	5.7	H33 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	介	護信	呆険	課	会計区	分	介護		事業区	分	ソフ	F
2	事業名	介記	<b></b>	事業												
		第1号被保険者の保険料を適正に賦課し、						①介護保険料の適切な賦課 ②適切な徴収 ③適正な滞納処分の実施								
		第1号級 徴収する 運営を行	H 29 年度	容	④シス・	テムの多	心分の美が 定的な運 伴うシステ	用				年度 H31 年度	継続継続			
															H32 年度	継続
								<b>万向性</b> 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	56.1		市負担分	55.2	H33 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	介	護信	呆険	課	会計区	分	介護		事業区	分	ソフ	<b>F</b>
3	事業名	介訂	<b></b>	<b>Ě</b>												
		士中公司	ま事 光 示 の し ナナ 不	日の毎辺沙山	<b>^</b> ,=#			① <b>△</b> #	: 公事: 本:	美小事業						方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	サービス	養事業所の人材不 の質の向上を図る な取得や次期リータ	ため、介護	福祉	H 29 年	内容	②介護	職員住	養成事業 宅手当助。 ~5年目研					H30 年度	継続
			の資格取得や次期リーダー養成研修の実 及び市内転入者に住宅手当の支給を行					(三)/ IQ		0 1 H W	シテ木				H31 年度	縮小
		- 0							- II	alle alle					H32 年度	縮小
		_						<b>5向性</b> 前年度比)	継続	事業費	9.2		市負担分	9.1	H33 年度	廃止
	担当課	部名	健康福祉部	課名	介	護信	呆険	課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>

4	事業名	指定	指定居宅サービス事業者等指導監査実施事業													
														事業の の見 (対前年	込み	
			ミサービス事業者等の -ビスの質の確保と向」			H 29	内容	①指導	監査の	実施					H30 年度	継続
	概要		、事業者の指導監査を		<u> </u>	年度									H31 年度	継続
															H32 年度	継続
								事業 (百万		0.2	うち市負担分 (百万円)	0.1	H33 年度	継続		
	担当課	部名	健康福祉部	課名	福祉	:指導	享監	査課	会計区	分	-	一般	事業区	分	ソフ	<b>,</b>

★· 重占プラン該当取組 ○ 重占プラン該当事業

			ı							<b>★</b> :重	<u>〔</u> 点プ	ラン該	当取組、	の重点に	プラン該	当事業
耳	取 組 1-6-2 <b>国民健康保険制度の安定的な運営</b> <b>事業名</b> 国民健康保険料収納率向上事業															
5	事業名	国国	健康保険料収納	率向_	上事業	Ē										
								①保险	①保険料納付コールセンターによる早期納付勧奨 を行う。 ②平成29年度報奨金支給をもって終了						の見 (対前4	方向性 込み 年度比)
	ш г з		保険事業財政の安定 保険料収納率向上を			H 29	内容	を行う。							H30 年度	拡充
			推進や納付手段の拡			年度									H31 年度	継続
															H32 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続	事業		54.9	うち市負担分 (百万円)	54.9	H33 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	保	:険 <sup>£</sup>	₽金	:課	会計区	分	玉	保	事業区	区分	ソフ	<b>١</b>
6	事業名	国国	是健康保険医療費	'等適〕	E化事	業										
		①レセプト点検 ②柔道整復療養費に関し、被保険者への内容 会による点検							內容照	の見	方向性 込み 年度比)					
	目的	国民健康	保険の医療費の適正 、医療機関から提出	化を図	ること	H 29	内容	③先発	医薬品	より安信の受診	話な後 状況	発医薬 を被保	薬品の啓発 険者へ通	経・推奨 知する	H30 年度	継続
	概要	(診療報酬請求書)等の点検を行うととて 被保険者への啓発事業を行う。		もに、	年度			てる適正 者行為			賞事務	委託		H31 年度 H32	継続	
								- <del></del> - Lu		かい 事業費 41.7 うち市負担分 22.0					年度 H33	継続
								前年度比)	継続	(百万		41.7	(百万円)	33.8	年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	保	:険 <sup>4</sup>	手金	:課	会計区	分	玉	保	事業区	₹分	ソフ	<b>١</b>
7	事業名	特定	建康診査事業													
			医療の確保に関する 4歳の市国保被保険												の見	方向性 込み 年度比)
	目的 及び	予防のたる	る。糖尿病等の生活習 めに、メタボリックシン	ドローム	該当	H 29	内容	O –							H30 年度	継続
	概要		羊を減少させるよう保修 :抽出する。	建指導を	と必要	年度									H31 年度	継続
		【関連取約	1:1-5-1 健康づくりの	の推進】						_					H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業		23.6	うち市負担分 (百万円)	13.2	H33 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	保	健	医療	課	会計区	分	玉	保	事業区	区分	ソフ	١-

8	事業名	8 特定保健指導事業														
		リックシン	受診査の結果から抽出。 ドローム該当者・予備 慣の課題を認識し、行	群の人	が、自			定保健指援)の実施		報提供	<b>共、動機</b>	づけ支援	、積極	の見	方向性 込み 拝度比)	
	目的 及び	ができる。	行い、健康的な生活を よう専門職による支援を	を行う。こ	また、	H 29	2生				のため	、保健師等	争によ	H30 年度	継続	
	概要	の高い人	を そのうち、生活習慣が で医療にかかっていた。			年度		定健康診		H31 年度	継続					
		療勧奨を	. 1 4 > 0	~ 1//.\#.\										H32 年度	継続	
		【関連取	組:1-5-1 健康づくりの	の推進】			方向性 (対前年度)	継続	事第		21.4	うち市負担分 (百万円)	18.1	H33 年度	継続	
	担当課	部名	健康福祉部	課名	保	:健	医療課	会計区	分	玉	保	事業区	分	ソフ	<b>F</b>	
9	事業名	ヘルスアップいばらき推進事業														
		市国保初	女保険者の健康寿命の	び医		①未	受診者勧	奨					の見	方向性 込み 拝度比)		
	目的		E化を図るため、レセプ した「データヘルス計」			H 29		ータヘルン 薬連携に				策定 重症化予防	方事業	H30 年度	継続	
	及び 概要	計画に基	らづいた施策及び事業	を推進	する。	年度	の実	施						H31 年度	継続	
		【関連取組:1-5-1 健康づくりの推進】												H32 年度	継続	
							方向性 (対前年度)	臨時 拡充	事第		12.8	うち市負担分 (百万円)	0.0	H33 年度	継続	
	担当課	部名	健康福祉部	課名	保	:健	医療課	会計区	分	<u> </u>	保	事業区	分	ソフ	<b>F</b>	
10	事業名	人同	間ドック等助成事業	É												
			な保険者の生活習慣病											の見	方向性 込み 拝度比)	
	目的 及び	ドック・脳	≦見・早期治療につなけ ドックの助成を実施し、 ∮増進並びに医療費の	被保険	者の	H 29		~74歳の ックの費用				者の人間	ドック・	H30 年度	継続	
	概要	で は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	7年歴业の心区が其の	'.@1E16	'Œ 🔼	年度								H31 年度	継続	
		【関連取	組:1-5-1 健康づくりの	の推進】										H32 年度	継続	
							方向性 (対前年度)	継続	事第		23.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H33 年度	継続	
	担当課	部名	健康福祉部	課名	保	:健	医療課	会計区	分	玉	保	事業区	分	ソフ	ソフト	

#### ★: 重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

	取組 1-6-3 後期高齢者医療制度の安定的な運営											<i>.                                    </i>	- 1-7K				
1	1	事業名	後期	後期高齢者医療保険料徴収事務事業													
										による終訪問に			やかな約	内付相談		の見	方向性 込み 拝度比)
			2 47 741 41-1	者医療保険制度のP 食料の収納確保を図り		H 29	内容	対して	は速やな	5212	滞納処	分の実			年度	継続	
				組みや対応を行う。	ン、1m1関ト。	TH (CHL	年度		<ul><li>④保険</li><li>勧奨</li></ul>	料の納	付に	こついて	て、口座打	<b>辰替での</b> 約	州付を	H31 年度	継続
																H32 年度	継続
									<b>方向性</b> 前年度比)	継続	-	業費 万円)	8.9	うち市負担分 (百万円)	8.	7 H33 年度	継続
		担当課	部名	健康福祉部	課名	保	保険年金課 会計区分 高齢 事業区分						ソフ	<u>۱</u>			

#### ★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

	取	組	組 1-6-4 国民年金制度の普及・啓発															
12	2	事業名	国国	国民年金普及啓発事業														
									<ul><li>①日本</li></ul>								の見(対前4	方向性 込み 手度比)
			制度の普	機構との協力・連携 及・啓発や年金相談	事業など	を行う	H 29	内容	度の普 ②取得						で実施		H30 年度	継続
		概要		受給権確保のため、 の受付を行う。	取得・喪	失等	年度		③予約	制障害	年金	≳相談⊄	り実施				H31 年度	継続
																	H32 年度	継続
									<b>与向性</b> 前年度比)	継続		業費 万円)	20.3		市負担分	0.0	H33 年度	継続
		担当課	部名	健康福祉部	課名	保	:険 <sup>4</sup>	F金	:課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>

## 【まちの将来像2】

次代の社会を担う子どもたちを育むまち

Ⅰ 旭東の概要		
まちの将来像	2	次代の社会を担う子どもたちを育むまち
施策	2-1	すべての子どもの育ちを支援する
施策の 方向性	育成支援行動計画に基づき、すべての子ども・家庭の状況に応じた切れ目のない支援を行うことにより、子 まやかな育ちを保障するとともに、安心して子育てできる環境を整えます。	
	1	★ 子どもの健やかな育ちを等しく支援
	2	★ 子育て支援サービスの提供
取 組	3	★ 幼児教育と保育の質と量の充実
★: 重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

#### 実施計画 ★: 重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業 ★ 子どもの健やかな育ちを等しく支援 取 組 2-1-1 ◎ こども医療費助成事業 事業名 事業の方向性 の見込み (対前年度比) 子どもの入院及び通院にかかる保険診療医療費 内 のうち、患者自己負担額から一部自己負担金(500 H30 子どもに係る医療費の一部を助成することに 継続 容円)を除いた額を助成 年度 29 より、子どもの健全な育成に寄与し、児童福 年 H31 祉の向上を図る。 継続 度 年度 H32 継続 年度 うち市負担分 (百万円) 871.3 事業費 H33 方向性 (対前年度比) 継続 973.3 継続 (百万円) 年度 担当課 部名 こども育成部 課名 こども政策課 会計区分 一般 事業区分 ソフト ◎ 大学奨学金利子補給事業 事業名 事業の方向性 の見込み ①茨木市に居住する若者に、前年度返済した大 (対前年度比) 学奨学金の利子額(上限20,000円)を10年間給付。 内・既給付決定者への継続給付 H30 大学卒業後の奨学金返済の負担軽減を図る 継続 目的 ・給付者を募集し、市民税非課税者30人分、その 29 容 年度 とともに、若者の本市への流入と定着を促進 及71 年 他120人分を新規給付 H31 する。 概要 継続 度 ②チラシ作成 年度 H32 継続 年度 方向性 事業費 うち市負担分 H33 継続 9.2 9.2 継続 (対前年度比) (百万円) (百万円) 年度 課名 担当課 部名 こども育成部 こども政策課 会計区分 一般 事業区分 ソフト 事業名 児童発達支援センター事業 3 事業の方向性 の見込み ①障害児を対象に単独通園による療育支援を実 (対前年度比) ②市内の障害児とその家族の相談や、保育所等 児童発達支援センターとして、日常生活に必 内 H30 Н への訪問による地域支援を実施し、また、事業所 継続 目的 要な療育支援サービスや地域相談支援サー 容 年度 29 等の技術向上を目指した支援をする。 及び ビス等を提供し、子どもの健全な発達を図 年 H31 概要 ③②の相談等の件数増加や業務拡充に伴う体制 継続 度 る。 年度 強化を図る。 H32 継続 年度 事業費 H33 方向性 (対前年度比) うち市負担分 拡充 68.50.0 継続 (百万円) (百万円) 年度 こども育成部 課名 担当課 部名 子育て支援課 会計区分 般 事業区分

,	事業名	旧日	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·														
4	事未有	УС. <u>!</u>	直発達支援事業 					所給付		行う	。(利用	後等デイ 計者数の 引込む)				の見	)方向性 引込み 年度比)
	目的	営むこと	ド自立した日常生活又 ができるよう、児童福祉 F支援及び障害児相談	上法に基	づく障	H 29	内容	②必要 支援を	に応じ、 行う。 旧 #13数	障	害児と	その保護者の指定	書	た対し 行る	て相談	H30 年度	継続
		給付を行	「又接及い障害児相談 ・い、もって障害児の福 と目的とする。			年度		④ 計画 行う	相談を	文12 普及	を事業を	ため事	** 業房	117 fへの補	前助を	H31 年度	継続
								方向性	継続		業費	919.1		市負担分	260.2	H32 年度 H33	継続継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	子:	上 育て		前年度比) 援課	会計区	-	万円)	 一般	( E	事業区	3分	* 年度 ソフ	<b>'</b>
5	事業名	早期	明療育支援事業( <sup>*</sup>	ナくすく	教室	)											
		る基本的することだ	要とする乳幼児が日常 な動作の習得及び集 ができるよう、適切かつ 計導(児童発達支援事業	団生活( 効果的	に適応 な集団		rt.	支援事 ②発達 象の相	業)を実 に不安 談の実	E施 があ 施(	5る乳幼 電話・i	に集団6 1児をもっ 面接・メー 1た児に	つ係 - ル	R護者♂ √)	)方対	事業の の見 (対前:	)方向性 見込み 年度比)
	目的 及び 概要	の必要を	め児を持つ保護者の力感じたときに電話、面護者の負担軽減を図	接相談の	の窓口	H 29 年度	内容	相談を ④発達	実施 障害を	理角	解して 適	i切な関	. •			年度 H31	継続継続
		全な発達 地域で初	を支援する。 l立することなく連続し	た支援を	と継続	区		5=-	、講演会 ズに応し 究、検討	ごた		提供が	出到	きている	か調	年度 H32 年度	継続
			引き続き相談を受ける び市民への啓発を行		学習会			方向性 前年度比)	継続		■業費 ■万円)	21.8		市負担分	3.3	H33 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	子:	育て	支	援課	会計区	分		一般		事業区	☑分	ソフ	1
6	事業名	療育	育支援事業(ばら親	見子教	室)												
		仕用のに	(夢生活)マよいよっ甘土	かれる	ka II			①療育 古授恵	を必要。 業)を実	とす	る親子	に集団的	的頻	育(児	童発達	の見	)方向性 見込み 年度比)
	目的	得及び集	常生活における基本   団生活に適応するこ。  り身体及び精神の状況	とができ	るよ	H 29	内容	②保育	所、幼科	催園	等に通	うっている を施する。	5療	育が必	要なり	H30 年度	継続
		置かれて	いる環境に応じて適切を記録を表達支援事業)、	刃かつ対	人果的	年度		至(CX)	7 21/17	11//2	(12)	CME ) 'Q	)			H31 年度 H32	継続継続
								方向性 前年度比)	継続		事業費 事 万円)	14.6		市負担分	0.0	年度 H33 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	子:	育て	支	援課	会計区	分		一般		事業区	至分	ソフ	<b>\</b>
7	事業名	児重	<b></b>	運営	事業										İ		
		幼児の日	常生活における基本	的珍動的	乍の習			る。				への個				の見(対前	)方向性 見込み 年度比)
	及び 概要	得及び集 う、幼児の 置かれて	国生活に適応するこの の身体及び精神の状況 いる環境に応じて適切	とができ 記並びに 切かつ勢	るよ こその b果的	H 29 年度	内容	童に対 ③発達	する併り	用療のあ	で育を集 らる児童	うっている を施する。 記を療育	,			年度	継続継続
		な) なが ( )	児童発達支援事業)、 <sup>;</sup>	怕談等	ど仃り。											H32 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続		事業費 百万円)	23.0		市負担分 万円)	23.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	子	育て	支	援課	会計区	分		一般		事業区	经分	ソフ	1

8	事業名	乳丝	力児療育支援事業	<u> </u>											
		発達に調びその置	関がある乳幼児の身かれている環境に応じ	体等のは	かつ									の見	方向性 込み 拝度比)
	目的	を行う。ま	療育(児童発達支援 た、療育が必要な乳 手業につなぐため親子	<b>动児を児</b>	童発	H 29	内容	く教室	軍営事	業、ばら親・	子教室道	つの事業(゚ 厘営事業、∫ を検討する	見童発	H30 年度	新規
	概要	する。さら	に、地域で孤立するこ 継続するため療育終	ことなく道	連続し	年度		足へ返	. + *//	是日子术	, <>   1 Juliu	C1X111/2	0	H31 年度	継続
			きる体制をとるとともに こへの啓発を行う。	学習会	の開		7	方向性		事業費		うち市負担分		H32 年度 H33	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名		育で	(対	前年度比)	会計区	(百万円)		(百万円)	分	年度ソフ	継続
9	事業名		上 全 全 全 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是	#/· E		1,	<i></i>	ZWK			/32	7 717			•
	及び	な対応及	Fの予防、早期発見、デ び支援を行い、重症( 虐待の防止を図る。			H 29 年度	内容	営 ②養育 ③虐待	支援訪 対応強	護児童対対問事業の領化支援員の 説システム	実施 の配置	議会の円	滑な運	の見	方向性 込み 軍度比) 継続 継続
							<b>ブ</b> (対	<b>方向性</b> 前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	10.7	うち市負担分 (百万円)	5.3	H33 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	子	育て	支担	爰課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b> </b>
10	事業名	母-	子•父子福祉事業												
							_	の援助 ②ひと ③自立	り親のた 支援給	めの法律	相談給	・情報提供 立を防ぐ生		の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み 拝度比)
	目的及び	母子、寡 祉の増進	婦及び父子家庭の自 を図る	立の援助	助と福	H 29 年		援(情報	银交換)				伯义	H30 年度 H31	継続
	概要	Jan. 19 14 12				度		<ul><li>⑥ひと</li><li>⑦学習</li></ul>	り親家庭 ・生活す	<b>E</b> 等生活向	上事業  実施場	所を新たに	2会場	年度 H32 年度	拡充
								方向性 前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	30.5	うち市負担分(百万円)	12.6	H33 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	2	どもi	政策	意課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b> </b>
11	事業名	子育	育て支援総合セン	ター機	能の	充身	₹								
			「所が地域の子育ての るにあたり、地域で行				<b>—</b>					娠期からの 東センター		の見 (対前 <sup>4</sup>	1
	目的 及び 概要	合センタ てに関す じたコー	るにめたり、地域で行う ーとして行うべきことを るあらゆる情報を収集 ディネートを行うなど機	整理し、 し、必要	子育 夏に応	H 29 年度	内容					<sub>東でンタ</sub> ー 事業を実施		H30 年度 H31 年度	継続継続
		る。					7	5向州	., . 1	事業費		うち市負担分		H32 年度 H33	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	拡充	(百万円)	0.0	(百万円)	0.0	年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	<b>-</b>	J	40	爰課	会計区		一般	事業区		ソフ	,

12	事業名	ひと	り親家庭医療費用	力成事	業										
															方向性 込み 年度比)
			家庭に対し、医療費の			H 29	内。己					医療費の点 500円)を除		H30 年度	継続
	及び 概要	成を図る	い、生活の安定と児童 。	の関生	化目	年度		切风						H31 年度	継続
														H32 年度	継続
							方向 (対前年		継続	事業費 (百万P		うち市負担分 (百万円)	85.5	H33 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	23	Ľŧi	政策課	Ę	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b>١</b>
13	事業名	みた	よし寡婦(夫)制度	事業											
		める「寡女	非婚の母(父)に対して 帚(夫)控除」が適用さぇ	れないた	_め、									の見	方向性 込み 年度比)
	目的 及び	の適用に	引のひとり親と比較して おいて不平等な状況	にある。		H 29		)保育		用者負	担額のみた	なし寡婦(夫	) 控除	H30 年度	継続
	概要	中で、市	とり親家庭が経済的に 独自で所得制限等の	基準を定	官めて	年度								H31 年度	継続
			において、みなし寡婦 こより、経済的な支援を		適用								1	H32 年度	継続
							方向(対前年		継続	事業費		うち市負担分(百万円)	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	保育组	力稚	園事業	<b>業課</b>	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b></b>
14	事業名	◎ 就	学・修学に伴う支援	争業											
		経済的理	星由によって就学困難。	と認めら	れる児							校入学準備	帯金の	の見	方向性 .込み =度比)
	目的		対する就学援助費等 のバス通学児童生徒に			H 29		)支援	学級等原	就学奨	頁の変更) 励費支給 な変。ま	事務 給対象変更	)	H30 年度	継続
	及び 概要		」を行うなど、各種費用 教育の円滑な実施に			年度	4	)山地	並べれる	事務() 通学費	浦助事業	阳刈豕及灭	)	H31 年度	継続
		的とする。												H32 年度	継続
							方向 (対前年		拡充	事業費		うち市負担分 (百万円)	331.2	H33 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名		学科	务課		会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b></b>
15	事業名	لاح	も食堂補助事業												
		広く子ど	も達に家庭的な雰囲気	での食事	を提										方向性 込み 拝度比)
		供するこ	り達に家庭的な分面× とに加え、学習や交流 ら団体を支援すること	の場なる	ビの確	H 29	内容施	設使	用料の	助成				H30 年度	継続
		運営に智	が可体を又扱すること 「与するとともに、子ども )早期発見のきっかけ	を達が抱		年度								H31 年度	継続
		- IVE 11 V	. ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	_ / 20										H32 年度	継続
							方向		新規	事業費		うち市負担分	0.7	H33	継続
							(対前年	度比)	利炕	(百万円	4)	(百万円)	0.1	年度	/PEZ/ISE

16	事業名	少一	子化対策事業													
		<b>歩件の</b> 垣	!い手を育成し、社会숙	<b>・</b> 休でユ	で								てに前向き			方向性 込み 拝度比)
		を支えて	いくことが重要であるこ る分野で、結婚や出産	とから、	社会	H 29		組を誰	が担って				今後どのよ 庁内関係記		H30 年度	継続
	概要		する気運を醸成するた			年度		議する。							H31 年度	継続
		正座する	'o												H32 年度	継続
							方向性 計前年度比)	継続	事業		0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H33 年度	継続	
	担当課	部名	こども育成部	23	どもに	政策	策課	会計区	分	_	般	事業区	分	ソフ	<b>F</b>	
17	事業名	次廿	世代育成支援行動	計画	事業											
					н		①茨木	市次世	代育品	龙支援	行動計	一画の進行	管理	の見 (対前4		
	目的 及び	安心して子どもを生み育て、すべての子ど が健やかに育つことのできる地域社会の身 現を目指すため、5年を1期とする「茨木市					内容	0 - 183			/ - /		畐祉審議 <i>会</i>		H30 年度	臨時 拡充
	概要	「茨木市	は支援行動計画」を策気 次世代育成支援行動詞		年度									H31 年度	臨時 拡充	
		管理を行	~).											H32 年度	継続	
							方向性 対前年度比)	継続	事業		1.7	うち市負担分 (百万円)	1.7	H33 年度	継続	
	担当課	部名	こども育成部	2ا	Ľŧ.	政员	策課	会計区	分		般	事業区	分	ソフ	F	

]	取 組	2-1-2	★ 子育て支援	サーヒ	この	提信	共			_^	· ± ///.	<i>γ</i>	<u> </u>	取組、◎	<u> </u>	/ / V II/A	コチボ
18	事業名	◎ 子育	て総合案内(利用	用者支	援)事	業											
			まやかに成長すること					援事業 子育で	」と連携 期にわ7	し作	青報共存 まで切っ	すを図り れ目のか	なかない	建型利用 ぶら妊娠 支援を3	期から 実施		方向性 込み F度比)
	日的	の保護者	現に寄与するため、言 等、または妊娠してレ	る方が	その選	H 29	容	施						爰と連携		H30 年度	継続
	概要	子育て支持	き多様な教育、保育が 援事業等を円滑に利			年度		かつ的	確に提	供す	っるため			た情報を 幾器を活		H31 年度	継続
		要な支援を	を行う。					た方法・	を検討っ							H32 年度	継続
								方向性 时前年度比)	拡充		業費 (万円)	2.9		市負担分 万円)	1.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	子育	育て	支	援課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>\</b>
19	事業名	◎一時	保育·出前型一	時保育	事業											_	
								0.1.						及び地域		の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み F度比)
	目的 及び		保育が困難な乳幼児 その育児負担の軽減			H 29				161	は)8カ)	かにおい	ハて	一時保	育の	H30 年度	継続
		を促進させ		X 0 [II.2	7 97 NH	年度										H31 年度	継続
																H32 年度	継続
								方向性 时前年度比)	拡充		業業費 (万円)	53.7		市負担分 百万円)	24.6	H33 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	子育	育て	支	接課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>,</b>

20	事業名	⊚ Z.₹													
20	<b>学</b> 未石		司 く		一時										方向性 込み F度比)
	目的 及び	的に家庭 子が経済	をで養育が困難となった い問題等により緊急ー する場合に、児童養護	上場合や 一時的に	い、母こ保護	H 29 年	ステイ)	を引き続	を援事業( き実施 の開拓を修			·テイ、ショ	1—	H30 年度 H31	継続
	概要		到、養育・保護の確保			度								年度 H32	継続
		, ,	0				方向性		事業費		うちき	5負担分		年度 H33	継続
							(対前年度比)	継続	(百万円)	1.0		万円)	0.5	年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名			支援課	会計区分	र्ग	一般		事業区分		ソフ	,
21	事業名	産剤	前・産後ホームヘル	/パー	派遣事	₹									
		***** ***	<b>めた 仕却 て 自 炊 みよ</b> い		F 0- 7										方向性 込み F度比)
		児が困難	後に体調不良等のため	出産した	家庭	H 29	内 ①産前容 実施	•産後ホ	ームヘル	パー派泊	貴事:	業を引き	売き	H30 年度	継続
	及び 概要		ヘルパーを派遣し、家 『児の軽減を図り、保護 - ~	~		年度								H31 年度	継続
		で 単生/成 9	<i>ک</i> ه											H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	4.9		5負担分 万円)	3.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	子司	育て	支援課	会計区分	<del>'</del>	一般		事業区分		ソフ	
22	事業名	おと	出かけ版お楽しみり	広場事	 手業										
		誰なが与	軽に立ち寄れる商業が	富む 小目	見扮っ									事業の の見 (対前 <sup>4</sup>	
	目的 及び	ペースに	、性に立ら前れる商業が 出向き、子育て親子が うことで、子育て情報を	楽しめ	るイベ	H 29	内 商業施容 子育て	設など市 情報を発		りやすい	ハとこ	ろに出向	]き	H30 年度	継続
	概要	相談でき	ことで、丁寅で開報を る場所の周知を図り、 の軽減を図る。			年度								H31 年度	継続
		>< 1052 v	TTIME MINO							,				H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1.6		万円)	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	子	育て	支援課	会計区分	<del>'</del>	一般		事業区分		ソフ	

J	取 組	2-1-3	★ 幼児教育と	保育の	)質と	量(	りず	実						,	2	<i>)</i> / V 100	7 7 718
23	事業名	◎ 施設	型及び地域型総	付対	象施設	認	定	•給付	事務事	業							
			育の利用を希望する 申請に基づき、教育・	111100			O		,		子どもの 音の必		,		の見 (対前年	方向性 込み 拝度比)	
	目的 及び	(利用時間	引)を認定(認定証を3 保育の利用に必要な	るととも	H 29	内容	定証を	発行	_		保育の利	- , ,_			H30 年度	継続	
	概要	を行い、も	って、「一人ひとりの・ することができる社会	子どもか	健や	年度		の給付	, c. <u></u>	C ( 1)	A 17		1/11	-20 0	5 54/13	H31 年度	継続
			を目的とする。	v> X-500	C H1 1											H32 年度	継続
							<b>方向性</b> 前年度比)	継続		業費 万円)	5454.2		市負担分	2289.3	H33 年度	継続	
	担当課	部名	こども育成部	課名	保育组	力稚	園	事業課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<u>۱</u>

24	事業名	◎ 公∑	立幼稚園の認定こ	ども園	化事業	美								
					(F, W.)									方向性 込み 拝度比)
	目的	保育所得	の学校教育・保育の総 持機児童の解消を図る	ため、将	子来の	H 29	<b>内</b> ①茨木 <b>容</b> 園化	•福井•西	西・太田・>	水尾幼稚	推園を認定こ	こども	H30 年度	継続
	及び 概要	て地域の	記等も勘案し、認定こど 実情に応じた公立幼科			年度							H31 年度	継続
		ていく。											H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	168.8	うち市負担分 (百万円)	75.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	保育组	力稚	園総務課	会計区分	<b></b>	一般	事業区	分	ソフ	<b>F</b>
25	事業名	◎ 地址	或型保育事業											
														方向性 込み 拝度比)
	目的 及び		おける多様な保育ニーきる、質の確保されたの			H 29	内 ①小規	模保育專	事業の拡き	充(2ヶ所	r)		H30 年度	-
	概要		らの成長を支援する。	νнси	EN	年度							H31 年度	-
													H32 年度	-
							方向性 (対前年度比)	拡充	事業費	48.0	うち市負担分 (百万円)	5.4	H33 年度	
	担当課	部名	こども育成部	課名	保育组	力稚	園総務課	会計区分	<b>}</b>	一般	事業区	分	ソフ	<b></b>
26	事業名	◎ 特別	別保育拡充事業											
			の就労形態の多様化 				1 ①病児	但去					事業の の見 (対前年	
	目的 及び	から、子と	ーへへの別心がぶるだちが急に病気になった。 そで保育が困難となった。	た時や、	休日	H 29	内②休日						H30 年度	継続
	概要	育所等に	こ預けることができる環 と・子育て支援を総合的	境を整え	える事	年度							H31 年度	継続
		る。		17(一]正人	<b>□</b> 7								H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	32.7	うち市負担分 (百万円)	21.2	H33 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	保育组	力稚	園総務課	会計区分	<b>†</b>	一般	事業区	分	ソフ	<b></b>
27	事業名	◎ 幼科	推園等一時預かり	(預かり	保育	)事	業							
							①認定	アンも、周	ひまる園:	でけ 拡	充モデル事	4業を		方向性 込み 拝度比)
	目的 及び		稚園で一時預かり(預 とにより、保護者のニー			H 29	本格実		こども園付		幼稚園につ		H30 年度	継続
	概要	た支援を		> \(\C\)	/L C	年度	14, 561	T-C1-11/4K	・一人が色。				H31 年度	継続
										,			H32 年度	継続
							方向性	拡充	事業費	76.3	うち市負担分	76.3	H33	継続
							(対前年度比)	1,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	(百万円)		(百万円)		年度	

28	事業名	② 公 ②	立保育所の機能と	役割充	三 実事	業									
								①公立	保育所	の機能と名	と割の拡	充を検討			方向性 込み 年度比)
			育所の機能と役割を拡援の拠点として整備を をかった			H 29	内	②在宅	支援事	業の実施事業との通				H30 年度	継続
	及び 概要		€を117。 組2-2-02子育て支援の	り輪べく	ทา	年度		<ul><li>④利用</li></ul>	者支援	事業の実施	施			H31 年度	継続
				> +1111 > \	. 7]									H32 年度	継続
					Ī			(向性 ()年度比)	継続	事業費	1.2	うち市負担分	1.2	H33 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	保育组	幼稚	園総	務課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<u>۲</u>
29	事業名	保育	育所·幼稚園職員	等の研	修事	業									
															方向性 .込み 手度比)
	目的 及び		保育や人権保育に関 いて、最近の知識や「			H 29			児保育 る研修を		<b>育等、職</b>	員のスキル	アップ	H30 年度	継続
			キルアップに資する。	日本区で	4 ( ,	年度								H31 年度	継続
														H32 年度	継続
					ı		方(対前	<b>向性</b> 年度比)	継続	事業費	1.2	うち市負担分 (百万円)	1.2	H33 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	保育组	功稚	園総	務課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<u>۲</u>
30	事業名	私立	な保育所等の建設	:補助											
								0.41 ±		***	1 <del>24</del> 665 ) →	バッ酸	1.0.4 <del>1.</del>		方向性 込み 年度比)
	目的		している私立保育所に める建替えに対して補			H 29	内宏	助(2か	所)			係る整備費 備費の補助	707佣	H30 年度	継続
	及び 概要	機児童のる。	解消を含めた保育環	境の向.	上を図	年度			坐び シニ	V ) 材	ボる笠川	用質り作的		H31 年度	継続
														H32 年度	継続
								<b>向性</b> (年度比)	継続	事業費 (百万円)	431.6	うち市負担分 (百万円)	55.9	H33 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	保育组	幼稚	園総	務課	会計区	分	一般	事業区	分	ハー	ド
31	事業名	茨フ	<b>木市立保育所民営</b>	化事	業										
		め、私立	・効果的な保育所運営保育園の柔軟性や即	応性に	着目		_	①三者	協議会	の開催(下	·穂積・魚	占川∙道祖本	<∵中	の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 .込み    東度比)
		応するこ 化を推進	で求められる保育ニー とを目的として、市立係 きする。 年4月下穂積・鮎川保	R育所の	民営	H 29 年度	内宏	津•玉』	島)	評価の実力				H30 年度 H31 年度	縮小縮小
			祖本・中津保育所、平											H32 年度	完了
								<b>向性</b> (年度比)	縮小	事業費 (百万円)	0.7	うち市負担分 (百万円)	0.7	H33 年度	-

32	事業名	幼児	見教育・保育に係る	る利用	者負担	旦額	見	直し事	務事業	<u></u> 業						
•		負担につ	の特定教育・保育施設 いては、法律上、世存 他の事情を勘案して、	界の所得	身の状			<b>宏業</b> 众	<b>,</b> + ,∃n, <del>प</del> 2 )	1 <b>4</b> 0 H	と負担の	ഥ니다	1 ひょぎ女	غ <b>+</b> 1>	の見	)方向性 !込み 年度比)
	目的 及び	り、従前の	とし、市町村が定める の保育所等利用者負	担額の差	きえ方	H 29	内容	ついて		答申を受	と見担の				H30 年度	完了
	#11年	が、保育	え、国の示す基準の7の質の向上に伴う公気	官価格の	充実	年度			4,7,5,0	v-) · D <sub>0</sub>					H31 年度	-
		とから、利	、財政負担への影響や 利用と負担のバランスの 化について検討する。	り検証す					T T					Т	H32 年度	-
		りに適正	16にプリ・(快刊 9 つ。		ı			方向性 前年度比)	新規	事業費			市負担分 百万円) 「	0.5	H33 年度	-
	担当課	部名	こども育成部	課名	保育	幼稚	園	総務課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>
33	事業名	私立	立保育所運営補助	]金事	務事業	1617										
											「地域型保 市が補助会				の見	)方向性 !込み 年度比)
	目的 及び	象施設•	型給付」及び「地域型化 事業者に対し、市が補	助金を	交付	29	内容	より、教		育の必要	性の認定				H30 年度	継続
	概要	すること! 受けた児	こより、教育・保育の必 !童の健全な育成を図	·要性の る。	認定を	年度					<b>ドの精査及</b>	び	検討をす	~る。	H31 年度	継続
															H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費 (百万円			市負担分 百万円)	1095.7	H33 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	保育	<b>力稚</b>	園	事業課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<u>۲</u>
34	事業名	私立	立幼稚園等助成事	業						'			•			
															の見	)方向性 !込み 年度比)
	目的	幼児教 得状況に	育の振興の観点から、 に応じた保育料とするこ	保護者とで経	の所 済的負	H 29	内容				励費補助 児保護者	補助	b		H30 年度	継続
	及び 概要		뷫を図り、すべての子と ∶提供できるようにする		しく幼	年度									H31 年度	継続
															H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費 (百万P			市負担分 百万円)	286.4	H33 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	保育	幼稚	園	事業課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>
35	事業名	心理	里判定員配置事業	É												
		定期的	に幼稚園・保育所・認	定こども	小園や						定こども園	や	地域型保	と育事	の見 (対前 <sup>4</sup>	)方向性 !込み 年度比)
		小規模係 る児童の 談、指導	R育事業施設を巡回し 行動観察や保護者・ 助言を行うことで、すっ	、配慮を 戦員への べての児	要す	H 29 年度	内容	②保護	への定 者や職 検査の	員への	巡回 面談の実力	布や	·指導助	言	H30 年度 H31 年度	継続継続
		生まり を		ري. ا											H32	Able Auba
	2	安心した	生活を送れるようにす												年度	継続
		安心した 	生沽を送れるようにす					方向性 前年度比)	継続	事業費			5市負担分 百万円)	16.6		継続継続

36	事業名	保育	育所•幼稚園営繕	事業												
								_		<ul><li>幼稚園</li></ul>	■・認定こ	ども	園の維持	· · · · · · · · · · · · · ·	の見	方向性 込み 年度比)
	目的 及び		育所・公立幼稚園の旅 に入所・入園児童の係			H 29	内容	(2)''''' \(\T\)		の施設の施設	改修設計				H30 年度	継続
	概要		に実施することを目的			年度		041	. M	♥ フルビロス	以形				H31 年度	継続
										<del></del>					H32 年度	継続
							(対	方向性 前年度比)	継続	事業費	9) 101.2		ち市負担分 百万円) 	101.2	H33 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名				総務課	会計区	分	一般		事業区	分	ハー	ド
37	事業名	◎ 公立	立幼稚園の認定こ	ども園	化事業	美(/	/\-	ード)								
		公田 押	の学校教育・保育の総	& △ hh +>	は 出土										の見	方向性 ,込み 年度比)
		保育所得	の子仪教育・保育のだ 持機児童の解消を図る 記等も勘案し、認定こと	ため、将	子来の	H 29		<ul><li>①保育</li><li>幼稚園</li></ul>		食室に	するための	り改っ	修工事実	尾施(西	年度	完了
	概要		実情に応じた公立幼			年度									H31 年度 H32	-
								方向性	Apply Arter	事業費	40.0	, j	ち市負担分	0.0	年度 H33	-
		1	_ 101 -t- Nder		/n -t-/	1 411	(対	前年度比)	継続	(百万F	9) 48.9		百万円)	2.6	年度	-
	担当課	部名	こども育成部	課名	保育	刃椎	園	総務課	会計区	分	一般		事業区	分	ハー	· F
38	事業名	小为	規模保育施設整備	事業												
															の見	方向性 込み 年度比)
	目的 及び	待機児	辛知沙のわは 0歩み	よっ告ま	- Tin	Н	内	① /\ ##			弘				H30	継続
		受入施討	童解消のため、0歳か として公立の小規模(			29	容	(I)/J\XX	模保育	施設建	nX.				年度	
		受入施設 設する。	<b>単解相のため、0歳が</b> として公立の小規模(					(I)/1\xx	模保育	施設建	ΠX				H31 年度	-
						29 年	容		模保育					Γ	H31 年度 H32 年度	-
						29 年	容	方向性 前年度比)	模保育継続	事業 (百万F	169.5		5市負担分百万円)	92.5	H31 年度 H32	-
		設する。	さとして公立の小規模( こども育成部		ひを新 	29 年度	容(対	方向性		事業費	169.5				H31 年度 H32 年度 H33	
39	概要	設する。	改として公立の小規模(	呆育施言	ひを新 	29 年度	容(対	<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費	169.2		百万円)		H31 年度 H32 年度 H33 年度	
39	担当課	部名 一田 私立保	として公立の小規模化 こども育成部 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	呆育施記 課名 業所、事	保育 <sup>9</sup> 保育 <sup>9</sup> (保育 <sup>9</sup> ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	29 年度	容(対	<b>方向性</b> 前年度比) 総務課	継続会計区	事業費	169.2	(	事業区	5分	H31 年度 H32 年度 H33 年度 へへ	
39	担当課	<ul><li>部名</li><li>一 本名</li><li>一 本名</li><li>田 保事が助</li></ul>	こども育成部 吉預かり事業 育所、小規模保育事業 手渡が、私立認定ことは 「実施する一時預かり」 10金を交付することによ	呆育施記 課名 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	安を新 保育	29 年度	容が対対	方向性 前年度比) 総務課 保育	継続会計区	事業費(百万万分)	169.2	(する)	事業区	5分	H31 年度 H32 年度 H33 年度 へへー 事業の見 (対前4 H30 年度 H31	方向性込み
39	概要 課 書 目及の	<ul><li>部</li><li>本</li><li>本</li><li>人</li><li>本</li><li>み</li><li>本</li><li>み</li><li>中</li><li>は</li><li>よ</li><li>み</li><li>よ</li><li>み</li><li>り</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li></ul>	さいて公立の小規模( こども育成部 寺預かり事業 育所、小規模保育事事業所、私立認定ことで で実施する一時預かりま	呆 育 <b>課</b> 所 風 業 、 、 の し な に な に な に な て よ く っ て り も り も り も り も り も り も り も り も り も り	安を新 保育	29年度	容が、対域、関が、内	方向性 前年度比) 総務課 保育	継続会計区	事業費(百万万分)	を 169.2 一般	(する)	事業区	5分	H31 年度 H32 年度 H33 年度 (対前4 H30 年度	ド 方向性 込み 年度比) 継続
39	概要 課 書 目及の	<ul><li>部</li><li>本</li><li>本</li><li>人</li><li>本</li><li>み</li><li>本</li><li>み</li><li>中</li><li>は</li><li>よ</li><li>み</li><li>よ</li><li>み</li><li>り</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li></ul>	こども育成部 吉預かり事業 育所、小規模保育事業 育所、小規模保育事業 3実施する一時預かり う金を交付することによ できる環境を整備し、	呆 育 <b>課</b> 所 風 業 、 、 の し な に な に な に な て よ く っ て り も り も り も り も り も り も り も り も り も り	安を新 保育	29 年度	容が、関が、内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	方向性 前年度比) 総務課 保育	継続会計区	事業費(百万万分)	<b>貴</b> 169.2 一般 いりを実施 た支援を	(する) (する) (する)	事業区	5分	H31 年度 H32 年度 H33 年度 の見 (対前4 H30 年度 H31 年度 H31	ド 方向性 込み 手度比) 継続 継続

40	事業名	◎ 待棚	幾児童保育室設置	•運営	事業											
										署に待機! 児あわせ					事業の の見 (対前年	込み
	目的 及び		童の解消・保育の受け、 待機児童保育室を記			H 29	内容	保育を	行う。	光の47セ 機児童保	-, -, ,				H30 年度	継続
	概要	る。	、四級儿童体育主心		<b>=</b> 7	年度		€ 51 C	IDEC ( 14)	及76室  木	H ±u/·	, v / · C	ÆGU		H31 年度	継続
															H32 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続	事業費	166.4	うち市が		46.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	保育组	力稚	園絲	総務課	会計区分	分	一般	틕	事業区分	١	ソフ	
41	事業名	私立	立保育所等防音壁	整備	事業□											
															事業の の見 (対前 <sup>会</sup>	込み
	目的 及び		育所・認定こども園の 、防音壁の整備費用を			H 29	内容			認定こども 整備にか					H30 年度	-
	概要		住民との良好な関係を カを実施できるようにす		5発な	年度									H31 年度	-
															H32 年度	-
								方向性 前年度比)	新規	事業費 (百万円)	51.6	うち市賃		17.2	H33 年度	-
	担当課	部名	こども育成部	課名	保育组	力稚	園絲	総務課	会計区分	分	一般	=	事業区分	<b>\</b>	ハー	ド
42	事業名	【再	揭】保幼小中連携	事業												
		リキュラム 育・教育:	マブロックで作成した「ん 」に基づき、保幼小間 を進めるとともに、小・「	的な保 対員の			①促分	小中浦地	隽教育推访	生会議!	·由学	<b>応ブロ</b> 、	ヶ海	事業の の見 (対前年	込み	
	目的 及び	徒会交流	引交流による授業実践 などにより、小1プロフ	1	H 29	内容	携会議	の開催	ク連携支				· / Æ	H30 年度	継続	
	概要	ムーズな	の解消を図るなど、保約接続と系統的な指導を	、15歳	年度			W/ H/	/ <i>庄助</i> 人	1次4公只 0		<u>.</u>		H31 年度	継続	
		育成する	-										,		H32 年度	継続
		【関連取	組:2-3-1 「確かな学」	刀」の充	夫】			方向性 前年度比)	継続	事業費	22.8	うち市賃		22.8	H33 年度	-
	担当課	部名	学校教育部	課名	学校	教	育推	進課	会計区分	分	一般	=	事業区分	<b>\</b>	ソフ	

3 過去の実施計画期間中で完了・廃止した事業(担当部課名は事業実施最終年度の名称)

	取	組	2-1-2	子育て支援	サーヒ	ごスの提供				
Ε	1 4	事業名	赤ち	やんの駅事業(平	ヹ成28	年度で廃止)				
		目的 及び 概要	登録し、ま 施設や商 ない事業	た、そのような設備を 業施設等において、 であると判断し実施計 後は、保護者が授乳	整える 授乳室    一画事業	外出中におむつ替えペ 事業者等に備品購入り やおむつ交換台等の言 いら廃止する。 つ交換等ができる施記	費の一部を 受置が既に	補助する事業であ 一定進められてい	る。 しかしな る現状から、	がら、市内の公の 費用対効果の少
	ŧ	担当課	部名	こども育成部	課名	子育て支援課	会計区分	一般	事業区分	ソフト

1 旭泉の似安		
まちの将来像	2	次代の社会を担う子どもたちを育むまち
施策	2-2	地域ぐるみの子育てを推進する
施策の 方向性		さまざまな人材が連携・協力し、子育てを支援することで、親子ばかりではなく世代を超えた人たちの交流の 実するなど、「子育てでつながる地域社会」の実現をめざします。
	1	★ 交流の場の充実
	2	子育て支援の輪づくり
取 組	3	★ 地域の人材を活用した子育て支援
★: 重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

## 2 実施計画

2	実施計画	<u> </u>									★:重	点プラン記	亥当	取組、©	重	点プ	ラン該	当事業
耳	文 組	2-2-1		★ 交流の場の	充実													
1	事業名	⊚ 地均	或子	·育て支援拠点	事業													
		<b>就</b> 受前児	音音)	こその保護者が気息	駆に生・	シム塩			②地域	子育て	支援セン	実施するター事業とともに、	をす	子育てす	ج ح	っカュ		方向性 込み 拝度比)
		を設置し	、地	域の中で安心して 境を整備するととも	子育て	<ul><li>子育</li></ul>	H 29	内容	体に委	託		に2ヶ所			47		H30 年度	拡充
		育園に地	域	発を並帰することで 子育て支援センター こ対して専門的なす	ーを設置	置し、	年度		④公立		子育てま	そ後センタ			、公	立	H31 年度	継続
		丁月(世	7.44. (·	こめして守门的など	又1友で1	17.			休月別	(二/放用上で	生1999。						H32 年度	継続
									方向性 前年度比)	拡充	事業費 (百万円			市負担分	65	5.3	H33 年度	継続
	担当課	部名		こども育成部	課名	子	育て	支	援課	会計区	分	一般		事業区	分		ソフ	<b>-</b>
2	事業名	◎市፯	立纹	稚園子育て支	援事業	Ě												
									流の場 ②幼稚	とする 園は、月	2回、	未就園児 一育て相記	炎室	を開設し	、 係	R	の見 (対前年	方向性 込み F度比)
	目的 及び			を開放し、在園児 <sup>々</sup> 司士の活動を通し			H 29 年	内容	3認定	こども園	では、	悩み等に 育て相記 、保護者	炎を	基本とし	た子	_	H30 年度	継続
	概要	の交流を	図る	, O <sub>o</sub>			度		悩みへ		と同時に	、床護石、未就園					H31 年度 H32	継続
								_						+ 6 II /			年度	継続
									方向性 前年度比)	継続	事業費			市負担分 <b>5万円</b> )	0	0.2	H33 年度	継続
	担当課	部名		こども育成部	課名	保育组	幼稚	園	総務課	会計区	分	一般		事業区	分		ソフ	<b>-</b>
3	事業名	◎ 市፯	<b>立保</b>	育所子育て支	援事業	<b>Ě</b>												
												(場)の実						方向性 込み 拝度比)
	目的 及び			放し、在宅の親子 域の人々との交流			H 29	内容	士·看記	護師等に	よる育り	流や行事	や悩	みの相			H30 年度	継続
		宅の親子	. –			し、任	年度		り在宅の	の親子な	ど利用	者支援を	実施	ī.			H31 年度	継続
										,							H32 年度	継続
									方向性 計前年度比)	継続	事業費			市負担分	0	).3	H33 年度	継続
	担当課	部名		こども育成部	課名	保育	幼稚	園	総務課	会計区	分	一般		事業区	分		ソフ	<b>,</b>

取	組	2-2-2	子育て支援	その輪づくり							<u> </u>			
4	事業名	子育	育て支援ネットワー	-ク事業										
			関わる機関・団体・民 支援者と、子育て中の	, , ,									事業の の見 (対前年	込み
	目的	等の当事	者が構成する連絡会 る情報交換や交流を	を開催し、子	H 29	容					゛ロックに分り 売き開催する		H30 年度	継続
	概要	等の特色	る情報文操へ交流を をお互いに認め合い 支援を行うとともに、均	ながら、連携し	年度								H31 年度	継続
		て力の向		B域での丁目									H32 年度	継続
							<b>方向性</b> 时前年度比)	継続	事業費 (百万円)	() ()	市負担分 百万円)	0.1	H33 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	· 育て	支	接課	会計区	分	一般	事業区分		ソフ	,

	取組	2-2-3	★ 地域の人材	を活月	用した・	子育	育で	て支援		<u> </u>	//// / V	財組、◎里	<i>/////</i>	) V	<b>コチ</b> 木
5	事業名	◎ ファ	ミリー・サポート・	センター	一事業										
		地域にお	いて育児の援助を行	いたいネ	者と育									事業の の見 (対前 <sup>年</sup>	込み
	目的	相互扶助	を受けたい者が会員 の精神に基づき行う	援助活動	かを支	H 29	内容		ミリーサス	ポートセ	ンター事業の	実施		H30 年度	継続
	概要	に、地域	とで、仕事と育児の両 で安心して子育てが「			年度								H31 年度	継続
		備する。												H32 年度	継続
								方向性  前年度比)	継続	事業費	X 3	ち市負担分 百万円)	2.7	H33 年度	-
	担当課	部名	こども育成部	課名	子司	育て	支	援課	会計区	分	一般	事業区分		ソフ	,

□ 旭東の概安		
まちの将来像	2	次代の社会を担う子どもたちを育むまち
施策	2-3	「生きる力」を育む教育を推進する
施策の 方向性	大限引	の児童・生徒の「生きる力」、すなわち「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育成し、個人の可能性を最き出すため、学校園をはじめ保育所、関係諸団体が連携して就学前から中学校卒業まで一貫した「きめ細質の高い教育」を保障し、「学びを通した信頼される学校づくり」を進めます。
	1	★「確かな学力」の充実
	2	★「豊かな心」の醸成
取 組	3	★「健やかな体」の育成
★: 重点プラン	4	学校支援体制の充実
該当取組	5	
	6	
	7	

2 }	実施計画	II .								*	:重点	プラン該	(当	取組、◎	)重,	点プ	ラン該	当事業
耳	文 組	2-3-1	★「確かな学	力」の3	充実													
1	事業名	◎ 学力	7向上事業															
		プランに基	年計画茨木っ子グロ 基づき、実践的教育活	5動の活				①学图	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	ター	の配置	₹/車門才	7摇	昌レ支持	<i>色粉</i>	苔 -	(対前年	込み
	目的 及び	学力向上	市の教育振興を図る の取組みを持続可能	なものと		H 29	内容	サポー	ターを サポー	えずり	し、学	タサポー					H30 年度	継続
	概要	能的な活	までの人的配置を見 用ができるよう、学習 <sup>・</sup>	サポータ		年度			, , , , ,		*> PC IE	-					H31 年度	継続
		業務サポ	ーターを新たに配置	する。													H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	拡充		業費 万円)	146.1		市負担分	140	).5	H33 年度	継続
	担当課	部名	学校教育部	課名	学校	教育	育推	進課	会計区	分		一般		事業区	分		ソフ	
2	事業名	◎ 授業	<b>全力向上事業</b>							•								
								合同将	のシンズ			科会とし	て	中学校フ	řПу	ック	の見 (対前年	
			交の授業研究会を活り くりに関する研修を行			H 29	内容	②学ひ	のシンズ	ポジ	ウム全						H30 年度	継続
			践力の向上を図る。	, – .	,	年度			事業の								H31 年度	継続
																	H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続		業費 万円)	0.0		市負担分	0	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	学校教育部	課名	学校	教育	育推	進課	会計区	分		一般		事業区	分		ソフ	<b>\</b>
3	事業名	◎ 保幼	]小中連携事業															
		リキュラム 育・教育を	ブロックで作成した「イ」に基づき、保幼小間 ・進めるとともに、小・・ 交流による授業実践	の系統 中学校都	的な保 数員の			<b>○</b> /₽ /+	小中連	堆製	~ 去 州 、	#△柒1	, rfn ,	学坛づら	t.s.F	北市	事業の の見 (対前 <sup>会</sup>	
		徒会交流	などにより、小1プロフ	ブレム・ロ	†1	H 29	内容	携会議	小甲屋 の開催 校ブロ						トツン	′ )	H30 年度	継続
		ムーズな打	解消を図るなど、保護 接続と系統的な指導を	を通じて	、15歳	年度		❷甲子	·(X / L)	ソグモ	B/防义:	佐 教員 いっこう	ク当に	] 但.			H31 年度	継続
		育成する。	らの進路を切り拓くこ 且:2-1-3 幼児教育と														H32 年度	継続
		【関連取制の充実】	ਖ.∠=1=3 刈児教育と	休月り	貝と重			方向性 前年度比)	継続		業費 万円)	22.8		市負担分	22	2.8	H33 年度	継続
	担当課	部名	学校教育部	課名	学校	教育	育推	進課	会計区	分		一般		事業区	分		ソフ	<u> </u>

4	事業名	支担	<b>爱教育事業</b>												
								①小庫	学校支	援学級に	か助昌な	·和署		の見	方向性 ,込み (手度比)
	目的 及び		る児童・生徒一人ひと に学ぶことを通して、			H 29	内容	②医療	的ケア	本制を整備指導員の	前する事			H30 年度	継続
	概要	を高め、 や介助を	生活や学習できるよう :行う。	、必要な	:支援	年度		(支援	教育サオ	ペーターの	廃止)			H31 年度	継続
								L - L- L-1		古光井		5.4. ± 4.10.0		H32 年度 H33	継続
			Section for				(対	方向性 前年度比)	縮小	事業費(百万円)	181.7	うち市負担分	151.5	年度	継続
	担当課	部名	学校教育部	課名				進課	会計区		一般	事業区	分	ソフ	٢
5	事業名	外	国人英語指導助手	ここよる	外国	語清	重	加学	校)/外	·国語教	育(中学	丝校)			
		た取組を	ト国語活動と中学校英 通じて、本市児童・生 通用するコミュニケー	徒に国	際社会			を進め (保	る 育所・幼	学校~中  稚園)英記  年生) 英語	唇で遊ぼ		語教育	の見	方向性 ,込み    度比)
	目的	養う。 市が業者	fと英語指導助手の派	遣契約	を結	H 29	内容	ワーデ	, イ	年生) NE	. ,	H30 年度	継続		
	及び 概要		校ブロックの小中学校 ことで、小学校の外国			年度		(中 ワーデ		年生) NE	シャ	H31 年度	継続		
		活動の小	・教育の充実を図ると 、学校から中学校への					小日	中学校の	教員合同	実施	H32 年度	継続		
		続を図る	0				· (対	<b>方向性</b> 前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	78.5	うち市負担分 (百万円)	78.5	H33 年度	継続
	担当課	部名	学校教育部	課名	学校	教育	<b> </b>	進課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b>F</b>
6	事業名	学村	交図書館教育事業	4 5											
												授業支援等 ]書教諭•亨		の見	方向性 ,込み 年度比)
	目的		学校の読書センター・ を充実し図書館教育			H 29		書館ボ	ランティ	アと連携し	ノて学校[	図書館機能	を充	H30 年度	継続
	及び 概要		立図書館との連携の疗 ・生徒の読書活動の推			年度		②図書 用促進		フト「りいぶ	る」や物	流システム	の活	H31 年度	継続
														H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	32.8	うち市負担分 (百万円)	32.8	H33 年度	継続
	担当課	部名	学校教育部	課名	学校	教育	育推	進課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b>١</b>
7	事業名	相具	馬芳枝科学賞実施	事業											
												方向性			
										目研究を展 と表彰し、1			馬芳枝	の見 (対前 <sup>4</sup>	.込み 年度比)
		の自然科	↑学教育振興のため、 ↑学・情報技術に関す 豪れた作品の展示・表	る自由研	ff究を	H 29 年	内容	② <b>優</b> 科学賞 ③ 展	秀作品を を授与 示の際に	と表彰し、 する。	最優秀作 -スを設し	≅品には相. け、小・中学		の見 (対前 <sup>4</sup> H30 年度 H31	継続
	及び	の自然科		る自由研	ff究を	29		② <b>優</b> 科学賞 ③ 展	秀作品を を授与 示の際に	と表彰し、1 する。 こ実験ブー	最優秀作 -スを設し	≅品には相. け、小・中学		の見 (対前4 H30 年度 H31 年度 H32	<b>丰度比)</b>
	及び	の自然科	学・情報技術に関す	る自由研	ff究を	29 年	容	② <b>優</b> 科学賞 ③ 展	秀作品を を授与 示の際に	と表彰し、1 する。 こ実験ブー	最優秀作 -スを設し	≅品には相. け、小・中学		の見 (対前 <sup>4</sup> H30 年度 H31 年度	継続継続

8	事業名	◎ 特(	色ある学校づくり推	進事業	<b></b>											
		「焙布な	る学校づくり推進交付。	全」を示	仕する			<ul><li>①学校</li></ul>							事業の の見 (対前4	込み
		ことにより	3子仪 2くり間延叉的 )、小・中学校長が自ら マネジメントに基づいた	のリータ	r'	H 29	内容	満の学	校に50			万円、1 級以上			H30 年度	継続
	概要		<b>進できるよう支援し、</b>			年度		を交付	)						H31 年度	継続
		V) JIX 34 C	. ⊡.ಎ°												H32 年度	継続
							-	方向性 前年度比)	継続	-	事業費 事万円)	22.0	 市負担分	22.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	学校教育部	課名	学校	教育	育拍	推課	会計区	分		一般	事業区	分	ソフ	١

											★:重	点プラン	該当	取組、◎	)重点フ	プン該	当事業
耳	反 組	2-3-2		★「豊かな心」	の醸用	戉											
9	事業名	◎ 道領	恵教	で育・人権教育技	推進事	業											
				道徳の実施に向け な心情や判断力、3					<ol> <li>①道徳</li> </ol>	教育研	修の実	拖				の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	度などを	育成	は心情や刊断力、ま さする道徳教育のヲ :や地域の実態に応	充実する	。 ま	H 29	内容	③管理	員人権 !職人権	研修会	の実施				H30 年度	継続
	概要	育を推進	する	らとともに、教職員対 教職員の人権意識	対象の)	人権研	年度		④いの	ちの教	育の推済	進				H31 年度	継続
		る。 る。	· U 、	状成員の八個心時	我 Vノ 戸 丁 ユ	- Z IQI										H32 年度	継続
									方向性 前年度比)	拡充	事業費 (百万P			市負担分 百万円)	1.0	H33 年度	継続
	担当課	部名		学校教育部	課名	学校	教	育推	進課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>
10	事業名	◎ 生徒	走指	は導事業(いじめ	· 不登	校問	題征	行重	协等)								
			いじめ防止基本方針に基づき、いじめの防 上、早期発見・解決を図る。いじめ・不登校や 2SSWの全中学校区配置とアドバイザーの配置													の見	方向性 込み    度比)
	目的 及び	暴力行為	9等6	L・解決を図る。いし D問題行動に対し C)・スクールソーシ	て、スク	ールカ	29	内容	③生徒	Vの全 サポー 指導支	ターの酉	己置	F/N	イザーの	配直	H30 年度	継続
		カー(SSV	N) •	生徒サポーターの細やかに対応で	活用に	より、	年度					ジウム開	催			H31 年度	継続
		制を支援	_		C 0017	, 1211										H32 年度	継続
									方向性 前年度比)	拡充	事業費			市負担分 百万円)	47.1	H33 年度	継続
	担当課	部名		学校教育部	課名	学校	教	育推	進課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>
11	事業名	虐待	寺事	象に係る関係	機関と	の調	整										
				児童・生徒を虐待					<b>①</b> ₹	ア士伝	<b>Д</b> Д.	-とのケー	7 <i>\triangle</i>	送の守む	efic:	の見	方向性 込み 拝度比)
		進する。		と連携し、ネットワ			H 29	内容	②子ど	も家庭も	センター	との学校	訪問		_	H30 年度	継続
	及び 概要	と連携を	図り、	があった場合、学校 、安全確保および ら関係機関と情報	見守りを	行う。	年度		少女体	- 啰兀里	工化	/ 心 <i>刊</i> 印7/。	↓ 月↑	**************************************	➣╢	H31 年度	継続
				見に努める。	こだ日	() () ()									I	H32 年度	継続
									方向性 前年度比)	継続	事業費			5市負担分 百万円)	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名		学校教育部	課名	学校	教	育推	進課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<u> </u>

12	事業名	学村	交応援サポート事業	É											
		小•中学	校における教育活動上	の諸調	題や			①いじる	か対策打	指導員の	の派遣。			の見	)方向性 見込み 年度比)
	目的 及び	ち、学校	地域住民等からの様々 だけでは対応が難しい	ものに	つい	H 29	内容	3SSW	·SCのフ		-バイザー	(SV)の派	遣・ケー	H30 年度	継続
	概要	て、専門 を図る。	家や指導員による支援	を行い	、解決	年度		ス会議の	の開催					H31 年度	継続
														H32 年度	継続
								方向性 対前年度比)	継続	事業費	- / ()	うち市負担タ (百万円)	6.	0 H33 年度	継続
	担当課	部名	学校教育部	課名	学校	教育	<b></b>	<b>推進課</b>	会計区	分	一般	事業	区分	ソフ	F
13	事業名	ゆぬ	か実現支援(奨学金	注活用	)事業										
								<ul><li>①奨学</li></ul>			戓			の見	)方向性 見込み 年度比)
	目的 及び		-どもたちが家庭事情や 学をあきらめることのなり			H 29	内容	3説明	会の実		5奨学金制	度の周知	•個別 <sup>&gt;</sup>	H30 相 年度	継続
	概要		こついて広く紹介し、子 :実現できるよう支援す。		らの夢	年度		談の実	施					H31 年度	継続
														H32 年度	継続
								方向性 対前年度比)	継続	事業費		うち市負担を	2.	1 H33 年度	継続
	担当課	部名	学校教育部	課名	学校	教育	<b></b>	<b>作進課</b>	会計区	分	一般	事業	区分	ソフ	<b>١</b>

Ą	文 組	2-3-3		★「健やかなん	本」の音	育成						· <u></u>	<i>) ) \ 1</i>	<u> </u>	TX/PEL C	里亦	プラン該	コザ木
14	事業名	⊚ 体フ	力向	]上事業														
		児童・生	徒に	生涯にわたって道	動に親	しむ			①立命 ラム	館大学	と連	携した	小学校	の作	本力向上	:プロ:	の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	保持増進	と体	の基礎を育てるとと よ力の向上を図る。	スポー	ツテス	H 29	7	№ ②小中	6年間2			スト				H30 年度	継続
	概要	徒が自ら	の体	・タの蓄積・比較に エカの状況を把握・	分析す		年度		0.04	の公開							H31 年度	継続
		もに、体育	育指	導に有効に活用す	<b>たる。</b>												H32 年度	継続
								(	方向性 対前年度比)	継続		業費 「万円)	3.4		市負担分 <b>百万円</b> )	3.4	H33 年度	継続
	担当課	部名		学校教育部	課名	学校	教	育:	推進課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>
15	事業名	◎ 学村	交給	食事業(ソフト)	)													
		に資する 健康を考	ものえ、	見童・生徒の心身のであり、生きた教材 よい食習慣を身に と解と適正な判断力	オとして .付け、1	自分の				で調理				: 昌,	会の開催	<b>4</b>		方向性 込み 手度比)
	目的 及び	要な役割	を昇	:脾と過止な刊画だ 見たすものであるこ 交給食の充実や学	とから、	安全	H 29	1	3食品		理等	等の研(	多会開 作		도 V 기케 [[	E	H30 年度	継続
	概要	育の推進	を図	X和良の元美で子 図るため、各種学校 もに、アレルギー文	於給食事	業を	年度		生)进1八	かい マンナ	<del>1</del> 12	又が口 (尺ラ	大旭				H31 年度	継続
		に沿った	対応	でで、テレルマース でや、地元食材の値 句上・充実に関する	吏用を含	かた											H32 年度	継続
		調理員研			山川上川	1/4、		(	方向性 対前年度比)	継続		業費 「万円)	372.2		市負担分 <b>百万円</b> )	372.2	H33 年度	継続
	担当課	部名		教育総務部	課名		学和	務	課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>

16	事業名	学村	交保健事業														
									症、アレ管理下								方向性 込み F度比)
	目的 及び	進を図る	いて、児童生徒等の例 こと、学校教育活動に	必要な	健康や	H 29	内容	③市が金を支	賠償責 給	任を	負う災	害に対	し、賠	貸補價	賞保険	H30 年度	継続
	概要		)配慮を行うことなど学れるために様々な施策を			年度		<b>④</b> 負傷	児童等 校で各			宇宙				H31 年度	継続
								917	12 (1)	1年1天	100 47.0	1.大旭				H32 年度	継続
							方向性 前年度比)	継続	-	業費 万円)	0.0		負担分 万円)	0.0	H33 年度	継続	
	担当課	部名	教育総務部		学科	务誤	Ł	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>,</b>	
17	事業名	中	学校部活動指導事														
		かに動い	マルハマ市明めかせ体	化送土	<i>ナ. (</i> 共.)											事業の の見 (対前年	込み
	目的	た適切な	こおいて専門的な技術: 外部指導者を派遣する ななないないない。	ることに	より、	H 29	内容		指導者	の派	遣					H30 年度	継続
			)維持と活性化を促すと 性・能力・体力のさらな		年度										H31 年度	継続	
		<i>°</i> √₀														H32 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続		業費 万円)	15.1		負担分 万円)	15.1	H33 年度	-
	担当課	部名	学校教育部	課名	学校	教育	<b>育</b> 推	推課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>-</b>

耳	文 組	2-3-4	学校支援体	制の3	実					_^	· <u>±</u> ///	<i>&gt;</i>	<u> </u>	取組、◎	/ <u>±</u> ////	<i>,</i> ) •	コチ木
18	事業名	不登	校児童・生徒支持	爰事業													
									*1 \ 4	,	<b>₽</b> 88 €17	4				事業のの見(対前年	込み
	目的 及び	安解消の	を目指し、不登校児i ための相談や学校生	活に必要	要なス	H 29	内容		校相談	のᢖ	<b>尾施</b>					H30 年度	継続
	概要	キルの習行 連携して行	导などの支援を学校→ テラ。	や関係機	と関と	年度		@.1.A.	10.00	Дv	71NJE					H31 年度	継続
															H32 年度	継続	
							方向性 対前年度比)	継続		業業費 (万円)	0.5		市負担分	0.5	H33 年度	継続	
	担当課	部名	学校教育部	教	育セ	こン	ター	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>\</b>	
19	事業名	教育	相談指導事業														
								達相談	·電話教	育文				「面接相 話相談・		事業の の見 (対前年	込み
	目的 及び	童·生徒、	する不安や悩みを抱 保護者や教員に対し	て、医師	5等の	29	内容	<b>対</b> 教育相 ②小・ロ	中学校に	2対						H30 年度	継続
	押亜	専門家やの支援を行	相談員による適切な? 亍う。	言など	年 度		③専門 ④教職				育相談 2置	のう	<b>実施</b>		H31 年度	継続	
															H32 年度	継続	
								方向性 対前年度比)	継続		業費 (万円)	2.9		市負担分	2.9	H33 年度	継続
	担当課	部名	学校教育部	課名	教	育セ	ニン	ター	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>,</b>

20	事業名	教耶	<b>職員研修事業</b>													
		日立の	원스 <b>소</b> 쓰산면 자근	«ኍ n+ ኒ	* TT					、10年経駅				田田本子	の見	方向性 ,込み 手度比)
		修を企画	動向や学校園のニーン iし、教職員の資質向」 P経験者を対象とした活	上を図る	0	H 29	内容	テーマ	とした研	職員を対象 をの実施 い教職員に					H30 年度	継続
			験の少ない教職員やミ			年度				上指導員		111-	手、人1反	V)/C	H31 年度	継続
		C 17/2 )	ω,												H32 年度	継続
				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				方向性 前年度比)	継続	事業費(百万円)	2.3		市負担分	2.3	H33 年度	継続
	担当課	部名	学校教育部	課名	教	育セ	ニンク	ター	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>
21	事業名	教耶	<b>職員健康管理事業</b>	•												
		め、学校	カの円滑な実践、充実を保健安全法に基づき、	学校の	設置			<ul><li>①教職</li></ul>	員の健	康診断					の見	方向性 ,込み    度比)
	目的	血液、心	教職員の健康診断(視電図、結核等)を実施	するほか	、労	H 29		<ul><li>②勤務</li><li>を行う。</li></ul>		適正な把! 万円)	屋として、	IC:	カードの	導入	H30 年度	継続
		に、近年	f生法に基づき健康管 、心の病にかかる教職 ることから、発症を未然	員が増	加する	年度		③被服	貸与						H31 年度	継続
		ためのメ	ンタルケア対策を講じ リに基づき、被服貸与を	る。また、											H32 年度	継続
		貝丁州京	110年 20、阪旅員子の	- 11 \(\frac{1}{2}\)				<b>方向性</b> 前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	21.5		市負担分	21.5	H33 年度	継続
	担当課	部名	学校教育部	課名	**	数職 かんかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいか	員	課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<u>۲</u>
22	事業名	校系	タ用・管理職用端え カート カース 	末等更	新事	業										
		前回の更	〔新から7年が経過した	校務用	端末										の見	方向性 込み 年度比)
	目的 及び	リティの向	、校務の情報化・効率 可上を図る。現在更新問	時期が昇	具な	H 29	内容	<b>山</b> (火) (火) (水)		の更新(端				)	H30 年度	継続
	概要	る、管理I サーバも	職用・事務職用端末及 併せて更新し、設置経	び校務	用	年度			, <i>т</i> у <b>т</b> .	/ \	を しり 一ノ	`-	使用科	,	H31 年度	継続
		図る。													H32 年度	継続
								方向性 前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	43.2		市負担分	43.2	H33 年度	継続
	担当課	部名	学校教育部	課名	教	育セ	ニン	ター	会計区	分	一般		事業区	分	ハー	ド

1 旭泉の似安		
まちの将来像	2	次代の社会を担う子どもたちを育むまち
施策	2-4	魅力ある教育環境づくりを推進する
施策の 方向性	それぞれまた、地整えまで	れの学校において、子どもたちが良好で快適な環境のもとで教育を受けることができる環境を整備します。 地域における教育コミュニティづくりが進むとともに、子どもたちが安全に安心して過ごすことができる環境を け。
	1	学校施設の計画的な整備・充実
	2	★ 学校・家庭・地域の連携の推進
取 組	3	
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

2	実施計画	<u> </u>								★:重点	プラン討	<b>《</b> 当取組	. Oi	重点フ	プラン該	当事業
I	反 組	2-4-1	学校施設 <i>0</i>	計画的	的な整	備	• 充	実								
1	事業名	小当	<b>芝校営繕事業</b>													
								<b>⊕+</b> #	模改造	市光						方向性 込み 拝度比)
	目的 及び		設の整備により、安全	きで快適	iに学	H 29	内 容	②特別	教室エ	∌未 アコン設置 −設置事業					H30 年度	継続
	概要	べる教育	環境の向上を図る。			年度		<b>⊕</b> —₽		队巨子力					H31 年度	継続
											_				H32 年度	継続
								<b>前中性</b> 前年度比)	継続	事業費	423.5	うち市負担		55.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名		施詞	<b></b>		会計区	分	一般	事	業区分		ハー	ド
2	事業名	中等	学校営繕事業													
				日内 ①エレベーター設置事業 ②土担増が進事業												方向性 込み 拝度比)
	目的 及び		設の整備により、安全 環境の向上を図る	とで快適	iに学	H 29 年	内容								H30 年度	継続
	概要	* への教育	現児17月上を凶る			度									H31 年度 H32	継続
							<b>+</b>	i向性	AND A DE	事業費		うち市負担	日公		年度 H33	継続
							(対前	前年度比)	継続	(百万円)	79.8	(百万F	9)	73.0	年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名		施訂	<b></b>		会計区	分	一般	事	業区分		ハー	ド
3	事業名	小当	<sup>全</sup> 校維持補修事業	É												
																方向性 込み 拝度比)
	目的 及び		設の維持管理により、		快適	H 29			ル改修 運動場	事業 屋根改修	事業				H30 年度	継続
	概要	に学べる	教育環境の向上を図	る。		年度									H31 年度	継続
															H32 年度	継続
					Γ			<b>有性</b> 前年度比)	継続	事業費	83.0	うち市負担		83.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名		施詞	<b>没課</b>		会計区	分	一般	事	業区分		ハー	ド

4	事業名	中	学校維持補修事業												
														事業の の見 (対前 <sup>年</sup>	込み
	目的 及び		<ul><li>面設の維持管理により、</li></ul>		快適	H 29	内容	①屋内	運動場	屋根改修	事業			H30 年度	継続
	概要	に学べる	教育環境の向上を図	る。		年度								H31 年度	継続
														H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	14.0	うち市負担分 (百万円)	14.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名		施記	<b></b>		会計区	分	一般	事業区	分	ハー	ド

										★:重	点プラン誌	亥当耳	<b></b> 取組、◎	重点に	プラン該	当事業
Į	文 組	2-4-2	★ 学校・家庭・	·地域(	の連携	<b></b>	推:	進								
5	事業名	◎ 学童	保育運営事業													
			子育てと就労を両立っ						時間延  運営実		杏玄)				の見	方向性 込み 拝度比)
		後等の居	う児童に安心して利用 場所を提供する。また	、放課	後子ど	H 29	内容	③利用	料に関	する審認	日王) 義会の設置 居場所等に			果と検	H30 年度	継続
	<b>恢安</b>	験・活動を	直携することにより、児 と行うことができ、地域 ☆奈はな図る			年度		討							H31 年度	継続
		児里の健	全育成を図る。												H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	拡充	事業費			市負担分	71.3	H33 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	学	童	呆育	課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b></b>
6	事業名	◎ 放課	!後子ども教室推演	進事業	È											
		放課後等	に子どもたちの安全で	で健やか	か居			委託 ②年度	当初の	事務担	数室実行 当者説明: 完会、各校	会、年	F2回の	各ブ	の見 (対前4	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	場所を確って、子ども	保するため、地域住民たちと諸活動に取組 域の子どもたちを見ち	で得 成社会	H 29 年度	内容	会、スク ③ホー	マッフ研 ムペーシ	修会の ジでの配	昇催				H30 年度 H31	臨時 拡充 継続	
		できるよう	、啓発と活動の充実を	之図る。		及		アを募 ⑤市内		よる、小	学生向け	プロク	グラムの	提供	年度 H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費 (百万P			市負担分	46.6	H33 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	Ī	青少	午	課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	F
7	事業名	◎ 児童	・生徒の安全対策	<b>策事業</b>												
											交付金の				の見	方向性 込み 拝度比)
	目的	できるよう	中学校の児童・生徒が 、ボランティア巡視員	による見	一字り	H 29		実施			を守るワー	-クを	全小学	校で	H30 年度	継続
	概要		通学路の安全点検等 ワークづくりを推進す		を見	年度		③防犯	ブザー	の配付					H31 年度	継続
									10						H32 年度	継続
								<b>与向性</b> 前年度比)	継続	事業費 (百万P			市負担分	5.1	H33 年度	継続
	担当課	部名	学校教育部	課名	学校	教育	育推	進課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<u> </u>

8	事業名	家原														
		家庭教育	ずを支援するために学れ	交と連携	<b>鳴しな</b>			②保護	_	かの講座	)開催 室の開催 エーアッフ	° T.II. l/夕	この間/宏			方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	学級の開	護者同士が交流し学び 設や、家庭教育セミナ			H 29	内容	<ul><li>④親ま</li></ul>		ごかけ請	韓座の開	,	50月刊1住		H30 年度	継続
	概要		等を行う。 組:3-1-3 成人教育の	*#****		年度		⑥家庭	教育学	級指導	者研修会 講座の開		催		H31 年度	継続
		【)	祖:3-1-3 成八教育》	/推進】						Alle					H32 年度	継続
								前年度比)	継続	事業費 (百万P	- ') }		百万円)	2.2	H33 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会	教育	育振	興課	会計区	分	一般		事業区分		ソフ	<b>-</b>
9	事業名	◎ 放詞	果後児童健全育成	費補具	助事業	Ė										
																方向性 込み F度比)
	目的 及び		『事業を行う民間事業』 ・部を補助することによ			H 29		_ ,	保育事 を補助(			業者に	こ対し、運	営費	H30 年度	継続
	概要	西質の一 の解消を		り、付協	沈里	年度									H31 年度	継続
															H32 年度	継続
								方向性 前年度比)	拡充	事業費 (百万P			市負担分 百万円)	5.9	H33 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	学	童色	呆育	課	会計区	分	一般		事業区分		ソフ	<b></b>
10	事業名	学章	<b></b>													
																方向性 込み F度比)
	目的 及び	受け入れ	児童数が増加し、現状 することができない学	童保育	室にお	H 29	内容	①春日	学童保	育室及	び福井学	童保	骨室の建	築	H30 年度	継続
	概要		ノハブの新築、増築等 待機児童の解消を図る		するこ	年度									H31 年度	継続
															H32 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続	事業費			百万円)	27.5	H33 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	学	童色	呆育	課	会計区	分	一般		事業区分		ハー	ド

「心泉の似安		
まちの将来像	2	次代の社会を担う子どもたちを育むまち
施策	2-5	青少年が心豊かにたくましく成長できるよう取組を推進する
施策の 方向性		青少年がさまざまな地域活動や体験活動に参加するとともに、適切な支援を受けることにより、心豊かにたく 長することができるよう取組を進めます。
	1	★ 青少年健全育成の推進
	2	青少年の体験活動の充実
取 組	3	若者の自立支援
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

## 2 実施計画

## ★: 重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

r												· ± ////	) / ¥ þ)	\	WHIT C		J / V 11X	<u> </u>
	取	組	2-5-1	★ 青少年健全	≧育成(	の推進												
	1	事業名	◎ 青少	〉年健全育成事業	4													
				全育成運動を推進し					支援				浦助等に	こよる	3団体の	)活動	の見	方向性 込み 拝度比)
		目的	青少年育	を図るために青少年 成の方針を樹立し、	関係機関	]•団	H 29	内容	0,00	育成啓	発0	りための	)講演及	くびえ	寅奏会の	の実施	H30 年度	継続
		概要	のための	的に連携をとりながら 諸事業の実施及び問			年度			生の主 年健全			実施 重点目標	票等	の啓発		H31 年度	継続
			等に努め	る。													H32 年度	継続
									<b>方向性</b> 前年度比)	継続		事業費 百万円)	10.6		市負担分	10.6	H33 年度	継続
		担当課	部名	教育総務部	課名	Ī	青少	年記	課	会計区	分				事業区	分	ソフ	<b>-</b>

I	取 組	2-5-2	青少年の体	験活	動の充	実											
2	事業名	子ど	も・若者居場所・何	体験事	業												
		と、多様な	者の安全・安心な居り 体験活動や交流の場	景等を提	供す				代交流:					_		の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び		本人や保護者の相談 、子ども・若者とその伊			H 29	内容	C 1 /*/4								H30 年度	継続
	概要		見・解決につなげるた 幾関とのネットワークの			年度		開設								H31 年度	継続
		【関連取約	且:2-5-3 若者の自立	五支援】												H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	拡充		業費 万円)	23.8		市負担分 万円)	16.8	H33 年度	継続
	担当課	部名	部名 こども育成部 課名					き課 (	会計区:	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<u>۲</u>
3	事業名	上中	条青少年センター	一運営	事業												
									もセミナ				, , , ,			の見	方向性 ,込み 手度比)
	目的 及び	14 - 1 1	び青少年団体の健全			H 29	内容		あいコン ⁄ング講	-				/ -	実施	H30 年度	継続
	概要	るとともに支援する。	、自主的・組織的な青	動を	年度		④学習	室・貸館	1業	務の実	施				H31 年度	継続	
															H32 年度	継続	
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続		業費 万円)	28.8		市負担分 万円)	25.3	H33 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	Ī	青少	年	課	会計区:	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<u>۲</u>

4	事業名	青生	少年野外活動セン	ター運	営事	業											
								①利用 ②主催			<del>i</del>					事業の の見 (対前年	
	目的 及び	団生活の	)健全育成のために、自 )機会を提供するととも	に、開記	<b>设40周</b>	H 29	内容	(D+1)	ノプカウ	ンセ	マラーの					H30 年度	継続
	概要		27年度)を期に、施設の E実を図る。	周知や	P主催	年度		<b>金加斯</b>	V) E AI	<i>)</i>	, 小正 1 .1.1	1119				H31 年度	継続
																H32 年度	継続
							方向性  前年度比)	継続		業費 万円)	52.1	うち市負 (百万		0.0	H33 年度	継続	
	担当課	部名	教育総務部	Ī	青少	年	課	会計区	分		一般	事	業区分		ソフ	<b>\</b>	
5	事業名	青生	少年活動・育成事業	Ě													
								①キッ/ ②百人								事業の の見 (対前 <sup>4</sup>	込み
	目的 及び		をはじめとした青少年団 少年を育成する組織か			H 29	内容	③こども ④こども							施	H30 年度	継続
	概要		るための情報や活動様少年教育活動の推進を	是供に	年度		⑤こども ⑥大阪				募集 済会加	入補助	ı		H31 年度	継続	
																H32 年度	継続
							方向性 前年度比)	継続		業費 万円)	1.9	うち市負 (百万		1.9	H33 年度	継続	
	担当課	部名	教育総務部	課名	Ī	青少	年	課	会計区	分		一般	事	業区分		ソフ	<b>-</b>

	取組	2-5-3	若者の自立	支援												
6	事業名	【再	掲】子ども・若者周	号場所•	体験	事訓	<b>美</b>									
		と、多様な	者の安全・安心な居 体験活動や交流の場 本人や保護者の相談	易等を提	供す						ーの施設し				事業のの見(対前年	込み
	目的	るとともに	、子ども・若者とそのf 見・解決につなげるカ	呆護者の	問題	H 29		②平成			と中高生の 市内5か所				H30 年度	継続
			幾関とのネットワークの			年度		開設							H31 年度	継続
		【関連取約	1:2-5-2 青少年の位	本験活動	の充										H32 年度	継続
		大】						<b>与向性</b> 前年度比)	拡充	事業 (百万			市負担分	(16.8)	H33 年度	継続
	担当課	部名	こども育成部	課名	2.8	ども	政第	意課	会計区	分	一般	•	事業区	分	ソフ	<b>-</b>

# 【まちの将来像3】

みんなの"楽しい"が見つかる文化のまち

まちの将来像	3	みんなの"楽しい"が見つかる文化のまち
施策	3-1	生涯学習の機会を増やし情報提供を充実する
施策の 方向性	した多様な	涯学習に関する取組の基本となる計画を策定するとともに、市民、行政、教育機関などの連携により、社会的な課題や市民ニーズに対応な学習の場や機会、情報などを提供し、市民の主体的な生涯学習活動を促します。 については、学校教育との連携を図りながら、これからの時代に求められる成人教育や、公民館活動の推進、図書館の機能の充実を図り
	1	生涯学習推進体制の整備
	2	生涯学習についての普及啓発の推進
取 組	3	成人教育の推進
★:重点プラン	4	公民館活動の推進
該当取組	5	図書館サービスの充実
	6	
	7	

2	実施計画	亘									★:	重点	プラン該	(当	取組、◎	)重/	点プ	ラン該	当事業
I	仅 組	3-1-1	1	生涯学習推	進体的	制の整	備	İ											
1	事業名	生》	<b>厓学</b>	習センターきら	うめき記	<b></b>	実	施	事業										
		生活学习	Z≀≻ Hō	り組む市民を支	極小でし	.1.4 17				かき、ジェ ル事業の			ランティン	ア講	座の実	施		事業の の見 (対前年	込み
	目的 及び	活動の充	で実・応	り組む川氏を又き 可上を図るため、 講座、きらめきホ	生涯学	習セン	H 29 年	内容	③市内	ル事業(大学等) さかふみ	連携	講座の		三の	実施			H30 年度	継続
	概要	実施する	)。				度											H31 年度	継続
																		H32 年度	継続
									方向性  前年度比)	拡充		業費 5円)	69.4		市負担分	30	.7	H33 年度	継続
	担当課	部名	Ī	市民文化部	課名	文	化	辰勇	4課	会計区	分		一般		事業区	分		ソフト	`
2	事業名	生》	を とり とうし とうし とうし とうし とうし とうし とうし しょう かいし しょう はい しょう はい しゅう はい しゅう はい しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	習参画事業															
	目的	きる場を	人や団体が培った知識・経験を広く還元で 5場を提供し、学習成果を活かした幅広い ャンルの学習参画機会を展開する。       H 内 ②各種コンサートの出演者公募 ③きらめきフェスタの実施 ④TAIKOビエンナーレの実施													事業の の見 (対前年 H30	込み		
	及び概要			習参画機会を展 習についての普		の推	29 年 度	容										年度 H31 年度 H32	継続
		~_1							方向性	継続		業費	0.9		市負担分	0	1.9	年度 H33	継続継続
	担当課	部名	-	市民文化部	課名	4	1/2:1		前年度比)           	会計区	Ť	5円)		(E	5万円) 事業区	分		年度ソフ	
3	事業名			習推進事業	Wr H		- 1 - 1	~~	N B/IN	- HI			/1/		7.70	.,		1	
3	<b>学</b> 未有									学習事			出し・実施	態の	把握の	内容	ずを	事業の の見 (対前年	込み
	目的 及び			施策を総合的に 方策について検			H 29 年		基に、対②市民									H30 年度 H31	継続
	概要	【関連取 及啓発の		1-2 生涯学習/ 1	こついて	の普	度											年度	継続
		<b>火</b> 冶宪()	/1圧)連	1					1 - 1	1	古べ	<b>坐</b>			+415.0			H32 年度	継続
									方向性 l前年度比)	継続	手ま	業費 5円)	0.0		市負担分 万円)	0	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	Ī	市民文化部	課名	文	化	辰里	<b>東課</b>	会計区	分	-	一般		事業区	分		ソフト	

4	事業名	天	文観覧室運営事業													
								①市立	小•中等	学校、	、広報詞	誌、市ホ	ニームペー	ジでの	の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び		oいて分りやすく解説し Jaため、プラネタリウム			H 29	内容	9//				i民天体	観望会等	の実施	H30 年度	継続
	概要		視望会等の催しを行う。	1071又757	/ 111	年度		③オリ:	ジナル番	≸組0	の制作				H31 年度	継続
															H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	-	業費 万円)	11.2	うち市負担分 (百万円)	10.7	H33 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化技	辰興	課	会計区	分	-	一般	事業	区分	ソフ	<b>F</b>

			1							★:重点	プラン該	当取組、②	)重点フ	プラン該	当事業
I	10 組	3-1-2	生涯学習に	ついて	この普	及	咨	発の推	進						
5	事業名	生涯	<b>王学習センター情</b>	報提供	等実	施马	丰業	美							
									学習事	業を集約し	た情報	誌の発行		の見	方向性 込み 手度比)
	目的 及び	出前講座	市ホームページ・生涯 雲を通じて、様々な生			H 29	内容	③広報	誌・市ホ	大旭 ドームペー 連の窓口村		<b>斧</b> 発		H30 年度	継続
	概要	情報の提	性性を行う。			年度		<b>31</b> ,11	. 1 🗖 1/4/	C->70.F1	ныс			H31 年度	継続
														H32 年度	継続
								方向性 前年度比)	拡充	事業費	2.0	うち市負担分	1.9	H33 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化	辰興	課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b>١</b>
6	事業名	【再	掲】生涯学習参画	事業											
		len i a ca	人や団体が培った知識・経験を広く還元で リカ ②各種コンサートの出演者公募												
	目的 及び	きる場を抗	体か培った知識・経験  提供し、学習成果を活  の学習参画機会を展	かした帽		H 29 年	内容	②各種 ③きらる	コンサー カきフェ		者公募			H30 年度 H31	継続
	概要	<b>(</b> 3-1-1	生涯学習推進体制の	整備】		度		(17 til	(02 )		<b>大</b> 虺			年度 H32	継続継続
								       方向性   前年度比)	継続	事業費	(0.9)	うち市負担分	(0.9)	年度 H33 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化技	辰興	!課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<u>۲</u>
7	事業名	【再	掲】生涯学習推進	事業											
								①生涯	学習事	業の洗いと	出し・実態	態の把握の	内容を	の見	方向性 込み 手度比)
	目的 及び		学習施策を総合的に こめの方策について検			H 29			振り返り :意識調	検証 査の実施				H30 年度	継続
	概要		組:3-1-1 生涯学習拮	推進体制	の整	年度								H31 年度	継続
		備】								- ur - t-	1		ı	H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費	(0)	うち市負担分(百万円)	(0)	H33 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化	辰興	課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<u>۲</u>

				14.54					_					当事業
取	! 組	3-1-3	成人教育の	推進										
8	事業名	社会	会教育事業											
		て自主的	得とともに自らの学習 活動の充実と地域の違	車帯意記	哉を高	Н			習会の開作				の見	方向性 ,込み    実度比)
	目的 及び	めることを る。	と目的に、各種講習会は	などを閉	開催す	29	<b> </b> 一 の は は は は は は は は は は は は は は は は は は		野女室の 大権啓発		催		年度	継続
	概要		組:2-4-2 学校•家庭	. ₩ ₩ ₩ Œ	は無	年度							H31 年度	継続
		の推進】	阻. 2-4-2 子仅*豕炷	• 地域()	) 座伤								H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	3.3	うち市負担分 (百万円)	3.3	H33 年度	継続
;	担当課	部名	教育総務部	課名	社会	教育	育振興課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b>F</b>
9	事業名	社会	会教育関係団体育	成事	<b></b>									
		11 A #1 -	-BB (* 171 )	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	I A #1		= :				研修会の関	昇催	の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 .込み 年度比)
	目的 及び 概要	育の振興 社会教育	「関係団体の活動を促 」を図る。 「関係団体等を対象とし 援等により支援する。			H 29 年度	容③後援	事業チ	手業への行うシ等の「 ラシ等の「 を守る運	宁内設置			H30 年度 H31 年度	継続継続
		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,											H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.4	うち市負担分 (百万円)	0.4	H33 年度	継続
-	担当課	部名	教育総務部	課名	社会	教育	育振興課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b>F</b>
10	事業名	【再	掲】家庭教育支援	事業					·		·			
			を支援するために学れ 養者同士が交流し学ひ				②保護	者のたる	ミナーの開 めの講座	の開催	所修の開催		の見	方向性 込み 拝度比)
		学級の開	要有同工が文流し手し  設や、家庭教育セミナ :等を行う。			H 29	(4)親ま	なびおて	ョッォロ ごかけ講座 級の委託	室の開催			H30 年度	継続
	概要		(すで117)。 組:2-4-2 学校・家庭	<ul><li>地域σ</li></ul>	)連携	年度	⑥家庭	教育学	級分委品 級指導者 者養成講	研修会の			H31 年度	継続
		の推進】		~ LL ~ 3/4 V	- VT 1/2			H >< 12X		, <  /11	_		H32 年度	継続
			1				方向性(対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(2.8)	うち市負担分	(2.2)	H33 年度	継続
1	担当課	部名	教育総務部	課名	社会	教育	<b>育振興課</b>	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b>F</b>

г											★: 5	払尽ノ	/ ノン 砂	当取組	⋓里	、从ノ	ノン談	日尹来
	取	組	3-1-4	公民館活動	かの推議	隹												
	11	事業名	小学	校区公民館講座	医等実施	<b>包事業</b>	121											
			各公民館	において、社会教育	の場とし	て、地			①公民 ②講習	館講座 会の開		Ě					事業の の見 (対前 <sup>年</sup>	込み
		目的	どの講座	ニーズに対応した文等を開催し、住民の言	. — .	-	H 29	内容	<b>④講演</b>	教育講会の開	催		) - del . 1-	~ =# JU /	th a	<del></del>	H30 年度	継続
		熌妛		題、地域課題につい		の状	年度		施	的課題	、地域	課題	に対す	る講習会	等の	兲	H31 年度	継続
			況に合わ	せた取り組みを進める	5.												H32 年度	継続
									<b>方向性</b> 前年度比)	拡充	事業 (百万		16.3	うち市負担	-	8.5	H33 年度	継続
		担当課	部名	教育総務部	課名	社会	教育	·	興課	会計区	分	_	一般	事業	区分		ソフ	,

12	事業名	公	民館区事業補助事	業												
												· · · · · -	1域レクリエ 2を交付	ーショ	の見	方向性 込み 年度比)
			民の主体的な学習活動			H 29		②地域	活動に	とって	より活	用しや	を交が すいものと 移行を進め		H30 年度	継続
			、もって地域住民の生 ため、補助金を交付す		の振	年度							西が移行(		H31 年度	継続
															H32 年度	継続
				1				方向性 <sup>前年度比)</sup>	継続	事業 (百万		7.9	うち市負担分 (百万円)	7.9	H33 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会	教	育振	<b>長興課</b>	会計区	分	_	一般	事業区	分	ソフ	<u>۲</u>
13	事業名	中共	央公民館講座実施	事業												
		社会教育	₹の観点から、市民の	学習機会	会の充			①日本	語読み	書き学	※級の	実施			の見	方向性 込み 年度比)
	目的 及び	少人数で	ため、生涯学習センタ での学習体制による日 5民ニーズに対応する	本語読み	タ書き	H 29 年		題、地		こ応じ	た事業		雀にし、現代 こついて、名		H30 年度 H31	継続
	佩女		見代的な課題、地域課			度		ALC DO	H 1 ( 19/11E		<b>7</b> 20				年度 H32	継続
		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						方向性 前年度比)	継続	事業		1.1	うち市負担分(百万円)	1.1	年度 H33 年度	継続継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会	教		興課	会計区	1		一般	事業区	分	ソフ	  -
14	事業名	公	 民館エレベーター	设置事	業											
															の見	方向性 込み 年度比)
			と身障者等全ての利用 しやすい施設とするた			H 29		①設置 ②実施							H30 年度	継続
	及び 概要	ベーター	で設置し、バリアフリー	めに、1 -化を図	る。	年度									H31 年度	継続
															H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業		66.4	うち市負担分 (百万円)	66.4	H33 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会	教	育振	興課	会計区	分	_	般	事業区	分	ハー	ド
15	事業名	小草	学校区公民館維持	補修	事業											
			区単位での住民等の主					①冬分	:民館施	設の斜	维持 沽	浦修の	宇施		の見	方向性 .込み 年度比)
	目的	寄与する	援し、生活の向上と文 ため、学習機会、情報	の提供	を行	H 29	内容	②空調	  設備改  防水・タ	修のま	€施		大胆		H30 年度	継続
	概要	快適な施	こめ公民館施設の利用 記設利用ができるよう、 ごを図るため、維持補値	また、施	設の	年度		砂塞工	.p.1/18 7	工工工	4X=	,大凡			H31 年度	継続
		<b>以</b> 好即1	」で凶るにめ、維持補制	>(二分()	ん。			L 4 1 1		古光	- 建,	11	>+ + # In		H32 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続	事業 (百万		78.5	うち市負担分 (百万円)	78.5	H33 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会	教	育振	興課	会計区	分	_	般	事業区	分	ハー	ド

甲	2 組	3-1-5	図書館サー	ビスσ	) 杂宝					1里点	ノノンジ	<b>《当取組</b> 、《	ツ里ホノ	/ / / ix	<b>コ</b> 尹 未
_															
16	事業名	) 資本	斗情報収集提供事	* 美											
	目的	に資する	(養、調査研究、レクリコ ことを目的に、図書、初 一ス等記録その他必ら	見聴覚資	科、	н	用者に②読書い、利川の主部	提供を 案内や 用者と必	行う シンフ 公要	アレンス な資料	スサービ •情報を	に管理保存 これを積極的 つなげる ービス等を	的に行	の見 (対前 <sup>4</sup> H30	方向性 込み 手度比) 継続
	及び	集し、整理	型し、保存して、市民 <i>の</i>	利用に	提供	29 年	様々な	形で資	料•'	情報提	供を行う	)		年度 H31	
	概要		ニ読書案内やレファレン ⊃支援)などで、利用者 ける。			度		サービ				国会図書館 利用者の		年度 H32 年度	継続継続
							方向性 (対前年度比)	継続		業費 「万円)	175.9	うち市負担分 (百万円)	175.9	H33 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	中	央国	図書館	会計区	分		一般	事業区	区分	ソフ	7
17	事業名	図書	<b></b> 昏館利用促進事業									·			
	目的び要	教養、レスに、市民の組みを行	の市民に利用してもらい クリエーション等に資す との協働によりさまざま うとともに、市民の利便 ービス拠点の充実など	ることを な行事 <b>!</b> 性の向	:目的 や取り ]上の	H 29 年度	内 内 ②図書 いて検	形劇・ 動図書館 館職員 館サー 討を行	工作をによ	等行事 活用し る市民 網の整	、ライフ たイベン :向け講 :備及び	行事・取り約 ラリフェス・ 小参加なと 座などを実 拠点の充分	ティバ ご) 芝施する 実につ	の見(対前4	方向性込み手度比)継続
			整備を行う。		н /		(4) 北摂	地区77	∄3⊧	町での)	<b>乙</b> 域利月	目を開始す	る	H32 年度	継続
						方向性 (対前年度比)	拡充		業費 「万円)	13.4	うち市負担分 (百万円)	13.4	H33 年度	継続	
	担当課	部名	教育総務部	課名	中	央国	図書館	会計区	分		一般	事業区	区分	ソフ	7
18	事業名	読書	<b></b> 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上	'					'						
	目的及び概要	読書を楽 設、関係	で乳幼児から高齢者 しむことができるよう、 課と連携し、環境を整、読書活動を推進する	学校や 備・機会	関係施	H 29 年度	取組を書場を書場る のでである。 のでは、 のでは	行う 館・学校・協 体験・協 者施 説の 児の 児の	交等書 や活護者	でおは館見学図書館で	なし会を を受け <i>。</i> で朗読会	推進計画に と実施 入れ学校と を実施 学生等に記 状を把握っ	での連携	の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み 拝度比) 継続 継続
							方向性 (対前年度比)	継続		業費 「万円)	33.5	うち市負担分 (百万円)	33.5	H33 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	中	央国	図書館	会計区	分		一般	事業区	区分	ソフ	F
19	事業名	図書	<b>書館ICT事業</b>												
			導入による資料管理の			Н	内①時代	とともに	変化	とするエロ	CTの活	用を検討		の見	方向性込みま度比)
		を行い、「	ージの充実、Wi-Fi環 市民の利便性の向上を ・資料へのアクセスを窄 ・行う。	図ると	<u>L</u> 6	29 年 度	容							年度 H31 年度	継続継続
		·yu ~ \ y @	- 1 4 70											H32 年度	拡充
							方向性 (対前年度比)	継続		業費 i万円)	73.2	うち市負担分 (百万円)	73.2	H33 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	中	央国	図書館	会計区	分		一般	事業区	区分	ソフ	<b>-</b>
												_			

20	事業名	図	書館営繕事業													
											ト指針に	こそって	、計画的に	改修	の見(対前:	方向性 込み 年度比)
	目的 及び	化を図る				H 29	内容		検討す :図書館		(側エレ	ベーター	一設計		H30 年度	継続
	概要		ている図書館の改修を いして利用できる施設の			年度									H31 年度	継続
															H32 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続	-	事業費 事万円)	3.2	うち市負担分 (百万円)	3.	2 H33 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	ŧ	央国	図書	<b>善館</b>	会計区	分		一般	事業区	区分	ハー	ド

一 心束の似安		
まちの将来像	3	みんなの"楽しい"が見つかる文化のまち
施策	3-2	みんなが楽しめるスポーツ活動を推進する
施策の 方向性	味や年	ツ関係団体等と連携し、健康増進・生きがいづくりのイベント、スポーツ教室等を開催するとともに、各自の興齢、体力、技能等に応じて、誰もが気軽に生涯スポーツに親しむことができる環境を整えます。また、本市の ツ推進に関する取組の基本となる計画を策定します。 ポーツ等の活動・運営を支える人材の育成や互いに協力しあえるネットワークを構築します。
	1	多様な生涯スポーツ活動の推進
	2	スポーツ関係団体や指導者の育成
取 組	3	
★: 重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

2 }	実施計画	<u> </u>	T:								★:重	点プラン記	亥当.	取組、②	重点	プラン該	当事業
取	文 組	3-2-1	多	様な生涯	スポー	-ツ活	動の	り推	進								
1	事業名	生》	<b></b> 重スポーツ	/推進事業	<b></b>												
		フポーツ	推進計画に	甘べます	・ベナの	士尺			(平成 ②用具	29年度 の貸し	出し	目の見直	し)			の見	方向性 込み 年度比)
	目的	がいつで	も・どこでも	・いつまで	もスポー	ツに	H 29	内容				会の実施 -、ウォー:	キング	ゲを追加	1)	H30 年度	継続
	及び 概要	親しめる。健康づく	生涯スポーツ	ツ社会の実 ポーツ機会	現と市 ≩の充実	民の ミを図	年度	_	④スポ	ーツに	関する情	報の発信 地域スポー				H31	継続
		る。					/2					報発信の			\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	H32	継続
								ナ. (***	<b>5向性</b> 前年度比)	拡充	事業費			市負担分	20.1	年度 H33 年度	継続
	担当課	部名	市民文	7化部	課名	スポ	    ・		( 注課	会計区		<mark>リ</mark> ー般	(E	事業区	分	<u> </u>	  -
2	事業名		パーツ施設					7 100				7,54		7 7/4	,,,		
_	7.4.1		· //	C F Z Z F	<b>1</b>	-										<b>丰</b> # 0	<b>+</b> + +
		248 W	ペーツ推進計画に基づき、市民が、市民体													の見	方向性 込み 年度比)
	目的	育館・プ	ール・忍頂や	テスポーツ!	公園及で	<b>が運動</b>	H 29					頁寺スポー 利用等の			バグラ	H30 年度	継続
	概要	活動をす	こおいて、ス:				年度									H31 年度	継続
		増進を図	1る。													H32 年度	継続
									<b>万向性</b> 前年度比)	継続	事業費			市負担分	325.2	H33 年度	継続
	担当課	部名	市民文	て化部	課名	スポ	<u>ا</u>	/推	進課	会計区	分	一般	•	事業区	分	ソフ	<u>.</u>
3	事業名	運動	動広場等質	営繕事業													
		フポーツ	推進計画に	甘べま 喜	<b>公</b> 李盘:	陪宝			①数署		託の実績	tion .				の見	方向性 見込み 年度比)
	目的	者が利用	しやすくな				H 29	内容	0 10 1		調査の	_				H30 年度	継続
	概要		是体育館の射			易等利	年度									H31 年度	-
		用者用0	多目的トイ	レを新設す	<b>්</b>											H32 年度	-
									<b>5向性</b> 前年度比)	新規	事業費			市負担分	3.0	H33	-
	担当課	部名	市民文	て化部	課名	スポ	ر ا		進課	会計区		一般	, ,	事業区	分	ハー	ド

取	組	3-2-2	スポーツ関	係団体	や指	導	者(	の育成								
4	事業名	スポ	ーツ団体・指導者	育成事	事業											
			έ進計画に基づき、均				①指導			,	の実施				方向性 込み F度比)	
	H 0/2						内容		₹29年度 委員活						H30 年度	拡充
	概要		る団体、大学、企業等 働により生涯スポー			年度									H31 年度	継続
		の連携・協働により生涯スポーツ環境の充実 を図る。													H32 年度	継続
							方向性  前年度比)	拡充		■業費 ■万円)	u u	ち市負担分 百万円)	9.9	H33 年度	継続	
	担当課	部名	市民文化部	課名	スポ	ر ار	ン推	進課	会計区	分		一般	事業区分	1	ソフ	<b>-</b>

「肥泉の佩女											
まちの将来像	3	みんなの"楽しい"が見つかる文化のまち									
施策	3-3	文化芸術活動を支援し歴史と伝統を継承する									
施策の 方向性	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・										
	1	市民との協働による文化のまちづくり									
	2	★ 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり									
取 組	3	★ 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成									
★: 重点プラン	4	★ 歴史遺産の保存・継承									
該当取組	5	郷土への愛着心とブランド形成									
	6										
	7										

## 2 実施計画 ★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業 取 組 3-3-1 市民との協働による文化のまちづくり 事業名 文化芸術振興補助事業 事業の方向性 伝統芸能の保護、若手芸術家の育成支援な の見込み ど、文化芸術の振興につながる取組みを行う (対前年度比) 事業に対し、経費の一部を補助する。 ①茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員 内 H30 会の意見をもとに対象事業の審査を行い、選考事 継続 目的 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じ 容 年度 29 年 業に対し補助金を交付 及び る・つながる「場」づくり】 H31 概要 継続 度 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術 年度 の担い手の育成】 H32 継続 【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブラン 年度 ド形成】 事業費 方向性 (対前年度比) うち市負担分 H33 継続 0.8 0.8 継続 (百万円) 年度 (百万円) 担当課 部名 市民文化部 課名 文化振興課 会計区分 般 事業区分 ソフト 【再掲】文化振興事業 2 事業名 文化関係団体や文化振興財団と連携して芸 術文化に関係する事業を実施することによ 事業の方向性 の見込み ①美術展等の各種文化事業の開催 (対前年度比) り、広く市民文化の向上を図るとともに文化関 ②文化芸術推進市民会議、文化振興施策推進委 係団体の活動を促進させる。 員会との連携 内 H30 目的 継続 容 ③立命館いばらきフューチャープラザグランドホー 年度 29 年 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じ ルを利用する事業に補助金を交付 H31 概要 る・つながる「場」づくり】 継続 度 ④こども対象の体験型芸術講座の開催 年度 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術 H32 の担い手の育成】 継続 年度 【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブラン うち市負担分 (百万円) 方向性 (対前年度比) **事業費** H33 ド形成】 拡充 (104.7)(104.7)継続 (百万円) 年度 文化振興課 担当課 部名 市民文化部 課名 会計区分 一般 事業区分 ソフト 事業名 【再掲】吹奏楽団·少年少女合唱団育成活動事業 3 事業の方向性 本市の音楽文化の振興と青少年の健全育成 の見込み (対前年度比) を図ることを目的に、吹奏楽や合唱において 市民の音楽活動の充実に努めるとともに音楽 ①吹奏楽団・少年少女合唱団の定期演奏会の開 内 н H30 文化の向上を図る。 継続 目的 容 催 年度 29 及び 年 H31 概要 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じ 継続 度 年度 る・つながる「場」づくり】 H32 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術 継続 年度 の担い手の育成】 事業費 方向性 (対前年度比) うち市負担分 H33 継続 (3.4)(3.4)継続 (百万円) (百万円) 年度 担当課 市民文化部 課名 文化振興課 般 事業区分 ソフト 部名 会計区分

4	事業名	【再	掲】市立ギャラリー	運営	事業											
			品を展示することによりで 」作及び鑑賞活動を促												の見	方向性 .込み 手度比)
	目的 及び		民文化の振興を図る。	匹し、天	END &	H 29	内容		ラリーの	運営	含及び企	全画展の	開催		H30 年度	継続
			組:3-3-2 文化芸術と がみ「場」づくり】	ふれる	・感じ	年度									H31 年度	継続
		る・つながる「場」づくり】     方向性 (対前年度比)     継続 事業費 (百万円)     (5.8) うち市負担分 (百万円)     (2.1)       当課 部名 市民文化部 課名 文化振興課 会計区分 一般 事業区分								H32 年度	継続					
									継続			(5.8)		(2.1	H33 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化挂	辰月	興課	会計区	分		一般	事業	区分	ソフ	<u>۲</u>
5	事業名	【再掲】芸術を活用したまちづくり推進事業														
		し、芸術展を図る	れやまちの課題解決に 文化都市として茨木市 。 営については、市内の	のさらた	さる発										事業の方向性 の見込み (対前年度比	
	目的		よる実行委員会形式で			H 29	内容	り ①アー	①アートプロジェクトの実施 H30 年度 H31 年度							継続
	及び 概要		組:3-3-2 文化芸術と がる「場」づくり】	ふれる	・感じ	年度										継続
		【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成】 【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブランド形成】							H32 年度 継							
								方向性 対前年度比)	継続		業費 「万円)	(3)	うち市負担分(百万円)	(3	H33 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化挂	辰月	興課	会計区	分		一般	事業	区分	ソフ	7

取	組	3-3-2	る•	-	つながる	場」つ			フフン診	<u>\                                    </u>	What'	<u> </u>	2 7 ¢ þA	<u> </u>				
6	事業名	福祉	:文化会館・市民総	総合セ	ンター	運	営	事業										
		市民福祉	の増進及び文化教養	の向上	を図									の見	方向性 .込み 拝度比)			
	目的	関する事	体や文化振興財団が 業を実施する拠点とな			H 29 年	内容	1 1 2 館 0	①2館の維持管理及び指定管理						H30 年度	継続		
	概要	する。 文化芸術施設の建設等については、引き続													H31 年度	継続		
		き検討する	Ď.													H32 年度	継続	
								方向性 対前年度比)	継続		業費 万円)	231.9		市負担分 万円)	206.9	H33 年度	継続	
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化	辰身	興課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>	
7	事業名	市立	ギャラリー運営事	業														
			を展示することにより													の見(対前4	方向性 込み 年度比)	
	関する創作及び鑑賞活動を促進し、美術を 通じて市民文化の振興を図る。						内容	①ギャラ	ラリーの運営及び企画展の開催						H30 年度	継続		
	概要	概要 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化													H31 年度	継続		
		のまちづくり】														H32 年度	継続	
								方向性 対前年度比)	継続		業費 万円)	5.8		市負担分 <b>5万円</b> )	2.1	H33 年度	継続	
	担当課	部名	部名 市民文化部 課名				辰身	興課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフト		

8	事業名		っなかアートツアー												
											方向性 込み 拝度比)				
	目的 及び		と置されている彫刻や約 「民に知ってもらうことに		H 29		①市内 を巡っ		H30 年度	継続					
	概要		に感じてもらう機会とす ートツアー」を実施する			年度					H31 年度	継続			
										古世弗		>+ + 6 H ()		H32 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続	事業費	0.1	うち市負担分(百万円)	0.1	H33 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化排	辰興	.課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<u> </u>
9	事業名	富二	七正晴記念館事業												
		客託を召	けた郷土の作家である	三唐氏			報告書	の作成	こ関する資 会はがき販		集•整理•係	₹存•		方向性 込み 拝度比)	
		に関する資料の収集・整理・保存を行い、資料整理報告書の刊行や、整理資料の公開、 講演会(年1回)を実施する。					内容	③ミュー 学館と	-ジアム> の連携に	成文	H30 年度 H31	継続			
	概要	講演会(	牛1回)を実施する。			度		U #11 12 1	〕講演会の開催 〕企画展の開催						継続
								方向性	継続	事業費	2.0	うち市負担分	2.0	H32 年度 H33 年度	継続継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	中	央図		館	会計区名		一般	事業区	分	インフ	 
10	事業名	【再	掲】文化振興事業												
		文化関係 術文化に り、広く市 係団体の	によ	н	内	②文化	展等の名 芸術推済 ひ連携	進委	の見	方向性 込み 拝度比)					
	目的 及び 概要	のまちづ	車取組:3-3-1 市民との協働による文化 ちづくり】 車取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術					③立命 ルを利	館いばら 用する事 対象の	ベホー	年度 H31 年度	継続継続			
		の担い手	の育成】			度					WITT HIBIT		· × pu  E		
		ド形成】	組:3-3-5 郷土への愛	ぎ 有心と	ノフン		ブ (対i	方向性 前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	(104.7)	うち市負担分 (百万円)	(104.7)	H33 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化排	辰興	課	会計区名	分	一般	事業区	分	ソフ	<b>١</b>
11	事業名	【再	揭】吹奏楽団・少年	F少女	合唱图	田育	成	活動事	掌業						
		を図るこ	「楽文化の振興と青少なとを目的に、吹奏楽や で楽活動の充実に努め	おいて			Only to		の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み 拝度比)					
	目的 及び 概要	文化の向	]上を図る。			H 29 年度	内容	①吹奏 催	梁団・少	'牛少女台	当団の気	<b></b> 三期演奏会	の開	H30 年度 H31	継続継続
	1770 🗴	のまちづ	関連取組:3-3-1 市民との協働による文化 のまちづくり】  関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術					平及 山22							継続
				, _ , _ , _										4 英	
			組:3-3-3 未来へ同り ≟の育成】	70,000				方向性 前年度比)	継続	事業費	(3.4)	うち市負担分 (百万円)	(3.4)	年度 H33 年度	継続

12	事業名	【再	掲】文化芸術振興	補助事	業										
		ど、文化	その保護、若手芸術家の芸術の振興につながる 大し、経費の一部を補助	取組み				① 苯 卡	① 女 上 十相						
	目的 及び		組:3-3-1 市民との協	働による	文化	H 29 年度		会の意	①茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会の意見をもとに対象事業の審査を行い、選考事業に対し補助金を交付						継続
	概要		組:3-3-3 未来へ向け	た文化	芸術			来飞机							継続
		の担い手の育成】 【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブランド形成】												H32 年度	継続
								方向性 対前年度比)	継続	事業費		ち市負担分 百万円)	(0.8)	H33 年度	継続
	担当課	市民文化部 課名 立					辰月	興課	会計区:	分	一般	事業区	分	ソフ	F
13	事業名	◎【再	掲】芸術を活用した	たまちつ	づくり扌	隹迮	έĘ	事業							
		住民交流やまちの課題解決に芸術を活用し、芸術文化都市として茨木市のさらなる発展を図る。また、運営については、市内の芸術団体と市の協働による実行委員会形式で実施する。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化のまちづくり】												事業の方向 の見込み (対前年度比	
	目的						内容	マ マーI	①アートプロジェクトの実施 H30 年度 H31 年度						継続
	及び 概要														継続
		の担い手	【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術 の担い手の育成】						H32 年度						
		【関連取済 ド形成】	組:3-3-5 郷土への愛	き着心とこ	ブラン			方向性 対前年度比)	継続	事業費 (百万円)		ち市負担分 百万円)	(3)	H33 年度	継続
	担当課	市民文化部 課名						興課	会計区:	分	一般	事業区	分	ソフ	7

耳	仅 組	3-3-3	★ 未来へ向け	の:	担	い手の	育成	★: 重点	2 2 <b>v</b> 10x		· • =	EMV	7 × 10×	<u> </u>		
14	事業名	吹奏	楽団・少年少女会	合唱团	育成活	手動	力 <u>=</u>	事業								
		を図ることを	英文化の振興と青少さ と目的に、吹奏楽や	合唱にお	さいて										の見	方向性 .込み 拝度比)
	目的 及び	市民の音楽文化の向」		るとともに音楽		H 29 年度		内 ①吹奏 客 催	楽団・少	年少女合	・唱団の第	定期演奏	€会0	開	H30 年度	継続
		【関連取組のまちづく	車取組:3-3-1 市民との協働による文化 らづくり】												H31 年度	継続
		【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】														継続
		2 3.84	V				方向性 対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	3.4	うち市負担 (百万円		3.4	H33 年度	継続	
	担当課	<b>郡名</b> 市民文化部 <b>課名</b> 文					辰	興課	会計区	分	一般	事	医分	•	ソフ	<b>١</b>
15	事業名	◎ 文化	振興事業													
		術文化に関 り、広く市目	工化関係団体や文化振興財団と連携して芸 対文化に関係する事業を実施することによ 、広く市民文化の向上を図るとともに文化関		化に関係する事業を実施することによ			②文化	美術展等の各種文化事業の開催 文化芸術推進市民会議、文化振興施策推進委					進委	の見	方向性 .込み 手度比)
	目的 及び	【関連取組	- L z - Ż // .			字 ③立命	員会との連携 ③立命館いばらきフューチャープラザグランドホー						H30 年度	継続		
		のまちづく	0]		年度			ルを利用する事業に補助金を交付 ④こども対象の体験型芸術講座の開催 年							継続	
		【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】 【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブランド形成】													H32 年度	継続
								方向性 対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	104.7	うち市負担		04.7	H33 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	文	化	辰!	興課	会計区	分	一般	事	医分	,	ソフ	<u></u>	

16	事業名	⊚【雨	掲】芸術を活用した	シェナ	べくn t	<b>化</b> 计	自由	. 荣								
10	尹未在	住民交流 し、芸術 展を図る	ででまちの課題解決に 文化都市として茨木市	芸術を注のさらた	舌用	<b></b>	三字	*未							事業の の見 (対前年	込み
	目的 及び	の協働に	よる実行委員会形式で	で実施で	<b>广</b> る。	H 29	内容	①アー	トプロジョ	こクトの実	施				H30 年度	継続
	概要	のまちづ	*			年度									H31 年度	継続
		る・つなな	組:3-3-2 文化芸術と ぶる「場」づくり】 20:23:5 郷土。の部												H32 年度	継続
		ド形成】	組:3-3-5 郷土への愛	で	ノフン			前年度比)	継続	事業費	(3)		万円)	(3)	H33 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化	辰興	課	会計区分	<del>}</del>	一般		事業区分		ソフ	`
17	事業名	【再	掲】文化芸術振興	補助事	事業											
		ど、文化	色の保護、若手芸術家の 芸術の振興につながる けし、経費の一部を補助				①芳木	市提案が	公募型公	\$活動寸	7揺事	<b>工業</b> 評価	<b>委員</b>	事業の の見 (対前 <sup>年</sup>	込み	
	目的 及び		組:3-3-1 市民との協	る文化	H 29	内容	会の意		こ対象事					H30 年度	継続	
	概要		組:3-3-2 文化芸術と	ふれる	·感じ	年度		201-213	O 1111-7-7 III.						H31 年度	継続
		【関連取	がる「場」づくり】 組:3−3−5 郷土への愛	着心と	ブラン										H32 年度	継続
		ド形成】						方向性 前年度比)	継続	事業費	(0.8)		万円)	(0.8)	H33 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化拮	辰興	課	会計区分	<b>}</b>	一般		事業区分		ソフ	`
18	事業名	川														
			民に川端文学に親しん  端康成ゆかりの資料の					<ul><li>①川端</li></ul>	康战文学	対館の運営	<b>並 及で</b> に営	食設無	表示 企画	ī 展	事業の の見 (対前 <sup>年</sup>	込み
	目的 及び		教養を高め、市民文化			H 29	内容	の開催	、併設ギ	ャラリーて 文学賞を	の企画			4720	H30 年度	継続
	概要	. ,	組:3-3-5 郷土への愛	ブラン	年度			. 10.50	,,,,,	1717 1112				H31 年度	継続	
		ド形成】							<del></del>					H32 年度	継続	
								前年度比)	拡充	事業費	24.0		万円)	3.5	H33 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化	長興	課	会計区分	<b>†</b>	一般		事業区分		ソフ	`

Ą	仅 組	3-3-4	★ 歴史遺産 <i>0</i>	保存·	継承											
19	事業名	千拐	是寺菱ヶ谷遺跡史	跡整備	事業											
														事業のの見(対前な	込み	
								①埋蔵 ②科学				338万円			H30 年度	完了
	概要	史跡指定	まればいるのでいるとしても活用するため 非指定に向けて取り組む。												H31 年度	-
		【関連取約	連取組:5-6-4 市北部地域の魅力向」												H32 年度	-
								方向性 前年度比)	継続		業費 「万円)		市負担分 百万円)	1.9	H33 年度	-
	担当課	部名	教育総務部	社会	教	育振	興課	会計区	分		一般	事業区	分	ハー	ド	

		- l+ 11		, <sub>—</sub> _	<del></del>	حللد										
20	事業名	(の キリ	シタン遺物史料館	機不見	九夫事	·苿										
															の見	)方向性 見込み 年度比)
	目的 及び		・リシタン遺物の収集保 と財の展示公開を図り、			H 29	内容	0 , 4,4,	1.4	影による史 点) 500万		及て	が複製品	製作	H30 年度	継続
	概要	や複製品 PR映像を	品製作、海外からの来館 と制作。	館者に向	可けた	年度									H31 年度	継続
										<b>本</b>					H32 年度	完了
			I					方向性 前年度比)	継続	事業費	5.0		市負担分	5.0	H33 年度	_
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会	教育	育振	興課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	1
21	事業名	歴史	史的建造物等保存	活用扌	<b>能進事</b>	業	(神	■社•寺	院など	)					_	
		歴史的建	建造物の代表的なもの	として神	社(81										の見	)方向性 見込み 年度比)
	目的		内社11社) や寺院(109 本市の風土・文化・景			H 29	内容		歷史的發	<b>建造物調</b>	査 82	万円	I		H30 年度	臨時 拡充
	及び 概要		から、市民が歴史的建 ・深め、地域での保存と			年度									H31 年度	完了
		みを実行	rできるよう調査・啓発を	と行う。											H32 年度	-
								方向性 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.8		市負担分	0.8	H33 年度	_
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会	教育	育振	長興課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	1
22	事業名	/		部名 教育総務部 課名 社												
		又1	化財保護啓発事業													
					<b>聚山。</b>			①各種 実	:展示(テ	<b>ー</b> マ展・1	È画展•		ナー展)	の充	の見	)方向性  込み  年度比)
	目的	文化財資文化財活	資料等の調査・保存指 に関する情報の積極的	導及び!! な発信!	こより、	H 29		実 ②文化		案内板設[		<b></b>	ナー展)	の充	の見	込み
		文化財資 文化財に 市民の歴 醸成を図		導及び な発信! な発生!	こより、 愛の			実 ②文化 ③文化 ④資料	財説明 財専門で 収集の2	案内板設[	置 /作成の				の見 (対前: H30	し込み 年度比)
	目的及び	文化財資 文化財協 市民の歴	資料等の調査・保存指さ に関する情報の積極的 医史文化意識の高揚及	導及び な発信! な発生!	こより、 愛の	29 年		実 ②文化 ③文化 ④資料	財説明 財専門で 収集の2	案内板設け 研修 ガイドライン	置 /作成の				の見 (対前: H30 年度 H31	は 年度比) 拡充
	目的及び	文化財資 文化財に 市民の歴 醸成を図	資料等の調査・保存指さ に関する情報の積極的 医史文化意識の高揚及	導及び な発信! な発生!	こより、 愛の	29 年	容	実 ②文化 ③文化 ④資料	財説明 財専門で 収集の2	案内板設け 研修 ガイドライン	置 /作成の	ため			の 対前: H30 年度 H31 年度 H32 年度	拡充 拡充
	目的及び	文化財資 文化財に 市民の歴 醸成を図	資料等の調査・保存指さ に関する情報の積極的 医史文化意識の高揚及	導及び な発信! な発生!	こより、 愛の	29 年度	容(対	実 ②文化 ③文化 ④資料 ⑤竜王	財説明 財専門研 収集の 山に関す	案内板設置 研修 ガイドライン する調査・ 事業費 (百万円)	置 /作成の 研究	ため	の調査	研究	の (対前: H30 年度 H31 年度 H32 年度 H33	拡充 拡充 継続 継続
23	目的び概要	文化財資 文化財資 で 下民の歴 成 を図 る。	資料等の調査・保存指 に関する情報の積極的 医史文化意識の高揚及 別、文化財の保護・啓	算及び駅 な発信は び郷土 発を推立	こより、 愛の	29 年度	容(対	実 ②文化 ③文化 ④資料 ⑤竜王	財説明 財専門で 収集の 山に関う 拡充	案内板設置 研修 ガイドライン する調査・ 事業費 (百万円)	置 /作成の 研究 8.2	ため	市負担分野万円)	研究	の (対前: H30 年度 H31 年度 H32 年度 H33 年度	拡充 拡充 継続 継続
23	目的び概要担当課	文化財資に 文化財の を図 大市醸成 る。 部名 史	資料等の調査・保存指 に関する情報の積極的 医史文化意識の高揚及 間の、文化財の保護・啓 教育総務部 弥郡山宿本陣管理	等及び原 な発信し び郷土発を推立 課名	こより、 愛の <b>進</b> す 社会	29 年度	容育振	実 ② 文化 化 《 ③ 文 《 ④ 资 音 王 》	財説明 財専門で 収集の 山に関う 拡充	案内板設置 研修 ガイドライン する調査・ 事業費 (百万円)	置 /作成の 研究 8.2	ため	市負担分野万円)	研究	の (対前・ H30 年度 H31 年度 H32 年 H33 年 (対前・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	拡充 拡充 継続 継続
23	目及概 担当 業 名 目的	文文市醸る。 ・ 文文市醸る。 ・ 本名 史理理理は ・ 財計	資料等の調査・保存指 に関する情報の積極的 医史文化意識の高揚及 因り、文化財の保護・啓 教育総務部 弥郡山宿本陣管理 である郡山宿本陣(椿の 軍策定も視野に入れた	算及び開 な発信にび郷土 発を推立 事業 の本陣)の 適切な続	こ愛生社会の生産を受け、	29 年度 教 1 29	容(対	実 ② 文化 ② 文化 ② 文化 ② 文化 图 章王 与向性 题 課	財説明明明収集のスームに関うない。	案内板設置 研修 ガイドライン する調査・ 事業費 (百万円)	置 /作成の 研究 8.2 一般	た。 (百	市負担分 1万円) 事業区	研究 8.2 分	の (対前・ H30 年度 H31 年度 H32 年度 H33 年度 グ対前・ H30 年度	払み 年度比) 拡充 拡充 継続 継続
23	目的びの要とはおいます。	文文市醸る。 第 史理に 野 単 野 単 野 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単	資料等の調査・保存指さ に関する情報の積極的 歴史文化意識の高揚及 関り、文化財の保護・啓 教育総務部 弥郡山宿本陣管理	算及び帰なで な発信 は なが郷を推立 ま 本切の通じ はをのの通じ	こより、 の 生 て に 要 は 、 な の は た の に な の に は の に は に な の に は に な の に は に な の に は に な に な に な に な に な に な に な に な に な	29 年度 教 刊	容が対抗の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	実 ② 文化 ② 文化 ② 文化 ② 文化 图 章王 与向性 题 課	財説明明明収集のスームに関うない。	案内板設け 研修 がイドライン する調査・ (百万円)	置 /作成の 研究 8.2 一般	た。 (百	市負担分 1万円) 事業区	研究 8.2 分	の (対 H30 年 H31 年 H32 年 H33 年 ア が H30 H30 H31 H30 H31 H30 H31 H30 H31 H31 H31 H31 H31 H31 H31 H31	払売   拡充   抵売   継続
23	目及概 当 業 名 目及び	文文市醸る。	資料等の調査・保存指さ に関する情報の積極的 医史文化意識の高揚及 関か、文化財の保護・啓 教育総務部 教育総務部 が郡山宿本陣管理 である郡山宿本陣(椿の 保存に努め、公開事業	算及び帰なで な発信 は なが郷を推立 ま 本切の通じ はをのの通じ	こより、 の 生 て に 要 は 、 な の は た の に な の に は の に は に な の に は に な の に は に な の に は に な に な に な に な に な に な に な に な に な	29年度 教 1 29年	容 次	実 ② 文文 《 ③ 文文 》 《 ④ 简 电 # 表	財説明明のカースのは、対象の対象を表する。	案内板設性 新修りがある。 事業費 (百分) である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	置 /作成の 研究 8.2 一般	た。 (百	市負担分 1万円) 事業区	研究 8.2 分	の見 (対 H30 年 H31 年 H32 年 第 の前 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	込み ・ 放 変 が が が が が が が が が が が が が が が が が が
23	目及概 当 業 名 目及び	文文市醸る。	資料等の調査・保存指さ に関する情報の積極的 医史文化意識の高揚及 関か、文化財の保護・啓 教育総務部 教育総務部 が郡山宿本陣管理 である郡山宿本陣(椿の 保存に努め、公開事業	算及び帰なで な発信 は なが郷を推立 ま 本切の通じ はをのの通じ	こより、 の 生 て に 要 は 、 な の は た の に な の に は の に は に な の に は に な の に は に な の に は に な に な に な に な に な に な に な に な に な	29年度 教 1 29年	容が対し、対し、大学を持ち、大学をものでは、ため、大学を持ち、大学を持ち、大学を持ち、大学を持ち、大学を持ち、大学を持ち、大学を持ち、大学を持ち、大学を持ち、大学を持ちには、ため、大学を持ちには、ため、大学を持ちには、ため、大学を持ちには、ため、大学を持ちには、ため、大学を持ちには、ため、ため、ため、ため、ため、ため、ため、ため、ため、ため、ため、ため、ため、	実 ② 文化 ② 文化 ② 文化 ② 文化 图 章王 与向性 题 課	財説明明明収集のスームに関うない。	案内板設け 研修 がイドライン する調査・ (百万円)	置 /作成の 研究 8.2 一般	た (官)	市負担分 1万円) 事業区	研究 8.2 分	の (対 130 年 131 年 132 年 133 年 133 年 133 年 133 (対 130 131 133 133 133 133 133 133	放射   放射   放射   放射   放射   放射   放射   放射

24	事業名	市區	内遺跡調査内業整 1	理事第	É												
																	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び		を成果の公開活用を推 面をもとに未整理の調査			H 29	内容	①市内	遺跡調る	査・戸	内業整	理業務	委託	£ 1,707	万円	H30 年度	継続
	概要		文化財の啓発等を行う		で筆	年度										H31 年度	継続
																H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続		業費 万円)	17.1		市負担分	17.1	H33 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会	教育	育振	興課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>,</b>
25	事業名	埋產	<b>、</b>	存活用	月推進	事	業										
																方向性 込み F度比)	
	目的		をによる出土品の適正な ため、収蔵庫建設を含		H 29	内容	①出土	遺物台	長等	整理作	作成業務	务委	託 1,41	5万円	H30 年度	継続	
	及び 概要		蔵庫のあり方や活用力 )活用を推進する。	法を研	究し、	年度										H31 年度	継続
																H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続		業費 万円)	14.2		市負担分	7.1	H33 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会	教育	育振	興課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>
26	事業名	市5	史収集資料保存活	用事業	É												
								②収集	・史料調3 ・史料の( での事業)	一 呆存	•活用						方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	世に引き	歴史資料を市民の共有。 :継ぐことを目的として、	継続的	な史	H 29	内容	4)資料	日録・シ	ステ	ムの雪		カキ	1)		H30 年度	継続
	概要		こ取り組むとともに、市5 7集した史料の保存・活			年度		⑥所蔵	資料の- に向けて	一元	化	(所有者	<u></u>			H31 年度	継続
								3 .2.7/1								H32 年度	継続
								<b>5向性</b> 前年度比)	臨時 拡充		業費 万円)	14.0		市負担分	14.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会	教育	旨振	興課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>Γ</b>

]	取組	3-3-5	郷土への愛	着心と	_ブラン	バ	形	成								
27	事業名	芸術	を活用したまちつ	づくり推	進事	<b>美</b>										
		し、芸術文 展を図る。 また、運営	やまちの課題解決に 化都市として茨木市 については、市内の	が 芸術団	さ発 体と市										の見	方向性 .込み 年度比)
	目的 及び	の協働に	よる実行委員会形式	トる。	H 29	内容		トプロジ	ェク	トの実施	衐			H30 年度	継続	
	概要	【関連取組のまちづく	1:3-3-1 市民との協 50】	5文化	年度									H31 年度	継続	
		る・つなが	1:3-3-2 文化芸術と る「場」づくり】											H32 年度	継続	
		【関連取組の担い手の	1:3-3-3 未来へ向り の育成】	けた文化	芸術			方向性 前年度比)	継続		事業費 5万円)	3.0	ち市負担分 (百万円)	3.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化扎	辰興	具課	会計区	分	_	一般	事業区	公分	ソフ	<u>۱</u>

28	事業名	【再	掲】川端康成文学	館運営	営事業										
			民に川端文学に親しん					<b>Фин</b>	± 4 ± 2	4 Mr. 0. VIII.	K T ~ 10 24.	-n.□ - ^		事業の の見 (対前年	込み
	目的 及び		端康成ゆかりの資料の 教養を高め、市民文化			H 29	内	の開催	、併設ギ	≃罪の連言 ャラリーて 文学賞を	の企画原	設展示、企 展を開催	三回展	H30 年度	継続
	概要	. ,	組:3-3-3 未来へ向け	た文化	芸術	年度			V 1400.	人士貝で	用性			H31 年度	継続
			の育成】	70,70	12411									H32 年度	継続
					П			向性 (有度比)	拡充	事業費	(24)	うち市負担分 (百万円)	(23.5)	H33 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化	辰興	課	会計区分	}	一般	事業区	分	ソフト	`
29	事業名	【再	掲】文化振興事業												
		術文化に り、広く市	係団体や文化振興財団 工関係する事業を実施 可民文化の向上を図る	すること	によ					↑種文化§ 進市民会詞		催 辰興施策推	推委	事業の の見 (対前年	込み
	目的		)活動を促進させる。	<b>圧</b> リァ トゥ	7 - 11 / 1 / 1	H 29		員会との ③立命		きフュー	チャープ・	ラザグラン	ドホー	H30 年度	継続
	及び 概要	のまちづ	組:3-3-1 市民との協 くり】 組:3-3-2 文化芸術と			年度				業に補助 本験型芸				H31 年度	継続
		る・つなな	組:3-3-2 又化云州と がる「場」づくり】 組:3-3-3 未来へ向け											H32 年度	継続
			祖:3-3-3 木米へ同り 三の育成】	/CX1L	<b>云</b> 柳			「 <b>向性</b> 前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	(104.7)	うち市負担分 (百万円)	(104.7)	H33 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化技	長興:	課	会計区分	}	一般	事業区	分	ソフ	,
30	事業名	【再	掲】文化芸術振興	補助事	事業					•		•	•		
		ど、文化	Eの保護、若手芸術家の芸術の振興につながる 古、経費の一部を補助	取組み				<b>①</b> 苯士	古坦安 //	(首刊の)	+江勳士	援事業評	工禾昌	事業の の見 (対前年	込み
	目的 及び		組:3-3-1 市民との協	る文化	H 29	内	会の意		こ対象事		抜事来評1 を行い、選		H30 年度	継続	
	概要		組:3-3-2 文化芸術と	・感じ	年度		木に刈	い 間め 立	之义门				H31 年度	継続	
		【関連取	がる「場」づくり】 組:3-3-3 未来へ向け	た文化	芸術									H32 年度	継続
		の担い手	の育成】	I			<b>向性</b> 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(0.8)	うち市負担分 (百万円)	(0.8)	H33 年度	継続	
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化排	辰興	課	会計区分	}	一般	事業区	分	ソフト	`

3 過去の実施計画期間中で完了・廃止した事業(担当部課名は事業実施最終年度の名称)

耳	文 組	3-3-4	歴史遺産の	保存・	継承								
E1	事業名	市史	!編さん事業(H28	年度事	事業完了)								
	及び	茨木市史	』全10巻を刊行した。	歴史を言 全巻発	B録として残すため、市 刊の記念と編さん事業	「内全域の資 、及び調査	資料調査を行ない、 成果を市民に周知	、平成28年/  するため、	度をもって『新修 司年度中にシンポ				

「肥米の佩女		
まちの将来像	3	みんなの"楽しい"が見つかる文化のまち
施策	3-4	観光資源の活用と創出で魅力あるまちづくりをすすめる
他東の	「楽しい」	の自然、歴史、文化、地域で生み出される特産品など豊富で魅力的な観光資源を最大限に活用し、市内外の人が訪れてと思ってもらえるよう、観光資源をつなぐ取組を推進します。さらに、観光協会と連携し、幅広い年代に応じた効果的な情でい、わがまちに誇りを持てる、観光をいかしたまちづくりを進めます。
	1	★ 観光資源の発掘とネットワーク化の推進
	2	観光情報の発信を強化
取 組	3	★ 官民協働で観光事業を推進
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

2	実施計画	1								★:重点	 プラン該	医当耳	 文組、◎	重点に	プラン該	当事業
J	仅 組	3-4-1	★ 観光資源の	発掘。	ヒネット	マ	_	ク化の	推進							
1	事業名	◎ 観光	あるき事業													
		际刍古都紹	泉沿線において、沿流	總白治/	木レ鉄										の見	方向性 込み 拝度比)
		道事業者為	が実行委員会を作り、 いくことを目的とし、	地域の	魅力	H 29				作成等によ 沿線でのイ				ング	H30 年度	継続
			かるき」のPR事業やイ			年度									H31 年度	継続
		<i>7</i> °													H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.2		5負担分 万円)	0.2	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	工党	<b>労政</b>	課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>\</b>
2	事業名	◎ 大阪	ミュージアム関係	事業												
			っ全体をミュージアム 成資源を発掘・再発り				内								の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び 概要	よりまちの見とし、本市に	は見ばを光掘・丹先り 魅力を内外に発信す こある魅力的な地域 ム登録物として登録し	ることを 資源を	目的 大阪	H 29 年度	容	①各課	から事業	<b>業提案を募</b>	集				年度 H31 年度	継続継続
		活用した観	1光推進を行う。												H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0		5負担分 万円)	0.0	H33 年度	縮小
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	工党	労政	課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>
3	事業名	◎【再排	易】資源活用·地 <b></b>	或経済	活性化	′匕笋	匡態	調査	事業							
		_ ,	り活性化へ繋げる「さ		.,,			①他市	等の状	況調査、研	f究				の見	方向性 込み 拝度比)
		,	ついて検討するため 舌性化実態調査」を第			H 29				地域経済活 結果の分析			査の実	施	H30 年度	完了
	及び 概要		:3-4-2 観光情報の :3-4-3 官民協働で		年度									H31 年度	-	
		推進】	5-4-3 日 戊 励 側(	* <b>未</b> で										H32 年度	-	
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(5)		市負担分 万円)	(5)	H33 年度	-
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	工党	労政	課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<u> </u>

R											*	r:重点	ノフン診	(当月	収組、©	り里点ン	プン談	当事業
観光振興を図り地域を活性化するため、市内の製を保育を行う。また。各種観光事業を実施している観光協会は補助金を交付目的し自主的が運営を支援するとともに、その他及び 関連団体とも連携を図りながら観光事業を推進する。 【関連取組:3-4-3 官民協働で観光事業を推進 】 カ高性 (対前年度) 単独域経済の活性化へ繋げる「来来を を補助する。 展表環境部 課名 商工労政課 会計区分 一般 事業区分 ソフト (10.2) 55市食組分 年度 第2の (10.2) 55市食組分 年度 第2の (10.2) 10.2)	耳	文 組	3-4-2	観光情報の	)発信	を強化	;											
観光振興を図り地域を活性化するため、市内の観光情報の発信を行う。また、各種観光事業を実施している観光協会に補助金を交付目的し自主的な運営を支援するととに、その他及び 関連団体とは連携を図りながら観光事業を推進する。 [関連取組:3-4-3 官民協働で観光事業を推進] カロ	4	事業名	【再	掲】観光推進事業	É													
日日上が3世名で文後 3 のごともに、てい他の関連団体とも連携を図りながら観光事業を推進する。   【関連取組: 3-4-3 官民協働で観光事業を推進			の観光情 業を実施	報の発信を行う。またしている観光協会に补	、各種額 補助金を	観光事 - 交付		rts.	① <b>ホ</b> ー	♪ペ <del>ー</del> ・	・シ 夕本	で細ツ		然信	÷		の見 (対前4	込み F度比)
大田連り 2 c   日連取組:3-4-3 官民協働で観光事業を   上 3 c   大高性   日本度		及び	の関連団	体とも連携を図りなが			29							7C IF	1		年度	継続
指連り組: 3-4-3 官氏協働で観光事業を推進   大向性 接続 (百万円) (10.2)		做安	推進する	0			度										年度	継続
担当課   部名   産業環境部   課名   商工労政課   会計区分   一般   事業区分   ソフト   1   1   1   1   1   1   1   1   1				組:3-4-3 官民協働で	で観光事	手業を								•			年度	継続
ま業名						ľ				継続			(10.2)			(10.2)		継続
観光の振興及びブランド化を促進するため、 観光客の誘致及び市の知名度向上に資する イベントを実施する事業に対し、経費の一部 を補助する。 【関連取組:3-4-3 官民協働で観光事業を 推進】 第名 産業環境部 課名 商工労政課 会計区分 一般 事業区分 ソフト 6 事業名 【再掲】資源活用・地域経済活性化実態調査」を実施する。 上地域経済の活性化へ繋げる「茨木らしい観光施策」について検討するため、「資源活用・地域経済活性化実態調査」を実施する。 「関連取組:3-4-1 観光資源の発掘とネットワーク化の推進】 【関連取組:3-4-3 官民協働で観光事業を推進】 10 他市等の状況調査、研究 ②資源活用・地域経済活性化実態調査の実施 事業の ②資源活用・地域経済活性化実態調査の表現 ③実態調査の結果の分析・評価 430 年度 H31 年 H31 年度 H31 年 H31 年度 H31 年 H31 年度 H31 年 H31 日 H31 H31 H31 H31 H31 H31 H31 H31 H31 H31		担当課	部名	産業環境部	課名	商	jΣŝ	<b>労政</b>	課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>-</b>
観光の振興及びブランド化を促進するため、 観光客の誘致及び市の知名度向上に資する イベントを実施する事業に対し、経費の一部 を補助する。 【関連取組:3-4-3 官民協働で観光事業を 推進】 第名 産業環境部 課名 商工労政課 会計区分 一般 事業区分 ソフト 日的及び概要 地域経済の活性化へ繋げる「茨木らしい観光施策」について検討するため、「資源活用・地域経済活性化実態調査」を実施する。 関連取組:3-4-1 観光資源の発掘とネットワーク化の推進】 【関連取組:3-4-3 官民協働で観光事業を推進】 ・ ローク化の推進】 【関連取組:3-4-3 官民協働で観光事業を推進】 ・ ローク化の推進】 【関連取組:3-4-3 官民協働で観光事業を推進】 ・ ロークに指述】 ・ ロークに関連取組:3-4-3 官民協働で観光事業を推進】 ・ ロークに関連取組:3-4-3 官民協働で観光事業を推進】 ・ ロークに変源活用・地域経済活性化実態調査の結果の分析・評価 ・ ロークに変源活性の表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表	5	事業名	【再	掲】地域魅力アッ	プイベ	ント創	出:	育月	戊事業									
日的 及び 概要			観光客の	誘致及び市の知名度	医向上に	資する		内	0.7			• • •					の見 (対前4	込み
###		及び	を補助す	<b>る。</b>			29 年						審査を行	うい.	、採択哥	事業に	年度 H31 年度	継続継続
担当課 部名 産業環境部 課名 商工労政課 会計区分 一般 事業区分 ソフト   日本			推進】		- 1,545 - 4													継続
■ 事業名										継続			(4.5)			(4.5)		継続
地域経済の活性化へ繋げる「茨木らしい観光施策」について検討するため、「資源活用・地域経済活性化実態調査」を実施する。  【関連取組:3-4-1 観光資源の発掘とネットワーク化の推進】 【関連取組:3-4-3 官民協働で観光事業を推進】  「大きない。」  「大きない。」  「他市等の状況調査、研究 ②資源活用・地域経済活性化実態調査の実施 名字 ②資源活用・地域経済活性化実態調査の実施 名字 ②資源活用・地域経済活性化実態調査の実施 名字 ②音源活用・地域経済活性化実態調査の実施 名字 ②音源活性・地域経済活性化実態調査の実施 名字 ②音源活用・地域経済活性化実態調査の実施 名字 ②音源活性・地域経済活性化実態調査の実施 名字 ②音源活性・地域経済活性化実態調査の実施 名字 ③実態調査の結果の分析・評価 名字 ②音源活性・関連など、 第二 第二 第二 第二 第二 第二 第二 第二 第二 第二 第二 第二 第二		担当課	部名	産業環境部	課名	商	iΙ	<b>労政</b>	課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>-</b>
地域経済の活性化へ繋げる「茨木らしい観光施策」について検討するため、「資源活用・地域経済活性化実態調査」を実施する。   世域経済活性化実態調査」を実施する。   「関連取組:3-4-1 観光資源の発掘とネットワーク化の推進」   「関連取組:3-4-3 官民協働で観光事業を推進】   大の食物   大	6	事業名	【再	揭】資源活用•地	域経済	活性	化多	巨態	調査	事業						·		
目的 及び 概要			光施策」	こついて検討するため	う、「資源	活用・											の見	込み
概要 【関連取組:3-4-1 観光資源の発掘とネット ワーク化の推進】 【関連取組:3-4-3 官民協働で観光事業を 推進】						_	29								増査の実	<b>译施</b>		完了
推進】			ワーク化の	の推進】													-	
				組:3-4-3 官民協働で	事業を											年度		
									継続			(5)			(5)		-	
担当課         部名         産業環境部         課名         商工労政課         会計区分         一般         事業区分         ソフト		担当課	部名	産業環境部	課名	商	iТŝ	<b></b>	(課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	١

取	組	3-4-3	★ 官民協働で	観光	事業を	推:	進			<b>人</b> ·里尔	ノフンジ	<u> </u>	·附上、	生灬。	<i>/ /                                  </i>	コザ木
7	事業名	◎ 観光	推進事業				_									
業を実施している観光協会に補助金を															事業の の見 (対前年	
の観光情報の発信を行う。また、各種観光 業を実施している観光協会に補助金を交付 し自主的な運営を支援するとともに、その何 の関連団体とも連携を図りながら観光事業 推進する。					の他	H 29 年度	内容			ジ等で観り 補助金を		発信			H30 年度 H31 年度	継続継続
	推進する。 【関連取組:3-4-2 観光情報の発信を強														H32 年度	継続
INACANILLO I D MUJUIN TA- > ZUIN CUA								方向性 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	10.2	うち市:	負担分 万円)	10.2	H33 年度	継続
担当課 部名 産業環境部 課名					商	ΙŢ	<b>分</b> 政	文課	会計区	分	一般	3	事業区分	}	ソフ	<u>۱</u>

8	事業名	茨ス	<b>ドフェスティバル事</b>	·莱													
																	方向性 込み F度比)
	目的	し、市民	战の高揚とみんなの郷 の連帯感を高めるため 光協会・青年会議所⊄	、市・商	i工会	H 29		①南北の土・日				ベントな	にどを	を、7月 <sup>-</sup>	下旬	H30 年度	継続
	概要		木フェスティバル協会			年度										H31 年度	継続
		C/ME/	ω,													H32 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続	事業 (百万		11.0		市負担分 「万円)	11.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	工	労政	文課	会計区	分	_	一般		事業区	分	ソフ	F
9	事業名	VV	ばらき光の回廊事業	<b></b>												_	
		1 - <del>1</del> 2 1 - 1 1	ᄼᄼᆒᄓᅟᄱᇄᄺᇛᄼ	[m] 7 + 1	.1												方向性 込み 拝度比)
	目的	市•観光	を創出し、観光振興を 協会・商工会議所・青 『合会で構成する実行	年会議院	折•商	H 29		①年末 ションペ					駅等	等でイル	ミネー	H30 年度	継続
	概要		ネーションによる装飾			年度										H31 年度	継続
		17亿大旭	y 0 <sub>0</sub>												H32 年度	継続	
								方向性 前年度比)	継続	事業 (百万		26.1		市負担分 「万円)	26.1	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	工党	労政	文課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<b> </b>
10	事業名	地块	或魅力アップイベン	小創出	出育成	事	業										
		観光の振	<b>興及びブランド化を</b> 仮	2進する	ため、			0#1		Lr→ cros	• 1		. 1/	N# T. E			方向性 込み    度比)
	目的	観光客のイベントを	)誘致及び市の知名度 と実施する事業に対し	向上に	資する	H 29	内容	意見を	市産業 もとに対 助金をろ	象事	グン語	ョンファ い を 査を行	ン相	ŧ進安員 、採択事	景業に	H30 年度	継続
	概要	を補助す	·る。			年度		A) C/m	A1.2E.G.⊃	X 17						H31 年度	継続
		【関連取	組:3-4-2 観光情報⊄	)発信を	強化】											H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業 (百万		4.5		市負担分 「万円)	4.5	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	工党	労政	文課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>
11	事業名	資源	原活用·地域経済?	実態	調了	至事	事業										
			Fの活性化へ繋げる「え について検討するため					等の状								方向性 込み 拝度比)	
	目的 及び		「活性化実態調査」を		H 29	内容	②資源 ③実態					態調	査の実	施	H30 年度	完了	
	概要	【関連取り フーク化	組:3-4-1 観光資源の の推准】	ネット	年度										H31 年度	-	
			組:3-4-2 観光情報 <i>0</i>											H32 年度	_		
						方向性 前年度比)	継続	事業		5.0		市負担分 「万円)	5.0	H33 年度	-		
	担当課	部名	産業環境部	課名	74	工	公司	7-言田	会計区	/		一般		事業区		ソフ	1

1 旭泉の似安		
まちの将来像	3	みんなの"楽しい"が見つかる文化のまち
施策	3-5	都市間の交流と国際化をすすめる
施策の 方向性		の姉妹都市を中心とした市民レベルの交流を促し、他地域の文化の理解を深めるとともに、さまざまな分野 化活動の交流を図ります。さらに、市民の異文化理解活動を支援し、国籍を超えた多彩な交流を進めます。
	1	都市間交流の促進
	2	地域国際化を推進するための環境整備
取 組	3	
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

# 2 実施計画

### ★: 重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

2	₹	<b>E施計</b> 回	븨								*	: 里点	ノフンジ	《当月	収組、♡	鬼息	プラン該	当事業
	取	組	3-5-1	都市間交流	の促	焦												
	1	事業名	姉妹	都市等との交流	事業													
			野での市」	内の姉妹都市等との 民レベルの交流を促り 解を深める。			H 29 年度	<b>卢</b> 容	①海外で、シアプラングでは、アンプラングで、アンプラングで、アンプラングで、アンプラングでは、アングでは、アンプラングでは、アングでは、アンプラングでは、アンプラングでは、アンプラングでは、アンプラングでは、アンプラングでは、アンプラングでは、アンプラングでは、アンプラングでは、アンプラングでは、アングラングでは、アングラングでは、アングラングでは、アンプラングでは、アングラングでは、アングでは、アングラングでは、アングラングでは、アングラングでは、アングでは、アングラングでは、アングラングでは、アングラングでは、アングでは、アングでは、アングでは、アングラングでは、アングラングでは、アングラングでは、アングラングでは、アングラングでは、アング	流等) や 姉妹都 フェスラ	市ペー	の他の変われている。	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	画· 甫助	書の交制度の	換等) 実施	の見 (対前年	方向性 込み 下度 臨拡 継 臨拡 職拡 時充
									方向性 対前年度比)	継続		業費 (万円)	9.1		市負担分	9.1	H33 年度	継続
		担当課	部名	市民文化部	課名	文	化	辰身	興課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	F
	2	事業名	茨木	市国際親善都市	協会社	甫助事	業											
		目のび	生との交流	等との交流や、在住タ 充事業を実施する茨ァ の活動を支援する。			H 29	<b>卢</b> 容		大会、在	E住	外国人	と市民	との	交流イク	ミント	の見 (対前 <sup>4</sup> H30 年度	方向性込み手度比)継続
		概要	【関連取組		とを推進	する	年度		45%	) D()	\/\/\	·III EI M	VANCE OF THE	3113 [/	<i>M A</i>	· 1111+5	H31 年度	継続
			ための環境	竟整備】													H32 年度	継続
									方向性 対前年度比)	縮小		業業費 (万円)	1.8		市負担分	1.8	H33 年度	継続
		担当課	部名	市民文化部	課名	文	化技	辰身	興課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>

### ★: 重点プラン該当取組、<br/> ・<br/> 重点プラン該当事業

	取	組	3-5-2	地域国際化	とを推済	進する	たと	かの	D環境	整備		<u> </u>	, , , , ,			
3	3	事業名	【再	掲】茨木市国際親	善都商	市協会	補	助	事業							
			<i>h</i> ≠ <i>h</i> ±≠/ <del>+</del>	等との交流や、在住	か団」。	<b>郊</b> 学			①###	郑古笙	への声早	訪問団の派	連め 本言	五フ	事業の の見 (対前 <sup>年</sup>	込み
		目的	生との交	流事業を実施する茨 の活動を支援する。			H 29 年	内容	ピーチ	大会、在	E住外国人	と市民との 発親善都市	交流イベン	<b>/</b> }	H30 年度	継続
		概要		1976到で又後する。 狙:3-5-1 都市間交流	赤の促進	<b>£</b> ]	年度		中已天	0E 7 SV	人八八八四四		<i>M</i>	m+9J	H31 年度	継続
					/IL V /  AC AE	= 1									H32 年度	継続
									<b>方向性</b> 前年度比)	縮小	事業費 (百万円)	1 (1 × )	市負担分 5万円)	(1.8)	H33 年度	継続
		担当課	部名	市民文化部	課名	文	:化	長興	課	会計区	分	一般	事業区分		ソフ	,

4	事業名	地址	或国際化推進事業														
		古内で生	-活する外国人が生活	1 & t1	ハトゔ								って、本戸			事業の の見 (対前年	込み
	目的	市民ハン	にはする不国人が主命 ドブック等の刊行物の で可能な職員の配置な	多言語	化や、	H 29	内容	ニーズ	を把握し	J. 5	• • •	–	送付し、 って住み			H30 年度	拡充
	概要		本人も共に生活できる			年度		づくりを	推進す	る						H31 年度	継続
		11 70														H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	臨時 拡充	-	事業費 事万円)	2.2	うち市負担!	2	2.2	H33 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文	化技	辰興	課	会計区	分		一般	事業	区分		ソフト	

# 【まちの将来像4】

市民・地域とともに備え、 命と暮らしを守る安全安心のまち

「心泉の似安		
まちの将来像	4	市民・地域とともに備え、命と暮らしを守る安全安心のまち
施策	4-1	災害への備えを充実させる
施策の 方向性		制の確立と防災意識の高揚を図り、行政や市民等が災害や有事に際しての役割を認識し備えるとともに、の促進や雨水対策など災害に強い安全で安心して暮らせるまちづくりを進めます。
	1	★ 防災体制の強化
	2	★ 防災意識の高揚
取 組	3	★ 建築物の耐震化の促進
★:重点プラン	4	上下水道施設の耐震化
該当取組	5	★ 総合的な雨水対策の推進
	6	安威川ダムによる治水対策
	7	

2 }	実施計画	<u> </u>									*	r:重点	プラン該	核当 I	取組、◎	重点	プラン該	当事業
耳	双 組	4-1-1	*	防災体制の	強化													
1	事業名	災領	害時庁	舎機能維持	事業													
		十.相	〈字吐	庁舎が使用不	451.7×10	E M			<b>ਲ</b> ⇔ 0	矢座に	田立	エスタ/	の職品の	H +lt-	常食につ	21.	の見	方向性 込み 拝度比)
		に災害対	<b> </b> 策本部	ハ音が使用や 『を設置した場で る電源設備等を	合等災	害対策	H 29 年	内容							情報収集		牛度	臨時 拡充
	概要	(茨木市	業務継続	続計画【地震災 における現状	〔害編】)	)	度										H31 年度	-
																	H32 年度	-
									方向性 前年度比)	-		事業費 百万円)	-		市負担分		H33 年度	-
	担当課	部名		総務部	課名		総	务課		会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	F
2	事業名	<b>→</b> F	寺避難	地防災機能	強化	事業												
		して選定 めるため	木市地域防災計画において一時避難地とて選定している都市公園の防災機能を高るため、市内14か所の都市公園に、かまどンチ、マンホールトイレ等の防災施設を整する。(水尾、、)、民食、, 島ふれあい、若園、大海、大海、大海、大海、大海、大海、大海、大海、大海、大海、大海、大海、大海、													の見	方向性、込み、手度比)	
	目的 及び 概要	備する。 中央(南	(水尾、 )、桑田		tあい、 j、耳原	若園、郡			③前年 (保管)	度及び 車、パー	テー				の資機 獲所用シ		<b>在</b> 度	継続完了
		公園·岩	倉公園/マンホー	は整備済み)ま -ルトイレ用パ-	た、保管	ぎ庫を			,,,	16万円)		= 4Hz ±th	ı				H32 年度	-
		の用去で	. 床 目 9	്ച <u>ം</u>		Г			前年度比)	拡充		事業費 百万円)	564.6		市負担分	26.5	H33 年度	_
	担当課	部名		総務部	課名	危	機管	管理	課	会計区	分		一般		事業区	分	ハー	ド
3	事業名	◎ 自∃	主防災	組織運営育	成事	業												
									②地域	防災組 訓練・研	开修	会等の	支援	+岱	与(1か)	단상부 다	の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 ,込み 手度比)
	目的 及び	_ , .,, . ,		i化を図るため  育成を図る。	自主防犯	災組織	H 29	内容	見込	275万円	])				5(1//5)		H30 年度	継続
	概要	【関連取	組:4-1-	-2 防災意識の	高揚】		年度			士資格					を 10/1		H31 年度	継続
									-937 00.	->							H32 年度	継続
									方向性 前年度比)	拡充		事業費 百万円)	7.8		市負担分百万円)	7.8	H33 年度	継続
	担当課	部名		総務部	課名	危	機智	管理	課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<u> </u>

4	事業名	受料	 爱計画策定及び業		虚計画	i修	下 事 業							
	7 7 7 7		Fに他の自治体や関係				工于术						の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び 概要	面からの て、支援 前に定め	支援を最大限活かすこ を要する業務や受け入 た受援計画の策定を 防災計画、業務継続請	_とを目 、れ体制 検討す	的とし  を事 るととも	H 29 年 度	内 平成30容う。	年度以	降の策定に	こ向けて	、調査•研究	だを行	H30 年度 H31 年度 H32	-
			(n = (1) =				方向性 (対前年度比)	-	事業費(百万円)	-	うち市負担分(百万円)		年度 H33 年度	_
	担当課	部名	総務部	課名		機能	<b>管理課</b>	会計区	分	一般	事業区	r)	ソフ	F
5	事業名	災害	<b></b> 手用備蓄品増強更	新業科	务									
		な拠点に	を拡充するため、岩倉 するとともに、全避難所	近に収糸	内保管				新(1,542万 ,300食、毛		በ <i>ቱት</i> ና		の見	方向性 込み 拝度比)
	及び	所には既	する。(※避難所75か に設置済みのため新 。)また、既設の各備者	たに397	か所に	H 29 年	容 ②既存	拠点の間	耐震化措置 配備計画1	量(90.87	万円)		年度 H31	継続継続
			、医薬資機材等の更新			度							年度 H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	18.3	うち市負担分 (百万円)	18.3	H33 年度	継続
	担当課	部名	総務部	課名	危	機領	<b>管理課</b>	会計区	分	一般	事業区	ने	ソフ	<b>١</b>
6	事業名	◎ 防災	災情報システム等例	呆守業	務									
	目的	等提供業	y等を収集するため、防 務を委託するとともに うため、防災情報WEF	、情報信	云達を	H 29	防災情	報シスラ	テム、いばか		報WEBペー プ、防災行I		の見	方向性 込み 手度比) 継続
	及び 概要	災情報シ	バステム、いばなびマッジ 守を委託している。(呼	プ、防災	く行政	年度	線の保	守管理等	等の委託				H31 年度 H32	継続
							方向性		事業費		うち市負担分		年度 H33	継続
							(対前年度比)	継続	(百万円)	11.0	(百万円)	11.0	年度	継続
	担当課		総務部	課名			管理課 	会計区		一般	事業区	र्जे	ソフ	<u> </u>
7	事業名	SN	S(ソーシャル・ネッ	ソトゾー	ーキング	/ • ·	ケービス) 	古用仇	E進事業					
			は収集・伝達の方法とし イッターなどのSNSを			н	内 ① 緊急	時におり	ナる関係護	の運用	マニュアルの	り検	の見	方向性込み手度比)
	目的 及び 概要	効に活用 の運用マ	lするため、緊急時にま ニュアルを作成すると	さける関 ともに、	係課 関係	29 年度	容討	., 401	- PANIMI	~ <u>~</u> /14			年度 H31	継続継続
			して、職員に災害時に ・周知する。	.わける	店用の	及							年度 H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	総務部	課名	危	機智	<b>学理課</b>	会計区	分	一般	事業区	4	ソフ	<b>.</b>
	担当誄	即省	松/穷司)	<b></b>	)면	/ 残事	3	云訂区	ח	7月文	争来区	. J.	ソノ	ı`

	事業名	⊚ l/± (	<u></u> 災コミュニティ醸成化	口准す	一类									
8	尹禾位		ペコミユーノイ(職成) での救急・救助活動や、											
		ける組織 災の主役	の扱忌・扱助活動や、 的な運営などにおいて として住民による助けり、住民の力を積極的	は、地合いの	域防 活動が								の見	方向性 ,込み ∓度比)
	目的 及び	る。そのか	での防災体制を構築 とめ、自主防災組織の	未結成	地域	H 29	内 ①関係	団体との	の連携事業	きの実施			H30 年度	継続
	概要	化してい	への働きかけを行うと。 るところは活動の活性	化を図る	5。ま	年度							H31 年度	継続
		る。さらに	防災組織への女性の は、関係団体と連携し	、関係	団体等								H32 年度	継続
		の活動を う、協働し	通じて、防災意識の高 た取り組みを行なう。	揚が凶	れるよ		方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	総務部	課名	危	機管	<b>管理課</b>	会計区	分	一般	事業区	ने	ソフ	<u>۲</u>
9	事業名	避難	維行動要支援者デ	ータキ	<b>共有化</b>	事	業							
		者名簿の	障害者等の災害時避難 か作成が市町村に義務	付けられ	れ、関		総築と				養会、自主防調整を順次:		の見 (対前4	方向性 込み 年度比)
	目的 及び	ている。	連携し対象者全員の。 国は、災害時にこの名	尊を活た	いすた	H 29	内る。				を交わす。	_ ′	H30 年度	継続
	概要	奨してい	から支援関係団体と情るため、厳格な個人情	報保護	を念頭	年度	9 1111		ステムの保		2,41,70		H31 年度	継続
			支援関係機関と調整を :接体制づくりを進める。		<b></b> 也								H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	1.2	うち市負担分(百万円)	1.2	H33 年度	継続
	担当課	部名	健康福祉部	課名	福	祉	汝策課	会計区	分	一般	事業区	ने	ソフ	<u> </u>
10	事業名	指定	它避難所運営体制	強化	事業									
		避難者の	を 害時の避難所におい 健康管理、生活環境 保、男女のニーズの遺	やプライ	バ						ニュアルに		の見	方向性 込み 年度比)
		要配慮者	でのための対策など様々である。 であため、各避難所の	マな課題	夏に円	H 29	容モデル	的にマニ	ニュアルを	作成し、	どの内12か ベースとなる		H30 年度	拡充
	概要	者の受入	手順、物資保管や更認に	衣室など	ご各ス	年度	ニュア	レのひな	:形を整備	する。			H31 年度	継続
		ニュアル	を、自主防災組織等の を成する。										H32 年度	継続
		153. 3.3	17947 30				方向性 (対前年度比)	新規	事業費	3.0	うち市負担分 (百万円)	3.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	総務部	課名	危	機管	<b>管理課</b>	会計区	分	一般	事業区	ने	ソフ	<b>١</b>
11	事業名	災害	<b></b> 「種別避難誘導標	識再	整備事	業								
		記号」及	規格において、「災害 び「災害種別避難誘導 定・改正されたことにより	標識シ	ステ		① 打 (1) 打 (1)	避難所	誘導標識の	の標識板	反をJIS規格の	Oピクト	の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 ,込み    東度比)
	目的 及び	改正され	た案内用図記号を標詞 、地域住民のみならず			H 29	か グラム仕	様に変	更する。(1	00枚)			H30 年度	継続
	概要	安全な場	所へ素早く避難誘導 また、全国統一的に進	すること	が可	年度							H31 年度	継続
		害種別記	2号を表示することによ 災害に対応しているか	り、その	避難				<b>市</b> ** #		5 t + 5 t - 11		H32 年度	継続
		出来る。	П				方向性 (対前年度比)	新規	事業費 (百万円)	9.4	うち市負担分	2.8	H33 年度	継続
	担当課	部名	総務部	課名	危	機管	管理課	会計区	分	一般	事業区	ने	ハー	ド

12	事業名	ナーX													
12	7 ~ 1	700	71回的 <b>对</b> 例 <b>以</b> 000 年来												方向性 込み 拝度比)
			きする集中豪雨や大規 ほに対応するため、ため			H 29			・ レメーター プの作成	一の設置	Ī			H30 年度	完了
	及び 概要	日然火き策を推進		ノ他のノノ	∠ [X]	年度								H31 年度	-
							+ 4	臨時	事業費		うち市負担な	1		H32 年度 H33	-
	+0.1/==	<b>₩</b>		<b>=</b> ⊞ <b>A</b> 7	曲1.1	7. 18	方向性 (対前年度比)	拡充	(百万円)	8.1	(百万円)	)	0.6	年度	-
	担当課	部名	産業環境部	課名	長と	みと	り推進課	会計区分	יי די  一般	争亲	区分		ソフ	Γ	
13	事業名	地	籍調査事業												
			<b>E時における迅速な復</b>												方向性 込み 手度比)
	目的 及び	おくことな	意界が明確にされた地 が重要となることから、地	也籍調了	主事業	H 29	内 ①中心 容 査)を3			2籍調査	事業(一	筆 <sup>地</sup>	2調	H30 年度	継続
	概要	るJR茨木	調査)を実施する。中心 市駅周辺の西駅前町			年度								H31 年度	継続
		順次拡大	にしていく。						<del>-</del> ** +					H32 年度	継続
					Г		方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	5.7	うち市負担会		1.8	H33 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	建	設領	<b>管理課</b>	会計区分	· ·	一般	事業	区分		ソフ	<b>F</b>
14	事業名	擁具	<b>達·</b> 法面等点検事	業											
															方向性 込み 拝度比)
	目的		y害を防止する観点から なの道路構造物(擁壁・			H 29	内①擁壁容	•法面等	について.	二次点档	倹を実施	する	0	H30 年度	-
	及び 概要	て一斉点 に、二次	〔検を実施し台帳を整ん 点検を行い、補修計画	備すると 『を策定	とも する。	年度								H31 年度	-
														H32 年度	-
				Ī			方向性 (対前年度比)	完了	事業費 (百万円)	6.4	うち市負担な		3.6	H33 年度	-
	担当課	部名	建設部	課名	建	設領	管理課	会計区分	<del>}</del>	一般	事業	区分		ソフ	<b></b>
15	事業名	◎ 統行	合型GIS基図修正 <sup>™</sup>	事業											
							の航空 託発注	写真をも により市	7年1月1日 とに、平成 域の現況	え27年度 平面図を	から3カケン地形の	年で	、委	の見 (対前 <sup>年</sup>	方向性 込み 拝度比)
	目 り び 要	的に利用する業務	「図を庁内の複数部署 引するため、地形にあっ をH27年度〜29年度の	たもの	に修正	H 29 年度	の航空 託発注 内 のに修 円28年 行う。	写真をも により市: 正を行う 度からH2	とに、平成 域の現況 (実施地区 9年度の)	文27年度 平面図を 文 大木 業務は債	から3カゼ を地形の 市北部) 責務負担	年で あっ: 行為	、委 たも で	の見 (対前 <sup>4</sup> H30 年度 H31	込み
	及び	的に利用	するため、地形にあっ	たもの	に修正	29	の航空 託発注 のに修 H28年 行う。 なお、6	写真をも により市 正を行う 度からH2 年毎の <b>『</b>	とに、平成 域の現況 (実施地区	文27年度 平面図を で 茨木 業務は債 ため、か	から3カヤン を地形の 市北部) 責務負担 て回の委	年で あっ: 行為	、委 たも で	の見 (対前 <sup>4</sup> H30 年度	込み 東度比) 継続
	及び	的に利用する業務	するため、地形にあっ	たもの	に修正	29 年	の航空 託発注 のに修 H28年 行う。 なお、6	写真をも により市: 正を行う 度からH2 年毎の 年度~35 臨時	とに、平成 域の現況 (実施地区 9年度の 更新である	文27年度 平面図を で 茨木 業務は債 ため、か	から3カヤン を地形の 市北部) 責務負担 て回の委	年あった	、委 たも で	の見 (対前 <sup>4</sup> H30 年度 H31 年度 H32	込み 拝度比) 継続 継続

16	事業名	土石	沙災害情報相互通	報シス	ステム	整備	前马	事業								
		土砂災害	<b>うから人命を守るため</b> に	二、山間	部8集			①梅亞	保守点	埝					事業の の見 (対前 <sup>年</sup>	込み
		収集し、	した雨量観測局から雨 中のホームページに掲	載する	ととも	H 29	内容	W 1 1			青報を住員	足及び関	係機関	<b>見と</b>	H30 年度	継続
	概要	情報の基	庁及び府が発表する』 『礎データとして、情報			年度		7.6							H31 年度	継続
		る。													H32 年度	継続
								方向性 时前年度比)	継続	事業費		うち市負担		1.3	H33 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	下力	水道	施	設課	会計区	分	一般	事	業区分		ソフ	<b>F</b>
17	事業名	災氰	<b>等時優先特設公衆</b>	電話の	の設置	事	業									
															事業の の見 (対前 <sup>年</sup>	込み
	目的 及び	,, = 1,, 4,,	後害発生時における通信 、各避難所に設置する			H 29	内容		所(75カ	亦)設	置用電話の	の購入(	109万	円)	H30 年度	-
	概要		の電話機等を購入す		NIX	年度									H31 年度	-
															H32 年度	-
								方向性 时前年度比)	新規 完了	事業費	-	うち市負担		1.1	H33 年度	-
	担当課	部名	総務部	課名	危	機領	宇王	理課	会計区	分	一般	事	業区分		ソフ	<b>F</b>

	取	組	4-1-2	★ 防災意識の	高揚							(·重///.	) ) V 119	\	<del>Will Control</del>	<u>, = , , , , , , , , , , , , , , , , , ,</u>	フン該	コサ木
18	8	事業名	◎ 防災	訓練実施事業														
			能力を高る	職員の防災意識の向	災訓練		Н		②茨木 する。( ③全域	704万P 防災訓	防り練り	炎訓練の こ伴う研	を じゅうしゅう とうしゅう とうしゅう かいまい しょう しょう しょう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅ	量防 施(2	災訓練。 20万円)		の見 (対前 <sup>4</sup> H30	臨時
		及び概要		象にした訓練を実施っ 1:4-1-5 総合的な同	-	で推	29 年 度	谷	④防災 円) ⑤職員		. 12		, ,		水道 (2  する。(	-/*	年度 H31 年度	拡充継続
			進】						円)								H32 年度	継続
									方向性 前年度比)	拡充		■業費 ■万円)	7.6		市負担分	7.6	H33 年度	継続
		担当課	部名	総務部	課名	危	機管	管理	1課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>,</b>
19	9	事業名	◎ 防災	啓発実施事業														
		日的 乃び	前講座なる	【での減災対策を促近 どあらゆる機会を活用	し、住民	足の防	H 29		②大学 ③防災 円)	研修会	台、 ~0	- 土木事: り防災7	アドバイ	ザー	等との退 ・の派遣 卒の実施	(20万		臨時拡充
		押亜	災意識の の防災啓	向上を図るとともに、 発を行う。	様々な世	せ代へ	年度		円)	, 11, 0	<u> </u>	4-21-0	, -	. µ+++/=	/< M	<u> </u>	H31 年度 H32 年度	臨時 拡充 継続
									方向性 前年度比)	臨時 拡充		■業費 ■万円)	0.3		市負担分 万円)	0.3	H33 年度	臨時 拡充
		担当課	部名	総務部	課名	危	機管	管理	1課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<u> </u>

20	事業名	◎女性	生防災リーダー育品	<b>龙事</b> 業	4												
								①女性	防災リー	ーダ	ーが果	たす役割	割人	:実践に	ついて		方向性 ,込み 手度比)
	日的	重要であ	で避難所運営には女 るため、自主防災組織	銭等にま	らいて	H 29		シリース ②女性	べで研修	£ (20	)万円)					H30 年度	継続
	概要	方針決定 成する。	ご過程に参画する女性	リーダー	ーを育	年度										H31 年度	臨時 拡充
												1				H32 年度	継続
					1			方向性 前年度比)	継続	-	漢費 「万円)	0.5		市負担分 万円)	0.5	H33 年度	継続
	担当課	部名	総務部	課名	危	機管	管理	即課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<u>۲</u>
21	事業名	◎ 防災	災啓発冊子作成事	業													
		だけでな	を活かすため、一般的 く、避難時や避難所で  配慮者への対応など	の対応	など災												方向性 .込み 手度比)
			に立った防災啓発冊- に、洪水・内水ハザー			H 29	内容	①転入	者分等	の即	そ存のっ	アップ類	のt	曽刷(74)	万円)	H30 年度	臨時 拡充
	概要		マップを増刷し転入り 訓練等で配布する。	<b>寺又出</b> 育	<b></b>	年度										H31 年度	継続
			組:4-1-5 総合的な雨	可水対策	きの推											H32 年度	継続
		進】						方向性 前年度比)	継続		業費 [万円)	0.8		市負担分	0.8	H33 年度	継続
	担当課	部名	総務部	課名	危	機領	管理	即課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>
22	事業名	【再	掲】自主防災組織	運営	育成事	業	:										
								②地域	防災組訓練・研	肝修	会等の	支援		<b>-</b> /- 2 -	744. N		方向性 .込み =度比)
	目的		(力の強化を図るため) 支援し育成を図る。	自主防	災組織	H 29	内容	見込 2	275万円	)				与(1か)		H30 年度	継続
	及び 概要		組:4-1-1 防災体制の	強化】		年度		⑤防災	士資格					420万円 貴の10/1		H31 年度	継続
								助)85.	3万円							H32 年度	継続
								方向性 前年度比)	拡充		業費 「万円)	(7.8)		市負担分	(7.8)	H33 年度	継続
	担当課	部名	総務部	課名	危	機領	管理	即課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>
23	事業名	◎ 防災	災情報WEBページ	ジの運	営												
																	方向性 ,込み 拝度比)
			を防災ポータルサイト こ見やすく、わかりやす			H 29 年	内容	①防災	WEB~	<b>—</b> Э	グの保守	产管理(	847	5円)		H30 年度	継続
			管理を行う。			度										H31 年度	継続
								t 向州	Inc. 1	車	業費		<b>3</b> +	市負担分		H32 年度 H33	継続
					T		(対	方向性 前年度比)	新規	(百	万円)	0.9		5万円)	0.9	年度	継続
	担当課	部名	総務部	課名	危	機管	管理	即	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	F

									★:重点	プラン認	<b>该当取組、</b> ②	)重点フ	アフン該	当事業
Ħ	文 組	4-1-3	★ 建築物の耐	震化の	の促進									
24	事業名	◎ 既有	<b>F民間建築物耐震</b>	化補具	助事業	Ē								
			から市民の生命及び の住宅・特定建築物の					住宅·共	共同住宅の	耐震診	断•改修補	助を行	の見	方向性 込み 拝度比)
			造住宅、共同住宅の			H 29 年		造住宅	•特定建築	物の耐	震診断補助	かを行	H30 年度	継続
	概要	_				度	う。						H31 年度 H32	継続
		[5-5-4:]	良好な住宅ストックの刑	<b></b> 「				- I	- alle -th		T	Ī	年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	35.4	うち市負担分	15.1	H33 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	居	住耳	<b>汝策課</b>	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b>١</b>
25	事業名	市有	<b>す建築物の耐震化</b>	促進	事業									
		→ <i>→</i> 7.4. //	市有建築物の耐震補強を行うことにより、安											方向性 込み 拝度比)
		全で安心	物の耐農補強を付り して利用できる施設を の補助を活用し、予算	確保す	るた	H 29	容 4棟の	耐震改修	多及び長寿	命化改	善工事	東及び	H30 年度	継続
			画的に耐震診断、耐震		. —	年度	いずれ	も各所領	管課事業で	事業費	を計上		H31 年度	継続
										ī	ı	П	H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	-	うち市負担分 (百万円)	-	H33 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名		建夠	<b></b>	会計区	分	一般	事業区	分	ハー	ド
26	事業名	既有	<b>F民間建築物耐震</b>	化啓	発事業	<u></u>								
											と共に「まち	っまるご	の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	め、民間の	から市民の生命及び の住宅・特定建築物の	耐震化	に対	H 29	容 ②特定	建築物			。 習会等によ	り耐震	H30 年度	継続
	概要		意識の向上を図るとと ついて広く周知を行う		付震補	年度	化に対	する周タ	印を行う。				H31 年度	継続
								- I	± **				H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	0.1	うち市負担分	0.1	H33 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	居	住耳	<b>汝策課</b>	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b>١</b>

	取	組	4-1-4	上下水道於	施設のi	耐震化	;					- 主灬	<i>у у </i> Ф <sub>В</sub>	当取組、	<u> </u>	<i>/</i> ////	) V   A	J 子永
2	27	事業名	下才	x道総合地震対策	<b>等事業</b>													
			Ħ⋢⋽⋏ <del>⋷</del> ⋜⋼	道管路及びポンプ場	の耐電	は強さ、			①答败	施設の	<u>而</u> 十雪字	/ 1824	广本				事業の の見 (対前年	込み
		目的	するため、	・担官路及いホンノ場 、対策内容や実施時 ・地震対策計画」に基	た「下	H 29	内容	②大池	施設の ポンプ! :道BCF	易耐息	喪化コ	-				H30 年度	継続	
				と共に、下水道BCPV			年度		01/1	, EDC1	VJAR						H31 年度	継続
			CMAL 1	<i>`</i> ⊿₀													H32 年度	継続
									<b>方向性</b> 前年度比)	継続	-	業費 万円)	850.9	うち市負担タ	286	6.5	H33 年度	継続
		担当課	部名	建設部	下7.	k道	施	設課	会計区	分	下	水企業	事業	区分		ハー	ĸ	

28	事業名	水ì	道施設等耐震化事	業												
															事業のの見	
	目的 及び	市民に多	そ全・安心な水道水を多	安定供給	する	H 29	内容	①水道 ②管路			<b>隻化</b>				H30 年度	継続
	概要	ため、水	道施設等及び管路の	と行う。	年度									H31 年度	継続	
														H32 年度	継続	
								<b>万向性</b> 前年度比)	継続	-	事業費 事万円)	1735.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	水道部	課名	総務課・	工剂	务課	<ul><li>浄水訓</li></ul>	会計区	分	水	道企業	事業区	分	ハー	ド

	- 40	4.4.5	. w ^ th t> =	-اد- داد:	t- 0 +#	. \#				★:重点	プラン該	《当取組、《	)重点フ	プラン該	当事業
	文組	4-1-5	A 400 E F 3 0 113			進									
29	事業名	◎ 公尹	<b>共下水道整備事業</b>	:(雨水	.)									の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び 概要	よる効率は組み合わ	設及び雨水貯留施設 的な雨水排除とソフトラ せて、雨水に関する に行い浸水被害の最	対策、自 総合的な	助を 対策	H 29 年度	内容	②測量	工事費 設計費 関係負	担金				H30 年度 H31 年度	継続継続
								方向性	継続	事業費	519.7	うち市負担分	48.5	H32 年度 H33	継続継続
	担当課	部名	建設部	課名	下7	<b>火</b> 消		新年度比)	会計区	(百万円)	水企業	事業区		年度	
30	事業名			W 1	1 /	,,,_	C Users 1	23 H/K	And		// 正永	于木匠	- / 3		•
									14枚丁	<del></del>				の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び 概要	効果や機 との連携・	所的なゲリラ豪雨など 能の向上を図るため、 や長寿命化計画に基 に実施する。	下水道	事業	H 29 年度	内容	① / L / L / L / L / L / L / L / L / L /	改修工: 委託	尹				H30 年度 H31 年度	継続継続
		CHIMA)	(L)Che / Do											H32 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	82.5	うち市負担分 (百万円)	82.5	H33 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	下7	水道	施詞	<b></b>	会計区	分	一般	事業区	5分	ハー	ド
31	事業名	水路	各施設の長寿命化	事業											
			!する水路施設は約36											の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び 概要	維持修繕 施設のス	設は日々劣化すること そや改築のコスト増大を トックマネジメントを実 !・改築修繕の一体的/	:招くこと 施するこ	から、 とで、	H 29 年度	内容	①2次	調査(沢	良宜、大剂	也、安威	排水区)		H30 年度 H31 年度	継続継続
			付に水路施設の機能を			,,,	7	方向性	Anic Arte	事業費	10.5	うち市負担分	10.5	H32 年度 H33	完了
	±0.14.50	<b></b>	741124	-m -		بدر	(対1	前年度比)	継続	(百万円)	13.5	(百万円)	13.5	年度	_
	担当課	部名	建設部	課名	F7	<b>水</b> 道	[施]	<b>没課</b>	会計区	分	一般	事業区	公分	ソフ	٢

32	事業名	水缸	路維持事業													
								①水路							の見	方向性 込み F度比)
	目的 及び	保全を図	合風に備え、通水断面の るため、市内の市管理	水路に	つい	H 29	内容	③幹線		渫					H30 年度	継続
	概要	て市調査	Eや地元要望に基づき	維持管	理を行	年度		4除塵	機等点	検					H31 年度	継続
															H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続		業費 (万円)	65.4	市負担分	65.4	H33 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	下	水道	施	設課	会計区	分		一般	事業区	分	ハー	ド
33	事業名	河川	維持事業													
																方向性 込み F度比)
	目的	災害に強	<b>強いまちづくりをめざす</b> ;	ため、市	管理	H 29	内容		丘川、/	[\]	浚渫季	託			H30 年度	継続
	及び 概要	の幹線オ	<路(河川)の清掃・浚浴	巣を行う	0	年度									H31 年度	継続
															H32 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続		業費 万円)	14.3	市負担分	14.3	H33 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	下力	水道	施	設課	会計区	分		一般	事業区	分	ハー	ド
34	事業名	◎テレ	ノメーター運営事業	É												
		近年の目	o o o o o o o o o o o o o o o o o o o	~ ᆉ]	温水			①梅型	の保守	占松	÷.				の見	方向性 込み F度比)
	目的	被害を未	がいいファン家的など そ然に防止するため、市 ゝらの降雨データと主要	「全域の	雨量	H 29	内容	②無停	電電源装置の	装置	置修理				H30 年度	縮小
		位情報を	リアルタイムで把握す めの準備等に活用する	ることに		年度		(a) 1 \(\mu\)	衣匠小	义力	<b>/</b> I				H31 年度	継続
		/ハウガロ男	<sup>20</sup> ~> → MI ユιニロ/ロ )。の	0											H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続		業費 万円)	30.4	市負担分	30.4	H33 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	下力	水道	施	設課	会計区	分		一般	事業区	分	ソフ	١

	取組		4-1-6	安威	川ダム	による	治水	対領	耟					ノノン政		0 11	,,,,,	7	7 7 7 8
35	事業	名	ダム	推進事業															
			安威川流	5域住民の生命	おと財産	を守り、	安全											事業の の見 (対前年	込み
	目的及び	内式	ムについ	くりの推進に必て、大阪府等			H 29	内容		促進							H30 年度	継続	
	概要	更	建設促進					年度										H31 年度	継続
			【関連取締	狙:5-6-4 北部	部地域の	魅力向	〕上】											H32 年度	継続
										方向性  前年度比)	継続		業費 万円)	0.0	ち市負担 (百万円		0.0	H33 年度	完了
	担当	課	部名	都市整備	<b>達備部</b> 課名 北部				- 情指	推進課	会計区	分	-	一般	事業	区分		ソフ	

36	事業名	ダノ	1周辺土地改良事	業													
																事業のの見(対前年	込み
	目的 及び		【整備計画に基づき、3		ダム周	H 29	内容	①車作	地区土	地改	女良事美	業(一越	キ)			H30 年度	-
	概要	辺の土地	也改良事業を推進する。			年度										H31 年度	-
																H32 年度	-
								<b>方向性</b> 前年度比)	完了		業費 「万円)	30.0		市負担分 万円)	16.3	H33 年度	-
	担当課	部名	産業環境部	課名	農と	みど	'り指	推課	会計区	分		一般		事業区	分	ハー	ド
37	事業名	ダル	4周辺道路整備事	業													
		小便协格	₽動供礼品に甘 べもり	선택 1117	r) E											事業のの見(対前年	込み
	目的 及び		【整備計画に基づき、3 3整備事業を推進する。		メム向	H 29	内容	①スポ	レク関連	車道記	路事業	(車作1	号線	录)		H30 年度	継続
	概要		組:5-6-4 市北部地域 組:5-8-2 道路整備の		7向上】	年度										H31 年度	継続
		内连权	班.002 炟珀歪佣。	/1E/E/												H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続		業費 「万円)	26.0		市負担分 万円)	14.1	H33 年度	完了
	担当課	部名	建設部	課名	道	路	交通	)課	会計区	分		一般		事業区	分	ハー	ド

3 過去の実施計画期間中で完了・廃止した事業(担当部課名は事業実施最終年度の名称)

3_	過去のう	<b>『施計画</b> 類	間中で完了・廃止し	た事業	(担当部課名は事業実	施最終年度	きの名称)		
]	仅 組	4-1-1	防災体制の	強化					
E1	事業名	防災	<b>经行政無線等整備</b>	事業	(H28年度事業完了	7)			
	及び		達手段として屋外拡展		るため防災行政無線の き子局を整備している。				
	担当課	部名	総務部	課名	危機管理課	会計区分	一般	事業区分	ハード
]	瓦 組	4-1-2	防災意識の	高揚					
E2	事業名	防災	<b>と情報WEBペーシ</b>	<i>シ</i> のリ:	ニューアル(H28年	度事業完	了)		
	目的 及び 概要				最検索に時間がかかる EBページの構築を行っ		情報を防災ポータ	ルサイトとし	て一元化すること
	担当課	部名	総務部	課名	危機管理課	会計区分	一般	事業区分	ソフト
J	仅 組	4-1-5	総合的な雨	水対策	策の推進				
E3	事業名	⊚ ±0	うステーション整	備事業	美(H28年度事業完	了)			
	11.7	対応した。			:備えるため、浸水既往 設置)	か所等に	事前に土のうステー	ションを設	置しておき迅速に
	担当課	部名	総務部	課名	危機管理課	会計区分	一般	事業区分	ハード

「心泉の似安		
まちの将来像	4	市民・地域とともに備え、命と暮らしを守る安全安心のまち
施策	4-2	消防・救急体制の充実強化を図る
施策の 方向性		災害に即応する消防体制と高齢化社会に対応した救急体制の充実強化を図るとともに、防火意識の向上 火災予防を推進します。
	1	★ 消防体制の充実強化
	2	★ 救急業務の充実強化
取 組	3	火災予防の推進
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

# 2 実施計画

2	実施計画	<u> </u>							★:重点	プラン該	当取組、◎	重点フ	プラン該	当事業
]	仅 組	4-2-1	★ 消防体制σ	充実的	強化									
1	事業名	◎ 職員	員災害対応力充実	強化	事業									
								可の各地域 練の実施	や事業所	听等で様	々な災害を	⊱想定		方向性 込み 拝度比)
			の災害対応力向上の学校等訓練施設への			H 29 年			施設を活	5用した?	実践的な訓	練の	H30 年度	継続
	概要	実施する	0			度							H31 年度	継続
													H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)		事業費 (百万円)	1.8	うち市負担分 (百万円)	1.8	H33 年度	継続
	担当課	部名	消防本部•消防署	課名	消	i防約	総務課	会計区分		一般	事業区	分	ソフ	<b>\</b>
2	事業名	消防	方団充実強化事業	É										
	目的	雨、発生	年多発している局地 が懸念されている南海 害対応能力を強化し	ようフ 地	1震等	н	内の夕和	背等の整備 5%実に対		- め消防!	団の訓練内	での	の見 (対前4 H30	方向性 込み 拝度比) 継続
	及び概要	の向上を 消防署と	図る。 の連携強化を図るとと を整備し活動しやすい	・ - / · · :もに、消	防団	29 年 度		消防署・消				14.0	年度 H31 年度 H32	継続継続
		正定りる	o				方向性 (対前年度比)	継続	事業費	4.2	うち市負担分 (百万円)	4.2	年度 H33 年度	継続
	担当課	部名	消防本部·消防署	課名	消	i防約	総務課	会計区分		一般	事業区	分	ソフ	<b>-</b>
3	事業名	◎ 消防	ち車両・機器整備	事業										
														方向性 込み F度比)
	目的 及び		・資機材を計画的に	更新整備	もし、	H 29	内容①性能	色の向上を	図った消	i防車両	・資機材の	尊入	H30 年度	継続
	概要	消防体制	の充実強化を図る。			年度							H31 年度	継続
													H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	127.4	うち市負担分 (百万円)	107.8	H33 年度	継続
	担当課	部名	消防本部·消防署	課名		警侦	<b></b>	会計区分		一般	事業区	分	ハー	ド

4	事業名	◎ 高橋	幾能消防総合情報	システ	ム整位	備事	<b>事業</b>	É								
		ル巛·救	急等をはじめとする各	<b>插</b> 消防液	壬動を										事業の の見 (対前4	
	目的	統制する	通信指令業務を迅速防活動の効果的運用	かつ的研	雀に処	29	内容	H30年	度新規?	実施	予定				H30 年度	新規
	概要	現在運用	目中の高機能消防総合 日中の高機能消防総合 日に更新整備する。		年度									H31 年度	完了	
		で 日 日 日 日 日	70年 対 登 畑 す る。												H32 年度	_
							<b>方向性</b> 前年度比)	1	-	業費 万円)	-	ち市負担分 (百万円)	_	H33 年度	_	
	担当課	部名	消防本部·消防署	課名		警侦	前課	Į.	会計区	分	-	一般	事業区	分	ハー	ド

			_								*	(:里.尺.	ノフン診	(当取組、)	9里只,	ノフン該	当争業
I	10 組	4-2-2	*	救急業務の	)充実	強化											
5	事業名	救急	安心	シセンターお:	おさか	運営事	<b>事業</b>	É									
																の見	方向性 込み 年度比)
	目的 及び	* 1. * 1.		大阪市消防局内護師が医師の関			H 29	内容		やケガの機関の			応急手	当の助言		H30 年度	継続
	概要	医療相談			4 H V O		年度									H31 年度	継続
																H32 年度	継続
									方向性 前年度比)	継続		■業費 ■万円)	5.2	うち市負担分 (百万円)	5.2	H33 年度	継続
	担当課	部名	消防	方本部・消防署	課名		警侦	備課		会計区	分		一般	事業区	≅分	ソフ	<u>۲</u>
6	事業名	◎ 救急	業	<b>务の高度化推</b>	進事業	Ě											
			①救急救命士に対する医療機関での病院研修												の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み 年度比)	
	目的 及び	置を行うた	めの	資格の取得や	医学的見	地を	29	内容	③救急	業務に	携制	つる職員		:育・指導を	:行う	H30 年度	継続
	概要	深めるための向上に		₩修を行い、救急 る。	像隊員の	資質	年度		指導	<b>汝命士</b> 」	の育	育成				H31 年度	継続
																H32 年度	継続
									方向性 前年度比)	継続		事業費 百万円)	3.4	うち市負担分 (百万円)	3.4	H33 年度	継続
	担当課	部名	消防	5本部・消防署	課名	救	急排	效助	課	会計区	分		一般	事業区	区分	ソフ	<b>١</b>
7	事業名	◎ 応急	手	当の普及啓発	活動。	事業											
																の見	方向性 込み 年度比)
	目的 及び			及啓発を行うこと		心肺	H 29	内容	①救命	講習会	の閉	昇催				H30 年度	継続
	概要	蘇生法が	できる	る人の増加を図る	5.		年度									H31 年度	継続
																H32 年度	継続
									<b>方向性</b> 前年度比)	継続		事業費 百万円)	0.5	うち市負担分 (百万円)	0.5	H33 年度	継続
	担当課	部名	消防	5本部・消防署	課名	救	急排	<b></b> 数助	課	会計区	分		一般	事業区	区分	ソフ	<u>۲</u>
												1					

取	組	4-2-3	火災予防σ	推進												
8	事業名	火災	《予防推進事業													
															の見	)方向性 見込み 年度比)
	目的 及び	大火を不然に防止りるため、大火「防仏部」				H 29		<ul><li>①市の</li><li>誌等を</li></ul>						広報	H30 年度	継続
	概要	火災を未然に防止するため、火災予防広報 を充実する。		年度									H31 年度	継続		
												H32 年度	継続			
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続		事業費 5万円)	0.5	市負担分	0.5	H33 年度	継続
	担当課	部名	消防本部•消防署	課名		予修	方課		会計区	分		一般	事業区	分	ソフ	<b>١</b>

「心泉の似安		
まちの将来像	4	市民・地域とともに備え、命と暮らしを守る安全安心のまち
施策	4-3	防犯や多様な危機への対策強化を図る
施策の 方向性	策を講し	安全安心を脅かすものとして、犯罪や迷惑行為等、モラル低下によるさまざまな問題があり、これまでから対じていますが、今後も効果を検証し、内容の見直しを図りながら、取組を発展させなければなりません。また、症やテロ行為等の市民生活を脅かす多様な危機についても想定し、その対策を進める必要があります。
	1	防犯環境の整備
	2	★ 防犯活動への支援及び市民の防犯意識の向上
取 組	3	多様な危機への体制整備
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

2 :	実施計画	国									★:重点	ブラン診	<b>发</b> 当	取組、◎	重点	プラン該	当事業
Į	仅 組	4-3-1		防犯環境の	整備												
1	事業名	暴力	カ団	排除条例関係	事務	事業											
		星力団質	\$17 F	る不当な行為そ <i>0</i>	の併基さ	カ田学			当要求	行為等	務事業に に対して。 こ「茨木市	組織的	な取	り組みる	と行う	不 の見 (対前	)方向性 見込み 年度比)
	目的 及び	を利する	行為	を防止し、社会全 進し、もって市民	体で暴	力団	H 29	内容	関する		- ' (A / N II ) 、 排除す					H30 年度	継続
	概要	平穏を確	保す	るとともに、社会総 与することを目的	圣済活動	動の健	年度		②行政	対象暴	力対策連		会を	開催		H31 年度	継続
		土な元本	£(⊂ ⊨1	7 9 OCC 2 HH	JC 9 200				(a) C 9 .	よに大り	(冊日云)	ノ ガ  住				H32 年度	継続
								(交)	方向性  前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0		市負担分	0.	0 H33 年度	継続
	担当課	部名		総務部	課名		総利	务部	果	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	۲.
2	事業名	庁領	<b></b>	犯カメラ設置事	事業				•		·						
		おいて、	犯罪	不特定多数が利等を未然に防ぐ抑	1止効果	が期	H 29	内容	(6年以	ース契約	<u>-</u> 、庁舎に 句)	12台設置	置(I	H27.10)	を継ん	の見	D方向性 見込み 年度比) 継続
	及び 概要	の証拠資	料と	、万が一犯罪が多して活用可能とな プ12箇所に設置で	ることか		年度	ш	・南館	2台 5舎4台						H31 年度 H32	継続継続
									方向性 計前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1.1		市負担分	1.	年度 1 H33 年度	継続
	担当課	部名		総務部	課名		総系	务訓	果	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	۲.
3	事業名	防	[]カ	メラ設置補助事	事業						•						
								(D. ph. )/s	^ + <b>-</b> 1.4	名以材料					の見	)方向性 見込み 年度比)	
	目的	頭犯罪を	抑止	置事業補助要綱に するため、地域の	危険か	所に	H 29	内容	100千月		象に補助 3=2,000 3本更	千円				H30 年度	拡充
	及び 概要	防犯カメ う。	ラを説	设置する自治会に	対し補	助を行	年度		※上	収冒数0	ノ変史					H31 年度	拡充
																H32 年度	継続
									方向性 <sup> 前年度比)</sup>	拡充	事業費 (百万円)	2.0		市負担分	2.	0 H33 年度	継続
	担当課	部名		総務部	課名	危	機智	管理	里課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	۲.

4	事業名	通常	<b>全路見守り用カメラ</b>	設置	事業										
															方向性 ,込み 手度比)
	目的 及び		安全対策として全小学	学校区に	_防犯	H 29		カメラの  契約期	運用 間:平成28	8年10月	~平成33	年9月	月)	H30 年度	継続
	概要	カメラを認	せ置する。			年度								H31 年度	継続
									-t- alle -th					H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	15.2	うち市負担を		2.7	H33 年度	継続
	担当課	部名	総務部	課名	危	機管	管理課	会計区	分	一般	事業	区分		ソフ	<u>۲</u>
5	事業名	防衫	2灯LED化補助事	業											
							①補田	1金の交付	<del>(. </del>						方向性 ,込み 年度比)
			防犯活動を支援するだる る防犯灯を対象に、L			H 29	蛍光灯		250灯					H30 年度	継続
			うとする自治会に対し			年度	E SUNI	201190	2/1					H31 年度	完了
														H32 年度	-
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	1.8	うち市負担を		1.8	H33 年度	-
	担当課	部名	建設部	課名	建	設管	管理課	会計区:	分	一般	事業	区分		ソフ	<b>١</b>
6	事業名	街路	各灯設置事業												
															方向性 ,込み =度比)
		夜間の安 灯を設置	全通行と犯罪防止対	策として	、街路	H 29	<b>内</b> ①新設	:要望に。	よる街路灯	「の設置				H30 年度	継続
	概要	N CWE	.) 20			年度								H31 年度	継続
														H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	8.0	うち市負担を		8.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	建	設管	管理課	会計区:	分	一般	事業	区分		ソフ	<b>١</b>
7	事業名	防犭	2灯維持管理補助	事業											
															方向性 ,込み =度比)
	目的 及び		理の防犯灯について 申請により、毎年、電			H 29	内容①補助	金の交付	付					H30 年度	継続
	概要	を補助し	、自治会の負担軽減を 、自治会の負担軽減を	ス(TW) と図る。	ou /0	年度								H31 年度	継続
														H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	2.9	うち市負担名		2.9	H33 年度	継続
													_		

	取	組	4-3-2	★ 防犯活動へ	の支持	爰及ひ	市	民	の防犯	意識(		X2	<u> (新取組、</u>	<b>○</b> 至 //	W/ /\		<u> </u>
8		事業名	◎ 防犯	パトロール強化え	支援事	業											
				安全パトロールを実施 爱するため、青色回頓			Н	内容	204		、ステッカ 年で実施		最装置の貸	与	(\$	の見 対前年 130	方向性 込み F度比)
		及び 概要	カー、広幸	服装置を貸与するとと ・ル車の塗装を警察車	もに、青	色防	29 年 度	谷	②青色	防犯パ	トロール	を塗装	する		白	F度 131 F度 132	-
									方向性 計前年度比)	継続	事業費	1.1	うち市負担分 (百万円)	1	1 F	F度 133 F度	-
		担当課	部名	総務部	課名	危	機管	管理	里課	会計区	分	一般	事業	区分	•	ソフ	<b>,</b>
9		事業名	8 防犯協会負担金事業														
															の見	方向性 込み F度比)	
		157 K	防犯協会の活動を支援するため負担金を支出する。					内容		会への	負担金の	支出			白	H30 F度	継続
		概要	出する。				年度								白	131 F度	継続
										10		_			年	132 F度	継続
									方向性 <sup>打前年度比)</sup>	継続	事業費	4.5	うち市負担分(百万円)	4		133 F度	継続
	-	担当課	部名	総務部	課名	危	機領	管理	里課	会計区	分	一般	事業	区分		ソフ	\

取	双組	4-3-3	多様な危機	<b>へ</b> の体	本制整	備						ノ ノ <i>ン iy</i>		,,,		7	<u> </u>
10	事業名	【再	掲】感染症予防対	策事業	<b></b>												
			フルエンザ等、実際に 合に対策が取れるよう					①市マ	ニュアル	~のĵ	策定					事業の の見 (対前年	込み
	11 0/2		感染症の予防について 指導を行う。	て、蔓延	防止	H 29	内容	3新型	インフル	ノエ)	/ザ発	民への原 生時の特			务	H30 年度	継続
	概要					年度		員)の第	尾施に向	1け7	こ調整					H31 年度	継続
		【関連取締	組:1-5-3 感染症予防	方対策】												H32 年度	継続
								方向性 时前年度比)	継続		業費 万円)	(0.1)	うち市が		(0.1)	H33 年度	継続
	担当課						医护	<b></b> 療課	会計区	分	-	一般	4	事業区分	}	ソフ	<b>\</b>
11	事業名	8 国民保護計画関連事業															
															事業の の見 (対前年	込み	
	目的	***						1 ①国の				穿を踏ま ☆修正す		適切など	內容	H30 年度	継続
	蜘菇	及り 両な仮工ナスレレナ け 日、陸離ればの目は														H31 年度	継続
															H32 年度	継続	
								方向性 対前年度比)	新規		業費 万円)	0.2	うち市が		0.2	H33 年度	継続
	担当課	部名	総務部	課名	危	機智	許	里課	会計区	分	-	一般	Į.	事業区分	}	ソフ	\

### 3 過去の実施計画期間中で完了・廃止した事業(担当部課名は事業実施最終年度の名称)

I	文 組	4-3-1	防犯環境の	整備							
E1 事業名 地域安全センター設置促進事業(H28年度事業完了)											
	及び	防犯ボラン	ける防犯活動に取り ティアの拠点である。 な暮らしの実現を図る	地域安全	ンティア団体と、学校、 全センターを設置する	、行政、警察 地域団体に	系が連携した取り組 に対して補助金を交	lみを推進す で付すること	rるため、地域の により、市民の安		
	担当課	部名	総務部	課名	危機管理課	会計区分	一般	事業区分	ソフト		

1 旭泉の似安		
まちの将来像	4	市民・地域とともに備え、命と暮らしを守る安全安心のまち
施策	4-4	消費者教育を推進し、自立した消費者の育成に努める
施策の 方向性		活相談、消費者教育・啓発事業の充実を図りながら消費者意識を高め、自立した消費者を育成するととも 及業務の充実や適切な情報提供などにより消費者の安全・安心の確保(消費者保護)に取り組みます。
	1	消費者教育・啓発の推進
	2	消費者相談の充実
取 組	3	
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

### 2 実施計画

### ★: 重点プラン該当取組、<br/> の重点プラン該当事業

É			4									· ± ////	/ / V II/	<u> </u>	収組、	/ 生///	N/ /	ν μ/Λ -	J + / / _
	取	組	4-4-1	消費者教育	₹	の推	進												
	1	事業名	消費	骨者教育推進事業	É														
		学校関係者、消費者団体、市民団体、事者など多様な消費者教育の推進主体者。 もに、イベント、出前講座などあらゆる機会 通じ、消費者の基本的な権利と責任、契							②消費 実施	誌、啓察 生活展 会、セミ	なと	アンドラス	ベント等	争の	団体との	)共同	i i	の見	方向性 込み =度比)
		目的	もに、イヘ	シト、出前講座などあ	らゆる様	幾会を	H 29	内容	④啓発	パネル	及て	<b>FDVD</b>	の貸出し		へ//L )支援事	**(3	4	H30 年度	拡充
		及び 通じ、消費者の基本的な権利と責任、契			然防	29 年 度		齢者見	守り)					生に関す	,,,,,,,	`	H31 年度	拡充	
			止、社会や環境への影響をも考慮した物の 選択、活用ができる消費者の育成を図る。						携事業			- * 7 行月	. 但 秋日	1比人	匹(C)天)	, ⊘Æ	-   F	H32 年度	継続
									<b>方向性</b> 前年度比)	拡充	-	業費 (万円)	4.9		市負担分	4.		H33 年度	継続
		担当課	部名	市民文化部	課名	市民	:生剂	舌相	談課	会計区	分		一般		事業区	分	•	ソフト	`

	取	組	4-4-2	消費者相談	め 充 い	実											
2	:	事業名	消費	生活相談事業													
			的かつ合理 め、消費者	皮害の防止及び救済 里的に行動できるよう である市民と事業者		るた 発生し			②関係	機関と	連携	多し、より		oせん  題解決を	:図る	事業の の見 (対前 <sup>4</sup>	込み
				・解約等に関わるトラ ・あっせんを行う。ま			H 29		<ul><li>③相談</li><li>④事業</li></ul>					度の教示		H30 年度	継続
		概要	対する消費	'一に直接相談できた。 骨者保護を図るため、	既存の	セーフ	年度		<ul><li>⑤社会</li><li>への参</li></ul>		議会	会の地域	ず福祉ネ	ットワーク: -	会議等	F H31 年度	継続
				'ークを活用し、高齢 どもの安全、地域の												H32 年度	継続
			機関と連携	等した相談を展開する	5.				方向性 前年度比)	継続		事業費 事万円)	15.8	ち市負担分 ( <b>百万円</b> )	15.0	H33 年度	継続
		担当課	部名	市民文化部	課名	市民	生?	舌相	談課	会計区	分		一般	事業区	分	ソフ	<b>F</b>

# 【まちの将来像5】

都市活力がみなぎる便利で快適なまち

一心束の似女		
まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-1	地域経済を支える産業をまもりそだてる
施策の 方向性	整備を依また、商	農林業は、都市近郊立地の特性をいかし、都市と農村の交流を基軸とした地産地消の取組や、適切な森林 促進するとともに、地域ぐるみでの営農や市民、企業等の新たな担い手を育成します。 引店街が便利で楽しみのある場所として、買い物客や地域住民で賑わい、市内企業が安定的に事業を継続 を遂げるなど、活力あふれるまちづくりを進めていきます。
	1	★ 農林業の振興
	2	★ 都市と農村の交流活動等による活性化
取 組	3	★ 商業の活性化
★:重点プラン	4	企業活動への支援
該当取組	5	
	6	
	7	

2	実施計画	<u> </u>								★:重点	プラン該	核当取組、	◎重.	点プラ	ラン該	当事業
I	反 組	5-1-1	★ 農林業の振	興												
1	事業名	◎ 新規	農業者養成事業	È												
		等により担	い手の高齢化や若者 !い手が不足し、将来 と考えられ、今後、持	、農地の	り遊休			①農業	体験の	宇썲					事業の の見 (対前年	
	目的	推進には	都市住民等に農業に があることから、市民・	興味を	持って	H 29	内容	②国の	給付金	ス心 を活用した ァーム受講					H30 年度	継続
		象とした農	業体験を実施し、農 見就農に結びつける。	家への	援農や	年度		<b>心</b> 及木	: r==@/\ > /	, — <u>Д</u>	F [ (C)]	) J.J.			H31 年度	継続
		営農技術	を取得しているものに 目して、農業経営をサ	対し、	国の給										H32 年度	継続
		1.1 亚石1口)	刊して、展末性音です	71, I.	7 200			方向性 前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	5.0	うち市負担ダ			H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	農と	みど	り推	進課	会計区	分	一般	事業	区分		ソフト	
2	事業名	有害	獣対策事業													
		有害獣に	よる農作物被害の防」	止を図る	<b>がため、</b>			0.+c	· × · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		Ŀ <u>l</u> Ъッ→	<b>-</b> +∞		(	の見 (対前年	
	及び	イノシシ・プ 有害獣防	アライグマ等の捕獲活 止柵・網の設置に対し	動の実	施やを行	H 29 年	内容			栅設置に対 対する支払		(接			H30 年度 H31	継続
	似女	い、辰楽的る。	<b>を営の安定化と地域</b> €	77百1生11	<b>4</b>	度									年度 H32 年度	継続継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	2.6	うち市負担分(百万円)			H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	農と	みど	り推	進課	会計区	分	一般	事業	区分		ソフト	
3	事業名	環境	保全型農業推進	事業												
		<b>小玄州</b> , 师	Z益性の高い作物のヨ	용당 오늘	<b>₩</b>			① <b>エ</b> コ	農産物の	の栽培支援	至				事業の の見 (対前年	
		術、営農技	旨導を行い、エコ農産	物の栽	培や	H 29		③農業	祭や広	を活用した 報誌等を消	舌用し、			<b>(1)</b>	H30 年度	継続
	及び 概要	ことにより、	慮した環境保全型農 市民に安心・安全な 地消を推進する。			年度		るエコ	農産物の	)情報発信	Ì				H31 年度	継続
		和し、地産	:地ብを推進する。												H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.9	うち市負担ダ (百万円)			H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	農と	みど	り推	進課	会計区	分	一般	事業	区分		ソフト	`

4	事業名	農美	業振興推進事業(j	遊休農	地解	肖马	事業)								
							導		連携した		, ,			の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	A 4714212	会等との連携や集落 市住民等の担い手の			H 29	内の	確保	∄機構や⅓					H30 年度	継続
			他の解消を図る。	EPREI	, , ,	年度		3,430∃	一円	- 2017	,	C122.77C	<i>7</i> 2	H31 年度	継続
									古光井	ı	21.4	- 6 ID ()		H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	拡充	事業費	3.3		万円)	3.3	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	農と	みど	り推進課	会計区分	1	一般		事業区分	١	ソフ	F
5	事業名	遊位	木農地解消事業												
								· o til III il	V3D ₹B →•*					の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び		り推進課等と連携し、修			H 29 年	2農と		「祝調査 生課との⊍ と活用した				事業	H30 年度	継続
	概要						八字辰	:水門皮で	伯用した	-1旦V ·丁	マンル田	. IT		H31 年度	継続
														H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	0.0		5負担分 万円)	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	農業委員会	課名	農業	委員	会事務局	会計区分	ì	一般		事業区分	١	ソフ	<b>١</b>
6	事業名	林美	<b>業推進事業</b>												
			機能を有する森林の				①林業助金を		<b>浄が実施</b> で	よる森林	木整備	前事業へ	の補	の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	の提供を	市と農村の交流の場と 行うほか、林業者団体	が実施		H 29	内 ②森林	病害虫対	対策の実施 公要な林道		<b>华</b> 経	þ		H30 年度	継続
	概要		情作業に対し支援を行う			年度	्रकर्म गा	·正./用 (C.火	小女(よ)作具	ユマン小庄17	1作美	ų.		H31 年度	継続
		【関連取	組:6-2-2 自然資源の	が利用の	推進】			,		ı				H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	14.4		万円)	13.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	農と	みど	り推進課	果 会計区分 一般 事業区分					•	ソフト	

:	取組	5-1-2	★ 都市と農村	の交流	允活動	等(	٦J	る活情	生化						
7	事業名	◎ 農業	美振興推進事業()	農空間	活用	事業	美)								
								_ , , ,		栽培支援				事業の の見 (対前 <sup>年</sup>	込み
	目的及び	直売活動や都市と農村の交流活動を活発化させるため、新たな特産品の栽培・販売支援								品の開発. よるアンラ		足進 プの開設検託	ţ	H30 年度	継続
	概要	や農商連 る。	携を行い、地産地消	の促進を	区区	年度								H31 年度	継続
														H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1.0	うち市負担分 (百万円)	1.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	農と	みど	り推	進課	会計区	分	一般	事業区分		ソフ	,

8	事業名	ふれ	「あい農園管理事	業										
			♪れあう機会と農業を体め、市民農園の管理↓				①講習	会の開作	崔					方向性 込み 拝度比)
	日的	務を市で	成10年よりふれあい農 実施しているが、平成	25年度	とに6箇	H 29	容 ③日常	者の募集の管理は	軍営				H30 年度	継続
	HRIE THE	り、事業弱	園を開園し、業務量が 費及び事務量の削減の	りため、	平成3	年度	⑤指定	管理者	制度の検言	寸			H31 年度	縮小
		1年度より う。	)指定管理者制度によ	る連宮	を打								H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	1.4	うち市負担分	1.4	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	農と	みど	り推進課	会計区	<del>分</del>	一般	事業区	分	ソフ	<b></b>
9	事業名	農業	業祭開催事業											
														方向性 込み 拝度比)
			は産物等を展示し、都同 ことにより、農林業に対			H 29	内容①農業	祭開催(	のための負	担金			H30 年度	継続
	概要		識を深めるとともに、農 農業・農村の活性化を		健全	年度							H31 年度	継続
													H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	5.0	うち市負担分 (百万円)	5.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	農と	みど	り推進課	会計区	分	一般	事業区:	分	ソフ	<b></b>
10	事業名	◎ 北原	長中学校跡地活用	事業										
														方向性 込み 拝度比)
	目的		そや地域住民が交流出 図り、あわせて販売や			H 29	<b>内</b> ①事業 容 ②オー		生の検討 プ場の暫足	官開設			H30 年度	継続
	及び 概要		産品のPRや周辺農地 整備する。	を活用	した体	年度							H31 年度	臨時 拡充
													H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	臨時 拡充	事業費 (百万円)	6.3	うち市負担分 (百万円)	6.3	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	農と	みど	り推進課	会計区	<del>分</del>	一般	事業区:	分	ハー	ド
11	事業名	都下	おと農村交流情報	発信事	業									
							①広報	誌及びI			方向性 込み 拝度比)			
		けるイベ、 行い、都	園などの体験型農園や ントの開催等について 市と農村の交流を促進	の情報	発信を	H 29 年	2農林	業に関係		の発掘	や情報の収	集	H30 年度 H31	継続継続
	170 X	興を図る	0			度							年度 H32	継続
						_	方向性	継続	事業費	0.0	うち市負担分	0.0	年度 H33	継続
	担当課	部名 産業環境部 課名 農					(対前年度比) り推進課	会計区	(百万円)	一般	事業区:		年度ソフ	
			/T/K/K/JUPP	#:· H	1240	, _	> 1 hrv: H/K							

取	又 組	5-1-3	,	<u></u> ★ 商業の活性	化						<u> </u>	ノ ノ マ p/	亥当取組、◎	里点ノ	ノン政	<b>コ</b> 尹 未	
12	事業名	◎ 産業		興アクションプ	プラン推	進事	業										
	目的び要	あるべき	姿」を ランの	ョンに位置付けた 実現するため、資重点施策を中心 対別組む。	H 29 年度	内容の構築性質のでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	・実施を を を を を に向けけ業を に向き に向き に に の に の に の に の に の に の に の に の に と に と	業業ジをお 取	ミナー ミナー ミスプラミ 対象とし めの講	·(入門線 ·(実践線 ン作成せ た貿易 <sup>)</sup>	a) zミナー など海外展 の一部助成	桐に必	の見込み (対前年度比 H30 拡方 年度 拡方 年度 拡方 年度 拡方 日32 拡方 日32 拡方				
	担当課	部名		産業環境部	課名	产	T.ª	(対前年度比)	会計区		万円)	一般	事業区:		* <b>年度</b> ************************************		
13	事業名		厂業	振興補助事業		,,,,						/12.	, ,,,,,,,,				
	目的及び	市内の商 等が行う 設置)、 顧客利便	5 業 門 共 同 災 記 記 ぎ	后性化を促進する 施設関連事業(施 重営事業(活性化 との運営等)、イベ のでで補助する。	H 29 年度		ベント事				巻、共同運営 理事業に補		の見	方向性 込み ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (			
		<b>郡名</b> 産業環境部   課名   商工			方向性 (対前年度比)	拡充		業費	6.7	うち市負担分 (百万円)	6.7	H33 年度	継続				
	担当課	部名		産業環境部	商	ΙŢ	労政課	会計区	分		一般	事業区	分	ソフ	<b>\</b>		
14	事業目及概	市内の商民の市人の商民のでは、本人の商民のでは、本人のでは、大学のいいは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のいいは、大学のいいは、大学のいいは、大学のいいは、大学のいいは、大学のいいは、大学のいいは、大学のいいは、大学のいいは、大学のいいは、大学のいいは、大学のいいは、大学のいいは、大学のいいは、大学のいいは、大学のいいいは、大学のいいは、大学のいいは、大学のいいは、大学のいいは、大学のいいは、大学のいいは、大学のいいは、大学のいいは、大学のいいいは、大学のいいは、いいいは、大学のいいいいは、大学のいいは、大学のいいは、大学のいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	近 大 大 大 大 に 大 に 大 に 大 に 大 に 大 に 大 に 大 に ま に に よ に ま に に に ま に に に に に に に に に に に に に	舗改築(改装) 差施設の活性化を 人が市内で素、飲食 大が市内で素、飲食 (限度額50万円で (限度額50万円での を中心や新規出店 用の一部を補助す	るたている。 き、このでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	H 29 年度	内容 営んで 築・改き ②商店 業種転	いる市 装する場 活街や中 :換や新	民子の記れ	は市内に補助 お街地 <sup>*</sup> お店する	対法人が 金を支約 での小売	記業・飲食業 が、小売店	の改への	の見 (対前 <sup>4</sup> H30 年度 H31 年度 H32	方向性 継続 継続		
		以架•以	<b>表</b> 質	用の一部を補助。	9 Q.			方向性 (対前年度比)	継続	-	事業費 百万円)	5.5	うち市負担分 (百万円)	5.5	年度 H33 年度	継続	
	担当課	部名		産業環境部	課名	商	iΙ	労政課	会計区	分		一般	事業区	分	ソフ	١	
15	事業名	産業	<b>業活</b>	性化プロジェク	ケト促進	生事業											
	目のが必要	市内産業の活性化につながる民間の主体的な取組を促進するため、市内で事業を営むものが実施する、事業者や商品のPR事業、新製品開発を行う事業に対し、申請者からの事業提案に基づき、経費の一部を補助する。					H 29 年度	意見を対し補		才象 交付	事業の		シャ 推進委員		の見 (対前 <sup>4</sup> H30 年度 H31 年度 H32 年度 H33	方向性 込みは) 継続 継続 継続	
	担当課	部名 産業環境部 課名 戸						(対前年度比) 労政課	会計区		万円)		事業区		<b>年度</b> ソフ		
										<u> </u>							

耳	双 組	5-1-4	企業活動へ	の支	援				▼・重示	() ) • 10	≦当取組、◎重	<u> 3</u> /	<i>) ~ 1</i> 0,	コザ木	
16	事業名	企業	美立地支援事業												
	目的 及び	め、企業記報を把握	の市内での事業継続 訪問を通じて、企業が ・提供するとともに、企 こ口を設けるなど企業?	求める	行政情 そのワン	H 29 年度	<b>内</b> ②企業 <b>容</b> ③広報	誌による	動 できる支払 る市内企 目談のワン	業の紹介				方向性込み手度比)継続継続継続	
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.6	うち市負担分 (百万円)	0.6	H33 年度	継続	
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	iΙ	労政課	会計区	分	一般	事業区分		ソフ	<b>-</b>	
17	事業名	企業	<b>羊立地促進奨励金</b>	事業											
	目的び概要	り、地域紹 新たに取 固定資産 を、奨励会	地や設備投資を促進 済の活性化を図るた 得した土地・建物・設・ 税・都市計画税額相 をとして交付する。 15-2-3 特区制度な 1	め、企業備に課金当額の名	業等が される 2分の1	H 29 年度		機能移	対象等制転とそれは	支援		方向性 込み 手度比) 継続 拡充			
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	449.2	うち市負担分 (百万円)	19.2	H33 年度	継続	
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	iΙ	労政課	会計区	分	一般	事業区分		ソフ	<b>-</b>	
18	事業名	商工	二会議所事業補助	Ī											
	目的び悪	の成長・努所が行う	産業の創出・育成並で 各展を促進するため、 市内産業の総合的発 で補助金を交付する。	茨木商	工会議	H 29 年度	中小企		所事業及		産業活性化事 え援ネットワー			方向性 込み 手度比) 継続 継続	
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	13.9	うち市負担分(百万円)	13.9	H33 年度	継続	
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	Ι	労政課	会計区		一般	事業区分		ソフ	<b>,</b>	
19	事業名	経営	常相談・指導事業								•				
	目的び概要	企業診断士)とともに、事業者への助言、指 導等を行う。				H 29 年度	(助言・ 内 ②経営 でめとし	指導等・アドバン た若者 所・商原	イザーによ ) イザーによ 等の経営 ち街等への	は		継続継続			
	+0 1/ ==	<b>4</b> 11 22	本	<b>== /</b> 2	-7-1-1	ر د ب	(対前年度比)	継続	(百万円)	4.2	うち市負担分(百万円)	4.2	年度ソフ	継続	
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	工力	工労政課 会計区分 一般 事業区分								

20	事業名	融資	資関連補助事業													
					減を図	Н	内		保証料社	辅助 爱計画に6	系ろ支援	を受け	市の	証		
		り、中小公	美者の融資に係る負担 企業の健全な発展と経	営の安	定を促	29 年				受けた創業					年度 H31	継続
	概要	進するこ	とで市内商工業の振興	具に貸す	~る。	度		70							年度 H32	継続
										古光忠	1 1	21 210			年度	縮小
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費	7.7	うち市負担		7.7	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	工党	労政	課	会計区	分	一般	事業	区分		ソフ	<b>\</b>
21	事業名	産	業情報サイト運営事													
		· 구· 北· 4	+ > 1.1 + +++	\	.→ /□				ו סוו –	マル					事業の の見 (対前年	
		進し、消	さ中心とした市内企業の 費者の利便性の向上を	と図るた	め、産	H 29	内容	②サイ	トのリニュ トの運営						H30 年度	継続
	及び 概要	業情報サイトを整備し、サイト内において市						377	トの保守	官理					H31 年度	継続
		ど掲載し	て広く相質石 寺に情報	対発信を	117.										H32 年度	継続
								方向性 前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	4.7	うち市負担		4.7	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	工党	労政	課	会計区分	分	一般	事業	区分		ソフ	<b>\</b>
22	事業名	中/	<b>小企業融資対策事</b>	業												
		由本人署	**************************	t-Ь +	-VE/E			①# <del>*</del>								方向性 込み F度比)
		用保証協	美者の経営安定を図る 第会の100%保証による 8次分融次に大阪内内	、茨木	市中小	H 29	内容	小企業	融資の韓			1/2 - 7 - 1	火小小,	Τ'	H30 年度	継続
		斡旋して	Ų資金融資と大阪府中 いる。また、セーフティ ☆ 〜 マンス		年度		272	アーフティネットに伴う市町村認定						H31 年度	継続	
		凹杓祕及	ぎも行っている。											H32 年度	継続	
							<b>方向性</b> 前年度比)	拡充	な充 <b>事業費</b> 0.0 <b>うち</b> (音 <b>万円</b> )				0.0	H33 年度	継続	
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	工党	<del>一</del> 労政	課	会計区分	分	一般	事業	区分		ソフト	

1 旭泉の似安		
まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-2	時代の変化を見通した新しい産業をつくり、そだてる
施策の 方向性	積や幹	度や企業立地促進奨励金などの企業支援施策を活用し、バイオ・ライフサイエンス分野など成長産業の集 線道路沿道等での物流施設など本市の地域特性をいかした企業立地を進めます。また、多様なビジネスの もに、育成された人材がいきいきと活躍することで、活力がみなぎるまちづくりを進めていきます。
	1	★ 地域経済の成長を先導する事業者の創出・育成
	2	★ 幹線道路沿道での企業立地誘導
取 組	3	★ 特区制度などを活用した企業立地
★: 重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

# 2 実施計画

2 :	実施計画															シン該	当事業		
Į	文 組	5-2-1	*	地域経済	の成長	を先導	す	る	事業者	の創出	∙育♬	ţ							
1	事業名	◎ 創業	業促近	進補助事業															
		利を目的	たして	川業を促進する 創業する者に	対して、う	テナント												事業の の見 (対前年	
	目的 及び	円)及び	改装工	12か月分・限原 上事費の1/2(降			H 29	2	内の市内では			を目	的として	て創	業する	者に		H30 年度	継続
	概要		小企業	経営アドバイ			年度											H31 年度	継続
				こ関する指導 こより状況把握														H32 年度	継続
		X 1.C		0.0 0 (0.02)				(:	<b>方向性</b> 対前年度比)	継続	事業		11.3		市負担分	11.		H33 年度	継続
	担当課	部名	72	<b>雀業環境部</b>	課名	商	jΙ	労ī	政課	会計区	分		一般		事業区	分		ソフト	`
2	事業名	◎ 産	学連抄	<b></b> スタートア	ップ支援	爰事業													
				者等の優れた 用化に向けた					新サー	企業者(ビスの研	<b>完開</b>	発、:	支術革新	折な	どに関	し、†	は行補	事業の の見 (対前年 H30	
	及び	ることにより、本市の経済成長及て ション創出に寄与することを目的と 大学の保有する研究成果・技術を				ため、	H 29 年	7	型市内	大学以						. – ,	るー	年度 H31	継続
		た、産学	連携の	る研究成果・5 )研究開発事態 88を補助する。	業等に対し		度		0/14	と大字と		* " -	会を創造	出す	するため産学		理	年度 H32 年度	継続継続
								(:	方向性 対前年度比)	継続	事業		12.0		市負担分	12.	0	<del>千皮</del> H33 年度	継続
	担当課	部名	ē	<b>產業環境部</b>	課名	商	jΙ	労ī	政課	会計区	分		一般		事業区	分		ソフト	`
3	事業名	⊚ バ⁄	イオイ	ンキュベー	ション施	設集和	漬伙	足i	進補助事	事業	·								
		i	· /+	ベーション施言	∿の生徒/	口油ナ、				オインキ	ΔY.	S /_	<b>、</b> 北元、	<b>#</b> :4	生/口,)发 亩	7光):	(	事業の の見 (対前年	
	目的 及び	図り、本市	<b></b>	ヘーンョン 旭霞 の振興に資す ョン施設の運	るため、	バイオ	H 29	7	要する	ィインヤ 経費のう の一部を	ち、施		,				·/-	H30 年度	継続
	概要			ション施設集			年度		生在其	マノー言い	上的成							H31 年度	継続
		1欠りつ。																H32 年度	継続
			1					(:	<b>方向性</b> 対前年度比)	継続	事業(百万)		23.5		市負担分	23.		H33 年度	継続
	担当課	部名	<u> </u>	<b>E</b> 業環境部	課名	商	jΙ	労i	政課	会計区	分		一般		事業区	分		ソフト	

4	事業名	∅ バ	(オインキュベーシ	ョン施	設賃制	<b>斗</b> 裤	前助事業								
			ンチャー企業の集積を まに資するため、彩都ラ				Dist	ナインさ	~-	-3/7	ン施設	に入居する	スバイー	の見 (対前:	方向性 込み 年度比)
	ш-,	スパーク	内の施設(彩都バイオ 存認定施設、彩都バイオ	インキュ	ベー	H 29	内容助	ヤー企	業に対	して、	施設の	で 賃料の一	・部を補	H30 年度	継続
	概要	ションセン	ハルスとを見る。 かんかん ション・ション・ション・ション・ション・ション・ファイン アルス アン・ファイン アン・アン・アン・ファイン アン・ファイン アン・ファン アン・ファン アン・ファン・ファン・ファイン アン・ファン・ファン・アン・ファン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン	フサイエ	ンス分	年度	190							H31 年度	継続
			の賃料の一部を補助す		止木									H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業 (百万		19.1	うち市負担分 (百万円)	19.	1 H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	I工党	労政課	会計区	分	-	一般	事業	区分	ソフ	۲

	取 組	5-2-	全 ★ 幹線	直路沿道での	の企業	立	地	誘導								
5	事業	8 ◎ 幹	線道路沿道-	上地利用事	業											
		いて、地	泉道路沿道の市 権者等とともに 別用を進め、地場 と図る。	幹線沿道にふ	さわし			【玉島均①地区②関係			支援					方向性 込み 拝度比)
	目的 及び 概要	は田畑(	施行の土地区画 こついては、現明			H 29 年度	内容	【目垣 <sup>5</sup> ①土地 ②農業	也区】 区画整 振興地	理組域型			(農林課)		H30 年度 H31 年度	継続継続
		【関連取 や市街は		回的な都市基盤	2整備			3関係	機関筋	譲					H32 年度	継続
		【関連取り】	組:5-9-1 民間	力づく			方向性 計前年度比)	継続	-	事業費 事万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H33 年度	継続	
	担当	果部名	都市整備	市整備部 課名				<b></b>	会計区	分	-	一般	事業区	分	ソフ	<b>,</b>

取	組	5-2-3	★ 特区制度な	どを活	用した	<b>三</b> 企	: 業	<b>美立地</b>							
6	事業名	◎ 茨木	下市成長特区税制	におり	ける事	業記	計画	画認定等	等事務	事業					
			の活性化及び持続的 企業の誘致を図るた&											事業の の見 (対前年	込み
	目的	長産業特	正来の防女を囚るだめ 区指定区域において や新エネルギー分野	、ライフ	サイエ	H 29	内容			区におけ 定及び変		軽減の対象	象となる	H30 年度	継続
	概要	実施する	で新工不ルヤー分野が 企業の事業計画を認 市民税や固定資産税	定し、当	該企	年度								H31 年度	継続
		業の伝入う。	甲戌悦~回止買座物	との軽減	211									H32 年度	継続
								方向性 計前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H33 年度	継続
İ	担当課	部名	産業環境部	課名	商	工分	<b></b>	<b></b>	会計区	分	一般	事業区	公分	ソフ	,
7	事業名	◎【再	掲】企業立地促進	奨励金	金事業					·		·	·		
			地や設備投資を促進 経済の活性化を図るた					①償却	答産の	计象绘制	度の見直	〔しの検討		事業の の見 (対前年	込み
	目的	新たに取	得した土地・建物・設 税・都市計画税額相	備に課る	される	H 29	内容	<b>の</b> 未社	機能移			月増に対す	る支援	H30 年度	継続
			をとして交付する。	1領の2	27J (7) I	年度		水の快	車力					H31 年度	拡充
		【関連取約	祖:5-1-4 企業活動~	への支援	<b>&amp;</b> ]									H32 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(449.2)	うち市負担分 (百万円)	(449.2)	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	工分	<b></b> 岁	)	会計区	分	一般	事業区	公分	ソフ	<b>\</b>

「心来の似女		
まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-3	就労支援と働きやすい職場づくりをすすめる
施策の 方向性	力と希望	次はあるが就労にあたり困難な要因を抱える人(就職困難者)や不安定な就労を余儀なくされている人の能望に応じた就労を支援する施策に取り組みます。また、市内の事業所において、働く人々が安心して、いき が、ことができる職場づくりを促進する施策に取り組みます。
	1	★ 就労の支援
	2	★ 働きやすい職場づくりの推進
取 組	3	
★: 重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

# 2 実施計画

2	実施計画	<u> </u>									*	r:重点	プラン該	(当	取組、◎	重点	プラン該	当事業
I	仅 組	5-3-1		★ 就労の支援	į													
1	事業名	◎ 就職	哉サ	ポート事業														
	目的	困難者等	<b>の</b> 耳	ごを行う関係機関と 戦業的自立を目指	すため.	、就職	H 29	内灾	②就職 講座受 ③求職	困難者 講費用 者と地	の職 の補 元企	戦業能⊅ 甫助 ミ業をつ	りを開発 なぐ企動	まず、業説	んでも相る講座開	催ぐ  記学会	の見(対前4	方向性込みままりには、一直には、一直には、一直には、一直には、一直には、一直には、一直には、一直
	及び 概要	等への誘	導、	・セミナーの実施 合同就職面接会の で援を行う。			年度			安就職( を体験)				敞ഥ	i接会の	開催	H31 年度	臨時拡充
										mto mb							H32 年度	継続
									向性   「年度比)	臨時 拡充		事業費 百万円)	8.4		市負担分	5.5	H33 年度	継続
	担当課	部名		産業環境部	課名	商	工党	労政	課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	۲
2	事業名	雇月	月促	進奨励金事業														
	- M						н	内	①重業	よる公本:	小五	田州お客	生本)	マーク	かり方を	<b>∞</b> ₩⊋	の見 (対前 <sup>4</sup> H30	方向性 込み 年度比) 廃止
	目的 及び 概要			就労に資するため、 所に対し奨励金を			29 年 度	容	UŦŦ	iri <del>a</del> v	火ン支	文  王です	引且,し、	(0)	(V) / J (2	. 1火 口、	年度 H31 年度 H32	<b>元</b> —
									向性 「年度比)	継続		業費	10.0		市負担分	10.0	年度	-
	担当課	部名		産業環境部	課名	商	工分	労政		会計区			一般		事業区	分	ソフ	<u>۱</u>
3	事業名	障害	手者	雇用奨励金事	業													
									①陪生	つなる=	<del>+</del> F.	北京田	1 囯 <i>a</i>	<b>小杜</b>	別求職者	¥≅.	の見 (対前4	方向性 ,込み     手度比)
	目的 及び	と福祉の	増進	と促進し、障害者の を図るため、障害	のある「	市民を	H 29	内宏							が不暇って、奨励		H30 年度	継続
	概要	雇用する る。	事第	美主に対して、奨励	か金を支	給す	年度		~~/IΉ								H31 年度	継続
											-	= 41k <del>11h</del>					H32 年度	継続
					_				向性   年度比)	継続		事業費 百万円)	3.1		市負担分	3.	H33 年度	継続
	担当課	部名		産業環境部	課名	商	工党	労政	課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	ト

耳	反 組	5-3-2	★ 働きやすい	職場:	づくりσ.	)推	 進		▼:里尽	.ノ ノ <i>ン i</i> ジ	₹当取組、◎重		ノン設	日尹耒
4	事業名	◎ 雇月	 月・労働関係セミナ	一及で	び労働	りに	関する啓	発事業	4 E					
							図るセ	ミナーの	開催		働関係の安定		事業の の見 (対前 <sup>年</sup>	
	目的 及び	環境の実	用関係の確立及び働現を図るため、セミナ	ーを開作	崔する	H 29	容 ための	啓発活動	動		すい職場づ		H30 年度	継続
	概要	とどもに、 者雇用促	公正な採用選考、障害 進などの啓発活動を	手者・局 実施して	牛齢でいる。	年度	(3)働き	ヤナバリ	哉場つくり	を文援す	るセミナーの	開	H31 年度	継続
							+ + +		古光弗		74 + A III //		H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	0.7	うち市負担分	0.7	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名		iΤέ	労政課	会計区	分	一般	事業区分	•	ソフ	
5	事業名	茨ス	<b>ド市勤労者互助会</b>	補助	事業									
													事業の の見 (対前 <sup>年</sup>	
	目的 及び	および事	イマーを含む従業員の 業所における雇用の3	安定を図	図るた	H 29			会が行う勤 助金を支糸		祉増進のため	かの	H30 年度	継続
	概要		者互助会が行う勤労者 業に対し補助金を支約		曽進の	年度							H31 年度	継続
													H32 年度	継続
					Г		方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	5.0	うち市負担分	5.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	工	<b>労政課</b>	会計区	分	一般	事業区分		ソフ	<b>\</b>
6	事業名	勤労	労者スキルアップ 支 	泛援等	セミナ	_								
		勘学老の	**   考の能力向上や勤労者福祉の増進を											方向性 込み F度比)
		図るため	が能力向上や勤力有権 、勤労者の知識・技能 、材育成につながるセミ	の向上	、中小	H 29			識・技能の るセミナー		中小企業の人	材	H30 年度	継続
			場づくりを支援するセ			年度							H31 年度	継続
		0 ( 0											H32 年度	継続
					ı		方向性 (対前年度比)	継続	事業費	0.8	うち市負担分	0.8	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名		工	<b>労政課</b>	会計区	分	一般	事業区分		ソフ	·
7	事業名	◎ 働き	やすい職場づくり	推進	事業									
							1 ①両立	支援等	の働きやっ	上い職場	一づくりを行う事	業	事業の の見 (対前年	込み
	及び	や福利厚	福祉の向上を図るた。 「生の充実など働きやっ む事業主に支援を行う	すい職場		H 29 年度	内容の所を実		とめ、当該	事業所の	DPR等を実施	巨す	H30 年度 H31 年度	継続継続
						12							H32 年度	継続
		,	,		1		方向性 (対前年度比)	新規	事業費	0.1	うち市負担分	0.1	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	ΙĽ	<b>労政課</b>	会計区	分	一般	事業区分		ソフ	-

<ul> <li>あ 第</li> <li>あ 第</li> <li>5 本 地域特性をいかした都市づくりを計画的にすすめる</li> <li>施策の方向性</li> <li>広域的な都市基盤施設の充実を図るとともに、計画的な市街地整備や地域特性をいかした土地利用の誘導を図り、強み(ボテンシャル)をいかした整備を推進します。また、住、働、学、憩という都市において行われる機能を備えた都市づくりを進め、活力と魅力の増進に取り組みます。</li> <li>計画的な都市基盤整備や市街地整備</li> <li>★ 彩都の都市づくり</li> <li>適切な開発や建築物・土地利用の誘導</li> <li>4</li> <li>5</li> <li>6</li> <li>7</li> </ul>	1 旭泉の似安		
<ul> <li>施策の方向性</li> <li>広域的な都市基盤施設の充実を図るとともに、計画的な市街地整備や地域特性をいかした土地利用の誘導を図り、強み(ボテンシャル)をいかした整備を推進します。また、住、働、学、憩という都市において行われる機能を備えた都市づくりを進め、活力と魅力の増進に取り組みます。</li> <li>計画的な都市基盤整備や市街地整備</li> <li>★ 彩都の都市づくり</li> <li>適切な開発や建築物・土地利用の誘導</li> <li>4</li> <li>5</li> <li>6</li> </ul>	まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
<ul> <li>施汞の方向性</li> <li>り、強み(ポテンシャル)をいかした整備を推進します。また、住、働、学、憩という都市において行われる機能を備えた都市づくりを進め、活力と魅力の増進に取り組みます。</li> <li>計画的な都市基盤整備や市街地整備</li> <li>★ 彩都の都市づくり</li> <li>適切な開発や建築物・土地利用の誘導</li> <li>4</li> <li>5</li> <li>6</li> </ul>	施策	5-4	地域特性をいかした都市づくりを計画的にすすめる
取 組  **:重点プラン 該当取組  2 ★ 彩都の都市づくり 3 適切な開発や建築物・土地利用の誘導  4  5 6		り、強み	(ポテンシャル)をいかした整備を推進します。また、住、働、学、憩という都市において行われる機能を備え
取 組 3 適切な開発や建築物・土地利用の誘導  ★:重点プラン 該当取組 5 6		1	計画的な都市基盤整備や市街地整備
★:重点プラン 該当取組 5 6		2	★ 彩都の都市づくり
★: 重点フラン 該当取組 5 6	取組	3	適切な開発や建築物・土地利用の誘導
該当取組     5       6	★・ 重占プラン	4	
		5	
7		6	
		7	

2	実施計画	<u> </u>									*	:重点	プラン該	(当	取組、◎	重点	ブラ	シ該	当事業
	取組	5-4-1		計画的な都	市基盤	盤整備	iや	市	街地整	備									
1	事業名	【再	掲】	都市計画決定	等事	务事業	į												
		大阪府等	等関係	<機関と協議・調整	をを図り	なが												の見	方向性 込み 『度比)
	目的 及び			央定・変更を行う。			H 29	内容		計画決	定等							H30 年度	継続
	概要	【関連取 地利用の		-4-3 適切な開発 【】	や建築	物・土	年度											H31 年度	継続
		【関連取	組:5-	-7-4 都市計画施	E設の見	直し												H32 年度	継続
									<b>方向性</b> 时前年度比)	継続		業費 万円)	(1.4)		市負担分	(1.		H33 年度	継続
	担当課	部名		都市整備部	課名	都	市具	政分	<b></b>	会計区	分		一般		事業区	分	•	ソフト	,
2	事業名	【再	掲】	幹線道路沿道	土地和	刊用事	業												
		いて、地	権者 川用を	浴道の市街化調等とともに幹線浴 進め、地域のにき。	道にふる	きわし		_	の関係	也区】 別事業 <sup>を</sup> 機関協		:援					(	の見 対前年	方向性 込み 『度比)
	目的 及び 概要			土地区画整理事		する	H 29 年度	内容	①土地	区画整:			立支援 国の変更	重( 虐	豊林課)		:	H30 年度 H31	継続継続
		立地誘導	拿】	-2-2 幹線道路浴			及		③関係	機関協	議		, , ,					年度 H32 年度	継続
		【関連取用】	組:5-	-9-1 民間との連	携、活っ	カの活			方向性 时前年度比)	継続		業費 万円)	(0)		市負担分 万円)	(		H33 年度	継続
	担当課	部名		都市整備部	課名	都	市具	政员	<b></b>	会計区	分		一般		事業区	分		ソフト	`
3	事業名	【再	掲】	茨木市中心市	街地沿	舌性化	事	業	Ė										
		本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化に関する法律」に基づく、「茨木市中心市												事業の の見 対前年					
	目的及び	多核ネット	ワーク	型都市構造の実現能配置を踏まえたも	に向け、	都市拠	H 29 年		①内閣 検討、					メン	<b>小体制</b> ₫	構築	:	H30 年度 H31	-
	概要	(拠点の酢	置と	-1 生活を支える拠 ネットワークの維持)】 -2 魅力ある中心市	1												:	年度 H32 年度	-
		の整備】		-1 民間との連携、					方向性 対前年度比)	完了		業費 万円)	(4.8)		市負担分	(4.	6)	平度 H33 年度	_
	担当課	部名		都市整備部	課名	市往	封地	新	生課	会計区	分		一般		事業区	分		ソフト	`

4	事業名	【再	掲】立地適正化計	·画策定	官事業	į										
		市づくりを	ゴマスタープランで掲げ を推進し、活力維持と著	寺続可能	な都										事業の の見 (対前年	
	目的 及び		現に向け、改正都市再生特別措置法												H30 年度	継続
	概要		組:5-6-1 生活を支え (拠点の配置とネットワ			年度									H31 年度	継続
			組:5-6-2 魅力ある中												H32 年度	継続
		)H, 22 V) II	VIT3 <b>4</b>				方向性 対前年度比)	継続	-	事業費 事万円)	(6.2)	ち市負担分 ( <b>百万円</b> )	(3.1)	H33 年度	継続	
	担当課	部名	都市整備部	課名	課名都			<b></b>	会計区	分		一般	事業区	分	ソフ	<b>F</b>

									★:重点	プラン診	≶当取組、◎	重点に	プラン該	当事業
耳	又 組	5-4-2	★ 彩都の都市	うづくり										
5	事業名	◎ 彩都	邓建設推進事業											
		木•箕面	性化・発展に向けて、 市、都市再生機構、民 大学、研究機関、公益	間事業	者、経		所の設	置への	取組み		ひ警察官 地への企業		の見 (対前4	方向性 込み 拝度比)
		学官が連	「携して、魅力と活力を 「の形成に取り組む。			H 29 年	内露誘致の	実施	先行エリア				H30 年度 H31	継続
	概要		祖:5-8-2 道路整備の			度	④(東語組み	部地区)	残りのエリ	アの事刻	<b>業化に向け</b>	た取り	年度 H32	継続
		【関連取為用】	組:5-9-1 民間との連	携、活	力の活		方向性	ψην ψ±	事業費	17.5	うち市負担分	17.5	年度 H33	継続
							(対前年度比)	継続	(百万円)	17.5	(百万円)	17.5	年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	北部	整位	<b>⋕推進課</b>	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	F
6	事業名	【再	掲】山麓線整備事	業										
		スの円滑	語の東西交通と彩都 化を図るため、彩都や に合わせ、府道茨木	安威川	ダムの		1 ①委託	C= 20	0.0百万円				の見 (対前4	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び 概要	都東部地 茨木線を	1区、府道忍頂寺福井 経て、中部地区、西音	線、府道	首余野	H 29 年度			).2百万円 ).0百万円				H30 年度 H31	継続
			:備を行う。 組:5-8-2 道路整備の	推進】		区							年度 H32 年度	-
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	(380.2)	うち市負担分 (百万円)	(272.2)	H33 年度	-
	担当課	部名	建設部	課名	道	路2	交通課	会計区	分	一般	事業区	分	ハー	ド
7	事業名	谷山	山水路整備事業											
													の見	方向性 込み ∓度比)
	目的 及び	. 12   11 2 1 - 1 - 1	3地区の一部エリアの		こ伴っ	H 29	内 ①水路	整備工	事				H30 年度	完了
	概要	て実施す	る地区外水路整備事	兼		年度							H31 年度	-
								, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,					H32 年度	-
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	75.8	うち市負担分 (百万円)	75.8	H33 年度	-
	担当課	部名	建設部	課名	下	水道	施設課	会計区	分	一般	事業区	分	ハー	ド

耳	文 組	5-4-3	適切な開発	や建築	築物•:	土均	也利	用の記	秀導	<b>人</b> ·里/	スプフン記	<u> </u>	XML, ©	/里 ホノ	/ / V IIX	コヂ木
8	事業名	都市	市計画決定等事務	等業												
		大阪府等	<b>亭関係機関と協議・調</b>	整を図り	なが										の見	方向性 込み 年度比)
	目的 及び		計画決定等を行う。	1 11-0-		H 29	内容	①都市	計画決	定等					H30 年度	継続
	概要	や市街地				年度									H31 年度	継続
		【関連取	組:5-7-4 都市計画が	他設の別	1.直し】										H32 年度	継続
								が 向性 前年度比)	継続	事業費	1.4		市負担分 万円)	1.4	H33 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	都	市具	政策	課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<u>۲</u>
9	事業名	細行	<b>封路等整備事業</b>													
		し、細街	開発許可、道路位置指定、建築行為等に対し、細街路計画及び生活道路整備に沿う指し、細街路計画及び生活道路整備に沿う指導ですべい。基準に基づき出り、工事費等の開始など、高い整備ながお、自分など環境など、												の見	方向性 ,込み 年度比)
	目的 及び 概要		行い整備を進め、良好			29 年	内容		補助金						H30 年度 H31	継続継続
	171.5	【関連取 形成】	組:5-5-1 快適で良好	子な住環	境の	度									年度 H32 年度	継続
								<b>前向性</b> 前年度比)	継続	事業費	58.6		市負担分	58.6	H33 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	審	查排	旨導	課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>
10	事業名	開	発行為等連絡協議 	会事	<b>务事</b> 業	Ę										
													の見	方向性 ,込み 年度比)		
	目的 及び	り、都市記	・都市化を防止し、適立 計画の推進及び環境と	の調和	創出	H 29	内容	①開発	行為等	連絡協議	会の開作	崔			H30 年度	継続
	概要		、一定規模以上の建築 よに対し協議調整を行		りとする	年度									H31 年度	継続
											_				H32 年度	継続
					ı			7向性 (前年度比)	継続	事業費	0.0		市負担分	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	審	查排	旨導	課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>

Ⅰ 旭東の概要		
まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-5	良好で住みよい環境・景観づくりをすすめる
施策の 方向性	作成、適 続けたい	業者等による開発や施設の管理が良好な環境を形成することを基本に、住みよいまちを創るため、計画の共有、ルールの正な運用と適時適切な見直し、住民への支援などを行い、快適な住環境や美しい街並みが魅力的で将来にわたり住みまちをめざします。 他の適正な保全と緑化を推進し、自然とのふれあいやみどりをいかしたうるおいのある環境づくりをめざします。
	1	快適で良好な住環境の形成
	2	都市におけるみどりの形成
取 組	3	★ 良好な景観の保全と創造
★: 重点プラン	4	良好な住宅ストックの形成
該当取組	5	公的住宅の改善・充実
	6	
	7	

#### 2 実施計画

★: 重点プラン該当取組、 ◎重点プラン該当事業

Í	取	と 組	5-5-1	快適で良好	な住場	環境の	形	成				· ± ///	ノフン該言		<u> 2 年                                  </u>	/ V IIX	コチ木
ľ	1	事業名	【再	掲】細街路等整備	事業												
		導を行い、基準に基づき用地費、工事費等							①用物	購入費						の見 (対前年	方向性 込み F度比)
		及び 概要 創出する。					H 29 年度	内容	②整備 ③公嘱	補助金						H30 年度 H31 年度	継続継続
		【関連取組:5-4-3 適切な開発や建築物・ 地利用の誘導】														H32 年度	継続
									<b>方向性</b> 前年度比)	継続		業費 万円)	I (bx b)	ち市負担分 百万円)	(58.6)	H33 年度	継続
		担当課 部名 都市整備部 課名					查排	台導	課	会計区	分	-	一般	事業区	分	ソフ	١

耳	文 組	5-5-2	都市におけ	るみと	:りのŦ	杉成				C I II M	ノフン政	<u> </u>	/// <b>!!</b> ( )	<u> </u>	7 1 1/21	<u> </u>
2	事業名	【再	掲】緑の基本計画	i推進!	事業											
		緑の将来	像の実現に向けて、衤	录地の通	適正な			)相談事								方向性 込み 拝度比)
		み方針、力	緑化の推進に関する 施策等を定め、総合的			H 29	容③緑化	R発信ツ L講習会	の柞	倹討	Ç				H30 年度	継続
	概要	に実施す	-0			年度	④緑イ	ヒイベント	<b>ハ</b> の	検討					H31 年度	拡充
		【関連取約	且:6-2-1 都市とみど	りの共存	字】										H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続		事業費 5万円)	(0.3)		5負担分 万円)	(0.3)	H33 年度	拡充
	担当課	部名	産業環境部	課名	農と	みど	り推進課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>Γ</b>
3	事業名	公園	等再整備事業													
							①公園	園再整備	等	3箇所(]	耳原公園	園、桑	&田公園	園、奈		方向性 込み 拝度比)
	目的	いて、公園	目当年数が経過してい 園施設長寿命化計画	に基づる	き、順	H 29	内 良東公容 ②地方	☆園)9千′ 〒調整	7百	万円					H30 年度	継続
	押亜	次、住民: 備を実施	ニーズや地域の実情に	に即した	再整	年度	③実加	施設計							H31 年度	継続
															H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比	継続		事業費 5万円)	107.0		5負担分 万円)	67.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	公	園絲	录地課	会計区	分		一般		事業区	分	ハー	ド

	- NI -	<i>(</i> ) =	可求供去业											
4	事業名	公区	園整備事業											
			の所在する付近住民										の見	方向性 込み 拝度比)
	目的	を確保で	、身近で安全な空間と きるよう、地域の公園和 の整備や改良を行う。	刊用の領		H 29			地再整備 等の開催	基本方針	├の検討 541	万円	H30 年度	継続
	概要				· 46	年度							H31 年度	継続
			組:6-3-2 再生可能コ 一設備の導入促進】	- イルキ	一•自								H32 年度	継続
					Γ		方向性 (対前年度比)	継続	事業費	5.4	うち市負担分 (百万円)	5.4	H33 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	公	園絲	录地課	会計区:	分	一般	事業区分		ハー	ド
5	事業名	若圆	園公園バラ園再整	備事業	美				·		·			
													の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	による樹	『バラ園において、バラ 勢の衰えが顕著となっ 『新及び植栽基盤の整	ているが	こめ、	H 29 年	<b>内</b> ①苗木	更新、植	直栽基盤整	を備 900	)万円		H30 年度	継続
	概要		「新及い他秋基盤の整 手の施設の再整備を実			度							H31 年度	継続
									÷ ** **				H32 年度	完了
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	9.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H33 年度	_
	担当課	部名	建設部	課名	公	:園絲	录地課	会計区	分	一般	事業区分		ハー	ド
6	事業名	新名	名神周辺遊歩道等	整備	事業									
		もらい、す	ご部地域の自然等の魅 と部地域への関心を高 ボランティア団体と連打	めるた	め、地			:路の維持					の見	方向性 込み    度比)
	目的 及び	施設案内	がある。 対板等の整備を行う。	75 C \ \	阿阳	H 29 年		!台の設t トープの					年度	継続
	概要		組:5-6-4 北部地域の			度							H31 年度	継続
		※第3期 動。	実施計画検討より、取	組552~	<b>丶移</b>								H32 年度	継続
					r		方向性 (対前年度比)	拡充	事業費	5.4	うち市負担分 (百万円)	5.4	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	農と	みど	り推進課	会計区	分	一般	事業区分		ハー	ド
7	事業名	公園	園施設長寿命化対	策事	業									
														方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	(長寿命	)施設の長寿命化を図 化のための公園施設ラ 第・再新のなめのシスプ	データの		H 29 年	3保守	管理 40	万円				H30 年度	継続
	概要	整理・保	管・更新のためのシス?	/ ム愽3	だんて	年度							H31 年度 H32	継続
							方向性	VNV Code	事業費		うち市負担分	0 1	年度 H33	継続
			_,				(対前年度比)	継続	(百万円)	0.4	(百万円)	0.4	年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	公	:園糸	录地課	会計区	分	一般	事業区分	Ì	ソフ	<b>h</b>

8	事業名	岩倉	含公園防災公園街	区整例	<b>請事業</b>	į											
			文法人都市再生機構(U 所区整備事業の活用に													事業の の見 (対前年	
	目的 及び	景観の向	後能の強化をはかると ]上や市民の憩いの場	としての	総合	H 29	内容	①岩倉	公園整	備(L	JRより	買戻)				H30 年度	継続
	概要	跡地の一	機能の充実を図るため -部を取得し、防災公園	と市街	地整	年度										H31 年度	継続
		備を行っ  う。	たもので、URより用地	の買戻	を行											H32 年度	継続
							方向性 対前年度比)	継続		業費 万円)	204.0	うち市負担	-7(1	4.0	H33 年度	継続	
	担当課	部名	建設部	公	園絲	录均	也課	会計区	分		一般	事	医分		ハー	ド	
9	事業名	さく	らまつり実施事業														
		ションの場	然に親しむ場や交流、 場を提供することで、豊 とともに、市民の連帯原	境を るさと			①古民	活動や	古日	2:11:14	カ催] <i>で</i>	り場として	の注し	田を	事業の の見 (対前 <sup>年</sup>		
	目的 及び	市の魅力	E実を高め、まちの活性 」ある資源として桜の魅	っそう	H 29	内容	関係課	と検討			をして実:		V ノ(白)	ብፈ	H30 年度	縮小	
	概要	楽しむこ	ていくため、桜をより自 とができるよう改善を進	ら、市	年度		2)4,2	111/10	HL/Æ	K U UK E		ne.			H31 年度	継続	
		しの主催	P市民主体による催しの 者の経費負担による活												H32 年度	継続	
		ていく。					方向性 対前年度比)	継続		業費 万円)	14.6	うち市負担		4.6	H33 年度	継続	
	担当課	部名	建設部	公	園絲	录坛	也課	会計区	分		一般	事	医分		ソフ	<u> </u>	

耳	仅 組	5-5-3	★ 良好な景観	の保全	と創	造				_^	· ± ///	2 ) ¥ µy	<u> </u>	取組、◎	/ <u></u>	/ / V IIX	コチ木
10	事業名	景額	見賞表彰及び記念	講演	事業												
				y -1- []												事業のの見(対前年	込み
		高揚を図	好な景観形成に関す るため、建築物やまち る活動等に対する表章	なみ及	び市	H 29	内容		度実施-	予定	<u> </u>					H30 年度	継続
			₣毎に実施する。(次□			年度										H31 年度	継続
		<i>&gt;</i> ///E   /	.)													H32 年度	継続
								方向性 対前年度比)	-		業費 (万円)	-		市負担分	_	H33 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	都	市具	政領	<b></b>	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>\</b>	
11	事業名	屋夕	卜広告物指導事業														
			物は、景観形成に対 いる適切な誘導が重要				_									事業のの見く対前な	込み
		市景観計	画、景観条例と整合をと一体となった景観部	がら、	H 29	内容		広告物	の制	削限の必	必要性に	[つ	いて検言	寸	H30 年度	継続	
		め、現在は	改正が進められている え、本市独自の屋外瓜	の内	年度										H31 年度	継続	
			良好な景観形成を図る	• 10 1 C											H32 年度	継続	
							方向性 対前年度比)	継続		業業費 (万円)	0.0		市負担分 百万円)	0.0	H33 年度	継続	
	担当課	部名	都市整備部	都	市耳	<b></b>	<b></b>	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	\	

12	事業名	景額	<b>則重要建造物等指</b>	定事	<b>業</b>											
															の見	)方向性 見込み 年度比)
	目的 及び		と好な景観形成を推進 な建造物、樹木、公共			H 29	内容	1 ①景観	上保全	が必	公要な対	対象物が	あれば指	定	H30 年度	継続
	概要	する。	では足垣物、個小、ムデ	CHERK C	.1HVL	年度									H31 年度	継続
															H32 年度	継続
							方向性 対前年度比)	継続		業費 「万円)	0.1	うち市負担分 (百万円)	0.	1 H33 年度	継続	
	担当課	部名	都市整備部	都	市具	政员	策課	会計区	分		一般	事業区	∑分	ソフ	1	
13	事業名	景勧	<b>見形成推進事務事</b>	業												
			見整備を総合的かつ計 、建築行為等について											の見	)方向性 見込み 年度比)	
		観計画及	、建築行為寺について び景観条例に基づき 屋外広告物についてに	旨導等	H 29	内容	1 ①景観 2 ②屋外		2041.0		受付			H30 年度	継続	
		外広告物	重外広占物にういて。 n条例に基づき、屋外D に対して設置場所やナ	り設	年度									H31 年度	継続	
			置申請に許可をする。	ш. च. С										H32 年度	継続	
								方向性 対前年度比)	継続		業費 「万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.	0 H33 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	審	查排	指 <sup>注</sup>	尊課	会計区	分		一般	事業区	₹分	ソフ	1

★: 重点プラン該当取組、<br/>
の重点プラン該当事業

	取	組	5-5-4	良好な住宅	ストック	クの形	成	,				· ± ///	<u> Э</u> Э <b>ү</b> ү	<u> </u>	<del>取組、</del> ◎	/ 里 /// /	/ V II/A	コチ木
1-	4	事業名	【再掲	以既存民間建築	物耐息	<b></b>	助	事	業									
				ら市民の生命及び						住宅・井	中同	住宅の	耐震診	断•	改修補具	助を行	の見 (対前年	方向性 込み F度比)
		日的	用及び木造	住宅・特定建築物の住宅、共同住宅の			H 29	内容	2 非木	造住宅	•特	定建築	物の耐	震記	<b>诊断補助</b>	を行	H30 年度	継続
		概要	の一部を補	7. 7 = 0	<i>n</i> . <b>T</b>		年度		う。								H31 年度	継続
			【4-1-3:建	築物の耐震化の促	隹】												H32 年度	継続
									方向性 対前年度比)	継続		事業費 百万円)	(35.4)		市負担分 <b>5万円</b> )	(15.1)	H33 年度	継続
	1	担当課	部名	都市整備部	居	住耳	政员	<b>策課</b>	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>-</b>	
1	5 7	事業名	居住、	マスタープラン第	定事	<b></b>												
			変化や活力	少子・高齢化等に住 2低下、また、建築物	の老朽	化等			①目的	<ul><li>現状・</li></ul>	課是	頃等の刺	整理と調	香/	分析		の見 (対前年	方向性 込み F度比)
		目的	るため、市民	リスクの増大などの記 民生活の基盤である	住環	H 29	内容	0 ± +	調査、分					,		H30 年度	継続	
		概要	て、本市の	充実と定住促進を図 住宅政策の方針と加	し、市	年 度										H31 年度	継続	
			民の暮らし 目指す。	の充実と安定した住	生活の	実現を											H32 年度	継続
								方向性 対前年度比)	継続		事業費 事万円)	6.5		市負担分 万円)	4.5	H33 年度	継続	
	1	担当課	部名	都市整備部	居	住』	政分	<b>策課</b>	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	7	

16	事業名	長其	期優良住宅認定事	務事	<b>業</b>												
		長期にお	ったり良好な状態で使用	月される	ための			①長期 行う。	優良住	宅新	<b>「築等</b> 書	計画の額	番査をし、	認定		事業の の見 (対前年	
	目的 及び	すること	₿じられた優良な住宅σ こより、住生活の向上及	び環境	きへの	H 29	内容	②認定					一定の年代況の報告			H30 年度	継続
	概要	及の促進	☑減を図るため、長期優 ☑に関する法律に基づ			年度		る。	J <b>v</b> J(C )		( / 小庄1 /	1 W 王 1/1	(1)Loo +K	1 6 7		H31 年度	継続
		住宅建築	等計画の認定を行う。													H32 年度	継続
								方向性 計前年度比)	継続		業費 万円)	0.0	うち市負担 (百万円	. (	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	審	查扌	台埠	<b>掌課</b>	会計区	分	-	一般	事業	区分		ソフト		
17	事業名																
		夕冊件の	)近居・同居に向けた住	1.c2.E											事業の の見 (対前年		
	目的 及び	フォーム	ただいではいる。 に対して補助を行うこと て暮らせるまちづくりを	世代が	H 29		①茨木 : 設、実加		代近	居•同	居支援	事業補助	]の創		H30 年度	継続	
	概要	や介護な	となるとのより ハッを と、各世代が抱える不 っに、定住促進を図る。		年度										H31 年度	継続	
		151.9CC	//드·시니다(M는 CIQIO)													H32 年度	継続
								方向性 前年度比)	新規		業費 万円)	15.0	うち市負担: (百万円		5.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	居	住耳	女第	<b></b>	会計区	分	-	一般	事業	区分		ソフト	`

	取	組	5-5-5		公的住宅の	改善・	充実												
18	3 事	事業名	市営	往	宅長寿命化計	·画推述	進事業	164											
										(1) W etc.	-20年 由	1ヶ <u></u>	4 <b>6</b> €30.=	計を行っ	t- t声 ()	7 元十旬	配った	事業のの見(対前年	込み
		日的	び   再にわたつく確保りるため、脳長以修べき					H 29	内容	修、外	壁改修、	屋_	上防水	工事等を	実施		支以	H30 年度	継続
		脚更	及び   間にわたつく確保するため、側長以修で表   事会ル改美など適切な維持管理な宝協士					年度		@/F9E	·以 I V 、//	±⊥	PJ/J\ ~	かり込音	ХП			H31 年度	継続
		ことにより、効率的・効果的な活用に劣める。													H32 年度	完了			
										方向性  前年度比)	継続		業費 万円)	292.0	うち市賃		240.0	H33 年度	-
	担	担当課 部名 建設部 課名				建築	<b>칥</b> 誹	果	会計区	分		一般	luli.	事業区	分	ハー	ĸ		

1 池木の祝文		
まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-6	時代と市民の期待・要請に応え活力みなぎる都市づくりをすすめる
施策の 方向性	活を支え	わたって住み続けたい、さらに活力ある都市として成長・発展させていくという視点から都市構造を捉え、生える都市機能を維持・向上させるとともに、中心部における魅力ある地域、拠点への再生、北部地域をはじめかな文化、自然資源等をいかし効果を高める取組などにより、これからの時代を先導する活力あるまちづくます。
	1	★ 生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持・増進)
	2	★ 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備
取 組	3	(仮称)JR総持寺駅を活かした都市づくり
★: 重点プラン	4	★ 北部地域の魅力向上
該当取組	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★: 重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

実施計画										小里小	/ / V II/	<b>Ч</b>	取組、◎	・垂がいる	/ V 11/2	コチ木
取組	5-6-1	★ 生活を支え	る拠点	の整	備•	充	実(拠,	点の配	置	とネッ	トワー	クの	)維持	▪増進	()	
事業名	◎ 立地	也適正化計画策定	事業													
	市づくりを市の実現	推進し、活力維持と持に向け、改正都市再生	持続可能 生特別措	な都 計置法	н	内	①都市	機能誘	導施	配設の格	金計				の見	込み F度比)
及び				-	29	容	②居住	誘導区	域の	検討					年度 H31	継続
做安	や市街地	整備】			度										年度	継続
			心市街均	也・駅						- Alle -++	1 1				年度	継続
							継続			6.2			3.1	H33 年度	継続	
担当課	部名	都市整備部	都	市運	女第	意課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ		
事業名	◎【再	掲】茨木市中心市	街地沿	5性化	事	業										
	地活性化ル 街地活性化 また、都可	こ関する法律」に基づく、 比基本計画」を策定する。 市計画マスタープランで(	「茨木市 立置づけ	中心市ている		rta	①内閉	存とのも	力議	T117	マママン	<b>む</b> づ	、休里の	棒筑	の見 (対前 <sup>4</sup>	込み
目的 及び				29							<i>^ / /  </i>	、ktr 山i) ヘン	"件宋	年度	-	
概要		1:5-4-1 計画的な都市	や市街	度										年度	-	
	【関連取組	1:5-6-2 魅力ある中心市	周辺											H32 年度	-	
		1:5-9-1 民間との連携、	<b>計用】</b>				完了			(4.8)			(4.8)	H33 年度	-	
担当課	部名	都市整備部	封地	新	生課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ			
	事     目及概       担業     100       日及概     100       担業     100       日及概     100       日本     100       日本 </th <th>事業名  ③ 立 対</th> <th>事業名 ② 立地適正化計画策定 都市計画マスタープランで掲げ市づくりを推進し、活力維持と持市の実現に向け、改正都市再2 (大き) で基づく立地適正化計画の策が概要 【関連取組:5-4-1 計画的な都や市街地整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中周辺の整備】  「関連取組:5-6-2 魅力ある中間の活性化と図るた地活性化に関する法律」に基づく、街地活性化基本計画」を策定する。また、都市計画でスタープランで機能配置を踏まえた。また、都市場で関連取組:5-4-1 計画的な都市地整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心可の整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、</th> <th>事業名 ◎ 立地適正化計画策定事業 都市計画マスタープランで掲げた本市で 市づくりを推進し、活力維持と持続可能 市の実現に向け、改正都市再生特別抗 に基づく立地適正化計画の策定を行う。 機連取組:5-4-1 計画的な都市基盤 や市街地整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街が 周辺の整備】  「再掲】茨木市中心市街地活 本市中心市街地の活性化を図るため、「中心地活性化に関する法律」に基づく、「茨木市街地活性化基本計画を策定する。また、都市計画マスタープランで位置づけ、拠点とのしての機能配置を踏まえたものとす、概要 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備地整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅の整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活</th> <th>事業名 ◎ 立地適正化計画策定事業  都市計画マスタープランで掲げた本市の都市づくりを推進し、活力維持と持続可能な都市の実現に向け、改正都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画の策定を行う。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】  「関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地活性化基本計画」を策定する。また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市地監付にといる。また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市地を指しての機能配置を踏まえたものとする。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】</th> <th>事業名 ◎ 立地適正化計画策定事業  都市計画マスタープランで掲げた本市の都市づくりを推進し、活力維持と持続可能な都市の実現に向け、改正都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画の策定を行う。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地部・駅周辺の整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地活性化事本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化基本計画」を策定する。また、都市計画マスタープシンで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市地点とのしての機能配置を踏まえたものとする。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】</th> <th>事業名 ◎ 立地適正化計画策定事業  都市計画マスタープランで掲げた本市の都市づくりを推進し、活力維持と持続可能な都市の実現に向け、改正都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画の策定を行う。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業とが表別である。また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市街地活性化基本計画」を策定する。また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市街地活性化基本計画を策定する。また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市街地活性化基本計画を第まえたものとする。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】</th> <th>事業名 ◎ 立地適正化計画策定事業  都市計画マスタープランで掲げた本市の都市づくりを推進し、活力維持と持続可能な都市の実現に向け、改正都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画の策定を行う。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地・駅周辺の整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性の実現に向け、都市地活性化基本計画を策定する。また、都市計画マスタープランで位置づけている資地活性化基本計画を策定する。また、都市計画マスタープランで位置づけている資地活性化基本計画を策定する。また、都市計画マスターブランで位置づけている資格ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市地に対しての機能配置を踏まえたものとする。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】  オ内容  プ方向性(対前年度比)</th> <th>事業名 ◎ 立地適正化計画策定事業  都市計画マスタープランで掲げた本市の都市づくりを推進し、活力維持と持続可能な都市の実現に向け、改正都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画の策定を行う。 (関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地部・駅周辺の整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅 会計区  事業名 ◎ 【再掲】茨木市中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化基本計画」を策定する。また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市街地活性化基本計画を策定する。また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市街地活性化基本計画を第まえたものとする。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】  「方向性 (対前年度比) 完了</th> <th>事業名 ◎ 立地適正化計画策定事業  都市計画マスタープランで掲げた本市の都市づくりを推進し、活力維持と持続可能な都市の実現に向け、改正都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画の策定を行う。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】  「関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化基本計画」を策定する。また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市街地活性化基本計画」を策定する。また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市街地活性化のしての機能配置を踏まえたものとする。 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】  プ方向性(対前年度比) 完了 事業(百世) 第一方向性(対前年度比) 完了 事業(百世) 第一位 第一位 第一位 第一位 第一位 第一位 第一位 第一位 第一位 第一位</th> <th>事業名 ◎ 立地適正化計画策定事業  都市計画マスタープランで掲げた本市の都市づく9を推進し、活力維持と持続可能な都市の実現に向け、改正都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画の策定を行う。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地野園辺の整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】  「関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地活性化基本計画」を策定する。 また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市地点とのしての機能配置を踏まえたものとする。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】  「方向性 (対前年度比) 完了 事業費(百万円)</th> <th>事業名 ② 立地適正化計画策定事業  都市計画マスタープランで掲げた本市の都市づくりを推進し、活力維持と持続可能な都市の実現に向け、改正都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画の策定を行う。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地活性化場別の整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】  事業名 都市整備部 課名 都市政策課 会計区分 一般  事業名 ② 【再掲】茨木市中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性の活性の表別に基づく、「茨木市中心市街地活性化関する法律」に基づく、「茨木市中心市街地活性化関する法律」に基づく、「茨木市中心市街地活性化の機能配置を踏まえたものとする。また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市拠点とのしての機能配置を踏まえたものとする。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】  「方向性 (対前年度比) 完了 事業費 (百万円) (4.8)</th> <th>事業名 ② 立地適正化計画策定事業  都市計画マスタープランで掲げた本市の都市づくりを推進し、活力維持と持続可能な都市の実現に向け、改正都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画の策定を行う。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地・駅周辺の整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性の実現に向け、都市地点とのしての機能配置を踏まえたものとする。また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市地点とのしての機能配置を踏まえたものとする。また、都市計画マスタープランで位置がけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市地点とのしての機能配置を踏まえたものとする。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】  「方向性」(対面・変更</th> <th># *** ② 立地適正化計画策定事業    おおお</th> <th>事業名</th> <th>事業名 ② 立地適正化計画策定事業  都市計画マスタープランで掲げた本市の都市づくりを推進し、活力維持と持続可能な都市の実現に向け、改正都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画の策定を行う。 及び概要 (関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備 と市街地整備] (関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備]</th>	事業名  ③ 立 対	事業名 ② 立地適正化計画策定 都市計画マスタープランで掲げ市づくりを推進し、活力維持と持市の実現に向け、改正都市再2 (大き) で基づく立地適正化計画の策が概要 【関連取組:5-4-1 計画的な都や市街地整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中周辺の整備】  「関連取組:5-6-2 魅力ある中間の活性化と図るた地活性化に関する法律」に基づく、街地活性化基本計画」を策定する。また、都市計画でスタープランで機能配置を踏まえた。また、都市場で関連取組:5-4-1 計画的な都市地整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心可の整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、	事業名 ◎ 立地適正化計画策定事業 都市計画マスタープランで掲げた本市で 市づくりを推進し、活力維持と持続可能 市の実現に向け、改正都市再生特別抗 に基づく立地適正化計画の策定を行う。 機連取組:5-4-1 計画的な都市基盤 や市街地整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街が 周辺の整備】  「再掲】茨木市中心市街地活 本市中心市街地の活性化を図るため、「中心地活性化に関する法律」に基づく、「茨木市街地活性化基本計画を策定する。また、都市計画マスタープランで位置づけ、拠点とのしての機能配置を踏まえたものとす、概要 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備地整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅の整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活	事業名 ◎ 立地適正化計画策定事業  都市計画マスタープランで掲げた本市の都市づくりを推進し、活力維持と持続可能な都市の実現に向け、改正都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画の策定を行う。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】  「関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地活性化基本計画」を策定する。また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市地監付にといる。また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市地を指しての機能配置を踏まえたものとする。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】	事業名 ◎ 立地適正化計画策定事業  都市計画マスタープランで掲げた本市の都市づくりを推進し、活力維持と持続可能な都市の実現に向け、改正都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画の策定を行う。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地部・駅周辺の整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地活性化事本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化基本計画」を策定する。また、都市計画マスタープシンで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市地点とのしての機能配置を踏まえたものとする。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】	事業名 ◎ 立地適正化計画策定事業  都市計画マスタープランで掲げた本市の都市づくりを推進し、活力維持と持続可能な都市の実現に向け、改正都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画の策定を行う。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業とが表別である。また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市街地活性化基本計画」を策定する。また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市街地活性化基本計画を策定する。また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市街地活性化基本計画を第まえたものとする。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】	事業名 ◎ 立地適正化計画策定事業  都市計画マスタープランで掲げた本市の都市づくりを推進し、活力維持と持続可能な都市の実現に向け、改正都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画の策定を行う。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地・駅周辺の整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性の実現に向け、都市地活性化基本計画を策定する。また、都市計画マスタープランで位置づけている資地活性化基本計画を策定する。また、都市計画マスタープランで位置づけている資地活性化基本計画を策定する。また、都市計画マスターブランで位置づけている資格ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市地に対しての機能配置を踏まえたものとする。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】  オ内容  プ方向性(対前年度比)	事業名 ◎ 立地適正化計画策定事業  都市計画マスタープランで掲げた本市の都市づくりを推進し、活力維持と持続可能な都市の実現に向け、改正都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画の策定を行う。 (関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地部・駅周辺の整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅 会計区  事業名 ◎ 【再掲】茨木市中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化基本計画」を策定する。また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市街地活性化基本計画を策定する。また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市街地活性化基本計画を第まえたものとする。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】  「方向性 (対前年度比) 完了	事業名 ◎ 立地適正化計画策定事業  都市計画マスタープランで掲げた本市の都市づくりを推進し、活力維持と持続可能な都市の実現に向け、改正都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画の策定を行う。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】  「関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化基本計画」を策定する。また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市街地活性化基本計画」を策定する。また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市街地活性化のしての機能配置を踏まえたものとする。 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】  プ方向性(対前年度比) 完了 事業(百世) 第一方向性(対前年度比) 完了 事業(百世) 第一位 第一位 第一位 第一位 第一位 第一位 第一位 第一位 第一位 第一位	事業名 ◎ 立地適正化計画策定事業  都市計画マスタープランで掲げた本市の都市づく9を推進し、活力維持と持続可能な都市の実現に向け、改正都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画の策定を行う。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地野園辺の整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】  「関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地活性化基本計画」を策定する。 また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市地点とのしての機能配置を踏まえたものとする。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】  「方向性 (対前年度比) 完了 事業費(百万円)	事業名 ② 立地適正化計画策定事業  都市計画マスタープランで掲げた本市の都市づくりを推進し、活力維持と持続可能な都市の実現に向け、改正都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画の策定を行う。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地活性化場別の整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】  事業名 都市整備部 課名 都市政策課 会計区分 一般  事業名 ② 【再掲】茨木市中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性の活性の表別に基づく、「茨木市中心市街地活性化関する法律」に基づく、「茨木市中心市街地活性化関する法律」に基づく、「茨木市中心市街地活性化の機能配置を踏まえたものとする。また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市拠点とのしての機能配置を踏まえたものとする。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】  「方向性 (対前年度比) 完了 事業費 (百万円) (4.8)	事業名 ② 立地適正化計画策定事業  都市計画マスタープランで掲げた本市の都市づくりを推進し、活力維持と持続可能な都市の実現に向け、改正都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画の策定を行う。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地・駅周辺の整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化事業  本市中心市街地の活性の実現に向け、都市地点とのしての機能配置を踏まえたものとする。また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市地点とのしての機能配置を踏まえたものとする。また、都市計画マスタープランで位置がけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市地点とのしての機能配置を踏まえたものとする。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】  「方向性」(対面・変更	# *** ② 立地適正化計画策定事業    おおお	事業名	事業名 ② 立地適正化計画策定事業  都市計画マスタープランで掲げた本市の都市づくりを推進し、活力維持と持続可能な都市の実現に向け、改正都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画の策定を行う。 及び概要 (関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備 と市街地整備] (関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備]

	取組	5-6-2	★ 魅力ある中	心市征	b地·馬	尺馬	辺	!の整備	Ħ	Α.	主灬	ノフン砂		. O ±	27111/2	у <b>р</b> ух.	コテル
3	事業名	◎ 茨フ	<b>卜市中心市街地沿</b>	性化	事業												
			中心市											事業の の見 (対前年	込み		
	目的及び	び拠点とのしての機能配置を踏まえたものとする。						①内閣 構築検					ィネジメ	/ト体制	削の	H30 年度	-
	概要	<ul><li>20 拠点とのしての機能配置を踏まえたものとする。</li><li>長要 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市</li></ul>														H31 年度	-
		地整備】 【関連取組:5-6-1 生活を支える拠点の整備・充 (拠点の配置とネットワークの維持・増進)】														H32 年度	-
		【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】						方向性 <sup>前年度比)</sup>	完了	事業		4.8	うち市負担 (百万円		4.8	H33 年度	-
	担当課	部名	都名 都市整備部 課名 市				新生	生課	会計区	分		一般	事	区分		ソフト	`

	<b>丰米</b> 力	@ ID5	サナ町 推 中 ママカ	. <i>1</i> -1	亩少/5	出击	- Ark	<u>.</u>								
4	事業名	JR茨木駅	茨木駅構内エスカー	ならびし	に本市	甲爭	* 亲	<b>E</b>							事業のの見く対前な	
	目的	ター設置	]るため、駅構内におけ !等を行うとともに、本事 っている東口駅前広場	業によ	り暫定	H 29	内容	(a) #t   I	上部デ	カレ ッキ	ーター! ·庇部分	整備負担 及び交	旦金7億3,3 差点改良]	37万円 [事	H30 年度	完了
	及び 概要	部分なら	びに駅前広場の交差が	点整備	行う。	年度		3,000).	<i>i</i> Fi						H31 年度	-
		【関連取 用】	組:5-9-1 民間との連	携、活力	力の活		_	方向性	2012 A-1-	事	■業費	500 4	うち市負担分	202.5	H32 年度 H33	-
	I	±0.50	dott also tota tilla dara		-1-/	La Lit.	(対	前年度比)	継続	(百	万円)	763.4	(百万円)	396.7	年度	-
	担当課	部名	都市整備部	課名				生課	会計区	分		一般	事業区	分	ハー	F
5	事業名	◎ 阪急	急茨木市駅西口駅	前周記	刀整備	事	業									
			引口である西口駅前周 前点の機能強化とともに					1測量差		前几	広場・道	路•駅前			事業の の見 (対前年	
	目的 及び	が集える	ロ点の機能強化とこもに 空間として、活性化を[ )の実現を図る。	図り、魅	力ある	H 29		2基本記 3関係相	幾関との	協調	議	易・交差	点等)		H30 年度	継続
	概要		か天死を囚る。 組:5-9-1 民間との連	推 汗-	カの汗	年度		4事業技 5東口周							H31 年度	継続
		用】	極.5-5-1 民間との産	7071百			+ c) #+		車	■業費		うち市負担分	I	H32 年度 H33	継続	
								方向性 前年度比)	継続		万円)	31.9	(百万円)	27.2	年度	継続
	担当課	部名	都市整備部			新:	生課	会計区	分		一般	事業区	分	ハー	ド	
6	事業名	⊚ JR≀	<b>灰木駅西口駅前</b> 周	辺整(	<b>備事業</b>	É										
			同口である西口駅前周 によったがおけれ					<ol> <li>①基本</li> </ol>	計画策	定領	筝 1,48	1万円			事業の の見 (対前年	
		が集える	う点の機能強化とともに 空間として、活性化を「			H 29		1まちつ	うくり 協請	会	運営支	援	Ī		H30 年度	継続
	及び 概要		の実現を図る。	Life or .	Lan	年度			幾関協請						H31 年度	継続
		用】	組:5-9-1 民間との連	携、店ノ	りの活										H32 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続		業業費 (万円)	14.9	うち市負担分 (百万円)	11.7	H33 年度	継続
	担当課	部名	市征	封地	新	生課	会計区	分		一般	事業区	分	ハー	ド		
7	事業名	【再	掲】立地適正化計	画策	定事業											
		市づくりを	ロマスタープランで掲げ を推進し、活力維持と掲 記に向け、改正都市再生	は都										事業の の見 (対前 <sup>年</sup>		
	目的		立地適正化計画の策算	H 29	内容	①都市 ②居住				鈴討			H30 年度	継続		
	及び 概要		月連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備 市街地整備】												H31 年度	継続
		【関連取	『釜禰』 組:5-6-1 生活を支え (拠点の配置とネットワ										H32 年度	継続		
		viti Julye	(ACTIVE A PER PER C. L. N. L. A.	/ V/M	13/ <b>1</b>			方向性 前年度比)	継続		事業費 百万円)	(6.2)	うち市負担分 (百万円)	(3.1)	H33 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	都	市運	女策	き課 -	会計区	分		一般	事業区	分	ソフ	,	

8	事業名	【再	掲】創業促進補助	事業													
		利を目的 料(6か月	はいる創業を促進するたける創業を促進するたけとして創業する者に対けない月分・限度を 対装工事費の1/2(限月の	して、テ 頁 月額:	ナント 5万											の見	方向性 込み 拝度比)
	目的	を補助す				H 29		①市内して補具			を目	的として	「創業す	る者に	こ対	H30 年度	継続
	概要	業計画の	作成に関する指導等を 記問により状況把握に	を行い、	開業	年 度										H31 年度	継続
		【関連取	組:5-2-1 地域経済の	成長を	先導					vie	T					H32 年度	継続
		する事業	者の創出・育成】					方向性 <sup>前年度比)</sup>	継続	事業		(11.3)	うち市負担		1.3)	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	商	工党	<b></b>	課	会計区	分	-	一般	事	業区分		ソフ	F	
9	事業名	【再	揭】商工会議所事	業補助	j												
			「産業の創出・育成並な発展を促進するため、					①遊士	商丁会	議託力	ぶ行う	<b>地</b> 标為	産業活性	と小車	娄		方向性 込み 拝度比)
	目的	所が行う	市内産業の総合的発展 て補助金を交付する。			H 29	内容	中小企		所事業			援ネッ			H30 年度	継続
	概要		(福助金を文刊する。 組:5-1-3 商業の活性		年 度		ALC III	->-) AL C.	~11						H31 年度	継続	
			組:5-1-4 企業活動へ	1											H32 年度	継続	
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業 (百万		(13.9)	うち市負担 (百万F		13.9)	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商	工党	<b></b>	(課	会計区	分		一般	事	業区分		ソフ	7

]	取 組	5-6-3	(仮称)JR約	総持寺	駅を活	5か	ار.	た都市	づくり		ボノフマル					
10	事業名	(仮	称)JR総持寺駅整	備事業	É											
			春、JR京都線摂津富				_	D/IE4	~\ 1D\%\\	t: t:E0 0:	÷11. == 17. √ ×	<b>.</b>	<b>Ь \</b> ヱ □⁄2 击	ケ/曲)ァ	の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み 年度比)
	目的 及び		と周辺整備を行うこと と都市機能の充実・強			H 29 年	容			等等駅の 系負担金	設置及び	日日	日理路委	全1用(こ	H30 年度	完了
	概要	【関連取約 用】	1:5-9-1 民間との連	携、活力	りの活	度									H31 年度	-
		用】												1	H32 年度	-
								方向性 前年度比)	継続	事業費	1496.2		市負担分 <b>百万円</b> )	734.3	H33 年度	-
	担当課	部名	都市整備部	市往	封地	新:	生課	会計区	分	一般		事業区	分	ハー	ド	
11	事業名	阪急	総持寺駅西口駅	前交通	重広場	整	備	事業								
			春に(仮称)JR総持寺 その整備効果をより活					①委託		百万円 物件調査	<b>松</b>				の見	方向性 込み 丰度比)
	目的及び	急総持寺	駅西口に駅前交通広 、総持寺地域の交通和	崩する	H 29	内容	②補償			₹)				H30 年度	拡充	
	概要		にの充実・強化を図る	기미그	年度									H31 年度	継続	
														H32 年度	完了	
								方向性 前年度比)	拡充	事業費 (百万円	63.0		市負担分 <b>百万円</b> )	63.0	H33 年度	-
	担当課	部名	建設部	課名	道	路3	を通	銀	会計区	分	一般		事業区	分	ハー	ĸ

12	事業名	(仮	称)JR総持寺駅開	業記念	典方念	.の <u>'</u>	実加	包								
		市海営木	×線 摂津富田・茨木間	別で争弘	eth 75										事業の の見 (対前 <sup>年</sup>	込み
	及び	ある(仮利記念し、	が)JR総持寺駅の平成 関係者を招き、新駅開 通路等周辺整備の完成	30年春 業及び	開業を 駅前広	H 29 年	内容	<ul><li>①負担</li></ul>	金(JR西	5日本	本) 1.6 ·	百万円			H30 年度 H31	_
			日本との共同開催にて	,	20,94	度									年度 H32 年度	_
								了向性 前年度比)	拡充		業費 万円)	1.6	うち市負担分 (百万円)	1.6	H33 年度	-
	担当課	部名	都市整備部	課名	市征	封地	新生	上課	会計区	分		一般	事業区	分	ハー	ド

				N - ++ 1 .					★:重点	プフン診	核当取組、@	)重点に	プフン該	当事業
耳	文 組	5-6-4	★ 北部地域	或の魅力	可上									
13	事業名	◎ 北部	部魅力アップ事	業										
		史環境、 新名神高	『地域にある緑豊か 現在事業推進して 『速道路、彩都の力	いる安威川 、規模プロシ	ダム、 <sup>ジェクト</sup>			7向上事業		*強化レ	対話の推進	き プロ	の見	方向性 込み 年度比)
	目的 及び	域のあり	源をつなぐとともに 方も踏まえ、北部サ	也域の魅力	句上を	H 29 年	と モーシ	ョン展開)			V1 III △ > 1 E YE	=\	H30 年度	継続
	概要	凶るため	の検討と取組を地 る。	- 奥で関係し	11466	度	·[1/1]	<b></b> (きた」フォ	トトサイクリ	ングのぽ	実施		H31 年度	継続
			組:5-9-1 民間との	の連携、活	力の活					,	ľ	,	H32 年度	継続
		用】					方向性 (対前年度比)	継続	事業費	10.8	うち市負担分 (百万円)	8.8	H33 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	北部	『整』	<b>備推進課</b>	会計区分	<del>ने</del>	一般	事業区	分	ソフ	<b>١</b>
14	事業名	© \$1	4周辺整備事業	É										
			=7月に完成する安										の見 (対前4	方向性 込み 年度比)
	目的 及び 概要		完成後の周辺の魅 施するための取り			29 年	内容 ①民間	活力を導	拿入した制	度設計	、検討など		H30 年度 H31	継続継続
	1702	用】	組:5-9-1 民間との	の連携、活力	力の活	度							年度 H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	31.0	うち市負担分 (百万円)	16.8	H33 年度	完了
	担当課	部名	都市整備部	課名	北部	『整	<b>⋕推進課</b>	会計区分	र्भे ।	一般	事業区	分	ハー	ド
15	事業名	【再	掲】ダム推進事	業										
			で域住民の生命と見るの推進に必要不可能である。										の見	方向性 込み 年度比)
	目的 及び		、大阪府等と連携			H 29	内 ①建設	促進					H30 年度	継続
	概要		組:4-1-6 安威川	ダムによるネ	台水対	年度							H31 年度	継続
		策】					方向性	/hlt /-b	事業費	(2)	うち市負担分	(2)	H32 年度 H33	継続
					1		(対前年度比)	継続	(百万円)	(0)	(百万円)	(0)	年度	完了
	担当課	部名	都市整備部	課名	北部	『整』	<b>⋕推進課</b>	会計区分	<del>ने</del>	一般	事業区	分	ソフ	F

16	事業名	【再	揭】新名神周辺道	路等	整備事	業										
		環境、歴	]連事業として、千提寺 史、文化資源等の恵ま して、都市住民との交	れた地	域資										の見	方向性 込み 年度比)
		るとともに	備することにより地域の 、新名神高速道路の例	共用開始	台に伴	H 29	内容		泉原千捌	是寺線道區	路改良事	業			H30 年度	継続
	概要	行うことに	・通が増加するため、市より歩行者、車両等の			年度									H31 年度	継続
		する。	組:5-8-2 道路整備の							± ** **					H32 年度	完了
		【	M.9-0-2 追始登州の	/				方向性 l前年度比)	継続	事業費	(101.1)		万円)(5	1.6)	H33 年度	
	担当課	部名	建設部	課名	道	路2	交通	<b>直課</b>	会計区分	<b>?</b>	一般		事業区分		ハー	ド
17	事業名	【再	掲】千提寺菱ヶ谷	遺跡虫	以跡整	備	事美	<b>業</b>								
		千提寺菱	をなるでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	産として	の価										の見	方向性 込み 年度比)
	目的 及び		iするために調査を行い )一つの拠点としても活		H 29			文化財研 分析 50	推認調査 )万円	338万円	9			H30 年度	完了	
	概要	_	こに向けて取り組む。			年度									H31 年度	-
		【関連取為	組:3-3-4 歴史遺産の	保存・約	継承】										H32 年度	-
								方向性  前年度比)	継続	事業費	(3.9)		市負担分 「万円)	1.9)	H33 年度	-
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会	教育	育振	<b>長興課</b>	会計区分	<b>宁</b>	一般		事業区分		ハー	ド
18	事業名	【再	掲】ダム周辺道路	整備事	業											
		水源地域	(整備計画に基づき、安	を威川を	ブム周										の見	方向性 .込み 年度比)
	目的	辺の道路	客整備事業を推進する。		H 29	内容		/ク関連	道路事業	(車作1-	号線	ł)		H30 年度	継続	
	及び 概要	策】	組:4-1-6 安威川ダム	台水対	年度									H31 年度	継続	
		【関連取為	組:5-8-2 道路整備の											H32 年度	継続	
								方向性  前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(26)		市負担分 「万円)	4.1)	H33 年度	完了
	担当課	部名	建設部	課名		路3	交通	通課	会計区分	<del>}</del>	一般		事業区分		ハー	ド

「肥米の佩女		
まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-7	環境負荷の低減や少子・高齢化社会を見据え持続可能な都市づくりをすすめる
施策の 方向性	存のスト: す。	資源を有効に活用し、地域内で循環する省エネルギー型の都市をめざすとともに、誰にもやさしい福祉のまちづくりや、既 ックの活用や施設の長寿命化などを進めていきます。これにより、将来にわたって住み続けることができるまちをめざしま かすると懸念される空き家については、所有者への働きかけを行うほか、まちづくりへの活用をめざします。
	1	環境負荷の低減
	2	★ 誰にも優しいまちづくりの推進
取 組	3	危険家屋・老朽マンション対策
★: 重点プラン	4	都市計画施設の見直し
該当取組	5	
	6	
	7	

#### 2 実施計画

#### ★: 重点プラン該当取組、<br/> の重点プラン該当事業

£		そかれる丁世	4									· 玉灬.	/ / /	ヨ収組、©	シエハバノ	/ V 1//	$\neg + \pi$
	取	組	5-7-1	環境負荷の	(低減												
1	1	事業名	低炭	表都市づくり推議	進事業												
			づくりを促	ミュニティの考え方を 進するなど、環境にっ 宇実現し、低炭素都市	やさしい	ライフ					<b></b>	ティの君	考え方を	導入した者	『市づ	事業の の見 (対前 <sup>年</sup>	込み
		目的	いきます。	丁工場跡地でのスマー	,. –		H 29	内容	y くりの仮 図東芝		地で	でのスマ	・ートコミ	ュニティ事	業に関	H30 年度	継続
				化に向け協議を行っ			年度		する協	議						H31 年度	継続
				1:5-9-1 民間との連	携、活力	力の活										H32 年度	継続
			用】						方向性 対前年度比)	継続		事業費 百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H33 年度	継続
		担当課	部名	都市整備部	課名	都	市具	政分	策課	会計区	分	-	一般	事業区	分	ソフ	,

耵	又 組	5-7-2	★ 誰にも優し	ハまち	づくり	の排	推進							
2	事業名	⊚ バリ	アフリー化推進事	業(ソ	フト)									
		に関する	障害者等の移動等の 法律(バリアフリー法)	に基づ	き、旅								事業の の見 (対前年	込み
	目的 及び	客施設や 者等が利	ッ病院、福祉施設などア  用する施設が集まっク	高齢者 <sup>々</sup> と地区(	き で で で で で で で で で で り で り で り り り り り	H 29	内 ②バ! 容 理	リアフリー	基本構想は	こ基づい	た取組の追	行管	H30 年度	継続
	概要	整備地区 体的に推	〕)のバリアフリー化を <u>』</u> :進する。	重点的か	7-0-	年度							H31 年度	継続
													H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	道	路2	<b>交通課</b>	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	,
3	事業名	⊚ バリ	アフリー化推進事	業(ハ	ード)									
		バリマラリ	一基本構想及び特定	• 車 ※ ⇒1	.aai) =		①II:	<b></b>					事業の の見 (対前年	込み
		基づき、	重点整備地区の道路を			H 29		関連経路 7.0百万円	各のバリアフ 日	フリー化			H30 年度	継続
	概要	リー化に	収り組む。			年度							H31 年度	継続
													H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比	継続	事業費 (百万円)	27.0	うち市負担分 (百万円)	12.2	H33 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	道	路3	<b>交通課</b>	会計区	分	一般	事業区	分	ハー	ド

4	事業名	福祉	止のまちづくり事業														
		2.李缊玄	▶障害者が、安全で気	軽におご	ふみる											事業の の見 (対前 <sup>年</sup>	込み
	ш г ,	社会に参	神音を持ている。 画し、自らの意思で自 都市施設のうち大阪府	由に行	動で	H 29	内容	①事前 查	協議書	の受	領•審	査及び	完了届	出書の	審	H30 年度	継続
	概要	づくり条例	部巾旭畝のプラス酸水 列に基づく基準適合努 こついて、事前協議を行	力義務		年度										H31 年度	継続
		在来1000	- フィ・C、事制 励成です	1 /0												H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続		業費 万円)	0.0	うち市負担 (百万F		0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	審	查排	旨導	課	会計区	分		一般	事	【区分		ソフ	<b>-</b>

		ı										*	: 里点:	ノフン診	《当取》	1, C	リ里 只.	プラン該	当 争 兼
	取	. 組	5-7-3	}	危険家屋∙∶	老朽マ	ンショ	ンジ	対領	<b>E</b>									
Ę	5	事業名	空》	家対領	<b></b>														
				—	人口減少の進行						の活用		進する	手法の	検討			の見	方向性 込み 拝度比)
		目的 及び	対策基本	計画	懸念されるため、 」を策定し、空家	化を抑	制する	H 29	内容	③特定	会の運 空家の	判断						H30 年度	継続
		概要	と共に、3 る。	空家の	適正管理、利活	用を促	進す	年度		<ul><li>4特定</li></ul>	空家の	措置	に関す	トる条例	の制定	-		H31 年度	継続
																		H32 年度	継続
						1				方向性 前年度比)	継続		業費 万円)	3.4	うち市負 (百万		3.4	H33 年度	臨時 拡充
		担当課	部名	者	都市整備部	課名	居	住耳	汝策	課	会計区	分	-	一般	事	業区	分	ソフ	<u>۲</u>
6	3	事業名	マン	ノション	ン建替円滑化	/等事	務事業	É											
																		の見	方向性 .込み 年度比)
		目的 及び	マンション	/の適	好な居住環境の 正管理や建替事	事業に伴	ら建替			_	ションの よう支援	-		や建替	事業が日	円滑	に行	H30 年度	継続
		概要	組合の設	さ立なと	どに対する支援	を行いす	きす。	年度										H31 年度	継続
																		H32 年度	継続
										方向性 前年度比)	継続		業費 万円)	0.1	うち市負 (百万		0.1	H33 年度	継続
		担当課	部名	者	都市整備部	課名	居	住耳	汝策	課	会計区	分		一般	事	業区	分	ソフ	<u>۲</u>
7	7	事業名	建築	<b>桑物</b> 約	推持保全指導	事業													
																		の見	方向性 ,込み    度比)
		目的 及び			竟を保全するた。 いない建築物の			H 29	内容	0	維持保  指導	全指	導					H30 年度	継続
					売的に保つよう指			年度										H31 年度	継続
																		H32 年度	継続
										<b>方向性</b> 前年度比)	継続		業費 万円)	0.0	うち市負 (百万		0.0	H33 年度	継続
		担当課	部名	者	都市整備部	課名	審	查	旨導	課	会計区	分	-	一般	事	業区	分	ソフ	١-

取	組	5-7-4	都市計画旅	設の」	見直し						· · <u>· · · · · · · · · · · · · · · · · </u>	, , , ,		<u>ラ エ / ハ</u>	<b>ベノ ノン 10</b> 人	77/0
8	事業名	【再	掲】都市計画決定	等事	务事業	į										
			関係機関と協議・調整 十画決定・変更を行う。		なが										の見	方向性 込み 年度比)
	目的 及び	【関連取約	1:5-4-1 計画的な者	整備	H 29 年			計画決	定等	<b>等</b>				H30 年度 H31	継続	
		や市街地 【関連取約	VIII -	※や建築	物•十	度									年度	継続
		地利用の		. 1/4										H32 年度	継続	
							方向性 対前年度比)	継続		業費 (万円)	(1.4)	うち市負担分 (百万円)	(1.	H33 年度	継続	
	担当課	部名	都市整備部	都	市具	政策	策課	会計区	分		一般	事業区	3分	ソフ	<u>۲</u>	

「心泉の似女		
まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-8	暮らしと産業を支える交通を充実させる
施策の 方向性	すい・移	に位置する優位性をさらにいかしていくとともに、平成25年度に策定した総合交通戦略に基づき、「住みや動しやすい」まちづくりのため、道路ネットワークの充実と強化、公共交通の利用促進や歩行者・自転車空全性の向上等の総合的な交通施策を進めます。
	1	★ 公共交通の維持・充実
	2	★ 道路整備の推進
取 組	3	駐車場・駐輪場の充実
★:重点プラン	4	歩行者、自転車利用環境の整備
該当取組	5	★ 交通安全対策の推進
	6	
	7	

2	実施計画	<u> </u>								★:重/	スプラン診	亥当	取組、◎	重点	プラン該	当事業
J	仅 組	5-8-1	★ 公共交通の	の維持・	充実											
1	事業名	◎ 茨/	木市総合交通戦闘	各事業												
															の見	方向性 込み 年度比)
	目的 及び	け、市民	、 、交通事業者、関係権	幾関など	多様な		内容		iの進行 <sup>i</sup> iに位置・		ている短	•中	期施策の	の実施		臨時 拡充
	概要	王体との 進する。	協働により、計画的に	【父逋施】	兼を推	年度									H31 年度	臨時 拡充
															H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費	0.0		市負担分	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	都	市具	政策	課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>
2	事業名	◎ 公∌	<b>共交通対策事業(</b>	ハード	)											
		将来のな	₹通体系づくりの基本	理念 其	本方	н	Д	⑤公共	交通マ	ップ : C=4	上に向に .0百万円  難者への			*****	の見	方向性に込み年度比)
		針に基っ で実施す	づき、9のテーマと短、 「る20の交通施策に取るの将来像」を実現す	中期及び 対組み、同	長期	29 年度	容	の検 ⑦バス		ョンシス	テム導入	事業	<b></b> 養補助		年度 H31 年度	継続継続
															H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費(百万円)	6.7		市負担分	6.7	H33 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	道	[路]	交通	課	会計区	分	一般		事業区	分	ハー	ド
3	事業名	◎ 公封	共交通対策事業(	ソフト)												
															の見	方向性 込み 年度比)
	目的 及び	針に基づ	を通体系づくりの基本 づき、9のテーマと短、	中期及び	長期	H 29	内容	①地域	バス路約	泉維持費	補助金				H30 年度	継続
	概要		├る20の交通施策に頃 らの将来像」を実現す		目標と	年度									H31 年度	継続
										古光井					H32 年度	継続
								前年度比)	継続	事業費	1.5		市負担分 <b>百万円</b> )	1.5	H33 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	道	[路]	交通	課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>

п	文 組	5-8-2	★ 道路整備(	の推進					★:重	只 ノフン 診	核当取組、◎	)里点ン	フン該	<b>当事</b> 兼
4	事業名	茨 フ	木松ヶ本線整備事	業										
	目的び概要	成29年度 京都線(	『心部の交通混雑の』 『末の完了をめざし、 松ヶ本町)から東中名 『道路新設、拡幅改『	府道大阪 き町までの	マ 高槻	H 29 年度	内容 ②工事 ③用地 ④負担		95.0百万 36.0百万 2.0百万	万円 万円 万円	うち市負担分	252.0	の見 (対前4 H30 年度 H31 年度 H32 年度 H33	方向性 込み 拝度比)
	担当課	部名	建設部	課名	道	i路7	(対前年度比)	会計区:	分	一般	事業区		年度	 
5	事業名	山倉	<b>並</b> 線整備事業		, ,									
	目的	市域山麓 滑化を図 進捗に合 部地区、	意部の東西交通と彩表 るため、彩都や安威 わせ、府道茨木亀區 府道忍頂寺福井線、	川ダムの 別線から新 府道余野	事業 必都東 野茨木	H 29	☆ ②工事	C= 20 C=260 C=100	).2百万	円			の見	方向性込み手度比)継続
	概要	線を経て の整備を	、中部地区、西部地 ・行う。	区へと至	る道路	年度	<b>Э</b> /П РЕ	(C-100	7.0日/71	1			H31 年度	完了
		【関連取	組:5-4-2 彩都の都	市づくり)	1								H32 年度	-
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円		うち市負担分 (百万円)	272.2	H33 年度	-
	担当課	部名	建設部	課名	道	[路2	<b>交通課</b>	会計区	分	一般	事業区	分	ハー	ド
6	事業名	新名	呂神推進事業											
	及び		5速道路㈱が整備する ド大阪府が整備するこ きを図る。			H 29 年度	内 ①建設容 ②施設						の見	方向性込み 手度比)
							方向性(対前年度比)	完了	事業費		うち市負担分 (百万円)	0.0	H33 年度	
	担当課	部名	都市整備部	課名	北部	整個	<b></b>	会計区		一般	事業区	分	ソフ	<b> </b>
7	事業名	新名	名神周辺道路等 <u>9</u>	整備事	業									
	目的び	環境、歴源を活か 変間を整る。また、	副連事業として、千提 史、文化資源等の恵 して、都市住民との2 6備することにより地域 新名神高速道路の6	まれた地 交流を促 なの活性体 共用開始	地域資 進する 化を図 に伴	H 29	内容①市道	泉原千	提寺線道	道路改良₹	事業		の見 (対前 <sup>4</sup> H30 年度	方向性込み再度比)継続
	概要	行うことに する。	を通が増加するため、こより歩行者、車両等	の安全を	確保	年度							H31 年度 H32 年度	継続完了
		判理取	組:5-6-4 市北部地		川미上】		方向性 (対前年度比)	継続	事業費		うち市負担分(百万円)	51.6	H33 年度	-
	担当課	部名	建設部	課名	道	[路]	<b>交通課</b>	会計区:	分	一般	事業区	分	ハー	ド

0	事業名	(/=	新)ID%供去即用	1277 東タル	世 市 光									
8		JR京都紡	称)JR総持寺駅店 <sup>表</sup> ・ 表表 表表 表表 表表 表表 表表 表表 表表 表表	新駅が調	设置さ			· 央線 31.8百万 诗号9号線						方向性 込み 年度比)
	目的	と都市機	と受け、利用者の交通 能の充実・強化を図る その整備を行う。			H 29	内 C=5	17.5百万 诗寺駅前海	円				H30 年度	継続
	概要		報:5-9-1 民間との連	<b>佐</b> 携、活	力の活	年度	4公嘱	•					H31 年度	継続
		用】						10.0百万	事業者	<b>‡</b> .	** <del>**</del> * * * * * * * * * * * * * * * *		H32 年度	完了
-							方向性 (対前年度比)	継続	(百万F	9) 1432.6	うち市負担分	890.8	H33 年度	-
	担当課	部名	建設部	課名		路3	<b>交通課</b>	会計区	分	一般	事業区	分	ハー	ド
9	事業名	道路	各新設·改良事業	(補助)	分)									
		<b>华行</b> 孝	自転車等の通行の安	会 め 進	世の毎		①市道	宿久庄	二丁目	安威一丁目	線			方向性 込み 拝度比)
	目的	消等、円	日転車等の通行の女 滑で快適な交通の流 からの補助採択を受け	れを確信	呆する	H 29	容 ②市道		丁目沢	良宜西二丁	目線		H30 年度	継続
	概要		整備や車道の拡幅及			年度	C=63	3.4百万円	1				H31 年度	継続
		_,,,,							古光	<b>‡</b> .	** <del>**</del> * * * * * * * * * * * * * * * *		H32 年度 H33	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業領		うち市負担分	96.3	年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	道	路3	<b>交通課</b>	会計区	分	一般	事業区	分	ハー	ド
10	事業名	道路	各新設·改良事業	(単独)	分)									
							④市道	千提寺2	2号線	重) C=343. C=20.0百万	7円		の見	方向性 ,込み    度比)
	目的		自転車等の通行の安 滑で快適な交通の流			H 29	6安元	地区内	泉 C=	C=30.0百万 63.1百万円		п	H30 年度	継続
	及び 概要		の単独事業として現道 の拡幅整備を行う。	に沿っ	て歩道	年度	⑧岩倉	町地区	内線 (	丁目線 C= C=30.0百万 C=35.0百万	円	4	H31 年度	継続
							97X	通り至旧	以形	C-33.0 日 /	7 17		H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業領		うち市負担分 (百万円)	138.6	H33 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	道	路3	<b>交通課</b>	会計区	分	一般	事業区	分	ハー	ド
11	事業名	橋勢	梁新設改良事業											
								宮3号緩 6.5百万		ぼの橋)			の見	方向性 .込み =度比)
	目的		診断の結果を基に、 こより、地震発生時によ			H 29	内 ②橋粱	耐震補 0.0百万円	強(工事	事)			H30 年度	継続
	及び 概要		とともに、老朽化橋梁			年度	③橋粱	耐震補 2.0百万円	隂(設計	十委託)			H31 年度	継続
													H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業		うち市負担分 (百万円)	57.3	H33 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	、呆	п# -	を通課	会計区	^	一般	事業区		ハー	

40	古安夕	长》	<b>办维持事業</b>														
12	事業名		梁維持事業 	及び計	画的												方向性 込み F度比)
	目的	橋梁を常	議を継続的に実施す に健全な状態に保ち	、歩行者	首及び	H 29	内容	②負担	金(定其							H30 年度	継続
		保全によ	近行の安全を確保する。 る計画的修繕(長寿命 とによりコストの縮減を	化修繕	)を実	年度		⑤安武	(設計す	Z i T	)					H31 年度	継続
		画的な維	持修繕を実施する。				_	方向性	Able Code	事	業費		うち	市負担分		H32 年度 H33	継続
	Im	40.50	7-h =11ber	-m -	\ <u>\</u>		(文	前年度比)	継続	(百	万円)	107.5		万円)	59.4	年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	追	[路]	交迫	<b></b>	会計区	分		一般		事業区	分	ハー	F
13	事業名		[掲]彩都建設推進 [Fの活性化・発展に持		- KC												
		府、茨木 者、経済 どの産学	阪の活性化・発展に向 ・箕面市、都市再生機 団体、大学、研究機関 :官が連携して、魅力と	構、民間 【、公益】 活力あ	間事業 団体な る複合			所の設	置への	取組	1み	置要望及					方向性 込み F度比)
	目的 及び	まちづく	テ「彩都」の形成に取りテ Ეを進めるため、大阪府 間事業者及び庁内関	f、都市	再生	H 29 年	内容	誘致の ③(東部	実施 『地区)	先行	テエリア	の事業	性近	<u> </u>	. ,	H30 年度 H31	継続
	概要		行いながら整備を進め		守く励	度		④(東部 組み	祁地区)	残り	のエリ	アの事業	纟化	に向け	た取り	年度 H32	継続
			組:5-4-2 彩都のまち 組:5-9-1 民間との連		力の活			方向性 前年度比)	継続		業費	(17.5)		市負担分	(17.5)	年度	継続継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	北部	整修	_	推進課	会計区			一般	(	事業区	分	ソフ	,
14	事業名	⊚【再	掲】ダム周辺道路	整備事	事業												
			战整備計画に基づき、3 3整備事業を推進する		ダム周		内										
	目的 及び 概要		組:4-1-6 安威川ダム	-	台水対	H 29 年	容		レク関連	道道	路事業	(車作1	号彩	录)		年度 H31	継続継続
	佩女	策】 【関連取	組:5-6-4 市北部地域	成の魅力	7向上】	度										年度 H32 年度	継続
								方向性 対前年度比)	継続		業費	(26)		市負担分	(14.1)	<b>⊔</b> 22	完了
	担当課	部名	建設部	課名	道	[路2	交迫	<b></b> 意課	会計区	分		一般		事業区	分	ハー	ド
15	事業名	茨ス	木松ヶ本線竣工式	典の開	<b>肩催</b>												
																	方向性 込み F度比)
	目的 及び 概要		本線の全線供用開始 2念式典を開催する。	を記念し	人、供	H 29 年度	内容		料 C=2	2.9₽	<b></b>					H30 年度 H31 年度	<u>-</u>
								方向性	新規	-	業費	2.9		市負担分	2.9	H32 年度 H33	-
	担当課	部名	建設部	課名	<b>.</b> '''	設っ	(文	前年度比)	完了 会計区		万円)		(1	万円) 事業区		年度ソフ	
	1111林	마마	(年以前)	环口	坦	四分	人儿	卫怵	云山区	71		川又		<b>学</b> 未兦	. / J	//	

									★:重点	ブフン該	当取組、◎	)重点フ	プン該	当事業	
取	又 組	5-8-3	駐車場•駐	論場の	充実										
16	事業名	市営	當駐車場管理運営	事業											
													の見	方向性 込み ∓度比)	
			道路交通の円滑化を するため駐車場施設			H 29	内 ②JR新		による駐車 に伴う市営				H30 年度	継続	
		行う。	- 7 · 公/この/両上十-の/加密以入	V E AE	# H C	年度							H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	△319.2	うち市負担分 (百万円)	0.0	H33 年度	継続	
	担当課	部名	建設部	課名	建	設領	管理課	会計区:	分	一般	事業区	分	ソフ	<b></b>	
17	事業名	市営	営駐車場修繕事業	į											
			サロバナ 学院 東地 た ヴァ ウ なわ小 作って 1 日 内 ① 定期的な施設点検												
			「営駐車場を常に良好 ため、定期的に施設を			H 29		的な施設 の修繕	没点検				H30 年度	継続	
			判定して修繕を実施す		る。損	年度							H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	11.8	うち市負担分 (百万円)	11.8	H33 年度	継続	
	担当課	部名	建設部	課名	建	設領	管理課	会計区	分	一般	事業区	分	ハー	ド	
18	事業名	送近	2用バスターミナル	管理	運営事	業									
													の見	方向性 込み 拝度比)	
			プロア道路交通の円 プターミナル(上穂東			H 29	<b>内</b> ①用地 容 ②交通	賃借料 整理員(	の配置				H30 年度	継続	
			営を行う。	m」 * イエム゙グ	<b>Ж</b> Ш])	年度							H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	28.8	うち市負担分 (百万円)	17.4	H33 年度	継続	
	担当課	部名	建設部	課名	建	設領	管理課	会計区:	分	一般	事業区	分	ソフ	F	

										★:里	. 只 ノフン 診	医当取組、©	)里にノ	プン該	当 争 兼
	取組	5-8-4	歩行者、自	転車利	用環	境(	り	整備							
19	事業名	自載	云車利用環境整備	事業											
											各線の整備 台線ほか5			事業の の見 (対前年	込み
			適な自転車の利用環 的に自転車利用環場		H 29	内容		=20.0		口がパチルチ	10000000000000000000000000000000000000		H30 年度	継続	
			整備を行う。	7. TE. 1/H F I	M(С	年度								H31 年度	継続
														H32 年度	継続
							方向性 前年度比)	継続	事業費	7000	うち市負担分 (百万円)	15.8	H33 年度	_	
	担当課	部名	建設部	課名	道	路2	交通	題課	会計区	分	一般	事業区	分	ハー	ド

田	又 組	5-8-5	, 4	· 交通安全対	・ 第の:	——— 准准				<u> </u>	· 里 尔	) / V 11/	後当取組、◎	里点ノ	ノン政	<del>                                      </del>
-					水の	正匹										
20	事業名	② 父1	田女3	<b>全対策事業</b>											I	
	目のび悪	違法駐車 校等での に、交通 する。	三の排 の交通を 安全推	威や無秩序なめ 除を図るため、幼 安全教室を実施 推進団体に対しる	i稚園・ しすると で付金を	小中学 さとも と付与	H 29 年	②「交i 金 C=15 ③高齢 集に	.0百万    猪向け	ー をなく 円 自転	です運動		市推進本部ト市民モニタ		の見	方向性 込み 拝度比) 継続
	概要	頭部損傷	易の重	自転車乗用中の 大事故から身を守 用を、広く市民に	宇る自粛	云車用	度		ヘルメット 0百万円		<b></b>				年度 H32 年度	継続継続
		<b>2</b> 0						方向性 (対前年度比)	継続		業費 万円)	16.0	うち市負担分 (百万円)	16.0	H33 年度	継続
	担当課	部名		建設部	課名	道	[路]	交通課	会計区	分		一般	事業区	分	ソフ	<b> </b>
21	事業名	◎ 歩i	首設置	置事業						•			•			
	目のびま	進するた	め、通	全確保やバリアフ 学路になってい けるとともに、歩道	る市道	におい	H 29 年	C= 4       ・三島丘       ・西豊川       ・西河原       ②歩道路       ③横断歩	西河原線 .5百万円 二丁目鮎	川線 田線 『事	C= 7.5 C= 9.6 C=25.0 C=12.	百万円 百万円 0百万円 0百万円 0百万円			の見	方向性込み手度比)継続
	概要	や改良を		, DCC01-( 9 %	2.042	L/JT 113	度		担金ほか			3百万円			年度	継続
															H32 年度	継続
								方向性 (対前年度比)	継続		業費 万円)	76.9	うち市負担分 (百万円)	67.5	H33 年度	継続
	担当課	部名		建設部	課名	道	[路]	<b>交通課</b>	会計区	分		一般	事業区	分	ハー	ド
22	事業名	⊚ 交ì	通安全	<b>è</b> 施設整備事	業									·		
		<b>送</b> 吸 <i>の生</i>	: <b>公</b> 州へ:	句上を図るため、	丰,吳五	.78±		ф							の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び 概要	管理道路	外におり	リエを図るにもり、 ハて安全施設(カ ブードレール、車	<b>リーブミ</b>	ラー、	H 29 年度	内容①交通	安全施	設整	<b>を備事</b> き	業			H30 年度 H31 年度	継続継続
		1佣9つ。					IZ.								H32 年度	継続
								方向性 (対前年度比)	継続		業費 万円)	55.0	うち市負担分 (百万円)	55.0	H33 年度	継続
	担当課	部名		建設部	課名	道	[路2	<b>交通課</b>	会計区	分		一般	事業区	分	ハー	ド
23	事業名	⊚ 交ì	重安全	<b>è施設維持管</b>	理事	業							•	•		
		市道及で	が市管	理道路において	設置さ	れてい			· ^ 11	-=n./*	ign frida				の見 (対前 <sup>年</sup>	方向性 込み 拝度比)
		る道路の 柵等)の 査し、道	安全店 維持管	を設(カーブミラー で理を行うとともに 工事における資	-、横脚 、交通	で防止 量を調	H 29 年度		安全施量調査		> 繕				H30 年度 H31 年度	継続継続
		する。					-2								H32 年度	継続
								方向性 (対前年度比)	継続		業費	18.9	うち市負担分 (百万円)	18.9	H33 年度	継続
	担当課	部名		建設部	課名	道	路?	<b></b> 交通課	会計区			一般	事業区	分	ハー	ド
			l			l										

24	事業名	放置	置自転車等対策事	業												
			1の美観の保持と歩行 ため、市内各駅からお					①駅前	指導•種	多動•係	2管				事業の の見 (対前年	込み
	目的 及び		D範囲を放置禁止区域 転車・ミニバイクを定期			H 29	内容		事務所	の警備	İ				H30 年度	継続
	概要		車が多い箇所を対象			年度									H31 年度	継続
			「検討を行う。コミュニティヤ 【自転車の抑制を行う。	トイクルの	拡充を										H32 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続	事業 (百万		33.6	うち市負担分 (百万円)	27.1	H33 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	建	設領	管理	里課	会計区	分		一般	事業区	分	ソフ	<b>,</b>

「肥泉の似安		
まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-9	市民・民間によるまちづくりを促進する
施策の 方向性	進に努	りに関する知識の普及、情報の提供、まちづくり活動への支援を継続して進め、住民主体のまちづくりの促めるだけでなく、民間事業者と協力して進める新しいまちづくりについても検討、推進し、本市の魅力と活力していきます。
	1	民間との連携、活力の活用
	2	市民による地域づくり
取 組	3	
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

2	実施計画	<u> </u>									★:重	点プラン	該当	取組、◎	重点フ	プラン該	当事業
1	取組	5-9-1	E	民間との連	携、活	力の	舌月	Ħ									
1	事業名	エリ	アマネ	ジメント推立	進検討	事業											
																	方向性 込み 手度比)
	目的 及び	事業者・	地権者等	こな開発にお の地域の担い	ハ手が言	主体と	H 29 年	内容	①関係 ②市民			との協議 ・協働	É			H30 年度	継続
	概要			管理や運営 取組を推進 <sup>*</sup>		(メント)	度									H31 年度	継続
																H32 年度	継続
			İ						<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費			百万円)	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	都市	整備部	課名	都	市具	汝策	課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>
2	事業名	【再	掲】地域	域でのまち	づくり扌	推進事	業										
		ナロバナ	「民がまちづくり活動等に参加するきっかけ」 「民がまちづくり活動等に参加するきっかけ」 「内内の音楽な客がする。」 「内内の音楽な客がする。」												の見 (対前4	方向性 込み 拝度比)	
	目的及び						H 29 年	容	②まら		の開催 前講座の	の実施				H30 年度 H31	継続
	概要	【関連取	組:5-9-2	市民による	地域づ	<b>くり】</b>	度									年度 H32 年度	継続継続
									方向性 前年度比)	継続	事業費			5市負担分 百万円)	(0.4)	<b>⊔</b> 22	継続
	担当課	部名	都市	<b>下整備部</b>	課名	都	市政	汝策	課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b></b>
3	事業名	【再	掲】幹線	泉道路沿道	i 土地和	利用事	業										
		いて、地	権者等と	道の市街化課 ともに幹線沿 り、地域のにき	道にふる	さわし				地区】 別事業 機関協							方向性 込み 拝度比)
	目的 及び 概要			地区画整理事 は、現時点で/		, -	H 29 年	内容	【目垣± ①土地	也区】 区画整	理組合詞	設立支援 計画の変		事料調)		H30 年度 H31	継続継続
	170 54			計画的な者	『市基盤	整備	度		O /F 4/14	機関協	,	□四♥ノ灸	. X. ()	<b>文小</b> 体/		年度 H32	継続
		や市街地 【関連取 用】		民間との連	携、活	力の活			方向性	継続	事業費			5市負担分	(0)	年度 H33	継続
	担当課	部名	都市	ī整備部	課名	都	市政		前年度比)	会計区	分	一般	´   (	事業区	1	年度ソフ	

4	事業名	【再	掲】ダム周辺整備	事業										
		₩ <b>₩</b> 200 F	<sup>₹</sup> ₹₹₩₩	Fi } 1   7	· 4a) \								の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	て、ダムラ	57月に完成する安威川 完成後の周辺の魅力庁 実施するための取り組	可上に~	つなが	H 29	内容 ①民間	活力を	尊入した制	度設計	、検討など		H30 年度	継続
	概要		組:5-6-4 北部地域の			年度							H31 年度	継続
							方向性	Able Cale	事業費	(24)	うち市負担分	(100)	H32 年度 H33	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	北部	敷布	(対前年度比)	継続会計区	(百万円)	(31)     般	(百万円)	(16.8)	年度	完了
5	事業名		掲】彩都建設推進		100	Æ.V	用1匹匹床	Ane	<i>,</i> ,	/JX	7.2			1
	目的	大阪の活 木・箕面 済団体、	性化・発展に向けて、 市、都市再生機構、民 大学、研究機関、公益	大阪府 間事業 団体な	者、経どの産	Н	所の設 ②(中部 季敬の	置への] 部地区)	取組み		なび警察官 地への企業		の見 (対前 <sup>4</sup> H30	方向性込み手度比)継続
	及び 概要		「携して、魅力と活力あ」 」の形成に取り組む。	る複合	機能都	29 年 度	(東語 (東語	部地区)	先行エリア 残りのエリ		推進 き化に向け	た取り	年度 H31 年度	継続
			組:5-4-2 彩都の都市 組:5-8-2 道路整備の				組み						H32 年度	継続
					Г		方向性 (対前年度比)	継続	事業費	(17.5)	うち市負担分	(17.5)	H33 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	北部	整個	<b>⋕推進課</b>	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b></b>
6	事業名		掲】茨木市中心市			事	業							
	目的	地活性化 街地活性 また、都 多核ネット	市街地の活性化を図るたいに関する法律」に基づく、 に関する法律」に基づく、 化基本計画」を策定する。 市計画マスタープランで「 ワーク型都市構造の実現 の機能配置を踏まえたも	「茨木市 立置づけ に向け、	中心市 ている 都市拠	н					メント体制の	つ構築	の見 (対前 <sup>4</sup> H30	方向性 込み 拝度比)
	及び		1:5-4-1 計画的な都市基		_	29 年 度	容検討、	デザイン	指針の検	討			年度 H31 年度	-
		【関連取組 (拠点の配	1:5-6-1 生活を支える拠 2置とネットワークの維持)	]									H32 年度	-
		【関連取組の整備】	1:5-6-2 魅力ある中心市	f街地·馬	尺周辺 		方向性 (対前年度比)	完了	事業費(百万円)	(4.8)	うち市負担分(百万円)	(4.8)	H33 年度	-
	担当課	部名	都市整備部	課名			新生課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<u> </u>
7	事業名	【円	掲】阪急茨木市駅	四口思	択削质	122	整偏爭美						site	<u></u>
		交通結節	日口である西口駅前周3 5点の機能強化とともに	、多く0	か市民	Н	1測量	業務(駅	画 3,1887 前広場・道 戈(駅前広	直路・駅前			の見	方向性込み手度比)
	目的 及び 概要	まちづくり	空間として、活性化を[]  の実現を図る。 組:5-6-2 魅力ある中			29 年 度	容 3関係 4事業	幾関との 採択時割	協議				年度 H31 年度	継続継続
		周辺の整	,, ,,	・ローロ	一口 例八				<b>車</b> 要 走		5+ + 4 lp //		H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(31.9)	うち市負担分	(27.2)	H33 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	市	封地	新生課	会計区	分	一般	事業区	分	ハー	ド

8	事業名	【再	掲】JR茨木駅西口	駅前	<b></b> 司辺整	を備	事業								
		交通結節 が集える まちづくり	引口である西口駅前周; 5点の機能強化とともに空間として、活性化をにの実現を図る。 組:5-6-2 魅力ある中	- 、多くの 三、多くの 図り、魅	力ある	H 29 年度	内 13 容 23	まちて公共力	づくり協議	養会運営 設建築4	481万円 支援 勿基本計ī	画		の見 (対前 <sup>4</sup> H30 年度 H31 年度 H32	方向性込みま度比)継続継続
	10 W ===			-m /2	+4	+: 1:16	方向(対前年	度比)	継続	事業費(百万円	) (14.9)	うち市負担分(百万円)	(11.7)	年度 H33 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名			新生記	米	会計区	分	一般	事業区	公分	ハー	Γ
9	事業名	【冉	掲】(仮称) JR総持	寺駅	整備事	業									
			ニ春、JR京都線摂津富 ♂と周辺整備を行うこと			н		)工事 战等	進入路	の撤去、	借地等用	地処理、追	通信機	の見	方向性 込み 年度比)
	目的 及び 概要		と都市機能の充実・弱 組:5-6-3 (仮称)JR総			29 年 度	容	設置						年度 H31 年度	-
		かした都		414 A M	( <u>4</u> 10	-								H32 年度	-
					方向 (対前年	<b>1性</b> 5度比)	完了	事業費 (百万円		うち市負担分 (百万円)	(94.1)	H33 年度	-		
	担当課	部名	都市整備部	課名	市往	封地	新生記	果	会計区	分	一般	事業区	区分	ハー	ド
10	事業名	【再	掲】北部魅力アップ	プ事業	Ė										
	日的	史環境、 新名神高 などの資 域のあり	3地域にある緑豊かなり現在事業推進している 5速道路、彩都の大規 源をつなぐとともに、地 方も踏まえ、北部地域 の検討と取組を地域や る。	ダム、 ジェクト [や地 句上を	H 29 年度	内 容 · э	資源。 ーシ 新名礼	ョン展開 申開通イ	織との追 ) 'ベントの		対話の推議 実施	進、プロ	の見	方向性 込み 拝度比) 継続 継続	
		【関連取	組:5-6-4 北部地域の	)魅力向	上】		方向	1性	外公士	事業費	(10.0)	うち市負担分	(0,0)	年度 H33	継続
	+0 ·V =0	40.5	±07 ++ i=6 (±± ÷07	<b>== 7</b>	ال جوء	事6-7-	(対前年	度比)	継続	(百万円	) (10.8)	(百万円)	(8.8)	年度	継続
11	担当課事業名	部名	郡市整備部 掲】低炭素都市づ	誤名			<b>情推進</b>	环	会計区	ח'	一般	事業区	בח	ソフ	<u>.                                    </u>
	目ののである。	スマートコ づくりを( スタイルで いきます。 また、東 事業実明	た都市 ライフ 進めて ニティ	H 29 年度	内 (2)	りの仮	性 工場跡:	•	*	- 導入した表 、ユニティ事		の見 (対前4 H30 年度 H31 年度 H32	方向性込みま度比)継続継続		
		判理取	組:5-7-1 環境負荷⊄	バ区感】			方向		継続	事業費		うち市負担分	(0)	年度 H33	継続
	担当課	部名	都	市政	(対前年		会計区	分	)   `°' 一般	事業区		ゲー <b>年度</b>   MEA			
							720								

	取組	5-9-2	市民による	地域つ	うくり						(・里点			,		<i>/ /                                  </i>	
12	事業名	地坝	成でのまちづくり推	進事業	美												
		丰田がよ	ちづくり活動等に参加	ナフキ	- 3.14			DI VI	トナナト	Č.	ノハニ・ギィ	の間場				の見	方向性 込み 手度比)
	目的 及び		らってり			H 29	内容	②まち	らきまち づくり塾 学習出	の月	開催					H30 年度	継続
	概要	【関連取得用】	組:5-9-1 民間との連	携、活	力の活	年度		<u> </u>	, , ,	13.34	11/11/2					H31 年度	継続
		) 13 <b>2</b>														H32 年度	継続
							<b>有性</b> (有度比)	継続		■業費 ■万円)	0.4		市負担分	0.4	H33 年度	継続	
	担当課	部名	都市整備部	都	市具	政策	課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	F	
13	事業名	中心	心市街地活性化支	援補	助事業	į											
								①にぎ	わい創む	出を	<b>・</b> 目的と	する提案	<b>玄</b> 公	真型公	益活	の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び		「地の活性化を図るた <i>」</i>		H 29			事業(中							H30 年度	継続	
	概要	よるまちつ	づくり活動に対して補助		29 年度		+91							H31 年度	継続		
															H32 年度	継続	
						<b>向性</b> 前年度比)	継続		事業費 事万円)	0.2		市負担分	0.2	H33 年度	継続		
	担当課	部名	都市整備部	都	市具	政策	課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	7	

# 【まちの将来像6】

心がけから行動へ みんなで創る環境にやさしいまち

「肥米の佩女		
まちの将来像	6	心がけから行動へ みんなで創る環境にやさしいまち
施策	6-1	いごこちの良い生活環境をたもつ
施策の 方向性	の整備	、環境等の環境監視による環境の把握に努めるとともに、事業者に対する指導や公共下水道・公設浄化槽による環境の保全対策を進めます。また、環境美化などについての意識啓発を進め、市民一人ひとりのマ 向上し、いごこちの良い生活環境を保ちます。
	1	健康に過ごすことができる生活環境の保全
	2	新たな環境課題への対応
取 組	3	快適環境の保全
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

2	実施計画	<u> </u>								★:重点	ブラン診	核当取組、@	重点に	プラン該	当事業
]	仅 組	6-1-1	健康に過ご	すこと	ができ	きる	生	活環境	の保全	È					
1	事業名	大気	5.汚染防止法等関	連事	<b>务事</b> 業	187									
								⊕ E III	の亜畑	及び審査				の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	に伴うばい	業場の事業活動や建 い煙、揮発性有機化合	合物及び	が粉じ	H 29	内容	②立入	調査	及い番鱼 等測定業				H30 年度	継続
	概要		を規制する等により、 とともに生活環境を保			年度		0 10 AL	.4),] ( ) ( ) -	子的人术	1 <i>7</i> 7 <del>7</del> 7 11			H31 年度	継続
														H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費	0.8	うち市負担分 (百万円)	0.8	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環	境。	汝策	課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b></b>
2	事業名	水質	<b>〔污濁防止法等</b> 関	連事	务事業	E									
		丁提•重等	<b>巻場からの排出水及</b> で	基本小			①届出 ②立入		及び審査		の見(対前4	方向性 込み 拝度比)			
		について	規制を行なうほか、生 こより、公共用水域及	対策を	H 29	内容	③ 排水 ④ 指導	測定					H30 年度	継続	
	概要	質の汚濁	の防止を図り、もって とともに生活環境を保	市民の個	建康を	年度			用機器	の購入			H31 年度	継続	
		.,										ı		H32 年度	継続
					г		方向性   継続   事業費   2.6   うち市負担分   2.6   (百万円)   2.6					2.6	H33 年度	継続	
	担当課	部名	産業環境部	課名	環	境。	汝策	課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b>١</b>
3	事業名	下才	く道施設(管渠)改	(良事)	業(ハ	ード	`)								
					①日本会長記載でせる/禁垣の延旋 再出て東									の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	び事故発	た管渠等の損傷による 生を未然に防ぐため	、対策内	容や	H 29	内容		)長寿命化計画に基づく管渠の改築・更生工事 )人孔蓋改築工事						継続
	概要		を定めた「下水道長寿 対策事業を実施する。	<b>寿命化</b> 計	十画」に	年度									継続
															継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	130.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	下7	水道	施詞	<b></b>	会計区	分	水企業	事業区	分	ハー	ド

	viic		1. \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	. H ====	Ш4 /	<b>-1</b> \													
4	事業名	ト <i>ス</i>	K道施設(管渠)改	[艮事》	美(ソン	/ h)												方向性 込み ま度比)	
	目的		た管渠等の損傷による 生を未然に防ぐため、			H 29		①人孔 ②管路									H30 年度	継続	
			実施し、対策内容や写 水道長寿命化計画」を			年度											H31 年度	継続	
								- <del> </del>		事業	弗		-+	市負担分			H32 年度 H33	継続	
								方向性 前年度比)	-	(百万	円)	-		5万円) 「		-	年度	継続	
	担当課	部名	建設部	課名		水道			会計区	分	下;	水企業		事業区	分		ソフ	F	
5	事業名	下ス	k道施設(ポンプ場	<b>湯)改良</b>	事業	(ハ	<u>`</u>	ド)											
								√ Aby      √ By       √ By      √ By      √ By       √ By	147 / <del></del> 84E	: <b>1</b>								方向性 込み 拝度比)	
	目的 及び	つため、	道ポンプ場の適正な電気・機械設備の更新	計画等	を定	H 29	内容		ポンプ場 命化計	-	もづく	電気設	:備:	等の対策	食工:	事	H30 年度	継続	
	概要	めた「トァ 事業を実	水道長寿命化計画」に ∶施する。	.基づき、	、対策	年度											H31 年度	継続	
											-++-				ı		H32 年度	継続	
							方向性 前年度比)	継続	事業		520.0		市負担分 5万円)	237	0.	H33 年度	継続		
	担当課	部名	建設部	課名	下	水道	施訂	<b></b>	会計区	分	下	水企業		事業区	分		ハード		
6	事業名	下九	k道施設(ポンプ場	計)改良	見事業	(ソ	フト	·)											
																		方向性 込み    度比)	
	目的		(道ポンプ場の適正な 点検調査を実施し、電			H 29		平成30 備を行		施設訓	問査ℓ	)実施に	二向	けて、そ	· の当	進	H30 年度	継続	
	及び 概要		・画等を定めた「下水道 定する。(平成30年度だ		化計	年度											H31 年度	継続	
															1		H32 年度	継続	
								<b>5向性</b> 前年度比)	-	事業		-		市負担分 万円)		-	H33 年度	_	
	担当課	部名	建設部	課名	下	水道	施詞	<b></b>	会計区	分	下	水企業		事業区	分		ソフ	F	
7	事業名	公共	<b>卡下水道整備事業</b>	(汚水	(;)														
		公共用水	<ul><li>域の水質保全、浸水</li></ul>	防除、水	k 洗化			①整備	備工事費							の見 (対前年	方向性 込み    度比)		
	及び	による公 下水道の 公共下水	衆衛生の向上に資する 整備を進める。 道計画区域内におけ 進を図る。	るため、	公共	H 29 年度	内容	②測量	設計費関係負								H30 年度 H31 年度	継続継続	
		▼ノ正 I用 IC	-v드 C IQI'V)			度											H32 年度	継続	
								<b>万向性</b> 前年度比)	継続	事業		74.5		市負担分 万円)	0	.1	H33 年度	継続	
	担当課	部名	建設部	課名	下	水道	総	务課	会計区	分	下	水企業		事業区	分		ハー	ド	

8	事業名	特別	<b>主環境保全公共下</b>	水道	整備事	業								
			域(安威川ダム湖)の				① 敷/i	带工事費					の見	)方向性 !込み 年度比)
		洗化によ	、域(女威川) 公嗣のる公衆衛生の向上に は近の整備を進める。			H 29	②測量	#工爭貢 量設計費 F関係負	担金				H30 年度	完了
		特定環境	保全公共下水道区域 の整備促進を図る。	めにお	ける下	年度	91,		1 312				H31 年度	-
									古光串		21 2 0.		H32 年度	-
							方向性(対前年度比)		事業費 (百万円)	33.6	うち市負担分	0.3	牛皮	-
	担当課	部名	建設部	課名	下	水道	総務課	会計区	分	水企業	事業区	区分	ハー	·ķ
9	事業名	合信	并処理浄化槽整備	事業										
		V # # 4		//a) = 1.5	, v. m		(1) mby 1:	<b>些工事</b>					の見	)方向性 見込み 年度比)
	目的		:域の水質保全、水洗  上に資するため、合信 進める			H 29	2 測量	帯工事費 量設計費 事関係負	扣全				H30 年度	継続
		合併処理	歴のる。 !浄化槽区域内におけ i促進を図る。	る生活	排水施	年度	9 L.	<b>F</b> 因	1 <u>= ar</u>				H31 年度	継続
		以小正师	TREEDS.							_			H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	71.6	うち市負担分 (百万円)	0.3	H33 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	下7	水道	総務課	会計区	区分	ハー	ド			
10	事業名	騒音	音·振動規制法等	関連事	務事	業								
								削基準の 置届出等	設定 の受理及	び審査			の見	)方向性 !込み 年度比)
	目的 及び	発生する	業場の事業活動や建 騒音及び振動を規制	すること	によ	H 29	容 (4)立 /	、調査			建及び審		H30 年度	継続
	概要	り、市民の を保全す	)健康を保護するととも る。	。に生活	環境	年度		言器の使 関する規制		夜におり	ける音響機	器の使	H31 年度	継続
											T		H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環	境區	汝策課	会計区	分	一般	事業区	区分	ソフ	<b>١</b>
11	事業名	公智	害苦情•相談事務	事業										
		-1- <i>5</i> 1-1	FF FV 수 무료되나 기가 등 FF	B) //	<b>+</b> ++		②関係	青・相談の 系課との〕		の見(対前4	)方向性 見込み 年度比)			
	目的 及び 概要	及び相談 発生源事	質・騒音・振動などに関 を受けたときは、関係 業所に対する改善指 環境を保全する。	課と連打	隽し、	H 29 年度	<b>内</b> 3現場	易確認 団調査	音に報告				H30 年度 H31 年度	継続継続
			•										H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H33 年度	継続
							(17)37 1 (200)		1,777.07		(1173137		十尺	

12	事業名	環境	竟監視事務事業														
		市内の大	云污染、水質汚濁、縣	<b>蚤音の</b> 状	弋況を			①測定 ②水質				5水生生	:物-	モニタリン	ング調	の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び		ため、大気常時監視や 及び地下水の水質測			H 29		<mark>内</mark> 査におる	いて、訓	間査	地点を	拡大し、	精质	度の向_	上を図	H30 年度	臨時 拡充
	概要		S沿道の騒音測定を行 緊急時等の際には、関			年度		③一般 ④測定	_ , ,,, +				つ騒	音測定		H31 年度	縮小
		報連絡す	-る。													H32 年度	臨時 拡充
							(5	方向性 対前年度比)	継続		事業費 事万円)	10.0		市負担分	10.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	環	境。	政分	策課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	7	
13	事業名	環境	竟アセスメントに関	する事	務事	業											
		帯培に革	<b>手しい影響を及ぼすお</b> ろ	るス関			①開発 ②法に						1 ス堪会	・重業	の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み F度比)	
	目的	発事業の	でであるを及ばする。 の実施に当たり、事業が で配慮して行われるよう。	環境の	保全	H 29	卢名	- I-1	し意見る	を述	べ、国	、府と連	絡			H30 年度	継続
			iや各方面からの意見		年度		府に対					170 - [	14240.0	1 <i>90</i> 0 LI V	H31 年度	継続	
		) ·oJo													H32 年度	継続	
								方向性 対前年度比)	継続		事業費 百万円)	0.0		市負担分	0.0	H33 年度	継続
	担当課	産業環境部 課名						策課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフト	

	取組	6-1-2	新たな環境	課題~	<b>へ</b> の対	応				_^	· <del>·</del> · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<i>у у ч</i> µ <i>у</i>	<u> </u>	K/MI ( ©	<u>/ 王 /// </u>	フフン該	コチ木
14	事業名	PRT	R法等関連事務	事業													
			物質の環境への排					②国へ	. , , , , , , ,	及び	審査					の見 (対前年	方向性 込み 拝度比)
		法)に基づ	女善の促進に関する き、特定化学物質の	環境へ	の排	H 29	1	3 3 4 4 施設	の状況							H30 年度	継続
	概要	る化学物質	留出を事業者が行い の自主的な管理の	改善を促	足進	年度		⑤事業 促進し	所にお ます。	ける	化学物	質管理	計画	画書の作	三成を	H31 年度	継続
		し、環境の	保全上の支障を未然	然に防止	:する。											H32 年度	継続
							方向性 対前年度比)	継続		業費 万円)	0.0		市負担分 「万円)	0.0	H33 年度	継続	
	担当課	部名	産業環境部	環	境政	政贸	<b></b>	会計区	分	一般			事業区	分	ソフ	<b>١</b>	
15	事業名	ライフ	フサイエンス環境	保全対	策事	務!	事	業									
									設置予			<b>弘議</b>					方向性 込み 拝度比)
	目的 及び		換え実験等を行うライ 置者に対し必要な規		H 29	内容	00074	の締結							H30 年度	継続	
	概要	で、地域住を保全する	民の健康を守り、良		年度		<b>④立入</b>	調査							H31 年度	継続	
															H32 年度	継続	
								方向性 対前年度比)	継続		業費 万円)	0.2		市負担分 「万円)	0.2	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	環	境项	<b></b>	<b></b>	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<u>۱</u>	

取	又組	6-1-3	性	 快適環境 <i>の</i>	保全						<u> </u>	:里只	ノノイ診	×ヨル	X#H.∪	里 尽 /	プラン該	
16	事業名	路_		5止対策事														
	目的び要	し、市民確保する	等の安全ため、路	る路上喫煙を 及び健康的が 上喫煙の実態 関する啓発を	よ生活 態を把握	環境を	H 29 年度	内容	②職員 ント等に ③市内 発を実 ④ (仮和	、委託 こおいて 各団体 施	業者できる。	による 発活動 大学と連 寺駅周	量するた 巡回指 の実施 連携し、 辺等の 配検討	導や 喫煙~	市主催のマナーの	かイベ	の見	方向性込みを手度比) 拡充 継続
									<b>向性</b> 前年度比)	拡充		事業費 百万円)	5.8		5負担分 万円)	5.8	年度 H33 年度	継続継続
	担当課	部名	市民	上文化部	課名	市民	:生剂	舌相	談課	会計区	分		一般		事業区:	分	ソフ	<b>,</b>
17	事業名	動物	勿愛護推	推事業														
	及び	高揚や動 飼い主及 猫を減ら 勢手術費	物の虐待 び一定要 す活動を ずの一部を	物愛護につ 時の防止を図 要件を満たす 行う団体に交補助する。ま ・を図るための	猫の 不明 妊・去 等の飼	H 29 年度	内容	助 ②所有	飼い主 者不明 飼い方	の補	の見 (対前4 H30 年度 H31 年度 H32 年度	方向性 込み 手度比) 継続 継続						
			部名 市民文化部 課名 市						(向性 ()年度比)	拡充		事業費 百万円)	1.1		万円)	1.1	H33 年度	継続
	担当課			市民	:生剂	舌相	談課	会計区	分		一般		事業区:	分	ソフ	<b>\</b>		
18	事業名目のび要	ごみ屋敷	・屋敷等 で適正に 決し、快		H 29 年度						図り、問題:接連絡				の見	方向性 込みみ 手度比) 継続 継続		
									<b>向性</b> 前年度比)	拡充		事業費 百万円)	0.0		5負担分 万円)	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名		上文化部	課名	市民				会計区			一般		事業区:	分	ソフ	<b>-</b>
19	事業名	不治	去屋外口	式告物対策 	等環場	竟美化	事	業(	資源征	盾環課	分.	)						
	目的び概要	不法広告物を迅速に撤去するとともに掲示者への指導を行う。また、協議会と協働して市内一斉清掃(6月)と街頭キャンペーン(6月、9月)を実施し、美化意識の啓発・向上を図る。 産業環境部 課名						内容	会の開 ②市内	内一斉清掃(6月) 頂キャンペーン(6月、9月)								方向性 込み 下度比) 継続 継続 継続
	担当課	部名	産業	資	源征	盾環	課	会計区	分		一般		事業区:	分	ソフ	<b>-</b>		

20	事業名	不治	去投棄防止•対応	事業											
							間部を	中心にハ	より、不法 いロールの 廃棄物の	の実施		- •			方向性 込み 拝度比)
	目的 及び		<b>乗物を撤去することによ</b>	り、清清	ア美	H 29	内に内	発や対策						H30 年度	継続
	概要	しい地域	環境を保全する。			年度	物の収	•	, , ,	× 1 12-11	-1/2/1	10000		H31 年度	継続
														H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	0.3		万円)	0.2	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環	境	事業課	会計区分	<b></b>	一般		事業区分		ソフ	<b></b>
21	事業名	ごみ	A.集積場所美化事	業											
							①ごみ	が散乱し	ている集	積場所る	を中心	ひにパトロ	ı—	の見	方向性 込み 拝度比)
	目的		遺場所においてごみが スキャーパロール声			H 29	<b>内</b> ルの実 容 ②適正			旨導を行	ŕð			H30 年度	継続
		D - D	るため、パトロール車 <sup>~</sup> で美しい地域環境を係			年度	③適宜	、啓発看	板設置					H31 年度	継続
														H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.3		5負担分 万円)	0.3	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環	境	事業課	会計区分	<b></b>	一般		事業区分		ソフ	<b>F</b>
22	事業名	不治	去屋外広告物対策	等環境	竟美化	事	業(環境	事業課念	分)						
															方向性 込み 手度比)
			ら物を迅速に撤去する。 音導を行う事によって、			H 29	<b>内</b> ①常時 容 除却を	、パトロー おこなう	ール車両	で違法層	是外点	広告物の	簡易	H30 年度	継続
	概要		ョ得を117事によって、 を図り美しいまちを保る		10人/ノン/合	年度								H31 年度	継続
														H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.1		5負担分 万円)	0.1	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環	境	事業課	会計区分	<del>}</del>	一般		事業区分		ソフ	<b></b>

1 旭泉の似安		
まちの将来像	6	心がけから行動へ みんなで創る環境にやさしいまち
施策	6-2	バランスのとれた自然環境をつくる
施策の 方向性		・育む取組や生態系への配慮を推進するとともに、身近な「まちの緑」「農地」「里山」「水辺」を保全し、自然 らう機会の創出に取り組み、人の生活と自然とのバランスのとれた自然環境を創ります。
	1	都市とみどりの共存
	2	★ 自然資源の利用の推進
取 組	3	生物多様性の保全
★: 重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

<u> </u>	<b>E施計</b> 理	븨									★:重月	スプラン診	と当	取組、◎	重点	「プラン訂	核当事業
取	組	6-2-1		都市とみど	りの共	存											
1	事業名	緑0	の基本	計画推進事	業												
-				ミ現に向けて、糸 )推進に関する							業 27万[					0	の方向性 見込み 「年度比)
	目的		施策等	を定め、総合的			H 29	内容	②情報 ③緑化		ールの作 の検討	成				H30 年度	継続
	概要		- 0	0 #7 +1 = 151	L 7 7 181	n ar TV	年度		④緑化	イベント	の検討					H31 年度	拡充
		【関連取 成】	祖:5-5	-2 都市におけ	1 るみと!	リの形										H32 年度	継続
									方向性 前年度比)	継続	事業費	0.3		市負担分	0.	H33	拡充
	担当課	部名	産	業環境部	課名	農と	みど	り指	推課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	アト
2	事業名	ヒー	トアイ	'ランド対策事	業												
		トートアィ	トアイランド対策や環境意識の高揚のた 市内の学校等においてみどりのカーテン 29 <b>内</b> ①説明会の実施 <b>容</b> ②苗の配布														の方向性 見込み 「年度比)
	目的	め、市内	の学校 るととも		ごりのカ・	ーテン	29 年度				JE.					H30 年度 H31 年度	継続継続
		1-2422	.1,70													H32 年度	継続
									方向性 前年度比)	継続	事業費	1.2		市負担分	1	Поо	4)华 4)吉
	担当課	部名	産	業環境部	課名	環	境』	汝策	課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	フト
3	事業名	緑化	匕推進	事業													
		都市緑化	2の推進	<b>生により、緑豊</b> か	で潤い	のある										0	の方向性 見込み 「年度比)
	目的	と地域住	民との	め、公園及び 協働で花と緑の	輪を広	げ、ま	H 29					進事業 110万		万円		H30 年度	継続
	概要			生垣設置に加えが困難な場合で			年度									H31 年度	継続
		について	も助成	制度を検討する	5.											H32 年度	継続
									<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	8.4		市負担分 <b>百万円</b> )	8.	4 H33 年度	継続
	担当課	部名	産	業環境部	課名	農と	みど	り指	推課	会計区	分	一般		事業区	分	ソン	フト

4	事業名	安原		/キャン	/ペン	推社	進事業								
		ter a v							» II —	<i>m</i>		V( A -> =	111 6	事業の の見 (対前 <sup>4</sup>	込み
		民に親し	うるおいのある水辺空「 まれている安威川河川 、、地域住民と行政が-	敷の環	境美	H 29		協力を得	・共同で主 界て安威川					H30 年度	継続
			とにより、良好な水辺環			年度	ルサる							H31 年度	継続
		MTED	1.00											H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	0.0		市負担分 「万円)	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	下れ	k道	施設課	会計区分	分	一般		事業区分	ने	ソフ	`
5	事業名	親ス	水水路整備事業												
		<b>+++</b>	如心体与又言海川。	. 111 女目 <b></b>	ᄼᆒᄼᄆᄸ		①支海	ill. (5.11)	lrour	い古学)		<b>维松</b>	Ħ	事業の の見 (対前 <sup>4</sup>	込み
		及び南部	い部を流れる高瀬川・小 『地域を流れる島地区 、適正な維持管理を引	せせらき	水路	H 29			について ハてはシル					H30 年度	継続
		憩いとうる	るおいのある水辺空間			年度	FL.							H31 年度	継続
		う。 												H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費	1.1		市負担分 「万円)	1.1	H33 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	下力	k道	施設課	会計区	分	一般		事業区分	4	ハー	ド
6	事業名	水道	辺の保全事業												
														事業の の見 (対前年	込み
	目的 及び		)池と周辺の環境・修景		する	H 29	内 ①水質容 里山公		為の機器の	の設置(〕	耳原	公園・あ	さぎ	H30 年度	継続
	概要	為に、閉	鎖された水質の向上を	送る。											
						年度								H31 年度	継続
															継続継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費(百万円)	1.8		市負担分	1.8	年度 H32	
	担当課	部名	建設部	課名	公	度		継続会計区分	(百万円)	1.8				年度 H32 年度 H33	継続継続
7	担当課事業名		建設部	課名	公	度	(対前年度比)		(百万円)			万円)		年度 H32 年度 H33 年度	継続継続
7		庁台	舎屋上緑化事業			度	录地課	会計区分	分			万円)		年度 H32 年度 H33 年度	継続継続
7	事業名	庁令 ヒートアィ の緑化に 調効率を		て、庁舎 けること とを推進	音屋上 で、温 し、温	度	(対前年度比)	会計区公本館南屋	分			万円)		年度 H32 年度 H33 年度 の見 (対前4 H30 年度 H31	継続継続
7	事業名目的び	庁令 ヒートアィ の緑化に 調効率を	全屋上緑化事業 (ランド対策の一環とし よる屋根焼け防止をする。 高め、省エネルギー(	て、庁舎 けること とを推進	音屋上 で、温 し、温	度	(対前年度比)	会計区公本館南屋	(百万円)			万円)		年度 H32 年度 H33 年度 のの見 対対 H30 年度 H31 年度 H32	継続継続 「方向性」 「方込まります。」 「大きない」 「おいますます」 「おいますます」 「おいます」 「おいます」 「おいますます」 「おいますます」 「おいますます」 「おいますます」 「おいますます」 「おいますます」 「おいますます」 「おいますます」 「おいますますます」 「おいますます」 「おいますますますますますますますますますますますますますますますますますますます
7	事業名目的び	庁令 ヒートアィ の緑化に 調効率を	全屋上緑化事業 (ランド対策の一環とし よる屋根焼け防止をする。 高め、省エネルギー(	て、庁舎 けること とを推進	音屋上 で、温 し、温	度	(対前年度比)	会計区公本館南屋	(百万円)		うちょう	万円)		年度 H32 年度 H33 年 の の 見 が H30 年 8 8 8 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	継続継続プラウスを表している。

耳	双組	6-2-2	★ 自然資源の	)利用(	の推進	<u> </u>				<u> </u>	里点。	)	(当取組、	<u> </u>	3.M.Z	ノン政	
8	事業名	◎市□	民参加型森林保全	事業													
	目的 及び 概要	り、美しい など森林 か、森林 <sup>*</sup> の里山保	1型の里山保全を推進 型山景観の復元やかの持つ多面的機能を ボランティアを育成し、 全を推進する。 業:6-2-3 生物多様性		能力 けるほ 加型	H 29 年度			サポー: る消耗。				委託料》	及び急	<b>実施</b>	事業の の見 (対前 <sup>4</sup> H30 年度 H31 年度 H32	継続継続
		【因任事》	来.0 2 3 主物多塚.	エッンド・ヨ	-1			向性 近年度比)	継続	事業		1.9	うち市負担		1.7	年度 H33 年度	継続継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	農と	みど			会計区			一般		区分		ソフ	,
9	事業名	茨オ	お市里山センター	運営事	業					'			•				
	及び	動を推進 成と保全	ルスタイツ (1875年地) するため森林ボランラ活動の拠点施設として	イアの <i>)</i> この役割	人材育 を持	H 29 年		O 11	管理料	~	指定管	管理者が	<b></b> で行う事業	巻とし	で市	事業の の見 (対前 <sup>年</sup> H30 年度 H31	込み F度比) 継続
	概要	つ里山セ 営を行う。	ンターを、指定管理者	が制度に	より運	度										年度 H32	継続
								向性	継続	事業		9.0	うち市負担		9.0	年度 H33	継続継続
	担当課	部名		課名	農と	みど		作度比) 作課	会計区	分		一般	(百万円	区分		年度 ソフ	
10	事業名	【再	掲】林業推進事業														
	目的 及び	成と、都市の提供を	機能を有する森林の 行と農村の交流の場と 行うほか、林業者団体 作業に対し支援を行	して森林が実施	木空間	H 29 年	内容	助金を ②森林		対策の	の実施	ti.	整備事業	業へ(	の補し	事業の の見 (対前 <sup>4</sup> H30 年度 H31	込み F度比) 継続
	概要	【関連事業	業:5-1-1 農林業の扱	長興】		度										年度 H32 年度	継続継続
							, , ,	<b>向性</b> (年度比)	継続	事業		(14.4)	うち市負担		(13)	H33 年度	-
	担当課	部名	産業環境部	課名	農と	みど	り推	進課	会計区	分	-	一般	事業	区分		ソフ	•
11	事業名	【再	掲】環境フェア開	催事業													
		し、これか 創造する	境の現状などをわかり いらの市域環境を市民 契機の場とするため、 参画のもと、市民一人	とともに 市民団	保全・ 体や		_	ナーをセンター	廃止し、 -1・2階	中央 部分	公園	北グラン 施	マー3階の ド及びク	リエ	<b>/</b> ト	の見 (対前 <sup>年</sup>	方向性 込み F度比)
	及び 概要	すく紹介!る。市が、	ことを、催し物などを追し、環境への理解を深 事業実施に伴う会場 を負担する。	める場	とす	H 29 年度	台	ランドに ③実施	ニテントを	と設置 いてに	む、出 は、農	展希望	は、中央: 望を募る 司日開催			H30 年度 H31 年度	継続縮小
		【関連取約	狙:6-3-1 省エネルキ	ーの実	践及			向性	1	事業		/	うち市負担	<del>分</del> /		H32 年度 H33	継続
	+0 1/ =0	び普及啓		=== ==	-tu	15tr	(対前	(年度比)	縮小	(百万	5円)	(5.76)	(百万円	) (	5.76)	年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	境	現場	汝策:	诛	会計区	分	_	一般	事業	区分		ソフ	`

取	双組	6-2-3	生物多様性	の保:	<u></u>						·里杰	プラン該		, ⊚ ⊒	<u> </u>	) V 10X	コザ木
12	事業名	生き	きもの発見ガイドブ	ックの	作成												
	目的び要	子どもをできる「生 できる「生 布すること	を々な環境資源(動植り 中心とする市民が観察 きもの発見ガイドブッ とで、生物多様性の保 の上を図る。	する際ク」を作	に活用 成し配	H 29 年度			資源調かりの作品			を活用し 行う。	た生きも	の発	見ガ	事業の の見 (対前 <sup>4</sup> H30 年度 H31 年度 H32	継続継続
								向性	新規		業費	2.3	うち市負担		2.3	年度 H33	継続継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環	境。	政策	課 (	会計区		万円)	一般	事 事	業区分	,	<b>年度</b> ソフ	
13	事業名	河川	体験型環境教育	事業													
	目及概的び要	を捕獲・勧	呆護者が実際に川に <i>フ</i> 現察・同定することで、 識を向上させる。			H 29 年	1		団体に 体が行		ここ 事業	巻の実施	፤(講師と	の調	整は	事業の の見 (対前年 H30 年度 H31	込み
	100.安	乙垛児忌	概を  月上させる。			度										年度 H32	継続
								·向性 前年度比)	継続		業費	0.6	うち市負担		0.6	年度 H33 年度	——————————————————————————————————————
	担当課	部名	産業環境部	課名	環	境。	政策		会計区			一般	1	*区分		ソフ	,
14	事業名	ホタ	/ル再生事業														
	目的び要	生息環境 会を創出	らける自然環境回復としてを整え、保護し、生物 することで、自然環境 でる意識を向上させる。	と触れる	合う機	H 29 年度						106万円 100万円				事業の の見 (対前 <sup>4</sup> H30 年度 H31 年度 H32	込み F度比) 縮小 継続
							方	向性	継続		業費	2.1	うち市負担		2.1	年度 H33	継続
	担当課	部名		課名	農と	みど		進課	会計区		万円)		(百万円	*区分		<b>年度</b> ソフ	MELHOL
15	事業名	【再	掲】市民参加型森	林保全	全事業												
		市民参加り、美しいなど森林	型の里山保全を推進 里山景観の復元や水の持つ多面的機能を ボランティアを育成し、	:すること :源涵養 発揮させ	:によ :能力 tるほ	H 29 年			サポー る消耗。			<b>紫座実施</b> 斗	逐託料	及び急	実施	事業の の見 (対前 <sup>4</sup> H30 年度 H31	込み
	概要		全を推進する。 業:6-2-2 自然資源の	の利用の	推進】	度	<b>+</b>	向性	AND ALL	車	業費	/a = \	うち市負担	14	/a = `	年度 H32 年度 H33	継続
							(対前	(年度比)	継続	(百	万円)	(1.9)	(百万円	3)	(1.7)	年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	農と	みど	り推	進課	会計区	分		一般	事	業区分	•	ソフ	•

#### 3 過去の実施計画期間中で完了・廃止した事業(担当部課名は事業実施最終年度の名称)

	取	. 組	6-2-3	生物多様性	の保全	<u></u> 全				
Е	1	事業名	環境	б資源調査事業(]	H28年	度事業完了)				
			市内の様 して作成し		勿)の状	況を調査、把握し、今	後の生物多	様性の保全に関っ	する取り組み	*の基礎データと
		担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト

1 旭泉の似安		
まちの将来像	6	心がけから行動へ みんなで創る環境にやさしいまち
施策	6-3	ライフスタイルの見直しで低炭素なまちをめざす
施策の 方向性	エネル	先して省エネルギー対策を行うとともに、市民や事業者と連携して、再生可能エネルギーの利用促進や省ギーの推進に努めます。また、情報交換の場を通じてさまざまな主体が連携し、新たな取組の輪を広げ、ライルの見直しで低炭素なまちをめざします。
	1	省エネルギーの実践及び普及啓発
	2	再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入促進
取 組	3	
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

# 2 実施計画

2	実施計画	<u> </u>							★:重	点プラン誌	亥当耳	対組、◎	重点フ	プラン該	当事業
]	仅 組	6-3-1	省エネルギ	一の身	<b>ミ践及</b>	び	普及啓	Ě							
1	事業名	ライ	フスタイルの省エ	ネ化推	進事	業									
		<b>ル</b> ーラル	ナ、骨、佐・トフ・た・は、ノムン	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	÷±n /#±		① 啓	発事業の	実施						方向性 込み 拝度比)
	目的	体を活用	を推進するため、イベして、省エネ活動につ	ながる	啓発を	H 29		エネコンラコポイント		記了 flみ合わせ	るな。	ど、効果	見的な	H30 年度	継続
		使用量測	に、市民に省エネナヒ  定機器)と環境家計器			年度		方法を検						H31 年度	継続
		を行う。												H32 年度	継続
							方向性	縮小	事業費			市負担分 ( <b>万円</b> )	1.0	H33 年度	-
	担当課	部名	産業環境部	課名	環	境區	汝策課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<u>-</u>
2	事業名	工二	オフィスプランいん	ばらき 打	推進事	業									
	目的	環境配慮 職場づく		負荷の少	たい	H 29	内容見直		なることフ	いら、目標	値や]	取組内	容を		方向性込み手度比)継続
	及び概要	独自のP	・3月にISO14001の認 DCAサイクルである「 らき(第4版)」に基づき いる。	エコオフ	ソイスプ	年度	九世	9						H31 年度 H32 年度	継続継続
							方向性	継続	事業費(百万円			市負担分 万円)	0.5	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環	境區	汝策課	会計区	分	一般		事業区:	分	ソフ	<b>F</b>
3	事業名	ГCС	OOL CHOICE」推	進事業	<b>Ě</b>										
		政府が地	球温暖化対策として、	また本	市にお										方向性 込み 拝度比)
	目的	いても市	長を先頭に積極的にする「COOL CHOICE」	隹進して	ことくこ	H 29		OOL CH 秀な取組		コンテストの	り実施	恒		H30 年度	継続
	及び 概要	民自らが	実施する取組を募集し は、HP・チラシ等に掲	、優秀	な取組									H31 年度	継続
		で、より広	く効果的な啓発を図る	3										H32 年度	拡充
							方向性 (対前年度出	新規	事業費			市負担分 万円)	0.2	H33 年度	縮小
	担当課	部名	産業環境部	課名	環	境。	文策課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<u> </u>

4	事業名	環境	竟教育•啓発事業													
			15子どもたちをはじめと							環境教育(	/ -/ -	′近な	よ環境と向	き合		方向性 込み F度比)
	目的	会•観察	†象に、環境に関する学 会等を開催し、環境保	全意識	を高	H 29		う講座 ③様々		:協働で環	環境教育	を実	ミ施すると	とも	H30 年度	臨時 拡充
	及び 概要	ては、市	行動につなげていく。〕 が直接実施するほか、 や市内環境保全活動「	環境教	育ボラ	年度				-ポーター 点の検討	制度を	運用			H31 年度	継続
		働する。	(川川深光体主伯勢)	I) F/(E) k	<b>+</b> ⊂ m										H32 年度	継続
								<b>5向性</b> 前年度比)	継続	事業費	0.6		市負担分百万円)	0.6	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環	境。	汝策	課	会計区	分	一般		事業区分		ソフ	<b>\</b>
5	事業名	エコ	コポイント制度実施	事業												
		環境基本	計画の環境像である	「心がけ	から行			①±;≠.	★☆口1	1 マポク	.1 <b>∀</b> %∕=				の見	方向性 込み F度比)
	目的		歩踏み出すよう促すた 」、省エネ行動などの環			H 29	内容	②プラ	ットホーム	としてポイン ムにおいて を巻き込ん	意見交	換	4-∆-3-1-		H30 年度	拡充
	及び 概要		た市民に対し、エコポー 物品との交換等できる			年度		@111A	尹耒川で	と合う込ん	ハニがムエ	水で	(作成)		H31 年度	継続
		し、環境	と地域の活性化の好循	<b>賃環をめ</b>	ざす。										H32 年度	継続
								<b>5向性</b> 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.9		市負担分	0.9	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環	境區	汝策	課	会計区	分	一般		事業区分		ソフ	١
6	事業名	環境	竟フェア開催事業					I								
		し、これが創造する	環境の現状などをわかり いらの市域環境を市民 契機の場とするため、	とともに 市民団	保全・ 体や			ナーを	廃止し、	ルクリエー 中央公園 部分で実	北グラン				の見	方向性 込み F度比)
	目的 及び	組むべき	)参画のもと、市民一人 ことを、催し物などを通	重じて分	かりや	H 29	内容	②3階	部分のコ	・ カナーに ・設置し、	ついて			北グ	H30 年度	継続
	概要	る。市が、	し、環境への理解を深、事業実施に伴う会場			年度		③実施	目につい	いては、農 と目指す。				<b>たり</b>	H31 年度	縮小
			を負担する。	STIE ∞				.,,,,,,,,,,	2:214 11 0						H32 年度	継続
		【関連取	組:6-2-2 自然資源の	)利用()	が推進】			<b>5向性</b> 前年度比)	縮小	事業費 (百万円)	5.8		市負担分	5.8	H33 年度	継続
	担当課	部名	產業環境部	課名	環	境區	汝策	課	会計区	分	一般		事業区分		ソフ	<b>-</b>

#### ★: 重点プラン該当取組、<br/> ・<br/> 重点プラン該当事業

	取組	6-3-2	再生可能工	ネルゴ	ドー・省	<b>⋚</b> I	ネ	ルギー	·設備(							K) / V 11/	
7	事業名	太阳	<b>易光発電システム</b>	等導入	推進	事美	É										
		省CO2を	ミエネルギーの普及仮・推進し、環境負荷の『 光発電システム、太陽	軽減を図	るた			①家庭	田峽彩	雲洲儿	こつし	<b>ハ</b> アル・	<del>↓</del>	14.欢雪	言シフ	の見(対前	)方向性 見込み 年度比)
	目的及び	ムを設置	ル先電システム、太陽 した市民及び家庭用 記システムと同時設置	燃料電流	也を太	H 29 年	内容	テムとの	)同時申	請を	補助	要件とす	るり	見直しを	:実施	H30	継続
	概要	民にその	経費の一部を補助すり再生可能エネルギー	る。また	、公共	年度		0117	1110	17.	, ,,	27/NE	, HA	*> +4>	VIX.H	H31 年度	継続
		入のため	、国の施策や補助金設担当課への情報提	等の活月	用を検											H32 年度	継続
		H 1 O / NEI		NEIIZ	0			方向性  前年度比)	縮小	事業		20.0		市負担分	20.	.0 H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環	境區	政策	<b>管課</b>	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	· ト

8	事業名	省ニ	ェネ・省CO2設備 <sup>ュ</sup>	<b></b>	助事	業											
																	方向性 込み 拝度比)
	目的	対し、市	ギー改修を実施する「 が補助金を交付するこ 設備及び新エネルギ	とにより	省工	H 29		①投資 しのうえ		)の(	CO2削	減量等、	、補	助要件	を見直	H30 年度	継続
	概要	普及並び	ドに二酸化炭素排出量って市域の低炭素化を	の削減		年度										H31 年度	継続
								十六世	1	車	業費		>+	市負担分		H32 年度 H33	継続
	+□ 1/ ==	<b>₩</b> 11 <b>₽</b> 7	<b>玄</b>	= 日 夕	TEE	. स्ट्रेस	(対	方向性 対前年度比)	継続	(百	万円)	12.0		百万円)	12.0	年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	坏	境區	义万	れ 課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<u> </u>
9	事業名	街路	8灯LED化促進事	業													
																	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び		f路灯を計画的にLED		換する	H 29	内容		的なLE	D灯	への転	法換(目標	票転	換率64	%)	H30 年度	継続
	概要	ことにより	)、環境負荷の低減を図	図る。		年度										H31 年度	継続
																H32 年度	完了
								方向性 対前年度比)	継続		業費 「万円)	20.0		市負担分 <b>百万円</b> )	20.0	H33 年度	_
	担当課	部名	建設部	課名	建	設領	管耳	里課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b> </b>
10	事業名	庁領	<b>舎</b> へのLED導入事	業													
																の見	方向性 込み 拝度比)
	目的	庁舎の省	『エネルギー化を推進	するため	5、年	H 29		1 ①本館 ②南館			本					H30 年度	継続
	及び 概要		ED照明設備等を導入			年度										H31 年度	継続
																H32 年度	完了
								方向性 対前年度比)	継続		業費 「万円)	12.8		市負担分	12.8	H33 年度	-
	担当課	部名	総務部	課名		総	务記	果	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b></b>
11	事業名	エコ	カー等導入促進	事業													
			l速かつ機動的な活動											転車の			方向性 込み 拝度比)
	目的 及び 概要	置してい的に配す	車(軽自動車、単車、   るが、低公害車・電動 直することで、ガソリン等	自転車で の燃料	を効率 使用	H 29 年	内容	ことによ	り、低別 燃料費	炭素 の-	なまちて	づくりの?	実到	用重を 見に貢献 (平成29	すると	H30 年度 H31	継続継続
			素なまちづくりの実現し			反										H32	継続
								方向性 対前年度比)	継続		業費	21.3		市負担分	21.3	H33 年度	継続
	担当課	部名	総務部	課名		総利	_		会計区			 一般		事業区	分	ハー	ド
		め、低炭		こ貢献で		度	(×	方向性対前年度比)	継続	事(百	業費	21.3		百万円) 		年度 H32 年度 H33 年度	

12	事業名	市智	営駐車場へのLED	導入事	事業												
																	方向性 込み 拝度比)
			方の低減及び節電を図		H 29	内容	H29実	施予定7	なし	(H31•3	32年度第	尾施	予定)		H30 年度	-	
	概要	駐車場に	LED照明設備等を導		年度										H31 年度	新規	
															H32 年度	完了	
							<b>方向性</b> 前年度比)	-		事業費 百万円)	_		市負担分		H33 年度	-	
	担当課	部名	部名 建設部 課名					課	会計区	分		一般		事業区	分	ハー	ド

Ⅰ 肔束の帆安		
まちの将来像	6	心がけから行動へ みんなで創る環境にやさしいまち
施策	6-4	きちんと分別で資源の循環をすすめる
施策の 方向性	るほか、	循環とごみの減量化を図るため、新たな分別品目の追加検討を行うとともに、市民等への意識啓発に努め 処理施設については、炉の更新に向けて計画的に取り組みます。 i民、事業者は、ごみの発生抑制、再資源化に努め、きちんとした分別で資源の循環を進めます。
	1	減量化の推進
	2	再資源化の推進
取 組	3	適正処理の推進
★: 重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

2	実施計画	亘									*	:重点	プラン該	(当	取組、◎	重点	ミプラン	ン該	当事業
I	仅 組	6-4-1		減量化の推	進														
1	事業名	<b>一</b> 角	投廃到	棄物処理計画	i推進₹	事業													
		ᄻᄄᄱᄑᆡᆠ	I A a:	TV (十) マッカー ユフィ	10/2	r°			(1) W + tr		rde ≓₹	177 783	Ti CT or ct	→ 4 <i>4</i>				の見	方向性 込み (度比)
	目的 及び	ンで「茨	木市一	形成に資するたる 般廃棄物処理基 、年度毎に実施	表本計画	町」を策	H 29	内容	②廃棄	状況の 物減量 の立案	等推	進審調	義会の追				年	I30 E度	継続
	概要	- 0		の推進に必要な  「事業の進捗を管			年度											l31 E度	継続
		2000	- <b>,</b> pi l	当ず未り近沙でも	3 42 9 6	ν <sub>o</sub>												l32 E度	臨時 拡充
									方向性  前年度比)	継続		業費 万円)	0.8		市負担分	0.		I33 E度	継続
	担当課	部名	Ē	産業環境部	課名	資	源征	盾瑏	景課	会計区	分		一般		事業区	分		ソフト	
2	事業名	家原	庭系ご	ごみ減量推進	事業														
		①児童向け啓発冊-②出前講座の実施 ②出前講座の実施 ③資源物持ち去り、 ④廃棄物分別アプリの 減量化と再資源化に関する理解を深め、3R											- -ルの実				(文	の見:	度比)
	目的 及び 概要	の取組を	実行"	原化に関する理解 できるよう、啓発等 4−2 再資源化の		29 年度		⑥(臨)	啓発冊	子の	作成•			百万円) の作成(	0.2首	年 H	E度  31  E度	継続継続	
		【	₩ <b>H.</b> Ο	4-2 丹貝伽化	が正進』					ダンボ <b>-</b> 員対象				布(	(廃棄物	減量		l32 E度	継続
									方向性  前年度比)	臨時 拡充		業費 万円)	7.6		市負担分	7.		l33 E度	臨時 拡充
	担当課	部名	Ē	産業環境部	課名	資	源征	盾瑏	景課	会計区	分		一般		事業区	分		ソフト	
3	事業名	事	業系ご	ごみ減量推進	事業(	ソフト	)												
		循環型社	上会の	形成をめざし、事	事業系ご	゛みの				所への				<b>≠</b> +/-:				の見	方向性 込み :度比)
	目的 及び	を促進す	ること	吏用、再生利用及 により、ごみの減				内容	③ごみ	物管理 減量化 み分別	推進	懇話会	会の開催	1			年	I30 E度	継続
	概要	化を推進			. 1 <i>11</i> .511. •		年度		O 1,1	処理の							年	l31 E度	継続
		【関連取	組:6-	4-2 再資源化の	)推進】					1			1		-		年	I32 E度	継続
									方向性  前年度比)	拡充		業費 万円)	4.3		市負担分	4.		I33 E度	継続
	担当課	部名	Ē	産業環境部	課名	資	源征	盾瑏	<b>景課</b>	会計区	分	-	一般		事業区	分	· ·	ソフト	`

4	事業名	事業	業系ごみ減量推進	事業(	ハード	:)											
		循環型社	- 会の形成をめざし、事	業系ご	みの											の見	方向性 込み 拝度比)
		を促進す	り、再使用、再生利用及ることにより、ごみの減			H 29	内容	①必要 業の見		事業	修所生ご	"み処理	機の	)購入補	前助事	H30 年度	継続
	概要	化を推進	. , = 0	\#\\#\ <b>1</b>		年度										H31 年度	継続
		【関連取	組:6-4-2 再資源化の	推進】									I			H32 年度	継続
							方向性 时前年度比)	継続		事業費 百万円)	3.0		市負担分 「 <b>万円</b> )	3.0	H33 年度	継続	
	担当課	部名	産業環境部	資	源征	盾羽	<b>景課</b>	会計区	分		一般		事業区	分	ハー	ド	
5	事業名	生ご	びみ処理容器等支	援事業	É												
																の見	方向性 込み 拝度比)
			排出される生ごみの減 み処理容器等の購入			H 29	内容	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	み処理	容器	器等の期	購入補助	b			H30 年度	継続
			等及促進を図る。	∥ПŒВ	(1)1X, 9	年度										H31 年度	継続
																H32 年度	継続
								方向性 时前年度比)	継続		業業費 (万円)	1.3		市負担分 「万円)	1.3	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	資	源征	盾羽	<b>景課</b>	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b></b>

取	組	6-4-2	再資源化の	推進							· <u>·</u>	) ) <b>v</b> µ9	<u> </u>	<u>цхид ,                                   </u>	/±///	ファン該	コチ木
3	事業名	再生		奨金	事業												
÷																の見(対前4	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	減量に対す	及び資源の有効利 る市民の意識向上	を図るた	め、	H 29		¶ ①報奨 『 の事業		要件	中の緩和	印及びま	え給	区分の打	広充征	乡 年度	継続
	概更		生資源集団回収を し、報奨金を支給。		找住民	年度										H31 年度	継続
																H32 年度	継続
							方向性 时前年度比)	継続		業費 万円)	22.7		市負担分 百万円)	22.	H33 年度	継続	
	担当課	部名	産業環境部	資	源征	盾珍	<b>景課</b>	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>	
7	事業名	【再掲	】事業系ごみ減	量推進	進事業	()	\-	ード)									
			の形成をめざし、事 再使用、再生利用 <i>】</i>			I	, t	1 ①必要	に応じ	事業	所生ご	`み処理	機(	の購入補	動事	の見 (対前 <sup>4</sup>	
	目的 及び		ことにより、ごみの洞			29 年		業の見		, ,,,	.,,,,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		. ////	.,,,	年度 H31	継続
	憱安		る。 6-4-1 減量化の指	能		度										年度 H32	継続
			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	_~=1						_	<del>بالد عله</del>			[		年度	継続
								方向性 时前年度比)	継続		業費 万円)	(3)		市負担分	(;	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	資	源征	盾珍	<b>景課</b>	会計区	分		一般		事業区	分	ハー	ド

8	事業名	【再	掲】家庭系ごみ減	量推進	生事業											
		循環刑対	と会の形成をめざし、市	ロボデ	ユの			④廃棄	講座の 物持ち 物減量	実施 去り 等推	も パトロー 生進員の	戈 -ルの実 り活動仮			の見	方向性 込み 拝度比)
		減量化と	三会のが成とめらし、市 再資源化に関する理解 ・実行できるよう、啓発等	解を深め	, 3R	H 29	内容	O (, ,,	啓発冊	子の	)作成•		.7百万円)		H30 年度	継続
	概要	v,	組:6-4-1 減量化の推		0	年度		万円)				*,	シの作成(		H31 年度	継続
				-~- 1				(8) (臨) 等推進	員対象	) (0	.5百万		布(廃棄物	減量	H32 年度	継続
							方向性 时前年度比)	臨時 拡充		業費 (万円)	(7.6)	うち市負担分 (百万円)	(7.6)	H33 年度	臨時 拡充	
	担当課	部名	産業環境部	資	源征	盾珍	<b>景課</b>	会計区	分		一般	事業区	分	ソフ	<b>F</b>	
9	事業名	【再	掲】事業系ごみ減	量推進	售事業	(ソ	フ	<b>.</b> })								
			- 会の形成をめざし、事					①事業				多会の実	計構		の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	を促進す	リ、再使用、再生利用及 ることにより、ごみの減			H 29	内容	③ごみ	咸量化	推進	<b></b> 越話会	会の開催			H30 年度	継続
	概要	化を推進	., = 0		年度						in かっ レットの			H31 年度	継続	
		【関連取	組:6-4-1 減量化の推											H32 年度	継続	
								方向性 対前年度比)	拡充		業費 万円)	(4.3)	うち市負担分 (百万円)	(4.3)	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	資	源征	盾珍	<b>景課</b>	会計区	分		一般	事業区	分	ソフ	F

I	<b>反組</b>	6-4-3	適正処理の	推進							·±///	<u> У <b>ч</b> н</u> у	<u>`                                    </u>	取組、◎	<u>/ ±////</u>	2 7 ¥ BX	<u> </u>
10	事業名	廃棄	物処理施設整備	調査・	検討	事美	美(	(ソフト)									
								①(险)	循帶刑	計-/	全形战	<b>推掛抗</b>	₽≣	・画の作	<del>\$</del> 6	の見 (対前4	
			棄物の将来を見据え 整備について、炉の			H 29	内容	百万円			.,,,,,,,,	張旅費)		EIV21Γ)	,, U.	H30 年度	臨時 拡充
		調査·検討		~~/\C		年度		0 >10 >1	19.	,		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				H31 年度	-
																H32 年度	-
							方向性 时前年度比)	臨時 拡充		事業費 百万円)	6.7		市負担分 <b>百万円</b> )	6.7	H33 年度	-	
	担当課	部名	産業環境部	資	源征	盾珍	<b>景課</b>	会計区	分	,	一般		事業区	分	ソフ	<b>\</b>	
11	事業名	廃棄	物処理施設整備	調査・	検討	事美	美(	(ハード)	)								
																	方向性 込み 拝度比)
			棄物の将来を見据え 整備について、炉の			H 29	内容		年度実	施	予定					H30 年度	1
		調査・検討		<b>火利</b> 亿日	100 (	年度										H31 年度	-
																H32 年度	新規
								方向性 时前年度比)	-		事業費 万円)	_		市負担分 百万円)		H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	資	源征	盾珍	<b>景課</b>	会計区	分		一般		事業区	分	ハー	۲, 

12	事業名	スマ	アイル収集事業													
		高齢者及	なび障害者の方々の在	:住生活	の支											方向性 込み F度比)
	目的 及び	援と負担	を軽減するため、家庭 ごみステーションに持む	から排む	出され	H 29	内容	①高齢	者及び	章害者の	世帯のご	740	の戸別収	集	H30 年度	継続
	概要	困難な世	上帯に対して、決まった ごみの収集を行う。			年度									H31 年度	継続
		m) [11] C(	二。7、7、7、秋来で17.5。												H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0		市負担分	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環	境	事業	課	会計区分	分	一般		事業区名	<b>}</b>	ソフ	7
13	事業名	ごみ	少処理施設運営事	業												
																方向性 込み 拝度比)
	目的		き生した一般廃棄物をす め、事故のない安全で			H 29				た施設選 会計をさら		ます。	2		H30 年度	継続
	及び 概要	設運営を	図るとともに、効率的な	な運用に	2努め	年度									H31 年度	継続
															H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1849.9		市負担分	849.9	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環	境	事業	誤	会計区分	分	一般		事業区分	<del>}</del>	ソフ	<b>.</b>
14	事業名	ごみ	タ・し尿収集事業													
		学売祭み	ゝら排出されるごみ・資	)面 Hm の t	\$1.50° A/2			①ステ·	ーションフ	方式による	5普通ご	み・*	粗大ごみ	··資		方向性 込み 拝度比)
		かつ円滑	うりが口されるこみ・買けな収集を行い、減量( また、し尿収集業務に、	匕、再資	源化	H 29		源物の ②一般		び従量、仮	豆設トイレ	のし	- 尿の収	集	H30 年度	継続
		な収集を	また、し尿収集業務に 行い、快適な生活環境 )向上を図る。	_		年度									H31 年度	継続
		水闸土"	7円上で囚る。												H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1115.1		市負担分	.095.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環	境	事業	課	会計区分	分	一般		事業区分	}	ソフ	<u> </u>

まちづくりを進めるための基盤

一心束の似女		
まちの将来像	7	まちづくりを進めるための基盤
施策	7-1	まちの魅力を市内外に発信する
施策の 方向性	ど)、企	シティプロモーションを展開していく際の基本的な考え方や方向性を決定し、市民・団体(NPO、地域団体な業や大学、行政が協働して具体的な取組を進めるほか、対象者に応じたさまざまな広報媒体を活用して本力を市内外に積極的に発信します。また、魅力の発掘や資源間の連携による新たな魅力の創造にも努めま
	1	戦略的なシティプロモーションの構築と展開
	2	魅力発信力の強化
取 組	3	魅力の発掘と創造
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

2	実施計画	<u> </u>	T.							★:重点	プラン診	[世]	取組、◎	重点	プラン該	当事業
	取組	7-1-1	戦略的なシ	゚ティプ	ロモー	-シ	ョン	の構築	をと展	荆						
1	事業名	シラ	ティプロモーション	基本方	針推	進事	丰業									
		平成27年	F度に策定したシティン	プロモー	ション										の見	方向性 込み 年度比)
	目的 及び	共有を含	けについて、市民、事業 らめ、今後のプロモーシ したスーなな、記憶しなり	/ョン活動	動の展	H 29	内容	①今後	のプロー	モーション	活動の核	針			H30 年度	継続
	概要	捗状況を	けする。また、設定した♪ さ5年毎に測定、分析し			年度									H31 年度	継続
		見直しを	検討する。												H32 年度	臨時 拡充
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0		市負担分	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	まち	魅力	力発	信課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	۲
2	事業名	茨ス	木市ブランドメッセ	ージ形	成事	業				•						
	目的及び	ゴ) により の魅力を まちへの	木らしさを表現したブランドメッセージ(ロ) により、市内外の人に一貫性のある茨木   魅力を効果的に発信するとともに、市民の ちへの誇りと愛着を高めることで、「さまざま   29   29   1   1   1   1   1   1   1   1   1												の見	方向性 込み 年度比) 拡充
	概要	う行動に また、市舗	繋げることを目的とする制施行70周年記念の。 利活用する。	る。	_	度			مدد ر		Z 12 6 1				年度 H32 年度	継続継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	16.9		市負担分	16.2	H33 年度	拡充
	担当課	部名	企画財政部	課名	まち	魅力	力発	信課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	۲
3	事業名	【再	掲】市制施行70周	年記念	念関連	事	業									
		平成30年	Fの市制施行70周年を	と記念し	た事業			・先行事	事業等の	実施					の見	方向性 込み 年度比)
	目的 及び	関連団体	る。また、実施にあた。 なと一体となって本市の	り魅力を		H 29	内容	照)		ージ(ロゴ			-1-1 No	3参	H30 年度	完了
	概要		たなるよう工夫をする。		_	年度		• 半成3	0年度事	事業及び1	(典の検	討			H31 年度	-
		【関連取	組:7-1-3 魅力の発技	屈と創造	1				- I	<b>—</b> ,					H32 年度	-
								<b>有性</b> 前年度比)	拡充	事業費	(8.3)		市負担分	(5.7)	H33 年度	
	担当課	部名	企画財政部	課名	まち	魅力	り発/	信課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>

耳	文 組	7-1-2	魅力発信力	つの強 <sup>·</sup>	化						·主派	)	N - 1 + 1 N	ли С	並が2	フン該	コチ木
4	事業名	茨オ	ド市魅力発信事業	美													
	目のが一般である。	多くの人	や市が持つ地域資源 に知ってもらうため、ィ アップにつながる情報	ノメージフ	アップ	H 29 年度	内容	③市民 ④各種 動産事	等と連持 冊子や 業者と	携しい地テ	た魅力 モメディ ボした-	:力発信 発信(F ア等に。 子育て世 たイベン	`Bでの よる魅 上代訴	力発信 求冊子	の発	の見 (対前 <sup>4</sup> H30 年度 H31 年度	方向性 込み 拝度比) 継続 継続 臨時
	担当課	部名	企画財政部	課名	まち	魅力		向性 加年度比) 言課	継続会計区	(百	事業費 百万円)	1.1	うち市:		1.1	H32 年度 H33 年度	拡充 臨時 拡充
5	事業名		ブリシティ活動事業		~ )	/611/	7 7 1	II WK	2012	.,,		/100		7-7-1			'
3	目的	市内外に をPRする	に向け、市政情報の周がため、新聞やテレビでしている。	知や市の		H 29 年度						テレビへ見の実施		服発信		の見	方向性込みに乗り出続。継続継続継続
				課名	l		(対前	<b>向性</b> (年度比)	継続		事業費 百万円)	0.0	うち市に	5円)	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	まち	魅フ	力発作	言課	会計区	分		一般	3	事業区分	ने	ソフ	•	
6	事業目及概	茨木市を ける「ふる 以上の寄 として進!	など寄附金推進 応援したい人からのらさと寄附金制度」については、地元特産 では、地元特産となどにより自 に、茨木市の魅力を	寄附を受 ○いて、・ ・品等をi Ⅰ主財源	一定額 反礼品 を確保	H 29 年度	内容	②返礼 ③制度		充( 進(	提供数	の拡大 グの作品		为高校	·大	の見	方向性 込みより 手度比) 継続 継続
								<b>向性</b> (年度比)	拡充		事業費 百万円)	20.6	うち市:		20.6	H33 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	まち	魅力	り発作	言課	会計区	分		一般	1	事業区名	ने	ソフ	<b>,</b>
7	事業名	ホー	-ムページ・SNS	運営事	業												
	目的 及び	るため、it を行うとと コンテンツ 双方向性 う。 【関連取締	政情報を広く市民に 市ホームページの適ち もに、だれもが利用し の充実を図る。また を活かした積極的な 組:7-7-4 協働のまた の広報広聴】	のな管理 やすい 、SNSの 情報発信	・運営 ように )持つ 言を行	H 29 年度	容		ムペーン	した		è信 T	うち市	負担分		の見	方向性 (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注)
	TO 40 = 0	±= ±	A == == +=	課名	37	rfs.L	(対前	(年度比)	継続	(百	万円)	7.4	(百万	5円)	7.4	年度	拡充
	担当課	部名	企画財政部	まち	魅フ	力発付	言課	会計区	分		一般	1	事業区分	7	ソフ	<b>\</b>	

8	事業名	広幸	跟誌発行事業													
			「民に市政情報を周知 「広報いばらき」の発行					①「広幸への各)		き」	の印刷	及び全	世帯·全事	業所	の見	方向性 込み 年度比)
	目的 及び	報誌の音	障害者や高齢者等を対 ・訳版「声の広報いばら			H 29			版「広報	侵い	ばらき」		及び送付		H30 年度	継続
	概要		ばらき」の発行を行う。	ゴノハチ	+44->44-	年度		④市民 ⑤広報	-			掲載			H31 年度	継続
			組:7-7-4 協働のまち の広報広聴】	つくりを	推進							1			H32 年度	継続
								方向性 対前年度比)	継続		某費 [万円)	65.5	うち市負担分 (百万円)	65.5	H33 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	まち	魅力	力多	発信課	会計区	分	,	一般	事業国	区分	ソフ	<b>١</b>	
9	事業名	魅力	力発見ツアー事業													
			E度まで実施してきた「? を見直し、見学先に民												の見	方向性 ,込み 手度比)
	П г з	象にする	と兄直し、兄子兄に氏 など、市内外の人を対 」を発信できる「魅力発	象に、。	より茨	H 29	内容	9 ①魅力 2 ②団体				,	の検討		H30 年度	縮小
	概要	た。 た。	7 E 7 E TE TE C C S 7 / EE 7 F 7 E	]	年度									H31 年度	継続	
		【関連取	組:3-4-2 観光情報の	発信を	強化】										H32 年度	継続
								方向性 <sup>対前年度比)</sup>	継続		「業費 「万円)	0.3	うち市負担分 (百万円)	0.3	H33 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	まち	魅力	力多	発信課	会計区	分		一般	事業は	区分	ソフ	<b>١</b>

	取組	7-1-3	3	魅力の発掘	と創造	<u></u>					_^	· ± ///	)	<u> </u>	取組、◎	<u> </u>	<i>)</i> / V IIX	コチ木
10	事業名	魅	力発	・掘・創造事業														
		-H- 1 -l- a			n	James .			②組合	せ、支持	爰、	売り出し	方の検	討	どの洗い		の見 (対前年	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	は行政が	1—1	化歴史や自然、人 ごスといった魅力を	見つけ	、集	H 29	2	カ ③市民 な よる FB	発信に	係る	まち魅	力の収	集)			H30 年度	継続
	概要			積極的に支援して 削造に努める。	いくこと	で、新	年度		(4) 谷課 議)	と連携し	た	事業の	検討(ま	きち見	魅力発信	会	H31 年度	継続
																	H32 年度	継続
								(3	方向性 対前年度比)	継続		業費 (万円)	0.0		市負担分 百万円)	0.0	H33 年度	継続
	担当認	帮 部名		企画財政部	課名	まち	魅力	力多	発信課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	١.
11	事業名	市台	削旅	面行70周年記念	関連	事業												
				市制施行70周年を また、実施にあたっ						事業等の			の近田	1 (7	-1-1 No	o <del>42</del>	の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み F度比)
	目的及び	関連団体	とと-	ー体となって本市の るよう工夫をする。			H 29		8 照)						-1-1 No	3夢	H30 年度	完了
	概要	, 910 3		7-1-1 戦略的なシ	/ティプ۱	コチー	年度		• 平成3	0年度事	業	及び式	典の検	討			H31 年度	_
		ションの			7:12	-											H32 年度	-
								()	方向性 対前年度比)	拡充		業費 (万円)	8.3		市負担分 <b>百万円</b> )	5.7	H33 年度	-
	担当認	部名		企画財政部	課名	まち	魅力	力多	発信課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	١

12	事業名	ロク	アーション誘致事業	į													
																事業の の見 (対前 <sup>年</sup>	込み
	目的 及び		)文化歴史や自然等を 等のロケーションの誘致			H 29		①大阪 ②ロケ					)意見交 展開	奐		H30 年度	継続
	概要		」用されることで、まちの :のまちへの誇りと愛着	/—/		年度										H31 年度	継続
																H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	拡充	-	葉業費 (万円)	0.1	うち市負担 (百万円	- (	0.1	H33 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	まち	魅力	力発	信課	会計区	分		一般	事業	区分		ソフ	<b>,</b>

まちの将来像	7	まちづくりを進めるための基盤
施策	7-2	社会の変化に対応する効率的・効果的な自治体運営を推進する
施策の 方向性	率的に	価を含めた新たな行財政マネジメントシステムの確立や市有資産の有効活用により、限られた経営資源を効いかし、健全で安定した行財政運営を行います。また、情報通信技術の活用などにより、場所や時間にとらい使いやすい行政サービスの提供を段階的に進めていきます。
	1	計画的な政策の推進
	2	行財政改革の推進
取 組	3	健全な財政運営
★: 重点プラン	4	公共施設等の計画的な整備と資産の有効活用
該当取組	5	組織機構の整備
	6	使いやすい行政サービスの提供
	7	電子自治体の推進

# 2 実施計画 ★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

2 }	実施計画	ΕĪ.								★:重点	スプラン診	[ ]	取組、◎	重点	プラン該	当事業
耳	文 組	7-2-1	計画的な政	策の排	推進											
1	事業名	行政	文評価事業													
									評価の	実施 みの学識	√7 EQ ±2.1∞	・トフ	A 如郭	TT A	の見	方向性 込み 手度比)
	目的		大市総合計画の進行?			H 29	内容	エ汁し		市民参加					H30 年度	拡充
	及び 概要		評価」及び「取組評価 を市民に公表する。	11]で夫別	也し、	年度		(灰可)							H31 年度	継続
															H32 年度	継続
								方向性 前年度比)	縮小	事業費 (百万円)	0.0		市負担分	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	政	策	企画	<b>「課</b>	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>
2	事業名	政策	<b>货推進事業</b>													
		第5次総合	第5次総合計画の実現に向け、計画的な政													方向性 込み 拝度比)
	目的 及び 概要	策の推進 しに立った 的として、	及び施策の実現と中 と健全な行財政運営を 毎年度、実施計画を	長期的な と図るこ 策定する	な見通 とを目 る。ま	H 29 年度	内容	①実施	計画(第	第4期) の第	<b></b> 定				H30 年度 H31	臨抗臨抗臨抗
		に、政策が議・協議を	推進会議を活用し、行 と行う。 ────────────────────────────────────		寺の番	反									年度 H32 年度	拡充 継続
								方向性 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0		市負担分	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	政	策	企画	<b>ゴ課</b>	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>
3	事業名	地力	5創生推進事業													
			に歯止めをかけ、「し、 、それを支える「まち <i>0</i>												の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	られた事	め、「茨木市総合戦略 業の進捗管理及び公 ベーション、DIYを切り	表を行う	0	H 29 年			市総合	戦略の進	捗管理				H30 年度 H31	継続臨時
	概要	く」まちづ	くりを始めるきっかける 加を図り、まちの持続	と提供し	、活動	度									年度 H32	拡充
		す。	₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩	11-17-17K	ڪ <i>ٽي</i>			+ = ++	臨時	事業費		2+	士会也八		年度 H33	継続
							(対	方向性 前年度比)	拡充	(百万円)	0.1		市負担分 万円)	0.1	年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	政	策	企画	課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>

										★:重点	アラン記	亥当	取組、②	)重点	プラン該	当事業
耳	文 組	7-2-2	行財政改革	の推i	進											
4	事業名	行財	政改革推進事業													
								①行動	动茎均	針【改訂版	ましの 地洋	fe			の見	方向性 込み 年度比)
	目的 及び	改訂した行	り 見 別 果的な行財政運営に 対 は 大財政改革指針に基・	づき、積	極的	H 29	内容	②取組	内容の				訂を宝	旃	H30 年度	継続
	概要		改革を進めるとともに、 対する意識を高める。		)行財	年度		9 7 17	7 /K/III	MIX (1911)	17 (200	) L JE			H31 年度	拡充
															H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費	0.0		市負担分	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	政	策分	企画	課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>
5	事業名	広域	連携推進事業													
		#==n o #4	ᄀᆀᄱᅌᆇᄜᇬᆹᄼ	,, <b>主</b> 死,	* \ <del>+</del> \+					せい相互利 光などの分					の見	方向性 ,込み 年度比)
	目的	して行うな	司利用や差異の少な ど、広域連携による事 る。また、少子高齢化	事務の効	率化	H 29				構造の変化				务につ	H30 年度	継続
		造の変化	ら。また、ター同画門は 等を踏まえ、近隣都市 客を研究する。			年度				りによる効 による図				台	H31 年度	継続
		(CX OÆ)	45 NI) 0 1 . Do												H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	0.0		市負担分	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	政	策分	企画	課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>
6	事業名	業務	改善推進事業													
		改善事例	務改善意識の向上や の共有、職員一人ひ。 ジする組織風土づく	とりが主	体的					務改善運	動の実践	豪(平	·成27年	度から	の見(対前4	方向性 .込み 年度比)
	概要	員の創意 改善(市民 上、経費の	工夫により実施した具 サービスの向上、事 D削減など)について	:体的な 務効率の 募集し、	業務 の向 職員	H 29 年度				責・成果を ├	検証し、◇	今後	の業務	改善	H30 年度 H31 年度	廃止
			可の審査を経て選出し 例を褒賞する。業務さ ける。			~	-	<b>- 白州</b>		事業費		2+	古色セハ		H32 年度 H33	-
								前年度比)	継続	(百万円)	0.1		市負担分 5万円) 「	0.1	年度	_
	担当課	部名	企画財政部	課名	政	策分	企画	課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	F

I	仅 組	7-2-3	健全な財政	運営														
7	事業名	電力	入札導入事業															
		電力入札。	力調達による経費削減 と実施する。 ♪72高圧施設及び1-			_	<ul><li>①入札</li><li>【電気需</li></ul>									事業の の見 (対前年	込み F度比)	
	目的 及び 概要	電気とガス	気と都市ガスの完全 のセット販売など、グ	にお	H 29 年	内容	72高圧				殳•46設4	備				H30 年度 H31	継続継続	
		ミックスを選	)運用形態の特徴を 選択し、より一層経費 :研究しながら、事業	圣減さ	度											年度 H32 年度	継続	
		る。						方向性  前年度比)	継続		業費 「万円)	45.9		市負担分	45	.9	H33 年度	継続
	担当課	部名	総務部		総	务課	Ł	会計区	分		一般		事業区	分		歳入		

8	事業名	新么	公会計制度による	央算事	務•分	析	事業	Ř								
		め、財政とともに、	基準による公会計制度 情報等を市民に分かり 財政指標等の決算情	やすくん 報につい	云える ハて、										の見	方向性 込み 手度比)
		れたデー	iとの比較等による分析 タを今後の財政運営に :臣通知>			H 29			基準に。 別末一招		用開始(2 ])	8年度	ま財務諸:	表から	H30 年度	継続
	概要	供。	年度中に標準的なソフ			年度									H31 年度 H32	継続
		公共団体	〜29年度までの3年間 において統一的な基 の作成を要請。					向性	継続	事業			ち市負担分	0.0	年度 H33	継続継続
	担当課	部名	企画財政部	課名		財政	文課	前年度比)	会計区	分	一般		百万円) 事業区	分	年度ソフ	 
9	事業名	市利														
	目的 及び 概要	務であり、納税環境	で一般廃棄物処理手数 現年課税分の納期内 の整備及び滞納繰越 をの向上、税収等の確	納付の  分の縮	推進、 減を図	H 29 年度	内容	②臨時 ③滞納 熱整理 ④長期	職員を注 け 者の財 事務 転出者を 差押物	舌用し 産調査 をはの整	を振替に限た電話にた電話に、督促状めとする。 を理理 私債権も	よる <sup>5</sup> ・催 <sup>4</sup> ・ 推 <sup>3</sup> ・ 推 <sup>3</sup>	早期自主流 告書の発達 強化	送等滞	の見	方向性 込度比) 継続 継続
								方向性 <sup>前年度比)</sup>	拡充	事業			ち市負担分 百万円)	49.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	総務部	課名		収約	内課		会計区	分	一般	•	事業区	分	歳入	
10	事業名	債材	権管理事務事業													
								②各課 ③各課	へのヒア	方針・行 リンク	數収実績				の見	方向性 込み 拝度比)
			つ各課に対し、指導・ を進めるとともに徴収			H 29	容	⑥特に	強制徴	仅公信	納事案の 「権をもつ				H30 年度	継続
			が対策の推進を行う。	<b>米4万</b>	<b>火</b> 干	年度					:討 回収のノ!	ウハウ	を生かし	た徴	H31 年度 H32	継続
								i向性	継続	事業			ち市負担分	0.0	年度 H33	継続継続
	担当課	部名	 総務部	課名		収約	(対 対課	前年度比)	会計区	分	円)   ~	(	百万円) 事業区		年度ソフ	
11	事業名	余熱														
			持補修整備を徹底す	ることに	より安				収入が み6,114		る売電先	きとの	契約 現	丰度収	の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み 手度比)
	及び 概要	定操業をで、環境	はかり、より効率的なる 衛生センターで消費す 剰電力を売電すること	発電を行 る電力	うこと を賄う	H 29 年度	内容	(参考) ①施設	の維持	補修σ	)実施 12 っている電	, .		意円	H30 年度 H31 年度	継続継続
		20						· 白州		事業	書	ج ا ,	た本色セム		H32 年度 H33	継続
								「向性 前年度比)	継続	百万			ち市負担分百万円)	(61.1)	年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名		境	مالدمية	am l	会計区		一般		事業区		歳入	

12	事業名	企美	業会計推進事業													
		下业送祭	・事業については、次の	カ##4479	· (da 人			①公營	企業会	计字校	z <del> ₩</del> 数	文禾壬			事業の の見 (対前年	込み
		な施設を	・引継ぐためにも、経営 り、使用料の改定、経	の安定を	を図る	H 29	内容	②下水		業会計	トシス	テム保	守業務委訂	É	H30 年度	継続
	概要	を行い、	り、使用料の成定、框 下水道等事業の更なる 化を図る。			年度			我啊水	K X 16	× 7<17	方女们			H31 年度	継続
		10 7501	10.5 \(\rightarrow\)												H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業 (百万		29.0	うち市負担分 (百万円)	11.7	H33 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	下表	k道	総	务課	会計区	分	下	水企業	事業区	☑分	ソフ	<b>\</b>

										★:重点	スプラン診	亥当耳	対組、◎	(重点ス	プラン該	当事業
Į	文 組	7-2-4	公共施設等	の計画	画的な	:整	備。	上資産	の有効	活用						
13	事業名	公共	は施設等マネジメ	/ト事業	4											
		設等(公	-50年代に集中的に整 共建築物及びインフラ 低下が進み、今後、改	)は、老	朽化に			①公共 課)の記		マネジメン	小に係る	総括	課(財産	<b>奎活用</b>	の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	費が集中	四下が遅み、ラ後、以 「する時期を迎え、多力 ゞ想定される。人口減少	てな財政	負担と	H 29	内容	③市民	向け小	下市公共が  冊子の作  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	成				H30 年度	拡充
		化等の人	・心足される。八百歳3 ・口構造の変化等による も踏まえ、公共施設等	る市民ニ	ーズ	年度		④公共 の実施		検マニュア	アル等に	沿った	た点検	保全	H31 年度	拡充
			、全体最適化等に係												H32 年度	継続
		和1亿 TEJE	: 9 D <sub>0</sub>				フ (対	<b>与向性</b> 前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	6.1		5負担分 万円)	6.1	H33 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	財	産	舌用	課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	,
14	事業名	市目	民会館跡地活用検	討事業	É											
															の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び 概要	性や今後	対話を基本に、市中心 の公共施設更新の問え、市民会館の跡地沿 める。	題など呼	女策課	H 29 年度			構想の第 会館跡:	策定 地活用検	討委員会	会の開	昇催		H30 年度 H31 年度	臨 拡 臨 拡 転 充 時 充
								方向性 前年度比)	臨時 拡充	事業費	6.1		5負担分 万円)	6.1	H32 年度 H33 年度	臨充 協充 臨充
	担当課	部名	企画財政部	課名	政	策分			会計区			(H	事業区	分	ソフ	
15	事業名	固分	上 上 学 座 台 帳 運 用 事	業												
		八左財帝	で で 理 運 用 システムの )	毎田クテト	n 练					う提出され					の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び 概要	一的な基 客観性・ 制度の運	: 管理運用ンペノムのが 連に基づく固定資産・ 比較可能性を担保した 5用を行うとともに、財産	台帳を調 上地方公	製し、 会計	H 29 年度		を関係	各課で	:有財産の 共有するこ 子業務:96	とにより				H30 年度 H31 年度	継続継続
		を図る。				IX.		5向性		事業費		<b>うた</b> ≠	5負担分		H32 年度 H33	継続
							(対	前年度比)	継続	(百万円)	1.0		万円)	1.0	年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	財	産	舌用	課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	F

16	事業名	広告	<b>- 当事業</b>													
															事業のの見(対前の	込み
			E保や経費節減を図りた の向上や地域経済の注			H 29	内容	①市の ②新規				哉 及び実施			H30 年度	継続
	概更		の印刷物や施設等の資 広告事業を推進する。	資産に広	告を	年度									H31 年度	継続
															H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続		業費 万円)	(11.5)	うち市負担分 (百万円)	(11.5	H33 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	政	策么	色画	i課	会計区	分		一般	事業区	≤分	歳入	

取	又 組	7-2-5	組織機構の	整備							・里尽	ノフンジ	<u> </u>	取組、◎	9里点	<u> </u>	コヂ木
17	事業名	機構	適正化事業														
																の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び	新たな行政	女課題や市民ニーズ( するため、適時、効率	こ的確か	つ柔	H 29	内容		的•効果	いわな	よ組織	•機構の	検	討		H30 年度	継続
	概要	機構の整体	#を行う。 一	HJ 2/J/T	(H)/A	年度										H31 年度	継続
															H32 年度	継続	
							方向性 対前年度比)	継続		業費 万円)	0.0		市負担分	0.0	H33 年度	継続	
	担当課	部名	企画財政部	課名	政	策企	企區	画課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>
18	事業名	中核	市移行検討事業														
								①先行	<b>丰</b> 〜 の	~71l	シンガ	資料収	隹			の見	方向性 込み ‡度比)
			より、本市においてもり となったことから、移行			H 29		②大阪	府の意	句確:	認、調	整等	朱			H30 年度	継続
	柳亜		となる財政、人材の確 oいて、調査・研究する	えサー	年度		9153	DI IIX.	<i>,,,</i> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						H31 年度	継続	
															H32 年度	継続	
							方向性 対前年度比)	継続		業費 万円)	0.0		市負担分 万円)	0.0	H33 年度	継続	
	担当課	部名	企画財政部	課名	政	策企	企匠	画課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<u> </u>

耳	又 組	7-2-6	使いやすい	·行政†	ナービ	スの	の摂	提供					<b>□ 4X</b> 於丘、ⓒ			
19	事業名	電子	行政サービスの	推進												
		市民が、紹	8口以外の所で、より	身近で簡	育単に			③マイ <sup>・</sup> ④マイ <sup>・</sup>	ナンバー						事業のの見(対前年	込み
	目的	る限りノン	る利便性の高い行政 ストップ、ワンストップ	で受けら	れるよ			⑤子育	てワンフ	ストツ	プサー	ビス対応			H30 年度	拡充
	概要	報提供ネ	ンバー制度で導入、 ットワークシステム及で			年度		<b>%</b> 102	他事業	^					H31 年度	継続
		ル機能を	利用する。												H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続		事業費 事万円)	34.5	うち市負担分 (百万円)	34.5	H33 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	情幸	艮シ	ステ	ム課	会計区	分		一般	事業区	分	ソフ	<b>\</b>

20	事業名	戸籍	籍•住民基本台帳等	等事務	事業												
		<b>三</b> 銍	び住民基本台帳法に	関金ス	主教			②住民	票等自	- 動る	を付事剤		事	務		事業の の見 (対前年	込み
		印鑑登翁	とひ住民番が日報伝に と及び証明に関する事 の迅速に行うとともに、受	務につい	いて、	H 29	内容		書コンと番号の			業 .番号カ <sup>、</sup>	ード	申請受	付·交	H30 年度	継続
	概要	各証明書	が歴を行うとともに、家 学の交付事務等につい 市民の利便性の向上を	て、総合		年度		付 ⑤総合	窓口化	の梢	針					H31 年度	拡充
		を特人し	市民の特民民の同土を	LM'Jo												H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続		■業費 ■万円)	82.2		市負担分	22.9	H33 年度	1
	担当課	部名	市民文化部	課名		市月	<b></b> 民課		会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	,

			T							★:重	点プラン診	核当耳	対組、◎	重点ス	プラン該	当事業
耳	文 組	7-2-7	電子自治体	の推済	進											
21	事業名	IT	ガバナンスの強化													
		した調達	ステム調達ガイドライン プロセスに沿って、シン 様書の作成等を支援し 様及び情報システムの:	ステム調	達の の見						イドライン					方向性 込み F度比)
	目的 及び	る。また、	積算・見積方法の標準 経費、更新経費の事		通化に	H 29	内容			調達事	業実施計	画策	定		H30 年度	継続
	概要	討し、「情	報システム調達事業等とで、システム経費の最	<b>実施計</b> 画	引を策	年度		※3)他	事業へ						H31 年度	継続
		る。また、	- く、シハノム柱員の別 これらの実施により、悄  する知識やノウハウの	青報シス	テムの										H32 年度	継続
		図ってい		'苗惧"ヲ	代刊を			<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費	8.0		5負担分 <b>万円</b> )	8.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	情幸	艮シン	ステ	ム課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>-</b>
22	事業名	基草	<b>幹系システム運用</b> 管	<b></b> 管理事	業											
		市民サー	ビスに直結する行政 <i>0</i>	)内部事	耳務の			①ホス	ト機器等	電子計算	算機の賃何	昔			事業の の見 (対前年	
	目的 及び	して、計画	務について、電子計算 画的、効率的なシステム	ム運用を	:行	H 29		③基幹	業務才	ープン系	幹系システ 機器の賃		維持・	軍用	H30 年度	継続
	概要	速化、効果	化、多様化する内部事 率化を図り、電子計算			年度		(4)オー	ブン系シ	/ステム0	)運用				H31 年度	拡充
		全で安定	した運営を行う。												H32 年度	継続
								<b>与向性</b> 前年度比)	継続	事業費	498.5		5負担分 <b>万円</b> )	476.5	H33 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	情幸	艮シ	ステ	ム課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	-
23	事業名	情幸	最システム全体最近	<b>適化事</b>	業											
		複雑•老村	50 名では できまれる でんした 基幹系ホストシ	システム	や標				基盤シンシステ <i>』</i>	ステム構造	築					方向性 込み F度比)
	目的 及び	最適化す	ていないオープン系シ るため、情報システム	全体最	適化計		内容	③内部		ステム調	幸準備				H30 年度	継続
	概要	備しながら	て、データ連携等の共 っ、順次、オープン系?			年度				調達準備	備				H31 年度	継続
		ステムの	<b>手構築を進める。</b>												H32 年度	継続
				_				<b>方向性</b> 前年度比)	新規	事業費	412.1		5負担分 万円)	412.1	H33 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	情幸	艮シ	ステ	ム課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<u> </u>

24	事業名	オー	ープンデータ・ビック	グデー	タの沿	f用										
			性を高め、市民の参画 ・促進するため、市が保					① <b>ナ</b> ー	プンデー	-夕利用仮	進の捨	計			の見(対前4	方向性 込み 拝度比)
		を二次利	」用可能な形式でインタ し、官民協働による新	'ーネッ	トを通	H 29	内容	②ガイ	ドラインの		,	b.1			H30 年度	継続
		ビスの提	供を検討する。また、市 様な大量データを収集・	7が保有	rする	年度			, ,	) V) A)//					H31 年度	継続
			った価値を創出する。	), VI O	, DCDR										H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費	0.0		市負担分	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	情報	及シン	ステ	ム課	会計区分	<b>÷</b>	一般		事業区分	<b>†</b>	ソフ	<b>,</b>
25	事業名	自剂	台体クラウドの推進													
			費や運用費の低減を												の見	方向性 込み 拝度比)
	目的	クラウド化	そ、コミュニケーション系 とが最適なシステムにつ 、老朽化した基幹系シ	ついては	、導入	H 29				ムクラウド /ステム等				討	H30 年度	継続
	概要	ては、刷	、名竹化した基軒ポン 新手法の一つとして検 ラウト化したシステムに~	討を進る	める。	年度									H31 年度	継続
		促進を図	, <del>-</del>	JV · C/r	1)713 V )										H32 年度	継続
								<b>5向性</b> 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0		市負担分	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	情報	最シ	ステ	ム課	会計区分	<b>†</b>	一般		事業区分	<b>†</b>	ソフ	<b>,</b>
26	事業名	IC	Γ-BCPの運用													
															の見	方向性 込み 拝度比)
	目的及び		也震災害の初動対応に 緊継続計画について、第							・予備回線 -タ分散の					H30 年度	拡充
	概要	のとする 等を実施	ため、必要な事前災害 ēする。	対策や	訓練	年度									H31 年度	継続
															H32 年度	継続
								<b>5向性</b> 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.5		市負担分	0.5	H33 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	情幸	足シン	ステ	ム課	会計区分	<b>→</b>	一般		事業区分	<b>&gt;</b>	ソフ	,

3 過去の実施計画期間中で完了・廃止した事業(担当部課名は事業実施最終年度の名称)

耳	又 組	7-2-3	健全な財政	運営					
E1	事業名	特定	目的基金の見直	し事業	美(H28年度事業完	了)			
			過に伴う位置付けの? 用を図るため再編した		や、活用効果の低減	等が見られる	5特定目的基金に	ついて、喫煙	<b>緊の課題への積</b>
	担当課	部名	企画財政部	課名	財政課	会計区分	一般	事業区分	歳入

Ⅰ 旭泉の似安		
まちの将来像	7	まちづくりを進めるための基盤
施策	7-3	地域社会の発展に貢献できる職員を育成する
施策の 方向性	市職員に、地域ます。	が全体の奉仕者として、高い倫理観と基礎自治体における行政の担い手としての強い使命感を持つととも 成の実情に柔軟できめ細やかに対応し、市民とともに課題解決を図る意識や能力の高い職員の育成に努め
	1	職員の能力開発
	2	人材育成に主眼をおいた人事制度の確立
取 組	3	
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

## 2 実施計画

#### ★: 重占プラン該当取組 ○ 重占プラン該当事業

2	実施計	. 岡									*	r:重点]	ノフン診	《当月	収組、◎	鬼点!	ノフン該	当争業
	取 組	7-3-	1	職員の能力	開発													
1	事業名	專	門的	」能力開発事業														
	目的び概	て、階層への派遣	別研 貴研(	こ応えられる人材 <i>の</i> F修や能力開発研 を等を適切に実施 識の習得や能力向	修、専門 し、職員	機関に必	H 29 年度	<b>卢</b> 容	3自己	参加型 啓発支 、必要	研修 援 <i>0</i>	多の実施 り実施		开修和	科目の見	直直し		方向性 込み 拝度比) 継続
		20010	W/101	may -> El 10 ( DE) 31/1	11116	. [2] 00											H32 年度	継続
									<b>方向性</b> 対前年度比)	継続		事業費 百万円)	16.4		市負担分	16.4	H33 年度	継続
	担当記	部名		総務部	課名		人	事語	課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	イ
2	事業名	職	場に	おける能力開発	発事業	É												
																		方向性 込み 拝度比)
	目的及び	の実践に	こおり	開発においては、耶 ヽて習得する知識。	や経験が	が最も	H 29	内容		育成プ	ラン	制度の	実施				H30 年度	継続
	概要	重要であ		とから、体系的に騒 るよう支援する。	厳場で丿	人材育	年度										H31 年度	継続
																	H32 年度	継続
									方向性 対前年度比)	拡充		業費 (万円)	0.4		市負担分	0.4	H33 年度	継続
	担当記	部名		総務部	課名		人	事語	課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	١

-				T								一里の	/ /	7	<b>水畑、</b> €	里尔	(ノフ/)	ハコザ木
	取	組	7-3-2	人材育成に	主眼	をおい	たし	人	事制度	の確立	Ξ							
	3	事業名	人材	ナマネジメント事業														
	•		取り組んで	常に意欲を持って自行 でいくことができるよう 評価結果に応じた適り	に、職務	や職			①人事								の月(対前	D方向性 見込み 年度比)
		目的	制度の構	築や、女性職員の活 な全ての職員が働き	躍に向い	ナた管	H 29	内容					実施方	法0	り変更、	多面	H30 年度	拡充
		概要	境の構築	るエくいればん 、職員のチャレンジす 度など、職員のモチィ	る意欲	に応え	年度										H31 年度	拡充
			- 1-7	こめの制度を構築し、													H32 年度	継続
			刊工を図	.√°					方向性 时前年度比)	拡充		事業費 5万円)	0.5		市負担分	0.	5 H33 年度	継続
		担当課	部名	総務部	課名		人	事訓	果	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	· 'ト

4	事業名	戦闘	各的職員採用事務	;												
		言い次足	「と意欲を有する人材 <i>の</i>	∩ <i>फ</i> /₽./>	点は										事業の の見 (対前 <sup>4</sup>	込み
	目的 及び	て、民間	では飲を有する人材で 企業等経験者の採用記 と験者増加に向けた大	試験導力	へや、	H 29	内容				験方法の見 )活用の検		/		H30 年度	継続
	概要		戦略的な職員採用制度			年度									H31 年度	継続
		)L 9 Wo													H32 年度	継続
								方向性  前年度比)	継続	事業 (百万			市負担分 「万円)	6.3	H33 年度	継続
	担当課	部名	総務部	課名		人	事調	Į.	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	F
5	事業名	女性	生職員の活躍推進	事業												
		茨木市に	こおける女性職員の活	躍の推済	進に関			30-	活躍の	推進に レ制度	.向けた研修			俚老	事業の の見 (対前 <sup>年</sup>	込み
		理職の増	「事業主行動計画に基 曽加に向けた取組みや	、全ての	職員	H 29	内容	が妊娠	した際に	こ配布	する啓発冊 リ、有給休『	子の	作成)		H30 年度	拡充
	概要	織全体で	すい職場環境の構築 ご継続的に女性職員の			年度			フーク導	入の権	検討(実施)				H31 年度	継続
		する。						7 497	1.^	ノム社	:貝 守/				H32 年度	継続
								方向性  前年度比)	拡充	事業			市負担分	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	総務部	課名		人	事調	Į.	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<u>-</u>

Ⅰ 旭東の概安		
まちの将来像	7	まちづくりを進めるための基盤
施策	7-4	人権尊重のまちづくりを推進するとともに平和の実現をめざす
施策の 方向性	市民一 点に立	の恐ろしさや平和の尊さの認識を深めるとともに、核兵器の廃絶に向けた取組を進めます。 人ひとりの人権が尊重・擁護された差別のないまちづくりの実現に向けて、すべての施策を人権尊重の視って推進します。 有する個人情報を適切に保護するとともに、個人情報保護に必要な施策を推進します。
	1	生命の尊さを守る非核平和社会の実現
	2	一人ひとりの人権を尊重するまちづくりの推進
取 組	3	個人情報保護への対応
★: 重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

#### 2 実施計画

★: 重点プラン該当取組、<br/>
の重点プラン該当事業

Ė												- 1	, , , <sub>B</sub> ,	一块粗、	) <u> </u>	) · p/	<u> </u>
	取	組	7-4-1	生命の尊さ	を守る	非核	半木	11	1会の3	<b>美</b> 規							
	1	事業名	非核	核平和推進事業													
			2 1 12 1 1	和都市宣言」の趣旨の					①非核 ②民間				つ支接			事業の の見 (対前 <sup>4</sup>	込み
		目的 及び		€器廃絶と平和に関す を深めるため、非核∓			H 29	内容	③非核	平和街	頭キ	テャンペ	ーン	アムとの共[	司公面	H30 年度	継続
		概要		開催するとともに街頭 民間団体が実施する			年度							した事業の		H31 年度	継続
			援する。													H32 年度	継続
									方向性 <sup>前年度比)</sup>	縮小		業費 「万円)	1.3	うち市負担分 (百万円)	1.3	H33 年度	継続
		担当課	部名	市民文化部	課名	人権	• 男:	女扌	<b>共生課</b>	会計区	分	-	一般	事業区	分	ソフ	<b>,</b>

耳	瓦 組	7-4-2	一人ひとりの	の人権	を尊重	重す	る	まちづ	くりの						/ / V 10 <u>/</u>	, , , , ,
2	事業名	人村	<b>產施策推進事業</b>													
		平成27年	:3月に策定した「第2}	欠茨木戸	<b></b>											方向性 込み F度比)
		施策を具	基本方針」に基づき、 体的に定めた「第2次			H 29	1 1	O /	尊重の 施策推		,		 		H30 年度	継続
	概要	また、人材	を策定する。 権尊重のまちづくり審認			年度									H31 年度	継続
		に開催し	、計画の進捗状況を確	<b>催認する</b>	00										H32 年度	継続
								<b>有性</b> 前年度比)	拡充		業業費 (万円)	0.3	市負担分	0.3	H33 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	人権	• 男:	女共	生課	会計区	分		一般	事業区	分	ソフ	<b>-</b>
3	事業名	人村	霍啓発推進事業													
		こととして	ひとりが人権尊重の料身につけ、日常生活に より、豊かな人権文化	こおいて	実践	н	内	②懸垂 ③啓発	会の開 幕の作 物の作	成 成						
	目的 及び	ざすため	、相談への対応や冊 示の実施等により、市	子の発行	亍、講	29 年	容	⑤第2		包策	推進計		へた重点	課題	年度 H31	継続
	概要	識の高揚	に向けた啓発を行う。			度		を選択	し啓発り	こ取	り組む				年度	継続
			様化する人権課題の角 ☑点課題を選択し、啓昇												H32 年度	継続
								<b>有性</b> 前年度比)	継続		業業費 (万円)	5.3	市負担分	4.2	H33 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	人権	• 男	女共	生課	会計区	分	-	一般	事業区	分	ソフ	<b>-</b>

4	事業名	<i>ا</i> ل	<b>雀·</b> 男女共同参画:	推准事	業補目	山 耳	工業	į							
•			を動の拠点を置く民間 に動の拠点を置く民間			77 3									方向性 込み F度比)
	目的	動として	実施する講演会などの 生進事業に対し、補助	)人権·身	男女共	H 29	内容	①提案	公募型	補助事業の	の実施			H30 年度	継続
	及び 概要	高揚を図	権意識、男女共同参區 1り、もってすべての人	の人権だ		年度								H31 年度	継続
		された、「	明るいまちづくりに努め	うる。 -				- <del></del> - Lel		<b>声</b> * #				H32 年度	継続
							(対)	<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費	0.5	うち市負担分	0.5	H33 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	人権	• 男 <sub>:</sub>	女共	生課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	
5	事業名	V V	のち・愛・ゆめセン	ター運	営事業	É			-⊒6.av. ri	VE 37 33 1	)	• जन <del>ऽ46</del>	# > ^		
			上法及び基本的人権尊					等の実 (地域の 人等へ	施 )実情に 委託する	応じた内? る。)	容となる。	野講座や記 よう、社会福		の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み F度比)
	目的 及び	ざし、市」	地域交流及び住民福民に対する人権啓発を	を推進し	、人権	H 29		③人権	に関する	、権相談へ る資料の収	又集及び	提供		H30 年度	継続
	概要	実現に資	解決を図り、人権が尊重 することを目的に、各	種事業	や、地	年度		⑤地域	団体の		事のため	進 の会場や、	自主	H31 年度	継続
		域交流、	情報収集、貸館等を領	<b>美施する</b>	00			⑥セン	ターのあ			よづく事業の	実施	H32 年度	継続
								了向性 前年度比)	継続	事業費	46.6	うち市負担分	20.8	H33 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	人権	• 男:	女共	生課	会計区:	分	一般	事業区	分	ソフ	<b>\</b>
6	事業名	茨ス	木市人権センター	補助事	業										
			Fられた豊かで住みよい で保障された基本的丿					(1) L 1/2	ל גבו	<b>丰</b> 业人机	ı o <del>k</del> t	<b>叫人の本</b> 人	ı.	の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 込み F度比)
			ゔき、あらゆる差別をな 歳の普及・高揚を促進 <sup>・</sup>			1 29		O / 1 / I		- 争業宝版 - のあり方(		助金の交付 「検討		H30 年度	継続
		事業を実			、171	左	-	() / (IE	ピンター					1104	
			E施する茨木市人権セ カ金を交付することによ うくりに寄与する。		二対し、	年度			[EVA-					H31 年度 H32 年度	継続継続
			<b>か金を交付することによ</b>		二対し、		<b>7</b> .	<b>5向性</b> 前年度比)	継続	事業費(百万円)	6.5	うち市負担分 (百万円)	6.5	年度 H32	
	担当課		<b>か金を交付することによ</b>		対し、	度	<b>力</b> (対)	5向性		(百万円)	6.5 一般			年度 H32 年度 H33	継続継続
7		の社会へ	か金を交付することによ うくりに寄与する。	い、人権課名	立対し、 正尊重 人権	• 男	<b>力</b> (対)	<b>5向性</b> 前年度比)	継続	(百万円)		(百万円)		年度 H32 年度 H33 年度	継続継続
7	担当課	<b>部名</b> いの	か金を交付することによ がくりに寄与する。 市民文化部	まり、人権 <b>課名</b> ター相		度・男	女共	5向性 前年度比) に生課 ①市民じ	継続会計区	(百万円) 分 上活上の相助言・指導	 一般    権に関わる	相談	年度 H32 年度 H33 年度 ソフ 事業の見 (対前な	継続継続	
7	担当課名目的び	の社会で お名 いる 市視者に、生活の生活では、生活の、生活では、生活を はいる はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	か金を交付することによ がくりに寄与する。 市民文化部 かち・愛・ゆめセンタ 型えるあらゆる課題が、 でであるとなるは、 でである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	まり、人権 <b>課名</b> ター相 福祉と が図られと がすること	対重を大きれている。大きないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	度 男	<b>力</b> (対)	<b>5向性</b> (上) (上) (上) (上) (上) (上) (上) (上) (上) (上)	継続 会計区 からのない 係談に情報 がいまからのない (係談) 実部に 情変	(百万円) 分 と活上の相当 は は は は は は は は は は は は は に た に た に れ に い た に れ に い た い た い た い た い た い た い た い た い た い	一般 目談や人 算を行う 等と連携 容となる。	(百万円) 事業区 権に関わる し、長期的・ よう、社会福	相談継続社法	年度 H32 年度 H33 年度 ソブ	継続継続
7	担当課名目的び	の社会で 部名 いる 市視点の 記述 は は お で は で は で は ず で れ で れ で れ で れ で れ で れ で れ で れ で れ で	か金を交付することによ がくりに寄与する。 市民文化部 かち・愛・ゆめセンタ 型えるあらゆる課題が、 でであるとなるは、 でである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	まり、人権 <b>課名</b> ター相 福祉と が図られと がすること	対重を大きれている。大きないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	度 ・ 男 ・ H 29 年	力(対対 女共	<b>5向性</b> (上) (上) (上) (上) (上) (上) (上) (上) (上) (上)	継続 会計区 からのない 係談に情報 がいまからのない (係談) 実部に 情変	(百万円) 分 と活上の相当 は は は は は は は は は は は は は に た に た に れ に い た に れ に い た い た い た い た い た い た い た い た い た い	一般 目談や人 算を行う 等と連携 容となる。	(百万円) 事業区 権に関わる し、長期的・	相談継続社法	年度 H32 年度 H33 年度 ソフ 事業の見 (対前4 H30 年度 H31	継続継続
7	担当課名目的び	の社会で お名 いる 市視者に、生活の生活では、生活の、生活では、生活を はいる はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	か金を交付することによ がくりに寄与する。 市民文化部 かち・愛・ゆめセンタ 型えるあらゆる課題が、 でであるとなるは、 でである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	まり、人権 <b>課名</b> ター相 福祉と が図られと がすること	対重を大きれている。大きないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	度 ・ 男 ・ H 29 年	方(対対 女 内容 カ	<b>5向性</b> (上) (上) (上) (上) (上) (上) (上) (上) (上) (上)	継続 会計区 からのない 係談に情報 がいまからのない (係談) 実部に 情変	(百万円) 分 と活上の相当 は は は は は は は は は は は は は に た に た に れ に い た に れ に い た い た い た い た い た い た い た い た い た い	一般 目談や人 算を行う 等と連携 容となる。	(百万円) 事業区 権に関わる し、長期的・ よう、社会福	相談継続社法	年度 H32 年度 H33 年度 ソフフ 事業の見 (対前4 H30 年日 H31 年度 H31 年度 H31	継続 継続 方込度比) 継続 継続

	取	組	7-4-3	個人情報係	護への	の対応	,										
8	8	事業名	個人	、情報保護事業													
														服取扱事 な事務幸		事業の の見 (対前年	込み
			信頼される		して適	H 29 年	内容	行う。		_ ′			人情報的		H30 年度	継続	
		概要	正な個人む。	情報保護事務事業の	するため、継続して適 事業の実施に取り組								要な業績		个时变	H31 年度	継続
					勝事業の美施に取り組											H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続		事業費 5万円)	0.6	 市負担分	0.6	H33 年度	継続	
		担当課	部名	総務部	課名	去務コン	/プ:	ライ	アンス誤	会計区	分		一般	事業区	分	ソフ	١.

「心泉の似安		
まちの将来像	7	まちづくりを進めるための基盤
施策	7-5	市民とともに男女共同参画社会の実現をめざす
施策の 方向性		は同参画社会基本法」に基づき、男女が互いの人権を尊重しつつ、いきいきと暮らすことのできる男女共同 会の実現をめざします。
	1	市民と協働した男女共同参画の推進
	2	DVの予防啓発及び被害者の支援
取 組	3	
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

## 2 実施計画

★: 雨占プラン該当取組 ○雨占プラン該当車業

2	実施計画	<u> </u>									*	:重点	プラン該	:当J	取組、◎	)重点	プラン該	当事業
J	取 組	7-5-1		市民と協働	した男	女共[	司参	参Ī	画の推済	隹								
1	事業名	女性	生の消	舌躍推進事業														
									②新規	女性人	材の	開拓	ベースの				の見(対前	)方向性 見込み 年度比)
	目的及び	活躍推進	法」及	社会の実現を目 なび「第2次男女!	共同参	画計	29	内容	活躍推	進、ワー	-クラ	ライフバ	ランス推	推		実施	年度	継続
	概要	画」に基 <sup>・</sup> る。	づき、	更なる女性の活	<b>躍推進</b>	を図	年度		⑥人事	課と連打	隽し7	た特定	事業主征	行重	計画の	推進	年度	継続
																	H32 年度	継続
									方向性 対前年度比)	拡充		業費 万円)	0.6		市負担分	0.0	6 H33 年度	継続
	担当課	部名	Ī	市民文化部	課名	人権	• 男	女	共生課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<b>.</b>
2	事業名	地址	或には	おける男女共	同参画	推進	事	業										
		地域における男女共同参画を推進するたり、地域における男女共同参画を推進するたり、地域における男女共同参画を推進するたり、地域における男女共同参画の推進するたり、②市民協働企画の充実及び市民による男女共同														の見	)方向性 見込み 年度比)	
	目的及び	め、地域	と協賃	男女共同参画を持 して男女共同参 の実施及び市民	画の推	進に	29	内容	②市民		画の		及び市民	きに。	よる男女	共同	H30 年度 H31	継続
	概要			動を支援する。	*/ L T	H J. & 23	度										年度 H32	継続継続
									方向性 対前年度比)	継続		業費	0.1		市負担分	0.	年度 1 H33 年度	継続
	担当課	部名	ī	市民文化部	課名	人権	• 男	女	共生課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	1
3	事業名	ロー	-ズW	/AMにおける	男女	共同参	画	i推	推事業	Ė	•							
									画を得種の事	て、男女業を展開	;共[ 開	司参画	社会の	実現	携や市日 見に向け 集整理を	た各	の見	)方向性 見込み 年度比)
	目的及び			社会の実現に向 重事業の実施や情			H 29	内容	い、開タ	<b>保提供を</b>	行?	5	情報提信			-11	H30 年度	継続
	概要			アーの運営を行う		K/X U	年度		④女性	の活躍	推進	シワー	クライフ	バラ	・ロフ シスの打 〔項目と〕		干及	継続
									施				~ IX C =		,.,.		H32 年度	継続
									方向性 対前年度比)	継続		漢費 万円)	90.0		市負担分	90.0	0 H33 年度	継続
	担当課	部名	Ī	市民文化部	課名	人権	• 男	女	共生課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>.</b>

4	事業名	ロー	ーズWAM 相談事	業													
												弁護士				の見 (対前4	方向性 ,込み 年度比)
	目的 及び		とりわけ女性の相談を ることを通して、市民生			H 29	卢名	談、男性	生のため	50	電話相	が等を  談等を  相談事	実施	Ī		H30 年度	継続
		トする。	。 ひここと かし くく 中 1人 1	L111 2 7	7,1	年度		う、内容				11110(7)	* C	AXIM C	G.99	H31 年度	継続
																H32 年度	継続
							(5	方向性 対前年度比)	継続		事業費 百万円)	12.5		市負担分	12.5	H33 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	人権	• 男	女	共生課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>١</b>	
5	事業名	第2	2次茨木市男女共同	司参画	計画	推社	焦	事業									
								①男女	土同参	画神	<b>佐准</b> 塞言	義会の閉	氢傑			の見	方向性 ,込み 手度比)
	目的 及び	市男女共	『参画社会の実現を目 は同参画推進審議会及	市男	H 29	早	( H /-	共同参	画拍	<b>性進本</b> 語	部会議及		研修会	の開催	H30 年度	継続	
	概要		≷画推進本部会議を開 的な施策の推進と進行		年度		9/1/11	-1-25	- \	, T /K*/	1111				H31 年度	継続	
															H32 年度	臨時 拡充	
							(5	方向性 対前年度比)	継続		業業費 (万円)	0.3		市負担分	0.3	H33 年度	臨時 拡充
	担当課	部名	市民文化部	• 男	女	共生課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<u>۲</u>		

I	反 組	7-5-2	DVの予防	啓発及	び被割	害者	<b>首</b> 0.	)支援								
6	事業名	DV	の予防啓発及び	被害者	支援	事業	É									
								②緊急	一時保	護事	業等複	皮害者支	き発・研修 で援の実施		事業のの見(対前年	込み
			とや被害者支援につ 施するとともに、被害			H 29		<ul><li>③配偶</li><li>④被害</li></ul>					の運営		H30 年度	継続
			環境の提供等支援を			年度									H31 年度	継続
															H32 年度	継続
									拡充		業費 万円)	1.1	うち市負担分 (百万円)	1.1	H33 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	人権	• 男:	女‡	<b>共生課</b>	会計区	分	-	一般	事業区	3分	ソフ	١

□ 肥束の概安		
まちの将来像	7	まちづくりを進めるための基盤
施策	7-6	地域コミュニティを育み、地域自治を支援する
施策の 方向性	その中 地域分	活動の活性化とともに、より多くの市民が利用できる地域活動の拠点の整備(公民館のコミセン化)を進め、で、地域が一体となった「地域自治組織」の結成を推進し、市民・さまざまな地域組織が主体的に協働した権に向けた体制づくりを進めます。市民の「地域」に対する関心を高め、「地域づくりは自らの手で」という意成します。
	1	コミュニティ活動の推進
	2	コミュニティ施設の整備
取 組	3	
★:重点プラン	4	
該当取組	5	
	6	
	7	

## 2 実施計画

# ★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

2	実施計画	<u> </u>								*	r:重点]	プラン該	(当)	取組、◎	重点	スプラン討	<b>三</b> 当事業
I	仅 組	7-6-1	コミュニテ	ィ活動の	り推進												
1	事業名	地均	或自治組織推進	事業													
		茨太市州	地域コミュニティ基本	岩針に掲	げられ			8校区> ②地域	活動支	リ= 援る	240万F	円(2ヵ年	三限	定)		の5(対前	D方向性 見込み 年度比)
	目的及び	ている「坩	地域自治組織」の結成なり、地域の課題解	戊を促進し	_、地	H 29	内容	9校区: ③地域	行事開	催气		È				H30 年度	拡充
	概要	一括交付	なり、地域の味色肝 け金の制度により、地 とを目的とする。			年度			=5707 ポテンジ							H31 年度	拡充
		で図るこ	こを 日 117 こ 3 の。				9校区=	=50万月	円						H32 年度	拡充	
							方向性 前年度比)	拡充		事業費 百万円)	17.2		市負担分	17.	2 H33 年度	拡充	
	担当課	部名	市民文化部	市民	協信	動推	進課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<b>'</b> ト	
2	事業名	自治	台会活性化事業														
								付						催や資料 らの相詞		送 の 5 (対前	D方向性 見込み 年度比)
	目的 及び		・ 動を活性化し、住身 中で、真に住みよい:			H 29	内容	③集会	五座ロ 施設・物 会ハン	勿置	購入に	対しての			火又	H30 年度	継続
			ることを目的とする。	-259	年度		⑤自治	会加入	促过	隹チラシ	の作成		:共催)。	カ胆が	H31 年度	継続	
								云文祝	明复	云(口亦	伯男賞	述く	一六個儿	ソ肝作	H32 年度	継続	
								方向性 前年度比)	継続		業費 (万円)	11.9		市負担分	11.	9 H33 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	市民	協信	動推	進課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<b>'</b> ト

取	組	7-6-2		コミュニティ	施設0	)整備						· <u> </u>	у <b>у ч</b> ру	\	WHIT.	/ <u>±</u> ,m.	フフン該	コチル
3	事業名	コミ	ユニ	ティセンター修	<b>終事</b>	業												
									①既去	·協亞(1:	1 紀	)の修繕						方向性 込み 拝度比)
	日的	コミセン化	ムによ	ニティセンター並び よる移行施設の整	備修繕	を行	H 29 年	内容	②移行	施設(4	館)の			恙			H30 年度	拡充
	概更	い、地域 的とする。		の拠点施設を整備	帯するこ	とを目	年度		O ANI ANI	, , ,	164	13/11/16	IX V ノIシャ	Ħ			H31 年度	拡充
																	H32 年度	拡充
								<b>方向性</b> 前年度比)	拡充		事業費 事万円)	18.0		市負担分	18.0	H33 年度	拡充	
	担当課	部名		市民文化部	課名	市民	協信	動推	進課	会計区	分	-	一般		事業区	分	ソフ	<b>Γ</b>

4	事業名	公臣	民館コミュニティセン	ンターイ	匕事弟	É									
			・取り巻く社会経済情勢					が不可	欠であ	るため、F	5民協働	あり、地域の 推進課と連	携し		方向性 込み F度比)
	目的	く事業活	からの公民館は、住民: 動だけでなく、地域に	おける課	題解	H 29	内容	て、理解める	解の深有	比及び課	題把握等	、情報共有	に努	H30 年度	継続
	概要		しての機能も求められ r活動の一層の活性化			年度					理につい 多行する。	いて、H29.4	1.1から	H31 年度	継続
		公民館の	)コミュニティセンター (	とを図る。										H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続	事業費 (百万円	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会	教育	育振	興課	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b>,</b>

・心水の水文		
まちの将来像	7	まちづくりを進めるための基盤
施策	7-7	多様な主体による協働のまちづくりを推進する
施策の	的に行政 政などの	き続き、多くの市民が市民活動に参加できるようNPO等の活動情報の集積・発信はもとより、さまざまな媒体を通じて積極な情報を提供していきます。まちづくり、福祉、教育、子育てなどのさまざまな分野において市民、事業者、NPO、大学、行多様な主体が互いを補完しながら、最善の事業手法でまちづくりに取り組みます。 くの市民が地域課題解決のための公益活動に取り組みます。
	1	協働とパートナーシップによるまちづくりの推進
	2	新しい公共への市民参加・参画の促進と行政との協働体制の構築
取 組	3	行政の透明性の向上
★:重点プラン	4	協働のまちづくりを推進するための広報広聴
該当取組	5	大学との連携によるまちづくりの推進
	6	
	7	

## 2 実施計画

★・ 重点プラン該当取組 ◎重点プラン該当事業

2	実施計画	ΕĪ.								★:重点	アラン診	と 当 り	取組、◎	重点に	プラン該	当事業
耳	仅 組	7-7-1	協働とパー	トナー	シップ	ì:	よる	るまちつ	ざくりの	推進						
1	事業名	広幸	<b>B</b> 刊行物発行事業													
			に市政の概要につい し、市政を理解してもら												の見	方向性 込み 拝度比)
	目的 及び		ック等の広報刊行物を は市の魅力を発信す			H 29	内容		ハンドフ	ックの発	行				H30 年度	継続
	概要	発信事業	朴に広く配布するため ∶で実施する。			年度									H31 年度	臨時 拡充
			要に応じ魅力発信のた う物の発行を検討する		イム										H32 年度	臨時 拡充
								方向性 <sup>抗年度比)</sup>	継続	事業費 (百万円)	1.2		市負担分	1.2	H33 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	まち	魅っ	力発	信課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	F
2	事業名	協賃	めのまちづくり推進	事業				_								
		①各種講座・各種事業の実施 市民活動センターを設置し、市民らの公益活 ②市民活動応援フェスタの実施													の見	方向性 込み ‡度比)
	目的 及び	動を推進	」センターを設置し、市 するとともに、住みよい 心となり、市民活動団	まちづ	くり協	H 29		③協働	事業に		職員研修		<b>\\</b>		H30 年度	継続
	概要		を保ちながら協働のま とを目的とする。	ちづくり	を推	年度		⑤年末	市内一	斉清掃の	実施				H31 年度	継続
										+ <b>*</b> +					H32 年度	継続
				I				方向性 <sup>対前年度比)</sup>	継続	事業費 (百万円)	13.6		市負担分 「万円)	13.6	H33 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	市民	協信	動推	推課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>
3	事業名	リノー	べのいばらきプロミ	ジェクト	推進	事美	É									
		<b>江卦</b> [ □	そ18 めみよみ の「11 )	es an un	#										の見	方向性 込み 拝度比)
		プロジェク	を増やすための「リノ・ アトにおいて、リノベー; 、「楽しく」まちづくりをタ	ンョン、I	DIYを	H 29	内容		<b>べいば</b>	らきプロシ	ジェクトの	実施	Ĺ		H30 年度	継続
	概要	を提供し	、「衆しく」まらってりを 、活動人口の増加を図 をめざす。	xpw)るさ 【り、まち	の持	年度									H31 年度	臨時 拡充
		かたロファロル	(ZWC ) 0												H32 年度	継続
								方向性 <sup>計前年度比)</sup>	臨時 拡充	事業費 (百万円)	25.0		市負担分	12.5	H33 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	政	策分	企画	1課	会計区	分	一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>
_																

	取	組	7-7-2	新しい公共	への市	ī民参	加•	参	画の仮	進と行							<u> </u>	7,7,1
4	; :	事業名	市目	民公益活動支援事	業													
				活動団体から公益活													の見	方向性 込み 手度比)
		日的	となったま	補助をすることによって 也域課題解決の体制~	づくりをう	支援す	29	内容		公募型マ型補具			)実施(ネ !統合	制	]金の継	続)	H30 年度	継続
		概要	改革を進	、行政側の協働の体 め、さらなる協働によ		年度										H31 年度	継続	
			推進する	ことを目的とする。													H32 年度	継続
								<b>方向性</b> 前年度比)	継続		事業費 5万円)	3.0		市負担分	3.0	H33 年度	継続	
		担当課	部名	市民文化部	課名	市民	協信	動推	進課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組 7-7-3 行政の透明性の向上														
5	事業名	情報公開事務事業												
		行政の活					事業の方の見込 (対前年) ①情報公開の請求の受付や各課への請求情報の							
	行政の透明性を向上させ、市政運営について市民への説明責任を果たすとともに、市民 及び の理解と参加の下に公正で開かれた市政の						通知を ②情報		H30 年度	継続				
	概要	推進のため	り、継続して適正な情	年度		う。	う。 <b>H31</b> 年度							
		事業の実施に取り組む。											H32 年度	継続
					方向性 前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.6	うち市負担分 (百万円)	0.5	H33 年度	継続		
	担当課	部名	総務部	課名と務コン	ノプ・	ライ	アンス誤	会計区	分	一般	事業区	分	ソフ	<b>-</b>

耳	瓦 組	7-7-4	協働のまち	づくりる	を推進	す	るた	めの!	<b>広報広</b>							X	
6	事業名	【再	掲】広報誌発行事	業													
		全ての市 合情報誌			①「広報いばらき」の印刷及び全世帯・全事業所への「表の広報いばらき」の印刷を							の見(対前:	方向性 込み 年度比)				
			障害者や高齢者等を対 別版「声の広報いばらき			H 29 年									H30 年度	継続	
	概要		「広報いばらき」の発行する。						④市民モデルの募集 ⑤広報誌のデジタル媒体掲載							H31 年度	継続
		【関連取決											H32 年度	継続			
								<b>万向性</b> 前年度比)	継続		業費 [万円)	(65.5)		市負担分	(65.	5) H33 年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	まち	魅力	力発化	信課	会計区分 一般 事業区分					ソフ	<b>١</b>		
7	事業名	【再	掲】ホームページ・	SNS	運営事	業	1										
			可政情報を広く市民に素 ホームページの適切な				+	<b>0</b> 4		ž.o.	<b>然和</b>	Ŧ24				の見(対前:	方向性 込み 年度比)
			に、だれもが利用しや 充実を図る。また、SN			H 29			ムペーシ を活用							H30 年度	継続
						年度									H31 年度	継続	
		【関連取	組:7-1-2 魅力発信力	」の強化	<b>[</b> ]											H32 年度	継続
								方向性 前年度比)	継続		業費 [万円)	(7.37)		市負担分	(7.3	7) H33 年度	臨時 拡充
	担当課	部名	企画財政部	魅力	力発化	信課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<u>۲</u>		

	<b>市</b> 类 力	士日	 民相談業務														
8	事業名	<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>											の見	方向性 ,込み 年度比)			
	及び	市民が抱えている問題等を解決に導くため、 各種の相談により、専門の委員、弁護士、職 員等が教示・助言を行う。					内容	務	民生活に関する身近な相談等の一般相談業 律相談や司法書士相談等の特別相談業務								継続継続
							方向性財前年度比)	継続		業費万円)	9.6		市負担分 <b>百万円</b> )	9.6	H32 年度 H33 年度	継続	
	担当課	部名	市民文化部	課名	市民	:生?	舌木	目談課	会計区	分		一般		事業区	分	ソフ	<b>F</b>
9	事業名	個兒	川広聴業務														
	<b></b>	広く市民	しや提言	`等を	Н	内	アボックの市政	フス	る意	見や要	を広く市				の見 (対前4 H30	方向性、込み、主度比)	
			市政運営に反映させる アボックス、電子メール			29 年 度	容	电1人	70 AND	<i>,</i> ,,,						年度 H31 年度	継続
		XME / 00													H32 年度	継続	
								方向性 対前年度比)	縮小		業費 万円)	0.0		市負担分 <b>百万円</b> )	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	市民	生	活相談課		会計区	分		一般		事業区	事業区分		<u>۲</u>
10	事業名	集団	団広聴事業														
					意 29										の見	方向性 込み 年度比)	
	目的及び	言を聴取	[接、市民と市政に対す したり、市の考え方や [を図るため、幅広い世	云え意		内容	1 ①中·福 ②地域				上交換会 ンミーテ			ti	H30 年度 H31	継続	
	概要	体等と意	-14 ( 1	135											年度 H32 年度	継続継続	
								方向性 対前年度比)	拡充		業費 万円)	0.1		市負担分 百万円)	0.1	H33 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	市民	生	活相談課		会計区分 一般 事業区分						分	ソフ	<u>۲</u>
11	事業名	確な	いな未来ミーティン	グ推進	進事業												
		<b>本民</b> よの	<b>分子な舌畑したまれ</b> ご	ことのよご住	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	н	内									の見 (対前 <sup>4</sup>	方向性 ,込み 年度比)
	目的 及び 概要	市民との対話を重視したまちづくりを進めるため、市政の重要テーマや課題について、市 民と職員(市長)の対話を行う「確かな未来 ミーティング」を実施する。						①確か	U唯かな木米ミーティングの店用文版 H							H30 年度 H31 年度	継続継続
								方向性	zul:	重	業費	.	5 <i>†</i>	市負担分		H32 年度 H33	継続
	Am vi am	40 =	A 701-1-4-2	-m +		hopa	(\$	対前年度比)	継続会計区	(百)	万円)	0.3   一般		事業区	0.3	年度	
	担当課	部名	企画財政部	課名	政	束分	ΕŒ	<b></b> 重課	ソフ	۲							

I	D 組	7-7-5	大学との連	携によ	るまち	らづ	ζ(	りの推進	<u></u>	Α.	土灬	<i>У</i> У № 102	^=-	W/III C	/ == //	スプラン 彰	NJ F.A.		
12	事業名	大学	ዾ・地域連携推進  ■	事業															
								①いばらき・大学連携事業補助金(提案公募型)の 実施								のり(対前	D方向性 見込み 年度比)		
	目的 及び							, ②大字	2元 ②大学と地域のマッチングの仕組みの一つである いばまちボード」の運用							牛皮	継続		
		推進する。また、連携協定を締結している大学ともに、市民の学習意欲の向上を図る連携講座を展開する。						③大学連携講座の開設						H31 年度	継続				
																H32 年度	継続		
						方向性 対前年度比)	臨時 拡充	事業		6.0		<sup>市負担分</sup> 万円)	6.	0 H33 年度	継続				
	担当課	部名	企画財政部	課名	政	策企	色直	<b>町課</b>	会計区	一般事業区分			分	ソフ	<b>'</b> \				
13	事業名	大賞	牟連携プラットホー	ム事業	É														
	目的		力である多数の大学			Н	内		連携講	座開詞	設に向	]けた調	整			の! (対前 H30	D方向性 見込み 年度比) 継続		
	及び	市内大学や連携協定を締結している大学で 構成される連携ブラットホームを構築、運営 し、情報共有や、地域との連携、大学間の連 携促進を図る。					容	②提案	②提案公募型補助金実施に向けた調整						年度 H31	継続			
																年度 H32	継続		
								方向性	継続	事業		0.0		市負担分	0.	年度 H33	継続		
							(文	村前年度比)	小坯形儿	(百万	5円)	0.0	(百	万円)	0.	年度	州公形化		
	担当課	部名	企画財政部	課名	政	策企	全国	<b>画課</b>	会計区	分 一般 事業区分					分	ソフ	'ኑ		